

がん研究会 有明病院



年報

2019年



目次

はじめに

1. 理念・基本方針	1
2. 2019年の動き	2
3. 組織図	3
4. 職員数	6
5. 診療科と責任者	7
6. 学会認定・指定・施設基準等	10
7. 統計資料	14
外来・入院実績	15
疾患別入院患者数	16
地区別外来患者数（総数）	18
◆全国	18
◆東京都	19
病理検査	20
病理検査・細胞診検査件数	20
CT検査件数・MRI検査件数・核医学検査件数	21
内視鏡検査数・超音波検査数	22
院内がん登録集計	23
①部位別・男女別件数	23
②診断時居住地別件数（東京都医療圏別内訳）	24
③主要5部位治療別件数	26
④治療別件数	27
⑤ステージ別件数	28
⑥部位別・年齢別件数	29
⑦症例区分別件数	30
8. 一般公開講座	31
9. 学会・研究発表業績	32
10. 雑誌・単行本発表業績	134
11. 獲得研究費一覧	208
12. 学術研究講演	214
13. 財政状況	215

はじめに

2019年のがん研有明病院年報が完成したのでお届けします（一昨年から電子媒体のみで作成しています）。今回の年報は、新型コロナウイルスのパンデミックの真ただ中での完成となりました。目を通すと、将来に何の不安もない2019年の活動ぶりが見えてきます。臨床業績の拡大と競うように、英文論文の出版も増加しました。一体誰が今日のような未曾有のコロナ惨禍を予想したでしょうか。

2019年、がん研有明病院は「がんゲノム医療拠点病院」の指定を受け、ゲノム診療部を新設しました。以前から続く外来化学療法数の増加に対応すべく、外来部門に専用のベッドを15床造設し、全75床という本邦最大規模の外来化学療法室の稼働を開始しました。手術室では手術支援ロボットを3台に増やしました。2005年の大塚からの移転以来、拡大を続ける病院機能で満杯になった敷地と建物をいかに有効に活用し将来に備えるか、を真剣に議論していました。そこに突然襲ってきたコロナ禍で、2020年はひたすら我慢の年となっています。来年お届けする年報では、これまで拡大の一途をたどってきた臨床業績が一休みすることは間違いありませんが、ひとまずここまでのピークとなるはずの2019年版をお届けいたします。2021年は、十分な体制立て直しを行ってこの2019年業績への復活を目指す所存です。

2020年11月吉日

公益財団法人がん研究会有明病院
病院長 佐野 武

1. 理念・基本方針

未来を担う理想のがん専門病院となるために、病院の理念・基本方針として次の**使命(Mission)**、共有する**価値観(Core Values)**、**将来展望(Vision)**を定めました。

これに基づき、私たちは最高の医療を提供するとともに、下記の「患者さんの権利」を尊重した、やさしく心の通った医療を実践してまいります。

◆基本理念

「がん研究会はがん克服をもって人類の福祉に貢献する」

この基本理念達成のために、がん研究会は 研究所、病院およびがん化学療法センター等を擁し

1. がんの本態と個性を明らかにし、がんの診断・治療・予防に貢献すると共に、生命科学の先端を開拓する。
2. 優れたがんの診断・治療を実践し、がんを治す。
3. がんの新薬と新しい診断・治療法を開発する。
4. がんの予防研究と一次・二次予防の実践により、がんの発生と死亡を抑える。
5. がんの研究・診療・予防の、国内および国際交流を促進する。

◆使命・価値観・将来展望

使 命	Mission	「がん克服をもって人類の福祉に貢献する」
価 値 観	Core Values	「創造・革新・高質・親切・協調」
将来展望	Vision	「がんの診療・研究において世界に誇るがん研となる」

◆基本方針

1. 新しいがん医療の創造に努めます
2. 安全かつ質の高いがん医療を提供します
3. 患者さん中心の親切ながん医療を行います
4. 臓器別診療に基づくチーム医療を実践します
5. 人間性豊かな医療人の育成に努めます

◆患者さんの権利

1. 基本的人権に基づき、高質の医療を等しく受けることができます。(基本的人権)
2. 十分な説明と情報提供を受けることができます。(十分な説明と情報提供)
3. 自己の意思に基づいて診療を受けることができます。(治療の自己決定)
4. 自己の受けた診療内容を知ることができます。(情報公開)
5. 個人情報及び医療情報は十分に保護され秘密が守られます。(個人情報保護)

例えば・・・

- セカンドオピニオンを求めることができます。
- 診療を受けることも、拒否することもできます。
- 一方、自己決定したことに対して責務が存在することもご理解ください。
- 診療内容、診療記録等について知りたいときは説明・開示をお求めください。

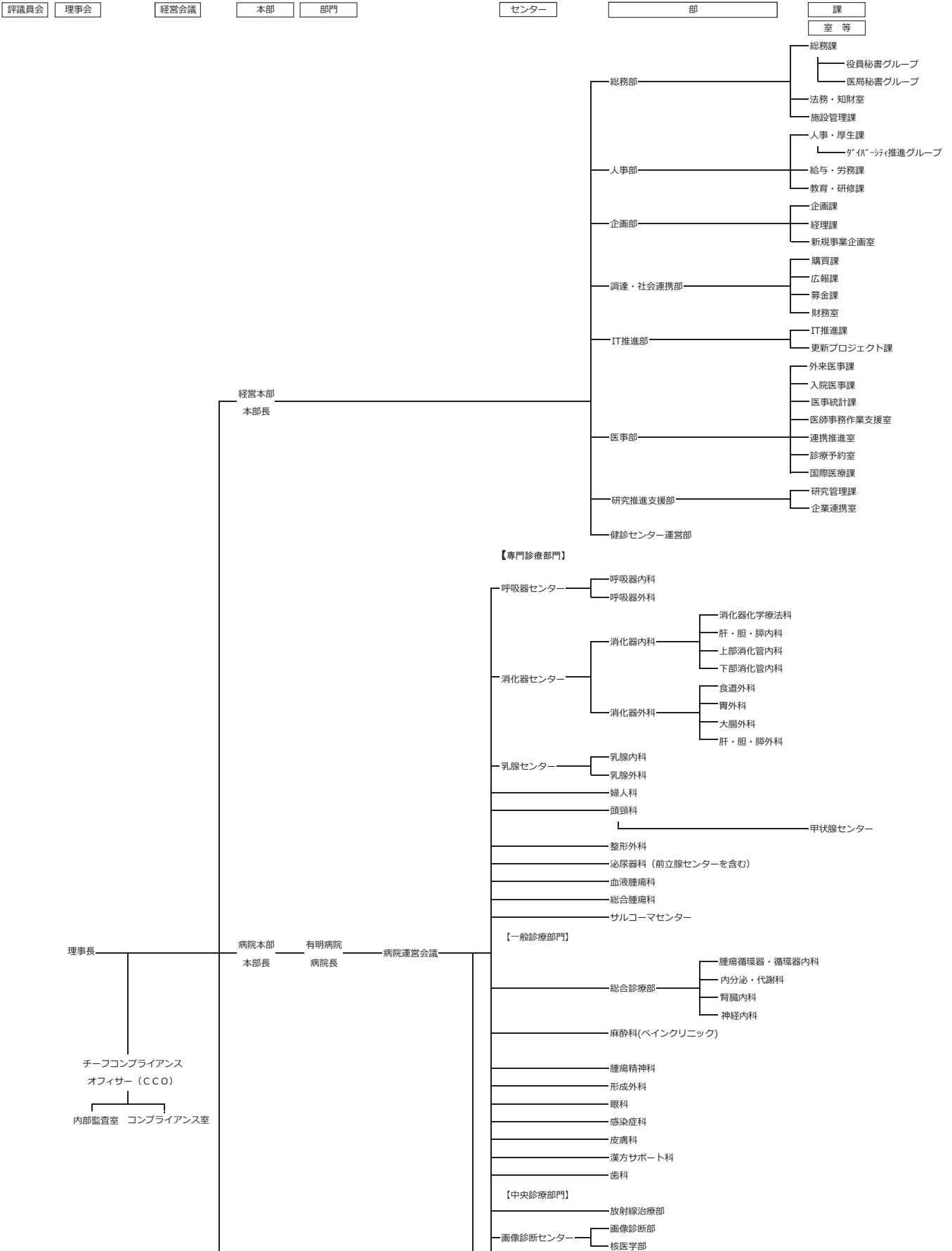
なお、新しい治療法開発のために必要な臨床試験をお願いすることがありますのでご理解下さい。

2. 2019年の動き

- 1月4日 がん研究会新年祝賀式典並びに永年勤続者等表彰式が挙行される。
25年勤続表彰者9名、10年勤続表彰者57名、がん研究会学術賞1名、特別賞4名、チーム表彰1チーム、優良賞6名
- 1月29日 東京芸術劇場コンサートホールで「がん患者さんが歌う第九チャリティーコンサート」が開催される。
- 2月1日 病院本部・中央診療部門に「AI医療センター」を新設する。
- 3月6日 吉田富三記念講堂にて、がん研有明病院 臨床研修医発表会が開催される。
- 3月31日 細胞検査士養成所の平成31年度入学式（総勢13名）が挙行される。
- 4月1日 病院本部に「トータルケア部門」を新設する。
病院本部・臨床教育・研究部門に「先端医療開発センター」を新設する。
健診センターで脳ドックを開始する。
東京ビッグサイト会議棟6階会議室にて、2019年4月新入職員辞令授与式（総勢177名）が挙行される。
- 5月14日 令和元年度比較腫瘍学常陸宮賞授賞式が挙行され、東京大学薬学部教授の三浦正幸博士が選ばれる。
受賞内容：「アポトーシスの遺伝学と生理機能：Genetics and Physiological Roles of Apoptosis」
- 6月1日 病院本部・中央診療部門に「ゲノム診療部」を新設する。
- 6月20日 第18回定時評議員会・第92回理事会が開催される。
増田幸央が評議員会会長を退任し、宮本洋一が評議員会会長に就任する。
- 7月27日 吉田富三記念講堂他でジョンソン&ジョンソン株式会社との共催により、「ブラック・ジャックセミナー」が開催される。
- 9月9日 外来化学療法室の面積を25%拡張し、外来化学療法用ベッドを15床増床（全75床）する。
- 9月19日 「がんゲノム医療拠点病院」に指定される。
- 10月18日 中国・上海の健診センター「上海卓瑞クリニック・健診センター」へ技術支援を開始する。
- 10月28日 細胞検査士養成所の令和元年度卒業式（総勢13名）が挙行される。
- 12月20日 手術支援ロボット「da Vinci Xi サージカルシステム」3台目を導入する。
- 12月24日 第19回定時評議員会・第97回理事会が開催される。

3. 組織図

【2019年12月1日】



評議員会

理事会

経営会議

本部

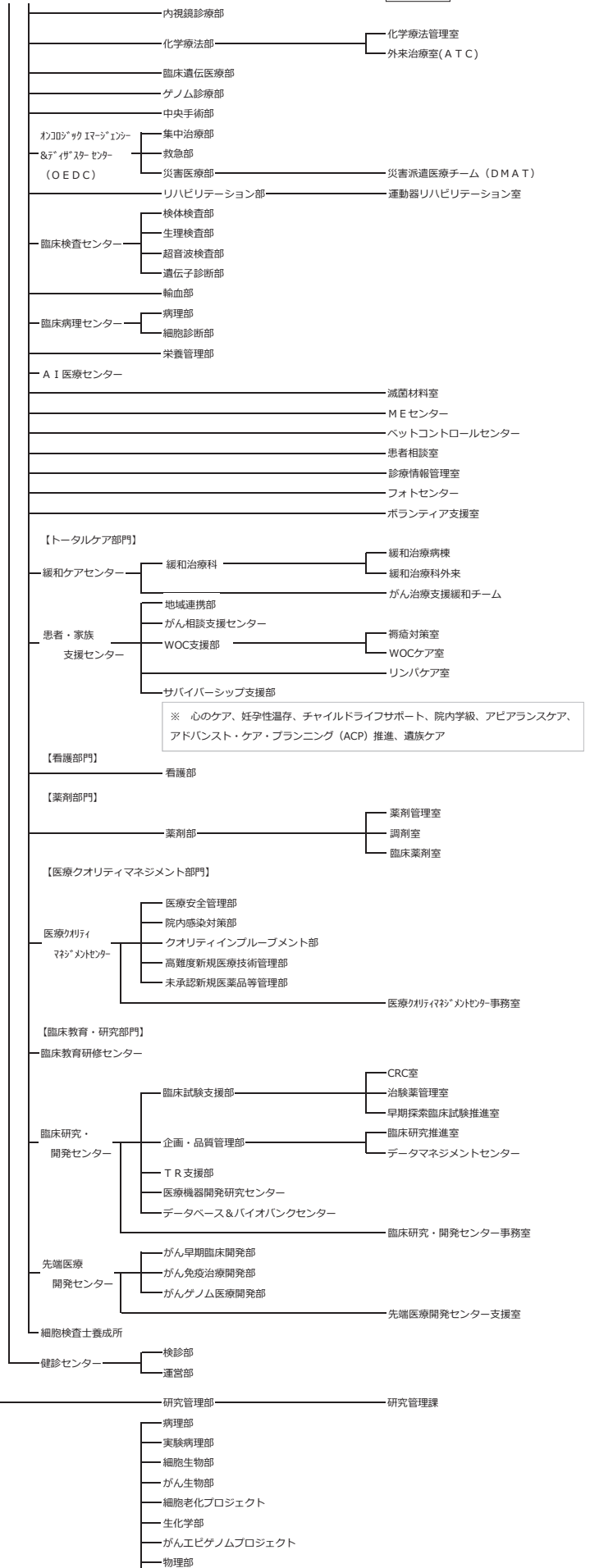
部門

センター

部

課

室等



評議員会 理事会

経営会議

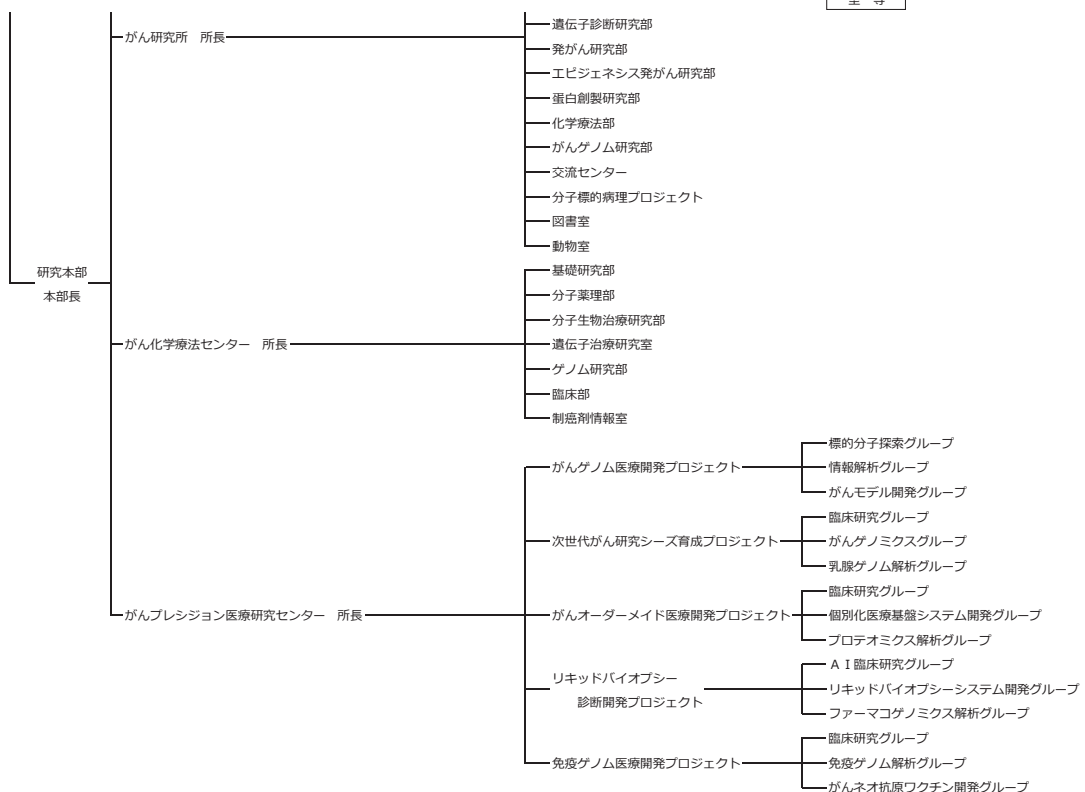
本部 部門

センター

部

課

室 等



*がん研究会における放射線障害予防のための組織は、放射線障害予防規程の第2章「組織及び職務」中に明示する。

4. 職員数

【2019年12月】

	事務部門	病院部門	研究部門	合計	非常勤職員
医師	1	347	0	348	164
薬剤師	0	67	0	67	0
看護師	0	826	0	826	8
臨床検査技師	0	87	0	87	1
診療放射線技師	0	83	0	83	2
栄養士	0	19	0	19	1
事務職員	78	143	10	231	23
研究員	2	4	83	89	17
その他	0	177	71	248	43
計	81	1753	164	1998	259

5. 診療科と責任者

【2019年12月1日】

名誉院長	武藤 徹一郎 (消化器外科)・中川 健 (呼吸器外科)・
病院長	門田 守人 (消化器外科)・山口 俊晴 (消化器外科)
副院長	佐野 武 (消化器外科)
院長補佐	松本 誠一 (整形外科)・大野 真司 (乳腺センター)・
顧問	小口 正彦 (放射線治療部)・横田 美幸 (麻酔科)・
	清水 多嘉子 (看護部)
	高橋 俊二 (総合腫瘍科)・米瀬 淳二 (泌尿器科)・
	奥村 栄 (中央手術部)・渡邊 雅之 (消化器外科)・
	山口 研成 (消化器内科)・濱 敏弘 (薬剤部)
	福井 巖 (泌尿器科)・宝来 威 (呼吸器内科)・
	三木 一正 (消化器内科)・河野 敦 (画像診断部)・
	高橋 寛 (健診センター)・五十嵐 正広 (消化器内科)・
	川端 一嘉 (頭頸科)
呼吸器センター	センター長 西尾 誠人
呼吸器内科	部長 西尾 誠人
	副部長 柳谷 典子
呼吸器外科	部長 文 敏景
消化器センター	センター長 福長 洋介
消化器内科	部長 藤崎 順子
消化器化学療法科	部長 山口 研成
	副部長 陳 勁松
肝・胆・膵内科	部長 笹平 直樹
	副部長 尾阪 将人
	副部長 佐々木 隆
上部消化管内科	部長 藤崎 順子
	副部長 平澤 俊明
	副部長 由雄 敏之
下部消化管内科	部長 斎藤 彰一
	副部長 千野 晶子
消化器外科	部長 渡邊 雅之
食道外科	部長 渡邊 雅之
胃外科	部長 布部 創也
	副部長 大橋 学
大腸外科	部長 福長 洋介
肝・胆・膵外科	部長 高橋 祐
乳腺センター	センター長 大野 真司
乳腺内科	部長 伊藤 良則
乳腺外科	部長 上野 貴之
	副部長 宮城 由美
	副部長 森園 英智
婦人科	部長 竹島 信宏
	副部長 金尾 祐之
頭頸科	部長 三谷 浩樹
整形外科	部長 阿江 啓介
泌尿器科	部長 米瀬 淳二

	担当部長	山本 真也
	担当部長	湯浅 健
	副部長	沼尾 昇
血液腫瘍科	部長	照井 康仁
	副部長	横山 雅大
総合腫瘍科	部長	高橋 俊二
サルコマーセンター	センター長	松本 誠一
免疫・遺伝子治療科	—	—
総合診療部	部長	中山 耕之介
	副部長	志賀 太郎
腫瘍循環器・循環器内科	部長	志賀 太郎
内分泌・代謝科	部長	中山 耕之介
腎臓内科	—	—
神経内科	—	—
麻酔科（ペインクリニック）	部長	横田 美幸
	副部長	関 誠
形成外科	部長	矢野 智之
腫瘍精神科	部長代行	大野 真司
眼科	部長	辻 英貴
感染症科	部長	横田 美幸
皮膚科	部長	中山 耕之介
漢方サポート科	—	—
歯科	部長	富塚 健
放射線治療部	部長	小口 正彦
	担当部長	吉岡 靖生
	副部長	角 美奈子
画像診断センター	センター長	松枝 清
画像診断部	部長	松枝 清
	担当部長	負門 克典
	担当部長	田中 優美子
	担当部長	上田 和彦
	担当部長	菊池 真理
	副部長	田中 宏子
核医学部	部長	寺内 隆司
内視鏡診療部	部長	藤崎 順子
化学療法部	部長	高橋 俊二
中央手術部	部長	奥村 栄
	副部長	竹島 信宏
オンコロジックマージンシー&ディグスターセンター（OEDC）	センター長	横田 美幸
集中治療部	部長	山本 豊
救急部	部長	横田 美幸
災害医療部	部長	横田 美幸
リハビリテーション部	部長	阿江 啓介
臨床検査センター	センター長	中山 耕之介
検体検査部	部長	中山 耕之介
	副部長	海老原 文
生理検査部	部長	中山 耕之介
超音波検査部	部長	松枝 清
	副部長	海老原 文

遺伝子診断部	部長	三木 義男
輸血部	部長	米瀬 淳二
臨床病理センター	センター長	竹内 賢吾
病理部	部長	河内 洋
細胞診断部	部長	杉山 裕子
A I 医療センター	センター長	小口 正彦
緩和ケアセンター	センター長	川原 玲子
緩和治療科	部長	川原 玲子
患者・家族支援センター	センター長	大野 真司
地域連携部	部長	唐渡 敦也
がん相談支援センター	センター長	花出 正美
WOC 支援部	部長	松浦 信子
サバイバーシップ支援部	部長	大野 真司
看護部	部長	清水 多嘉子
	副部長	中原 由美子
	副部長	北野 雅子
	副部長	長井 優子
薬剤部	部長	濱 敏弘
	副部長	清水 久範
医療クオリティマネジメントセンター	センター長	横田 美幸
医療安全管理部	部長	保田 知生
	副部長	山本 豊
院内感染対策部	部長	横田 美幸
	副部長	羽山 ブライアン
クオリティインプループメント部	部長	西尾 誠人
高難度新規医療技術管理部	部長	高橋 祐
未承認新規医薬品等管理部	部長	濱 敏弘
臨床教育研修センター	センター長	伊藤 良則
臨床研究・開発センター	センター長	山口 研成
臨床試験支援部	部長	高橋 俊二
企画・品質管理部	部長	山口 研成
	副部長	石塚 直樹
TR 支援部	部長	渡邊 雅之
	副部長	長山 聡
医療機器開発研究センター	センター長	布部 創也
データベース & バイオバンクセンター	センター長	小口 正彦
	副センター長	大野 真司
先端医療開発センター	センター長	佐野 武
がん早期臨床開発部	—	—
がん免疫治療開発部	部長	北野 滋久
がんゲノム医療開発部	部長	上野 貴之
細胞検査士養成所	所長	杉山 裕子
	副所長	小松 京子
健診センター	センター長	土田 知宏
	名誉センター長	中川 健
検診部	部長	宇津木 久仁子
運営部	部長	常田 茂
	副部長	田中 正典

6. 学会認定・指定・施設基準等

1. 都道府県がん診療連携拠点病院の指定

がん研究会有明病院は、平成14年3月に厚生労働大臣から地域がん診療拠点病院の指定を受けておりましたが、その後の新たな制度下においても、継続して2019年3月に都道府県（東京都）がん診療連携拠点病院の指定を受けております。

2. 学会認定教育修練研修機関

当院は次の学会の認定医・専門医療制度の研修施設指定を受けております。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1) 日本医学放射線学会 | 21) 日本乳癌学会 |
| 2) 日本病理学会 | 22) 日本臨床細胞学会 |
| 3) 日本内科学会 | 23) 日本形成外科学会 |
| 4) 日本外科学会 | 24) 日本放射線腫瘍学会 |
| 5) 日本消化器外科学会 | 25) 日本整形外科学会 |
| 6) 日本消化器内視鏡学会 | 26) 日本婦人科腫瘍学会 |
| 7) 日本麻酔科学会 | 27) 日本肝胆膵外科学会 |
| 8) 日本眼科学会 | 28) 日本がん治療認定医機構 |
| 9) 日本産科婦人科学会 | 29) 日本甲状腺学会 |
| 10) 日本泌尿器科学会 | 30) 日本頭頸部外科学会 |
| 11) 日本消化器病学会 | 31) 日本皮膚科学会 |
| 12) 日本臨床腫瘍学会 | 32) 日本総合病院精神医学会 |
| 13) 日本静脈経腸栄養学会 | 33) 日本感染症学会 |
| 14) 日本呼吸器学会 | 34) 日本救急医学会 |
| 15) 日本大腸肛門病学会 | 35) 日本消化管学会 |
| 16) 日本耳鼻咽喉科学会 | 36) 日本緩和医療学会 |
| 17) 日本超音波医学会 | 37) 日本集中治療医学会 |
| 18) 日本血液学会 | 38) 日本食道学会 |
| 19) 日本核医学会 | |
| 20) 日本ペインクリニック学会 | |

3. 施設基準の指定

がん研究会有明病院における関東信越厚生局長から指定を受けている基本診療料、特掲診療料等にかかる施設基準については、次の通りです。

基本診療料の施設基準

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1) 歯科外来診療環境体制加算 | 13) 医療安全管理加算 1 |
| 2) 特定機能病院入院基本料 7 : 1 | 14) 感染防止対策加算 1 |
| 3) 診療録管理体制加算 1 | 15) 患者サポート体制充実加算 |
| 4) 医師事務作業補助体制加算 1 30 : 1 | 16) 褥瘡ハイリスク患者ケア加算 |
| 5) 急性期看護補助体制加算 50 : 1 | 17) 総合評価加算 |
| 6) 看護職員夜間配置加算 12 : 1 配置加算 1 | 18) 後発医薬品使用体制加算 3 |
| 7) 療養環境加算 | 19) 病棟薬剤業務実施加算 1, 2 |
| 8) 重症者等療養環境特別加算 | 20) データ提出加算 |
| 9) 無菌治療室管理加算 1, 2 | 21) 入退院支援加算 1 |
| 10) 緩和ケア診療加算 | 22) 特定集中治療室管理料 3 |
| 11) がん診療連携拠点病院加算 | 23) 緩和ケア病棟入院料 1 |
| 12) 栄養サポートチーム加算 | |

特掲診療料の施設基準

- 1) がん性疼痛緩和指導管理料
- 2) がん患者指導管理料イ
- 3) がん患者指導管理料ロ
- 4) がん患者指導管理料ハ
- 5) 外来緩和ケア管理料
- 6) 救急搬送看護体制加算
- 7) 外来放射線照射診療料
- 8) ニコチン依存症管理料
- 9) 療養・就労両立支援指導料—相談支援加算
- 10) がん治療連携計画策定料
- 11) 薬剤管理指導料
- 12) 検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
- 13) 医療機器安全管理料 1
- 14) 医療機器安全管理料 2
- 15) 歯科治療総合医療管理料
- 16) 遺伝学的検査
- 17) H P V 核酸検出
- 18) 検体検査管理加算 (I)
- 19) 検体検査管理加算 (IV)
- 20) 国際標準検査管理加算
- 21) 遺伝カウンセリング加算
- 22) ロービジョン検査判断料
- 23) 画像診断管理加算 1
- 24) 画像診断管理加算 2
- 25) ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
- 26) CT 撮影及び MRI 撮影
- 27) 乳房 MRI 撮影
- 28) 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 29) 外来化学療法加算 1
- 30) 無菌製剤処理料
- 31) 脳血管疾患等リハビリテーション料 (II)
- 32) 運動器リハビリテーション料 (I)
- 33) 呼吸器リハビリテーション料(II)
- 34) がん患者リハビリテーション料
- 35) リンパ浮腫複合的治療料
- 36) 集団コミュニケーション療法料
- 37) 歯科口腔リハビリテーション料 2
- 38) 処置の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1
- 39) CAD/CAM 冠
- 40) 組織拡張器による再建手術 (一連につき) (乳房 (再建手術) の場合に限る。)
- 41) 骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。))
- 42) 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- 43) 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術
- 44) 乳がんセンチネルリンパ節加算 1, 2
- 45) 乳腺悪性腫瘍手術 (乳頭乳輪温存乳房切除術)
- 46) ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術 (乳房切除後)
- 47) 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 (肺葉切除又は 1 肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

- 48) 食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腔腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）
- 49) 大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
- 50) 腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術
- 51) 腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術
- 52) 腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術
- 53) 腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍摘出術
- 54) 腹腔鏡下小切開副腎摘出術
- 55) 腹腔鏡下小切開腎部分切除術
- 56) 腹腔鏡下小切開腎摘出術
- 57) 腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術
- 58) 腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術
- 59) 腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
- 60) 腹腔鏡下胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 61) 腹腔鏡下噴門側胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
- 62) 腹腔鏡下胃全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 63) 胆管悪性腫瘍手術
- 64) 腹腔鏡下肝切除術
- 65) 腹腔鏡下臍腫瘍摘出術
- 66) 腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術
- 67) 腹腔鏡下臍頭十二指腸切除術
- 68) 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- 69) 腹腔鏡下直腸切除・切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 70) 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
- 71) 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 72) 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
- 73) 腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
- 74) 人工尿道括約筋植込・置換術
- 75) 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
- 76) 腹腔鏡下腔式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 77) 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 78) 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）
- 79) 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る。）
- 80) 手術の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1
- 81) 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術
- 82) 胃瘻造設術
- 83) 輸血管管理料Ⅱ
- 84) 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- 85) 歯周組織再生誘導術
- 86) 麻酔管理料（Ⅰ）
- 87) 麻酔管理料（Ⅱ）
- 88) 放射線治療専任加算
- 89) 外来放射線治療加算
- 90) 高エネルギー放射線治療
- 91) 1 回線量増加加算
- 92) 強度変調放射線治療（IMRT）
- 93) 画像誘導放射線治療加算（IGRT）
- 94) 体外照射呼吸性移動対策加算

- 95) 定位放射線治療
- 96) 定位放射線治療呼吸性移動対策加算
- 97) 画像誘導密封小線源治療加算
- 98) 導入期加算 1
- 99) 病理診断管理加算 2
- 100) デジタル病理画像による病理診断
- 101) 悪性腫瘍病理組織標本加算
- 102) 口腔病理診断管理加算 2
- 103) クラウン・ブリッジ維持管理料

酸素及び窒素の価格

入院時食事療養(I)の施設基準

実施報告が必要なもの

- 1) 特別の療養環境の提供の実施(変更)報告書
- 2) 病床数が 200 床以上の病院について受けた初診,再診の実施報告書
- 3) 180 日を超える入院の実施(変更)報告書
- 4) 金属床による総義歯の提供の実施報告書

3. その他の指定

- 1) 指定自立支援医療機関（更生医療・育成医療）
- 2) 生活保護法指定医療機関
- 3) 母体保護法指定医の配置されている医療機関
- 4) 東京都災害拠点病院
- 5) 臨床研修指定病院
- 6) 都道府県がん診療連携拠点病院
- 7) 救急告示医療機関
- 8) 休日・全夜間診療事業実施医療機関（東京都指定二次救急医療機関）
- 9) 外国医師臨床修練病院
- 10) 日本医療機能評価機構認定病院
- 11) 労災指定病院
- 12) 特定機能病院
- 13) がんゲノム医療拠点病院

4. 外来の受付時間（初診・再診）

月～金曜日 午前 8 時 30 分～正午

5. 休診日

土曜・日曜・祝祭日・年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

6. 面会時間

平日 : 午後 2 時～午後 8 時（総合案内／正面玄関手続き）
 （ICU は午後 2 時 30 分～午後 7 時 30 分）

土・日・祝日 : 午前 10 時～午後 8 時（守衛室／救急時間外入口手続き）
 （ICU は午前 10 時 30 分～午後 7 時 30 分）

7. 統計資料

外来・入院実績	15
疾患別入院患者数	16
地区別外来患者数（総数）	18
◆全国	18
◆東京都	19
病理検査	20
病理検査件数・細胞診検査件数	20
CT 検査件数・MRI 検査件数・核医学検査件数	21
内視鏡検査件数・超音波検査件数	22
院内がん登録集計	23
①部位別・男女別件数	23
②診断時居住地別件数（東京都医療圏別内訳）	24
③主要 5 部位治療別件数	26
④治療別件数	27
⑤ステージ別件数	28
⑥年齢別・部位別件数	29
⑦症例区分別件数	30

外来・入院実績【2019年1月～12月】

科名	初診患者数	外来延患者数	入院患者数	延患者数
呼吸内	915	15,937	1,444	18,760
呼吸外	479	9,738	650	5,950
消化内	2,785	69,662	4,526	38,284
消化外	2,321	41,075	2,891	46,260
乳腺科	2,336	65,431	1,686	14,777
婦人科	2,245	40,107	3,062	29,047
頭頸科	1,287	30,875	737	16,284
整形外	1,147	11,613	805	11,192
泌尿器	1,209	27,385	1,614	14,142
血液腫	572	13,133	845	12,010
総腫瘍	132	6,258	531	11,802
放射線	47	33,950	0	0
総内科	1,096	19,825	0	0
腫瘍精	44	2,122	0	0
眼科	281	6,730	62	499
皮膚科	348	3,175	20	225
歯科	1,697	12,597	0	0
形成外	91	9,657	334	2,364
麻酔科	14	2,164	1	2
救急部	498	916	4	7
緩和	18	2,217	118	7,855
放診断	52	552	0	0
健内科	3,032	373	0	0
遺伝診	516	482	0	0
患者支	8	2,252	0	0
がん疼痛	0	18	0	0
総計	23,170	428,244	19,330	229,460

疾患別入院患者数【2019年】

退院患者延べ数(第10回国際疾病分類による)

病名	男	女	合計
総数①+②+③	9,191	10,540	19,731
①悪性新生物(C00-C97)	7,816	8,634	16,450
口唇,口腔及び咽頭の悪性新生物(C00-C14)	507	141	648
C 00 口唇の悪性新生物	0	0	0
C 01 舌根(基底)部の悪性新生物	2	0	2
C 02 その他及び部位不明の舌の悪性新生物	79	34	113
C 03 歯肉の悪性新生物	21	25	46
C 04 口腔底の悪性新生物	23	12	35
C 05 口蓋の悪性新生物	1	1	2
C 06 その他及び部位不明の口腔の悪性新生物	16	5	21
C 07 耳下腺の悪性新生物	12	11	23
C 08 その他及び部位不明の大唾液腺の悪性新生物	8	12	20
C 09 扁桃の悪性新生物	2	0	2
C 10 中咽頭の悪性新生物	121	20	141
C 11 鼻<上>咽頭の悪性新生物	25	8	33
C 12 梨状陥凹<洞>の悪性新生物	2	0	2
C 13 下咽頭の悪性新生物	194	13	207
C 14 その他及び部位不明確の口唇,口腔及び咽頭の悪性新生物	1	0	1
消化器の悪性新生物(C15-C26)	3,779	2,338	6,117
C 15 食道の悪性新生物	815	216	1,031
C 16 胃の悪性新生物	1,064	549	1,613
C 17 小腸の悪性新生物	23	36	59
C 18 結腸の悪性新生物	518	519	1,037
C 19 直腸S状結腸移行部の悪性新生物	5	10	15
C 20 直腸の悪性新生物	534	361	895
C 21 肛門及び肛門管の悪性新生物	7	12	19
C 22 肝及び肝内胆管の悪性新生物	186	61	247
C 23 胆のう<嚢>の悪性新生物	25	51	76
C 24 その他及び部位不明の胆道の悪性新生物	144	66	210
C 25 膵の悪性新生物	456	453	909
C 26 その他及び部位不明確の消化器の悪性新生物	2	4	6
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物(C30-C39)	1,230	744	1,974
C 30 鼻腔及び中耳の悪性新生物	5	4	9
C 31 副鼻腔の悪性新生物	18	22	40
C 32 喉頭の悪性新生物	60	3	63
C 33 気管の悪性新生物	0	0	0
C 34 気管支及び肺の悪性新生物	1,127	705	1,832
C 37 胸腺の悪性新生物	20	9	29
C 38 心臓,縦隔及び胸膜の悪性新生物	0	1	1
C 39 その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器の悪性新生物	0	0	0
骨及び関節軟骨の悪性新生物(C40-C41)	83	69	152
C 40 (四)肢の骨及び関節軟骨の悪性新生物	36	37	73
C 41 その他及び部位不明の骨及び関節軟骨の悪性新生物	47	32	79
皮膚の黒色腫及びその他の悪性新生物(C43-C44)	27	29	56
C 43 皮膚の悪性黒色腫	12	10	22
C 44 皮膚のその他の悪性新生物	15	19	34
中皮及び軟部組織の悪性新生物(C45-C49)	129	180	309
C 45 中皮腫	0	12	12
C 46 カポジ<Kaposi>肉腫	0	0	0
C 47 末梢神経及び自律神経系の悪性新生物	2	0	2
C 48 後腹膜及び腹膜の悪性新生物	14	82	96
C 49 その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物	113	86	199
乳房の悪性新生物(C50)	3	1,804	1,807
C 50 乳房の悪性新生物	3	1,804	1,807
女性性器の悪性新生物(C51-C58)		2,294	2,294
C 51 外陰の悪性新生物		13	13
C 52 膣の悪性新生物		6	6
C 53 子宮頸(部)の悪性新生物		613	613
C 54 子宮体部の悪性新生物		825	825
C 55 子宮の悪性新生物,部位不明		0	0
C 56 卵巣の悪性新生物		783	783
C 57 その他及び部位不明の女性性器の悪性新生物		54	54
C 58 胎盤の悪性新生物		0	0

病 名	男	女	合計
男性性器の悪性新生物(C60-C63)	567		567
C 60 陰茎の悪性新生物	1		1
C61 前立腺の悪性新生物	499		499
C62 精巣(睾丸)の悪性新生物	62		62
C63 その他及び部位不明の男性性器の悪性新生物	5		5
尿路の悪性新生物(C64-C68)	695	252	947
C 64 腎盂を除く腎の悪性新生物	94	39	133
C 65 腎盂の悪性新生物	78	19	97
C 66 尿管の悪性新生物	68	31	99
C 67 膀胱の悪性新生物	452	147	599
C 68 その他及び部位不明の泌尿器の悪性新生物	3	16	19
眼、脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物(C69-C72)	8	7	15
C 69 眼及び付属器の悪性新生物	8	7	15
C 70 髄膜の悪性新生物	0	0	0
C 71 脳の悪性新生物	0	0	0
C 72 脊髄、脳神経系及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物	0	0	0
甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物(C73-C75)	68	109	177
C 73 甲状腺の悪性新生物	66	106	172
C 74 副腎の悪性新生物	1	3	4
C 75 その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物	1	0	1
部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物(C76-C80)	249	332	581
C 76 その他及び部位不明確の悪性新生物	0	0	0
C 77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物	13	16	29
C 78 呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物	160	163	323
C 79 その他の部位の続発性悪性新生物	39	118	157
C 80 部位の明示されない悪性新生物	37	35	72
リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物(C81-C96)	471	335	806
C 81 ホジキン(HoDgkin)病	12	14	26
C 82 ろく慮>胞性[結節性]非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫	32	25	57
C 83 びまん性非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫	199	151	350
C 84 末梢性及び皮膚T細胞リンパ腫	14	10	24
C 85 非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	154	79	233
C 88 悪性免疫増殖性疾患	2	5	7
C 90 多発性骨髄腫及び悪性形質細胞腫瘍	30	33	63
C 91 リンパ性白血病	1	3	4
C 92 骨髄性白血病	18	12	30
C 93 単球性白血病	0	0	0
C 94 その他の細胞型の明示された白血病	0	0	0
C 95 細胞型不明の白血病	8	2	10
C 96 リンパ組織、造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物	1	1	2
独立した(原発性)多部位の悪性新生物(C97)	0	0	0
C 97 独立した(原発性)多部位の悪性新生物	0	0	0
②その他の新生物(D00-D48)	595	889	1,484
上皮内新生物(D00-D09)	0	43	43
子宮頸(部)の上皮内癌(再掲)		(41)	(41)
良性新生物(D10-D36)	105	159	264
性状不詳又は不明の新生物(D37-D48)	490	687	1,177
③その他	780	1,017	1,797
血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害(D50-D89)	20	27	47
循環器系の疾患(I 00-I 99)	28	54	82
呼吸器系の疾患(J 00-J 99)	100	48	148
消化器系の疾患(K 00-K 93)	410	259	669
尿路性器系の疾患(N 00-N 99)	46	401	447
その他	176	228	404

地区別外来患者数（総数）【2019年1～12月】

◆全国

* 新患者数 = 当院を初めて受診した患者数

都道府県	延患者数	実患者数		新患者数	
		件数	割合	件数	実患者数に対する割合
北海道	700	150	0.22%	65	43.33%
青森県	1,082	194	0.28%	91	46.91%
岩手県	278	75	0.11%	32	42.67%
宮城県	474	112	0.16%	33	29.46%
秋田県	333	87	0.13%	33	37.93%
山形県	395	79	0.12%	33	41.77%
福島県	2,288	401	0.59%	168	41.90%
茨城県	8,274	1,481	2.16%	491	33.15%
栃木県	2,345	428	0.63%	151	35.28%
群馬県	2,203	399	0.58%	170	42.61%
埼玉県	52,039	8,290	12.11%	2,454	29.60%
千葉県	64,991	9,517	13.90%	3,002	31.54%
東京都	246,370	36,021	52.62%	12,368	34.34%
神奈川県	54,153	8,052	11.76%	2,777	34.49%
新潟県	908	173	0.25%	79	45.66%
富山県	341	81	0.12%	35	43.21%
石川県	104	30	0.04%	11	36.67%
福井県	76	24	0.04%	11	45.83%
山梨県	1,840	351	0.51%	115	32.76%
長野県	2,106	391	0.57%	153	39.13%
岐阜県	284	49	0.07%	27	55.10%
静岡県	1,435	297	0.43%	91	30.64%
愛知県	676	162	0.24%	76	46.91%
三重県	196	54	0.08%	21	38.89%
滋賀県	78	18	0.03%	9	50.00%
京都府	228	47	0.07%	25	53.19%
大阪府	522	147	0.21%	70	47.62%
兵庫県	442	102	0.15%	47	46.08%
奈良県	164	21	0.03%	11	52.38%
和歌山県	268	48	0.07%	22	45.83%
鳥取県	54	18	0.03%	10	55.56%
島根県	96	28	0.04%	11	39.29%
岡山県	184	26	0.04%	15	57.69%
広島県	278	75	0.11%	41	54.67%
山口県	186	55	0.08%	18	32.73%
徳島県	198	48	0.07%	12	25.00%
香川県	109	29	0.04%	8	27.59%
愛媛県	105	29	0.04%	16	55.17%
高知県	160	36	0.05%	20	55.56%
福岡県	350	94	0.14%	39	41.49%
佐賀県	57	13	0.02%	6	46.15%
長崎県	100	27	0.04%	12	44.44%
熊本県	116	37	0.05%	16	43.24%
大分県	90	29	0.04%	14	48.28%
宮崎県	319	66	0.10%	37	56.06%
鹿児島県	167	54	0.08%	22	40.74%
沖縄県	282	54	0.08%	32	59.26%
未分類	3,907	1,167	1.70%	729	62.47%
	452,351	69,166	100.00%	23,729	34.31%

地区別外来患者数（総数）【2019年1～12月】

◆東京都

* 新患者数 = 当院を初めて受診した患者数

	延患者数	実患者数		新患者数	
		件数	割合	件数	実患者数に対する割合
千代田区	1,432	269	0.74%	116	43.12%
中央区	5,526	849	2.34%	321	37.81%
港区	7,736	1,223	3.38%	518	42.35%
新宿区	4,780	781	2.16%	280	35.85%
文京区	3,125	581	1.60%	198	34.08%
台東区	3,830	593	1.64%	269	45.36%
墨田区	6,689	879	2.43%	277	31.51%
江東区	33,606	4,509	12.45%	1,678	37.21%
品川区	10,551	1,396	3.86%	502	35.96%
目黒区	5,150	807	2.23%	271	33.58%
大田区	15,108	2,069	5.71%	720	34.80%
世田谷区	16,548	2,476	6.84%	868	35.06%
渋谷区	5,100	730	2.02%	271	37.12%
中野区	4,836	753	2.08%	241	32.01%
杉並区	9,469	1,591	4.39%	546	34.32%
豊島区	6,272	1,024	2.83%	361	35.25%
北区	4,435	709	1.96%	212	29.90%
荒川区	2,194	338	0.93%	137	40.53%
板橋区	9,465	1,475	4.07%	449	30.44%
練馬区	13,274	1,983	5.48%	569	28.69%
足立区	7,288	1,078	2.98%	330	30.61%
葛飾区	7,989	1,092	3.02%	352	32.23%
江戸川区	22,520	3,045	8.41%	922	30.28%
都下	39,447	5,960	16.46%	1,960	32.89%
	246,370	36,210	100.00%	12,368	34.16%

病理検査【2019年1～12月】

病理検査数

	外来	入院	合計
総件数	—	—	33,970
部位数（臓器分類単位）	28,069	37,525	65,594
ブロック数（検体分類別）	25,666	103,416	129,082
染色スライド数（特染含む）	—	—	231,299
染色スライド数（特染のみ）	—	—	61,335
保険部位数	43,193	29,168	72,361
EM	—	—	—
抗体法	—	—	—
迅速件数	—	—	4,657
診断料	17,124	7,805	24,929
診断のみ	—	—	2,609
レポート画像	—	—	—
ミクロ画像	—	—	—
マクロ画像	—	—	—
その他画像	—	—	—
呼吸器内科	—	—	410
呼吸器外科	—	—	1,198
消化器内科	—	—	11,086
消化器外科	—	—	4,248
乳腺科	—	—	3,862
婦人科	—	—	3,918
頭頸科	—	—	1,709
整形外科	—	—	1,562
泌尿器科	—	—	1,466
血液腫瘍科	—	—	640
総合腫瘍科	—	—	58
放射線治療	—	—	1
免疫・遺伝	—	—	—
総合内科	—	—	—
腫瘍精神科	—	—	—
眼科	—	—	212
皮膚科	—	—	147
歯科	—	—	7
一般外科	—	—	—
形成外科	—	—	57
麻酔科	—	—	—
救急部	—	—	—
緩和ケア部	—	—	—
放射線診断	—	—	39
健診ドック	—	—	3,345
健診消内	—	—	1
健診婦人科	—	—	—
健診乳外	—	—	—
健診職員	—	—	—
遺伝子診療	—	—	4

細胞診検査数

項目		年間件数
婦人科	子宮膣、頸部	7,864
	子宮内膜	4,812
	手術	0
	婦人科健診(子宮膣・頸部)	5,021
	婦人科健診(子宮内膜)	4,011
婦人科合計		21,708
乳腺	乳腺	1,663
	乳腺健診	0
頭頸部	甲状腺	428
	その他	356
骨軟部		978
脳脊髄液		178
リンパ節		991
呼吸器	ブラシ・針	264
	喀痰	68
	喀痰健診	6,978
体腔液		4,379
泌尿器	尿	4,127
	尿健診	0
食道・胃		21
膵・胆管・大腸		607
その他		269
婦人科外合計		21,307
総合計		43,015
迅速件数 (上記総合計の中に含む)		3,332

CT 検査件数・MRI 検査件数・核医学検査件数

◆ CT 検査件数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
	19	19	20	21	21	20	22	21	19	21	20	20	
稼働日数	19	19	20	21	21	20	22	21	19	21	20	20	
2019年 件数	4,011	3,749	4,319	4,373	4,203	4,093	4,542	4,227	4,027	4,517	4,174	4,173	50,408
平均件数/日	211.1	197.3	216.0	208.2	200.1	204.7	206.5	201.3	211.9	215.1	208.7	208.7	

◆ MRI 検査件数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
	19	19	20	21	21	20	22	21	19	21	20	20	
稼働日数	19	19	20	21	21	20	22	21	19	21	20	20	
2019年 件数	1,060	1,167	1,213	1,328	1,280	1,289	1,369	1,294	1,184	1,353	1,265	1,272	15,074
平均件数/日	55.8	61.4	60.7	63.2	61.0	64.5	62.2	61.6	62.3	64.4	63.3	63.6	

◆ 核医学検査件数

2019年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
外来	672	686	681	692	587	732	701	682	662	782	685	657	8,219
PET-CT	42	53	43	53	47	43	55	43	49	57	46	46	577
SPECT-CT	148	176	164	188	148	112	173	143	140	156	147	140	1,835
その他	(190)	(229)	(207)	(241)	(195)	(155)	(228)	(186)	(189)	213	193	(186)	(1,600)
入院	5	14	19	9	10	17	9	6	8	5	4	6	112
PET-CT	83	86	80	87	87	89	81	83	75	68	73	65	957
その他	950	1,015	987	1,029	879	993	1,019	957	934	1,068	955	914	11,700
計													

内視鏡検査件数

検査項目	2019年
食道・胃スコープ	1,262
食道・胃スコープ（ポリープ・EMR）	866
大腸スコープ	7,103
大腸スコープ（ポリープ・EMR）	3,567
エコースコープ（胃・食道）	362
エコースコープ（大腸）	98
エコースコープ（肝・胆・膵）	994
気管支スコープ	333
ERCP・PTCD	2,959
血管造影	1,397

超音波検査件数

	2019年
呼吸器内科	595
呼吸器外科	646
消化器内科	2,066
消化器外科	6,513
乳腺科	18,668
婦人科	12,729
頭頸科	6,734
整形外科	1,270
泌尿器科	1,679
血液腫瘍科	1,499
総合腫瘍科	335
放射線治療部	100
総合内科	1,410
腫瘍精神科	3
眼科	266
皮膚科	5
形成外科	914
麻酔科	1
救急部	7
緩和治療科	17
画像診断部	82
健診（ドック）	27,712
健診（内科）	1
健診（婦人）	1
健診（乳腺）	0
遺伝子診療部	20
患者・家族支援センター	2

院内がん登録集計

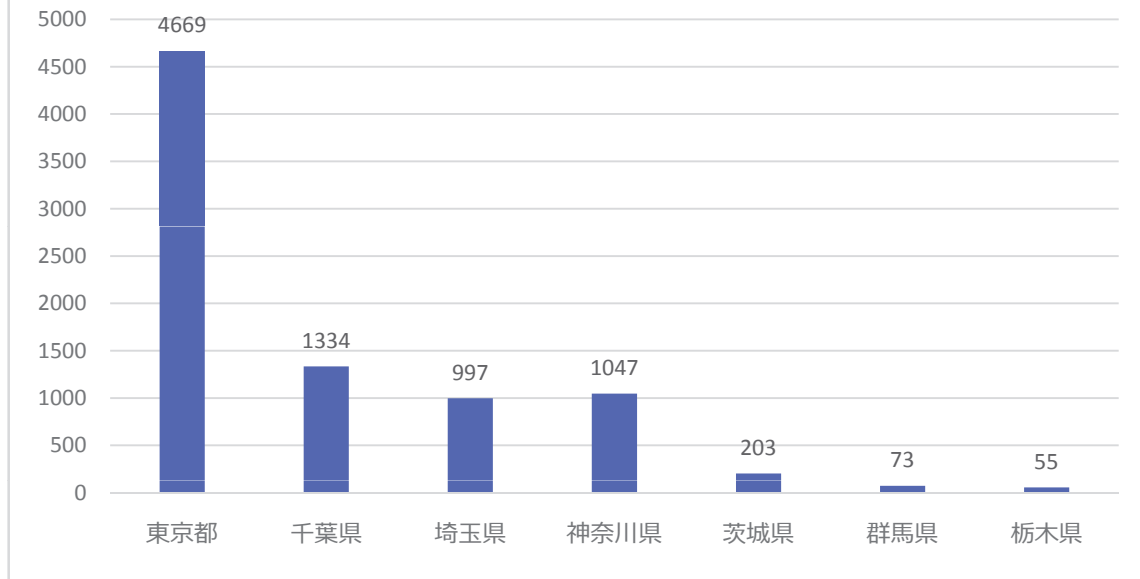
① 部位別・男女別件数

部位	総数	男	女
口腔・咽頭	447	329	118
食道	520	421	99
胃	1,207	789	418
十二指腸・小腸	58	31	27
大腸	1,249	690	559
肝臓	113	89	24
胆嚢・胆管	131	79	52
膵臓	397	205	192
喉頭	70	67	3
肺	631	365	266
骨・軟部	120	67	53
皮膚	74	33	41
乳房	1,492	3	1,489
子宮頸部	526	0	526
子宮体部	352	0	352
卵巣	200	0	200
前立腺	348	348	0
膀胱	212	164	48
腎・他の尿路	172	113	59
甲状腺	199	51	148
悪性リンパ腫	215	124	91
多発性骨髄腫	22	9	13
白血病	13	10	3
他の造血器腫瘍	13	8	5
原発不明	23	10	13
その他	212	83	129
総計	9,016	4,088	4,928

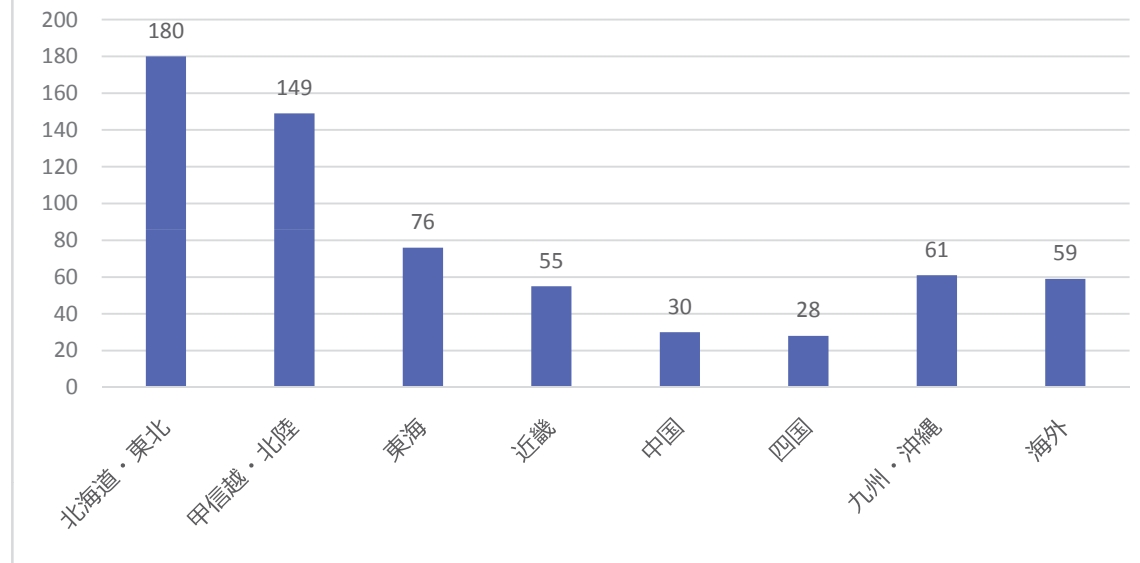
② 診断時居住地別件数（東京都医療圏別内訳）

地域名	総数
区東部 (江東区・江戸川区・墨田区)	1,176
区西北部 (豊島区・北区・板橋区・練馬区)	613
区西南部 (目黒区・世田谷区・渋谷区)	509
区南部 (品川区・大田区)	471
区西部 (新宿区・中野区・杉並区)	362
区東北部 (荒川区・足立区・葛飾区)	334
区中央部 (千代田区・中央区・港区・文京区・台東区)	437
南多摩 (八王子市・町田市・日野市・多摩市・稲城市)	220
北多摩南部 (武蔵野市・三鷹市・府中市・調布市・小金井市・狛	222
北多摩北部 (小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京	172
北多摩西部 (立川市・昭島市・国分寺市・国立市・東大和市・武	96
西多摩 (青梅市・福生市・羽村市・あきる野市・西多摩郡)	48
島しょ	9
総 計	4,669

診断時居住地（関東内訳）

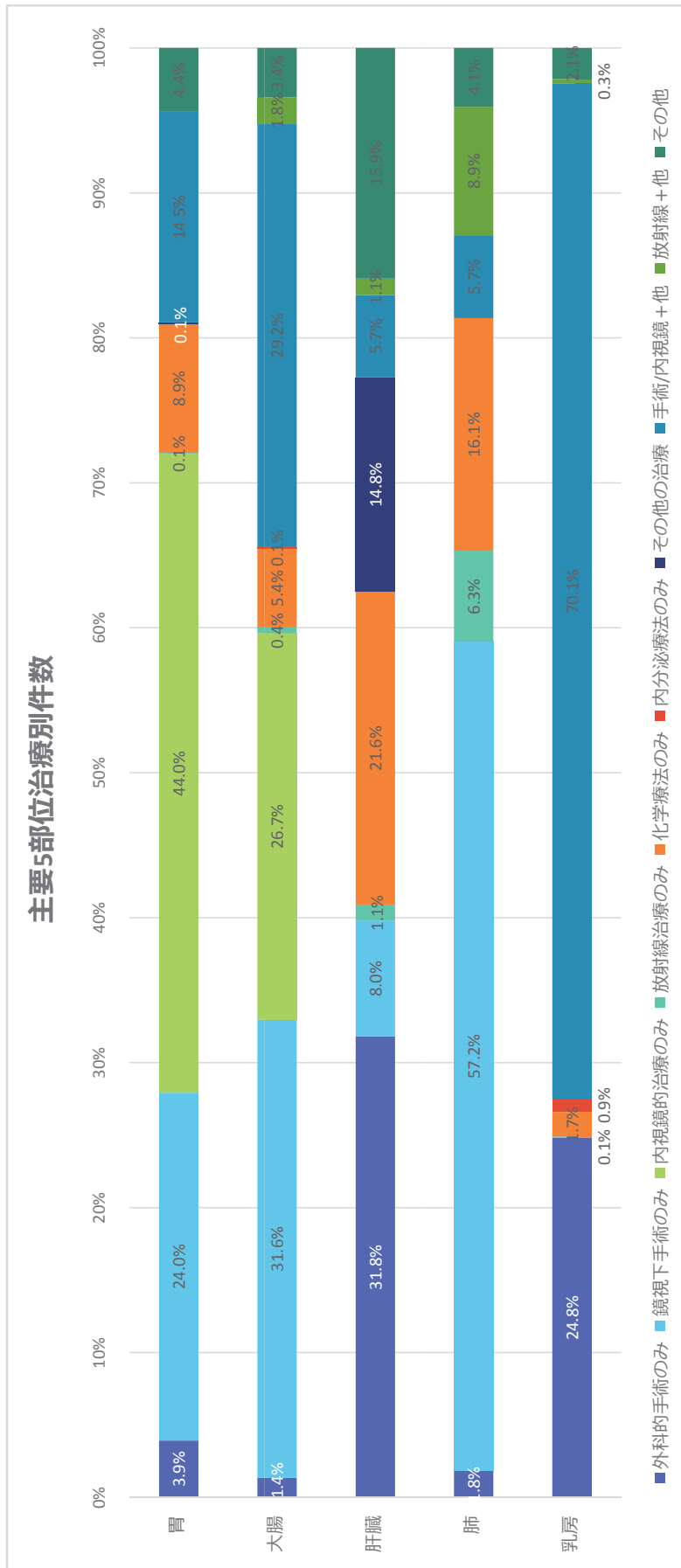


診断時居住地（関東以外）



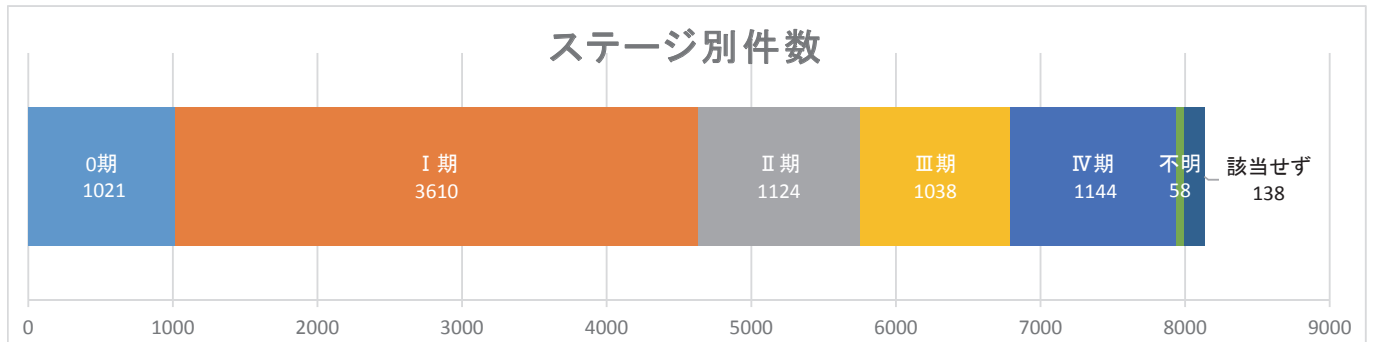
③主要5部位治療別件数

当院で初回治療を開始した症例（症例区分 20・30）



⑤ステージ別件数

当院で診断、治療を実施した症例（症例区分 10・20・21・30・31）

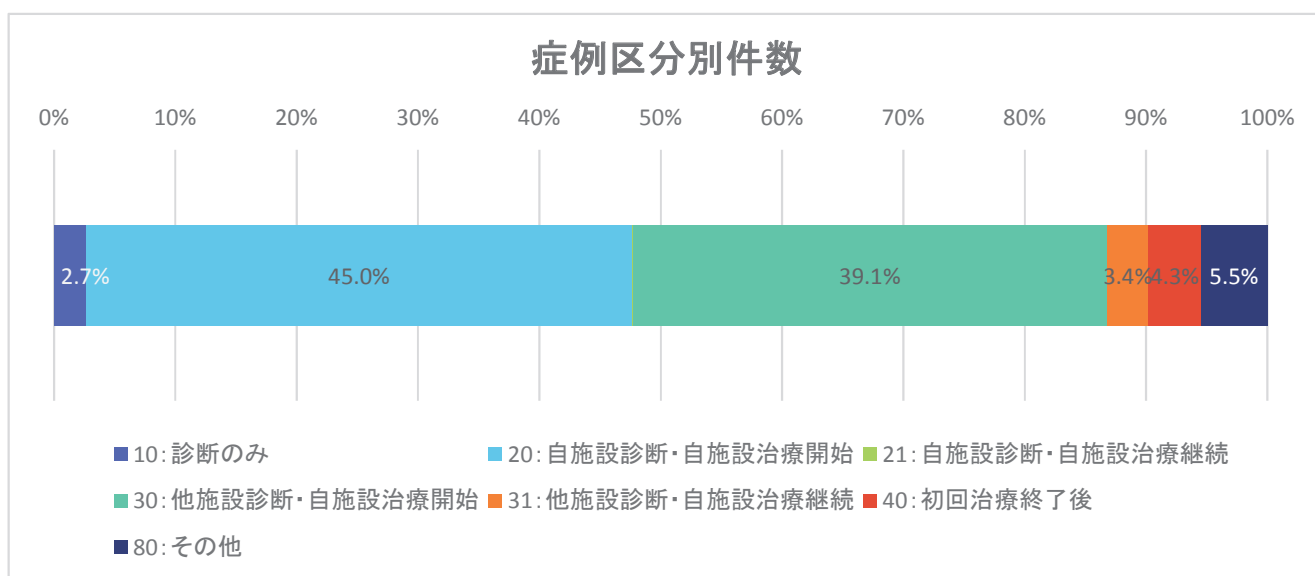


⑥部位別・年齢別件数

部位	年代										総計
	0-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90-		
口腔・咽頭	1	4	5	44	59	136	146	46	6	447	
食道	0	0	3	22	69	198	192	35	1	520	
胃	0	6	32	70	193	337	402	160	7	1,207	
十二指腸・小腸	0	0	7	10	8	14	19	0	0	58	
大腸	0	4	42	160	273	329	321	116	4	1,249	
肝臓	0	2	4	3	12	32	46	13	1	113	
胆嚢・胆管	0	0	0	3	16	28	58	25	1	131	
膵臓	0	1	7	24	60	118	148	37	2	397	
喉頭	0	0	0	0	8	22	33	7	0	70	
肺	0	2	9	40	90	172	240	77	1	631	
骨・軟部	8	8	11	18	19	16	29	8	3	120	
皮膚	0	0	2	6	7	17	23	17	2	74	
乳房	0	8	98	529	361	285	177	32	2	1,492	
子宮頸部	0	37	156	180	73	48	28	4	0	526	
子宮体部	0	3	14	68	142	78	40	7	0	352	
卵巣	2	7	14	56	61	33	24	3	0	200	
前立腺	0	0	0	4	43	132	135	33	1	348	
膀胱	0	1	2	5	48	50	65	39	2	212	
腎・他の尿路	0	1	5	10	37	48	53	16	2	172	
甲状腺	2	4	20	44	34	45	37	12	1	199	
悪性リンパ腫	3	5	6	22	27	61	70	19	2	215	
多発性骨髄腫	0	0	0	3	1	7	9	2	0	22	
白血病	0	0	1	2	3	2	4	1	0	13	
他の造血器腫瘍	0	0	0	1	2	3	5	2	0	13	
原発不明	0	0	1	2	3	12	3	1	1	23	
その他	0	6	17	32	45	52	34	24	2	212	
総計	16	99	456	1,358	1,694	2,275	2,341	736	41	9,016	

⑦症例区分別件数

症例区分	件数	比率
10：診断のみ	239	2.7%
20：自施設診断・自施設治療開始	4,059	45.0%
21：自施設診断・自施設治療継続	3	0.0%
30：他施設診断・自施設治療開始	3,524	39.1%
31：他施設診断・自施設治療継続	308	3.4%
40：初回治療終了後	391	4.3%
80：その他	492	5.5%
総計	9,016	100.0%



8. 一般公開講座

日程	時間	場所	題名	講師	担当部署	参加人数
2019.5.24	13:30 ~ 15:00	野村證券新宿支店	ハッピーライフセミナー 「がん研有明病院の専門医によるがんの話～早期に見つかれば、がんは治る」	土田知宏健診センター長	健診センター	約100
2019.7.27	13:30 ~ 17:00	吉田富三記念講堂	ブラック・ジャック セミナー	佐野武病院長、他	病院長、外科系各科、看護部	34
2019.7.31	9:00 ~ 17:00	吉田富三記念講堂	がんを知る サマーセミナーinがん研有明病院（江東区高校生）	上野貴之乳腺外科部長 上間美夕紀看護副師長 斉藤典子がん生物部長 片山暁平基礎研究部長	副院長、看護部、研究所、 臨床検査センター	10
2019.10.27	10:00~12:00	吉田富三記念講堂	がんとうまく付き合うためのエッセンス	看護部	看護部	111
2019.12.14	14:00~16:00	北沢タウンホール	医師が教える子宮がんの基礎知識	宇津木久仁子検診部長	健診センター	80

9. 学会・研究発表業績

【呼吸器内科】

1. Horiike, A., Kawano, Y., Sasaki, T., Yamaguchi, H., Hirano, K., Satouchi, M., Hosonaga, S., Morinaga, R., Komiya, K., Inoue, K., Fujita, Y., Toyozawa, R., Kimura T., Takahashi, K., Nishikawa, K., Kishimoto, J., Nakanishi, Y., Okamoto, I.
Updated survival date of phase I/II study of carboplatin plus nab-paclitaxel and concurrent radiotherapy for patients with locally advanced non-small cell lung cancer.
55th ASCO Annual Meeting: Chicago, IL, USA, 2019.
2. Nishio, M., Ji, J., Hotta, K., Chiu, C., Lee, J., Azuma, K., Kim, S., Wu, S., Dvorkin, M., Trukhin, D., Havel, L., Bar, J., Chen, Y., Goldman, J., Byrne, N., Laud, P., Shire, N., Paz-Ares, L.
Overall survival with first-line durvalumab plus platinum-etoposide in patients with extensive-stage (ES)-SCLC in CASPIAN: Subgroup findings from Asia.
5th ESMO Asia 2019 Congress: Singapore, 2019.
3. Yanagitani, N., Takeuchi, S., Murayama, T., Yoshimura, K., Imai, Y., Takahara, S., Kawakami, T., Seto, T., Hattori, Y., Ohashi, K., Morise, M., Matsumoto, S., Yoh, K., Goto, K., Nishio, M., Yano, S.
Alectinib in previously treated RET-rearranged advanced non-small-cell lung cancer : A phase 1/2 trial (all-RET).
IASLC 20th World Conference on Lung Cancer: Barcelona, Spain, 2019.
4. 内堀健, 西尾誠人, 片山量平.
EGFR 変異陽性肺がんにおける血中 EGFR 変異の経時的変化.
第 23 回日本がん分子標的治療学会学術集会: 大阪市, 2019.
5. 内堀健, 網野喜彬, 植松慎矢, 長谷川司, 吉澤孝浩, 北園聡, 柳谷典子, 堀池篤, 宝来威, 西尾誠人.
Treatment with durvalumab in clinic following radical chemoradiation therapy.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
6. 内堀健, 戸塚猛大, 坂本博昭, 吉田寛, 網野喜彬, 植松慎矢, 吉澤孝浩, 長谷川司, 北園聡, 柳谷典子, 堀池篤, 宝来威, 片山量平, 林理絵, Low, S.K., 西尾誠人.
初回 Osimertinib 治療中における NGS を用いた血漿 cell free DNA の経時的解析.
第 60 回日本肺癌学会学術集会: 大阪市, 2019.
7. 北園聡, 沖塩協一, 守田亮, 清水淳市, 齋藤春洋, 金永学, 畑地治, 四方田真紀子, 青江啓介, 金井修, 熊谷融, 木畑佳代子, 塚本宏壮, 大泉聡史, 富井啓介, 田中洋史, 水野圭子, 星山弘敏, 越智研也, 大江裕一郎.
Real-world effectiveness and safety of nivolumab in special subgroups of NSCLC pts: A multicenter-retrospective study.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
8. 北園聡, 吉田寛, 戸塚猛大, 坂本博昭, 網野喜彬, 植松慎矢, 吉澤孝浩, 長谷川司, 内堀健, 柳谷典子, 堀池篤, 宝来威, 西尾誠人.
免疫チェックポイント阻害剤奏効例における再発部位と予後の検討.
第 60 回日本肺癌学会学術集会: 大阪市, 2019.
9. 吉田寛, ほか.
希少肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の治療効果についての検討.
第 60 回日本肺癌学会学術集会: 大阪市, 2019.
10. 坂本博昭, 植松慎矢, 柳谷典子, 吉田寛, 戸塚猛大, 網野喜彬, 長谷川司, 吉澤孝浩, 内堀健, 北園聡, 堀池篤, 宝来威, 西尾誠人.
ALK 陽性肺癌に対する Lorlatinib の効果, 特に CNS 転移に関する検討.

- 第 60 回日本肺癌学会学術集会：大阪市，2019.
11. 堀池篤，西尾誠人，仁保誠治，吉田達哉，秋元哲夫，坂巻顕太郎，高橋利明，瀬戸貴司，山本昇，樋田豊明，岡本浩明，倉田宝保，里内美弥子，後藤功一，山中竹春，大江裕一郎．
Randomized phase II study of CDDP+S-1 vs CDDP+PEM combined with thoracic RT for locally advanced non-squamous NSCLC.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.
 12. 戸塚猛大，坂本博昭，北園聡，吉田寛，網野喜彬，植松慎矢，長谷川司，吉澤孝浩，内堀健，柳谷典子，堀池篤，宝来威，西尾誠人．
活動性脳転移を有する非小細胞肺癌患者に対する免疫チェックポイント阻害薬の有効性．
第 60 回日本肺癌学会学術集会：大阪市，2019.
 13. 柳谷典子，丸山雄一郎．
肺がん CT 検診で発見された肺腫瘍の CT 画像と実体顕微鏡像の対比．
第 45 回肺癌診断会及び画像セミナー：和歌山市，2019.
 14. 柳谷典子．
肺がん個別化治療における細胞診の役割．
第 60 回日本臨床細胞学会総会：東京，2019.
 15. 柳谷典子．
腫瘍内科医からみた Re-biopsy の重要性：なぜ Re-biopsy が今も必要なのか．
第 42 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会：東京，2019.
 16. 植松慎矢，坂本博昭，内堀健，戸塚猛大，吉田寛，網野喜彬，吉澤孝浩，長谷川司，北園聡，柳谷典子，堀池篤，宝来威，西尾誠人．
EGFR 陽性非小細胞肺癌における転移巣とオシメルチニブの治療効果に関する検討．
第 60 回日本肺癌学会学術集会：大阪市，2019.
 17. 網野喜彬，坂本博昭，北園聡，戸塚猛大，吉田寛，植松慎矢，長谷川司，吉澤孝浩，内堀健，柳谷典子，堀池篤，宝来威，西尾誠人．
化学放射線治療後再発症例における免疫チェックポイント阻害薬の予後延長効果．
第 60 回日本肺癌学会学術集会：大阪市，2019.
 18. 西尾誠，Wakelee, H.
First-line treatment strategies for NSCLCs without driver mutation.
第 60 回日本肺癌学会学術集会：大阪市，2019.
 19. 西尾誠．
肺癌薬物療法の進歩．
第 35 回東北肺癌研究談話会：仙台市，2019.
 20. 西尾誠人．
IO in stage III NSCLC : Clinical experience and expectations for the future.
第 60 回日本肺癌学会学術集会：大阪市，2019.
 21. 西尾誠人．
The latest treatment strategy for metastatic NSCLC.
第 60 回日本肺癌学会学術集会：大阪市，2019.
 22. 西尾誠人，瀬戸貴司，Reck, M., Garon, E.B., Chiu, C.H., 葉清隆，今村文生，Park, K., Shih, J.Y., Vissern-Grul, C., Fridodt-Moller, B., Zimmermann, A., 本間剛介，江夏総太郎，中川和彦．
RELAY: Global Ph3 study of erlotinib + ramucirumab or placebo in metastatic NSCLC with EGFR mutation - East Asian subset.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.
 23. 西尾誠人，神谷悦功．
免疫チェックポイント阻害薬の展望．
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.
 24. 西尾誠人．
免疫チェックポイント阻害薬 肺癌での現状．
第 55 回日本肝臓学会総会：東京，2019.

25. 西尾誠人 .
口腔ケアはがん治療に本当に必要か：これだけは知ってほしい口腔ケアのポイント .
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.
26. 西尾誠人 .
肺がんに対する免疫チェックポイント阻害剤の治療成績 .
第 16 回日本免疫治療学会学術集会：東京，2019.
27. 西尾誠人 .
肺扁平上皮がんに対する薬物治療の新潮流 .
第 60 回日本肺癌学会学術集会：大阪市，2019.
28. 西尾誠人 .
肺癌の薬物療法の進歩 .
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.
29. 西尾誠人 .
肺癌治療におけるリキッドバイオプシーの位置づけ .
第 3 回 Liquid Biopsy 研究会：東京，2019.
30. 西尾誠人 .
肺癌診療の進歩：この 20 年でどう変わった？ .
第 45 回肺癌診断会及び画像セミナー：和歌山市，2019.
31. 西尾誠人 .
非小細胞肺癌に対する新たな治療戦略 .
Lung Cancer Symposium in Izumo: 出雲市，2019.
32. 長谷川司，柳谷典子，網野喜彬，植松慎矢，吉澤孝浩，内堀健，北園聡，堀池篤，宝来威，西尾誠人 .
Bevacizumab and S-1 chemotherapy for patients with previously treated advanced non-squamous non-small cell lung cancer.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.
33. 長谷川司，坂本博昭，柳谷典子，戸塚猛大，吉田寛，網野喜彬，植松慎矢，吉澤孝浩，内堀健，北園聡，堀池篤，宝来威，二宮浩範，西尾誠人 .
PD-L1 高発現の未治療非小細胞肺癌における Pembrolizumab の有効性と STK-11/LKB1 発現の検討 .
第 60 回日本肺癌学会学術集会：大阪市，2019.

【呼吸器外科】

1. Ichinose, J., Ninomiya, H., Nagano, H., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.
Distinction between primary lung cancer and pulmonary metastasis of esophageal cancer using the nanostring nCounter system.
IASLC 20th World Conference on Lung Cancer: Barcelona, Spain, 2019.
2. Ichinose, J., Mun, M., Matsuura, Y., Nakao, M., Nakagawa, K., Okumura, S.
Novel technique of thoracoscopic #4L dissection -#4L posterior first approach.
27th European Conference on General Thoracic Surgery: Dublin, Ireland, 2019.
3. Kawaguchi, Y., Nakao, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., Okumura, S., Mun, M.
The utility of three-demensional CT for prediction of tumor invasiveness in clinical IA lung acenocarcinoma.
IASLC 20th World Conference on Lung Cancer: Barcelona, Spain, 2019.
4. Mun, M.
Complete lymphadenectomy via multiport VATS.
Asian Single port VATS Symposium: Nagoya, Japan, 2019.
5. Mun, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Nakagawa, K., Okumura, S.
Long-term outcome of pathologic node positive cases after multiport thoracoscopic lobectomy with mediastinal lymphadenec-

- tomy for stage I non-small cell lung cancer. 27th European Conference on General Thoracic Surgery: Dublin, Ireland, 2019.
6. Mun, M.
Mediastinal lymph node dissection via multiport VATS.
Asia Thoracic Cancer Care Summit 2019: Hongkong, 2019.
 7. Mun, M.
Tips and tricks in VATS segmentectomy.
Asia Thoracic Cancer Care Summit 2019: Hongkong, 2019.
 8. Nakao, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., Okumura, S., Mun, M.
Long-term oncological outcome after thoracoscopic lobectomy for non-small cell lung cancer patients.
IASLC 20th World Conference on Lung Cancer: Barcelona, Spain, 2019.
 9. 一瀬淳二, 二宮浩範, 長野裕子, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景.
nCounter を用いた原発性肺扁平上皮癌と食道癌 肺転移の鑑別.
第 60 回日本肺癌学会学術集会: 大阪市, 2019.
 10. 一瀬淳二, 岩本直也, 大村兼志郎, 小澤広輝, 近藤泰人, 河口洋平, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景.
VATS との比較における RATS の長所と短所.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2019.
 11. 一瀬淳二, 大村兼志郎, 岩本直也, 小澤広輝, 近藤泰人, 川口洋平, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景.
副葉型副心臓支を温存して胸腔鏡下右下葉切除、左 S8 区域切除を施行した両側肺がんの一例.
第 169 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会: 東京, 2019.
 12. 一瀬淳二, 文敏景, 近藤泰人, 河口洋平, 松浦陽介, 中尾将之, 中川健, 奥村栄.
小型肺病変の切除範囲設定における工夫.
第 42 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会: 東京, 2019.
 13. 一瀬淳二, 文敏景, 近藤泰人, 河口洋平, 三ツ堀隼弘, 松浦陽介, 中尾将之, 中川健, 奥村栄.
示指による触診を駆使した pure GGN に対する胸腔鏡下肺部分切除.
第 36 回日本呼吸器外科学会総会・学術集会: 大阪市, 2019.
 14. 一瀬淳二, 二宮浩範, 文敏景, 近藤泰人, 河口洋平, 三ツ堀隼弘, 松浦陽介, 中尾将之, 中川健, 奥村栄.
肺過誤腫における女性ホルモン受容体の発現状況.
第 36 回日本呼吸器外科学会総会・学術集会: 大阪市, 2019.
 15. 中尾将之, 大村兼志郎, 岩本直也, 小澤広輝, 河口洋平, 近藤泰人, 一瀬淳二, 松浦陽介, 奥村栄, 文敏景.
80 歳以上高齢者肺癌に対する胸腔鏡下手術の治療成績と今後の課題.
第 72 回日本胸部外科学会定期学術集会: 京都市, 2019.
 16. 中尾将之.
いかに若手により安全な胸腔鏡下肺癌手術を伝えるか? 我々はこうしている!
第 36 回日本呼吸器外科学会総会・学術集会: 大阪市, 2019.
 17. 中尾将之, 大村兼志郎, 岩本直也, 小澤広輝, 河口洋平, 近藤泰人, 一瀬淳二, 松浦陽介, 奥村栄, 文敏景.
小型肺癌に対する胸腔鏡手術の治療成績: 根治性と侵襲性を考慮した術式選択.
第 60 回日本肺癌学会学術集会: 大阪市, 2019.
 18. 中尾将之, 文敏景, 河口洋平, 近藤泰人, 三ツ堀隼弘, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中川健, 奥村栄.
当科における非小細胞肺癌に対する胸腔鏡下肺葉切除の長期成績: 開胸手術群との比較.

- 第 36 回日本呼吸器外科学会総会・学術集会：大阪市，2019.
19. 中尾将之，近藤泰人，河口洋平，一瀬淳二，松浦陽介，中川健，奥村栄，文敏景。
当院における開胸手術のリンパ節郭清と治療成績
第 42 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会：東京，2019.
20. 中尾将之。
“日常診療で遭遇し得る” 困難症例に対する胸腔鏡手術。
第 179 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会：東京，2019.
21. 大村兼志郎，松浦陽介，岩本直也，小澤広輝，河口洋平，近藤泰人，一瀬淳二，中尾将之，文敏景，奥村栄。
上中葉間・中下葉間ともに不全分葉であった右中葉切除術の 1 例。
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.
22. 奥村栄。
外科医の修練・手術定型化。
第 60 回日本肺癌学会学術集会：大阪市，2019.
23. 奥村栄，中西良一。
肺癌におけるリンパ節郭清の流儀（手法・様式・コンセプト）と術後成績。
第 42 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会：東京，2019.
24. 小澤広輝，中尾将之，大村兼志郎，岩本直也，近藤泰人，河口洋平，一瀬淳二，松浦陽介，奥村栄，文敏景。
cN0-1 非小細胞肺癌における原発巣の画像所見からの occult N2 予測。
第 60 回日本肺癌学会学術集会：大阪市，2019.
25. 岩本直也，中尾将之，大村兼志郎，小澤広輝，河口洋平，近藤泰人，松浦陽介，一瀬淳二，奥村栄，文敏景。
肺原発大細胞神経内分泌癌の予後規定因子の検討。
第 60 回日本肺癌学会学術集会：大阪市，2019.
26. 文敏景，中尾将之，松浦陽介，一瀬淳二，河口洋平，近藤泰人，中川健，奥村栄。
4K で観る左下葉肺がんに対する胸腔鏡下リンパ節郭清術：膜と気管支動脈に拘る。
第 36 回日本呼吸器外科学会総会・学術集会：大阪市，2019.
27. 文敏景。
VATS はロボットと単孔式に向かうのか？：低侵襲の追及とクオリティの担保。
第 36 回日本呼吸器外科学会総会・学術集会：大阪市，2019.
28. 文敏景。
浸潤を考慮した小型肺癌の外科治療。
第 45 回肺癌診断会及び画像セミナー：和歌山市，2019.
29. 文敏景，中尾将之，松浦陽介，一瀬淳二，中川健，奥村栄。
肺癌に対する最適な低侵襲手術。
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
30. 文敏景。
胸腔鏡下肺葉切除術：新技術の導入と定型化に向けて。
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.
31. 松浦陽介，文敏景，中尾将之，一瀬淳二，奥村栄。
Left upper lobectomy via multi-portal thoracoscopic approach。
第 19 回呼吸器胸腔鏡手術研究会例会：横浜市，2019.
32. 松浦陽介，文敏景，大村兼志郎，岩本直也，小澤広輝，近藤泰人，河口洋平，一瀬淳二，中尾将之，中川健，奥村栄。
不全分葉症例に対する knack and pitfall：局所解剖と CT 解剖との対比。

第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.

33. 松浦陽介，近藤泰人，河口洋平，三ツ堀隼弘，一瀬淳二，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄．個別化医療の時代における外科治療の役割：術後再発症例の検証から．

第 36 回日本呼吸器外科学会総会・学術集会：大阪市，2019.

34. 松浦陽介，岩本直也，大村兼志郎，小澤広輝，近藤泰人，河口洋平，一瀬淳二，中尾将之，中川健，奥村栄，文敏景．

個別化医療時代における局所治療の役割：ALK 肺癌術後再発症例の検証．

第 72 回日本胸部外科学会定期学術集会：京都市，2019.

35. 河口洋平，中尾将之，大村兼志郎，岩本直也，小澤広輝，近藤泰人，一瀬淳二，松浦陽介，奥村栄，文敏景．

80 歳以上高齢者肺癌患者における免疫栄養状態と予後との関連．

第 72 回日本胸部外科学会定期学術集会：京都市，2019.

36. 河口洋平，一瀬淳二，大村兼志郎，岩本直也，小澤広輝，近藤泰人，松浦陽介，中尾将之，奥村栄，文敏景．

AI による早期肺腺癌の脈管侵襲予測モデルの構築．

第 60 回日本肺癌学会学術集会：大阪市，2019.

37. 河口洋平，中尾将之，近藤泰人，三ツ堀隼弘，一瀬淳二，松浦陽介，文敏景，中川健，奥村栄，負門克典，二宮浩範．

充実成分径の計測困難な肺腺癌に対する 3 次元 CT の有用性の検討．

第 36 回日本呼吸器外科学会総会・学術集会：大阪市，2019.

38. 河口洋平，中尾将之，大村兼志郎，岩本直也，小澤広輝，近藤泰人，一瀬淳二，松浦陽介，奥村栄，文敏景，分島良，二宮浩範，石川雄一．稀な病理所見を呈した肺尖部胸壁浸潤線扁平上皮癌の 1 例．

第 185 回日本肺癌学会関東支部学術集会：東京，2019.

39. 近藤泰人，一瀬淳二，大村兼志郎，岩本直也，小澤広輝，河口洋平，松浦陽介，中尾将之，奥村栄，文敏景．

2cm 以下の小型肺癌における術前 FDG-PET の有用性．

第 72 回日本胸部外科学会定期学術集会：京都市，2019.

40. 近藤泰人，一瀬淳二，大村兼志郎，岩本直也，小澤広輝，河口洋平，松浦陽介，中尾将之，奥村栄，文敏景．

80 歳以上の高齢者に対する両側二期的胸腔鏡下解剖学的肺切除の検討．

第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.

41. 近藤泰人，松浦陽介，河口洋平，三ツ堀隼弘，一瀬淳二，中尾将之，中川健，奥村栄，文敏景．

右上葉肺門部扁平上皮癌に対し右肺上中葉 sleeve 切除術を施行した 1 例．

第 42 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会：東京，2019.

42. 近藤泰人，一瀬淳二，河口洋平，三ツ堀隼弘，松浦陽介，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄．

小型肺癌における術前血清 CEA 値の重要性．

第 36 回日本呼吸器外科学会総会・学術集会：大阪市，2019.

【消化器化学療法科】

1. Suenaga, M., Cao, S., Zhang, W., Matsusaka, S., Okazaki, S., Berger, M.D., Miyamoto, Y., Schirripa, M., Barzi, A., Ueno, M., Lenz, H.J.

Role of enterocyte-specific gene polymorphisms in adjuvant treatment for stage III colorectal cancer.

Gastrointestinal Cancer Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, CA, USA, 2019.

2. Takahari, D., Wakatsuki, T., Ishizuka, N., Fukuda, N., Shoji, H., Hara, H., Minashi, K., Boku, N., Yamaguchi, K.

- A phase Ib study of nivolumab plus trastuzumab with S-1/capecitabine plus oxaliplatin for HER2 positive advanced gastric cancer (Ni-HIGH study).
Gastrointestinal Cancer Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, CA, USA, 2019.
3. Yamaguchi, K., Satoh, T., Muro, K., Takashima, A., Ichimura, T., Sakai, D., Kadowaki, S., Chin, K., Kudo, T., Mitani, S., Kitano, S., Bhargava, P., Zavodskaya, M., Liu, J., Fukui, M., Boku, N.
Phase 1b study of andeciximab (GS-5745, ADX) as monotherapy and in combination with nivolumab (nivo) in Japanese subjects with gastric or GEJ adenocarcinoma.
Gastrointestinal Cancer Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, CA, USA, 2019.
 4. Yamaguchi, K., Nakajima, T.E., Boku, N., Hyodo, I., Mizusawa, J., Hara, H., Nishina, T., Sakamoto, T., Shitara, K., Shinozaki, E., Katayama, H., Nakamura, S.
Randomized phase II/III study of 5-fluorouracil/l-leucovorin versus 5-fluorouracil/l-leucovorin plus paclitaxel in gastric cancer with severe peritoneal metastasis (JCOG1108/WJOG7312G).
Gastrointestinal Cancer Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, CA, USA, 2019.
 5. 中山巖馬, 広田亨, 山本智理子, 竹内賢吾, 山口研成, 野田哲生.
Enrichment of CLDN18-ARHGAP fusion gene in gastric cancers in young adults.
第 78 回日本癌学会学術総会: 京都市, 2019.
 6. 中山巖馬, 篠崎英司, 河内洋, 中島健, 佐々木隆, 金田遼, 温泉川真由, 的田眞紀, 友松純一, 北園聡, 湯浅健, 小林心, 床知恵子, 海原和巳, 中野泰寛, 柿田智世, 高橋俊二, 山口研成.
当院における MSI 検査の臨床応用の実際.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
 7. 大木暁, 山口研成.
PAX6 drives cancer cells toward a stem-like state via GLI-SOX2 signaling axis in lung adenocarcinoma.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
 8. 大隅寛木, 篠崎英司, 前佛均, 若槻尊, 市村崇, 鈴木健, 太田弓子, 中山巖馬, 小倉真理子, 末永光邦, 高張大亮, 大木暁, 陳勁松, 山口研成.
Clinical relevance of circulating tumor DNA using amplicon-based deep sequencing panel in colorectal cancer patients.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
 9. 大隅寛木.
消化管 3 (大腸 1).
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
 10. 大隅寛木, 陳勁松, 小倉真理子, 市村崇, 若槻尊, 山口研成.
高度腹水または経口摂取不良の腹膜転移を有する進行胃癌に対する mFOLFOX6 療法の安全性と有効性に関する検討.
第 91 回日本胃癌学会総会: 沼津市, 2019.
 11. 太田弓子, 高張大亮, 福田直樹, 大隅寛木, 中山巖馬, 若槻尊, 市村崇, 小倉真理子, 末永光邦, 篠崎英司, 陳勁松, 山口研成.
当院の進行再発胃癌に対する Nivolumab 療法の成績と予後予測因子の検討.
第 91 回日本胃癌学会総会: 沼津市, 2019.
 12. 山口研成.
Cancer associated thrombosis と抗凝固療法.
第 57 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2019.
 13. 山口研成.
大腸がん化学療法におけるセカンドラインの位置づけ.
第 52 回制癌剤適応研究会: 神戸市, 2019.
 14. 山口研成.
大腸がん化学療法の現状と展望.

- 第 111 回日本消化器病学会中国支部例会：米子市，2019.
15. 山口研成 .
局所進行下部直腸癌に対する術前治療の選択と治療成績 .
第 90 回大腸癌研究会：京都市，2019.
 16. 山口研成，町田望 .
条件付き適応の化学療法 .
第 91 回日本胃癌学会総会：沼津市，2019.
 17. 山口研成，高張大亮，若槻尊 .
消化器がん（胃がん）における免疫チェックポイント阻害剤 .
第 105 回日本消化器病学会総会：金沢市，2019.
 18. 山口研成 .
胃がんにおける抗がん剤・分子標的薬の使い方 .
第 30 回日本消化器癌発生学会総会：横浜市，2019.
 19. 若槻尊 .
ラムシルマブ + パクリタキセル併用療法を使いこなすコツ：当院での実臨床経験を踏まえて .
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019)：神戸市，2019.
 20. 鈴木健，若槻尊，山本智理子，陳勁松，大隅寛木，中山巖馬，太田弓子，市村崇，小倉真理子，大木暁，高張大亮，末永光邦，篠崎英司，山口研成 .
Clinical impact of degree of intratumor HER2 heterogeneity on trastuzumab efficacy in HER2 positive gastric cancer.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.
 21. 鈴木健，篠崎英司，大隅寛木，中山巖馬，太田弓子，市村崇，小倉真理子，若槻尊，大木暁，高張大亮，末永光邦，陳勁松，山口研成 .
Real-world outcome of second-line FOLFIRI plus RAM with or without prior bevacizumab for metastatic colorectal cancer.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.
 22. 陳勁松 .
Nivolumab1.
第 91 回日本胃癌学会総会：沼津市，2019.
 23. 高張大亮 .
1st line chemotherapy.
第 91 回日本胃癌学会総会：沼津市，2019.
- 【肝胆膵内科】**
1. Ozaka, M., Kobayashi, S., Ikeda, M., Ueno, M.
Multicenter retrospective study of gemcitabine plus nab-paclitaxel for elderly patients with advanced pancreatic cancer.
European Society for Medical Oncology (ESMO) 2019 Congress: Barcelona, Spain, 2019.
 2. Sasahira, N., Akiyama, D., Sawada, M., Taniguchi, T., Kanata, R., Takeda, T., Sasaki, T., Matsuyama, M., Furukawa, T., Mie, T., Kasuga, A., Ozaka, M., Takahashi, Y.
Inside-stent as a preoperative biliary drainage for perihilar biliary malignancy.
Tokyo Conference of Asian Pancreato-Biliary Interventional Endoscopy 2019 (T-CAP) : Tokyo, Japan, 2019.
 3. Yamada, I., Morizane, C., Okusaka, T., Ogawa, G., Sato, Y., Ueno, M., Keiji, Y., Tobimatsu, K., Yane, K., Nakamori, S., Sata, N., Nishina, T., Ishii, H., Furuse, J.
The clinical outcomes of combination chemotherapy in elderly patients with advanced biliary tract cancer : An exploratory subgroup analysis of JCOG1113.
Gastrointestinal Cancer Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI) : San Francisco, CA, USA, 2019.
 4. 三重堯文，金田遼，武田剛志，佐々木隆，笹平直樹 .
2cm 以下の膵腫瘍に対する EUS-FNA / FNB の診断能について .
第 109 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：2019.

5. 中嶋悟, 武田剛志, 佐々木隆, 谷口孝伸, 澤田雅志, 金田遼, 松山真人, 尾阪将人, 笹平直樹.
左眼の視野障害より膵臓癌の診断となった一例.
日本消化器病学会関東支部第 354 回例会 : 東京, 2019.
6. 佐々木隆.
EMB に基づく大腸ステント留置術.
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019) : 神戸市, 2019.
7. 佐々木隆.
胃がん・膵がんでの十二指腸ステントの役割と化学療法.
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019) : 神戸市, 2019.
8. 佐々木隆, 武田剛志, 金田遼, 春日章良, 佐藤崇文, 小野嘉大, 松山真人, 尾阪将人, 井上陽介, 伊藤寛倫, 高橋祐, 齋浦明夫, 笹平直樹.
胆道癌根治切除後の術後補助 S-1 単剤療法に関する検討.
第 55 回日本胆道学会学術集会 : 名古屋市, 2019.
9. 佐々木隆.
膵内視鏡診断 2.
第 105 回日本消化器病学会総会 : 金沢市, 2019.
10. 佐々木隆.
膵癌 3.
第 50 回日本膵臓学会大会 : 東京, 2019.
11. 古川貴光, 佐々木隆, 三重堯文, 澤田雅志, 武田剛志, 金田遼, 春日章良, 松山真人, 尾阪将人, 笹平直樹.
CDDP + CPT-11 併用療法奏功中に脳転移・癌性髄膜炎を発症し、急激な転帰を辿った胆嚢神経内分泌癌の一例.
日本消化器病学会関東支部第 357 回例会 : 東京, 2019.
12. 古川貴光, 尾阪将人, 三重堯文, 澤田雅志, 谷口孝伸, 春日章良, 金田遼, 武田剛志, 佐々木隆, 松山真人, 笹平直樹.
原発巣と肝転移巣を切除し得た神経内分泌腫瘍における, Ki-67 指数の比較検討.
第 7 回日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会 : 東京, 2019.
13. 古川貴光, 金田遼, 松山真人, 佐々木隆, 笹平直樹.
手技難易度と膵炎リスクから構築した ERCP トレーニングシステムの検討.
第 109 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 : 東京, 2019.
14. 天木衛, 春日章良, 古川貴光, 三重堯文, 谷口孝伸, 澤田雅志, 武田剛志, 金田遼, 松山真人, 佐々木隆, 尾阪将人, 笹平直樹.
プラチナ耐性転移性膵神経内分泌癌に対してアムルピシン単剤療法が著効した 1 例.
日本消化器病学会関東支部第 355 回例会 : 東京, 2019.
15. 尾阪将人.
Current status of chemotherapy for unresectable pancreatic cancer.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会 : 京都市, 2019.
16. 尾阪将人.
P-NET3.
第 50 回日本膵臓学会大会 : 東京, 2019.
17. 尾阪将人.
ソラフェニブ及びレゴラフェニブの安全かつ適正な使用方法について.
HCC Speaker Program 2019 討論 : 東京, 2019.
18. 尾阪将人, 佐々木隆, 笹平直樹.
局所進行膵癌に対する化学療法の治療成績 : 実臨床における治療成績の変遷と課題.
第 50 回日本膵臓学会大会 : 東京, 2019.
19. 尾阪将人.
膵癌化学療法における最新の話.
市立大津市民病院膵癌化学療法セミナー : 大津市, 2019.

20. 尾阪将人.
神経内分泌腫瘍薬物療法の最新の知見.
TWMU Neuroendocrine Tumor Board: 東京,
2019.
21. 尾阪将人.
胆道癌化学療法における最新の話題.
第4回石巻がんセミナー: 石巻市, 2019.
22. 尾阪将人.
膵癌化学療法の現状と今後の展開.
第17回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市,
2019.
23. 尾阪将人.
膵癌診療ガイドライン改定後のこれからの治療
戦略.
第57回日本癌治療学会学術集会: 福岡市,
2019.
24. 尾阪将人.
進行膵癌患者に対する Total Support Pro-
gram: PANDA (PANcreatic Direct Approach
team) プログラムを通じた試み.
第8回日本臨床腫瘍薬学会学術大会: 札幌市,
2019.
25. 春日章良, 佐谷秀行, 有馬好美.
Biliary tract cancer mouse models based
on transplantation of tumor-initiating cells
with cancer stem cell properties.
第78回日本癌学会学術総会: 京都市, 2019.
26. 春日章良, 佐谷秀行, 有馬好美.
胆道癌ゲノム医療の最前線: オルガノイド技術
を用いたヒトがん遺伝子を導入した肝内胆管が
ん、胆嚢がん、肝外胆管がんのシンジェニック
マウスモデルの開発.
第55回日本胆道学会学術集会: 名古屋市,
2019.
27. 春日章良.
胆道癌に対する化学療法: 最近の話題.
がん研有明病院胆道がんセミナー: 東京,
2019.
28. 松山真人.
EUSFNA.
第97回日本消化器内視鏡学会総会: 東京,
2019.
29. 松山真人.
膵癌の診断と内科的治療.
第50回 Radiation Ultrasound 研究会学術講
演会: 東京, 2019.
30. 武田剛志, 佐々木隆, 谷口孝伸, 澤田雅志, 金
田遼, 松山真人, 尾阪将人, 笹平直樹.
Borderline resectable 膵癌に対する術前金属
ステント留置の安全性について.
第50回日本膵臓学会大会: 東京, 2019.
31. 武田剛志.
SpyGlass DS による胆道癌の術前進展度診断.
がん研有明病院胆道がんセミナー: 東京,
2019.
32. 武田剛志, 佐々木隆, 古川貴光, 三重堯文, 谷
口孝伸, 澤田雅志, 金田遼, 春日章良, 松山眞
人, 尾阪将人, 笹平直樹.
当院における術前 EUS-FNA の方針.
第18回 FNA-Club Japan: 東京, 2019.
33. 武田剛志, 佐々木隆, 谷口孝伸, 澤田雅志, 金
田遼, 松山真人, 尾阪将人, 笹平直樹.
消化管再建術後の切除不能悪性胆道閉塞症例に
対するシングルバルーン内視鏡による胆管ステ
ント留置術の有用性について.
第27回日本消化器関連学会週間 (JDDW
2019): 神戸市, 2019.
34. 武田剛志, 佐々木隆, 金田遼, 松山真人, 笹平
直樹.
胆管癌進展度診断における 7Fr プッシングカ
テーテルを用いたマッピング生検の有用性につ
いての検討.
第109回日本消化器内視鏡学会関東支部例会:
東京, 2019.
35. 武田剛志.
胆道鏡による診断が有用であった胆管癌の1
例.
第11回有明消化器セミナー: 東京, 2019.

36. 澤田雅志, 尾阪将人, 佐々木隆, 谷口孝伸, 武田剛志, 金田遼, 松山真人, 笹平直樹.
2nd line modified FOLFIRINOX for metastatic pancreatic adenocarcinoma refractory to nab-paclitaxel plus gemcitabine.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
37. 澤田雅志, 松山真人, 武田剛志, 金田遼, 佐々木隆, 尾阪将人, 笹平直樹.
肝外転移を有する Fibrolamellar hepatocellular carcinoma の 1 例.
日本消化器病学会関東支部第 353 回例会: 東京, 2019.
38. 澤田雅志, 佐々木隆, 古川貴光, 三重堯文, 谷口孝伸, 武田剛志, 金田遼, 春日章良, 松山真人, 尾阪将人, 笹平直樹.
胆道神経内分泌癌 6 例に対する CPT-11+CD-DP 併用療法の治療成績.
第 55 回日本胆道学会学術集会: 名古屋市, 2019.
39. 笹平直樹.
Expert の流儀.
第 20 回関東胆・膵治療懇話会第二部: 東京, 2019.
40. 笹平直樹, 中路聡.
胆道狭窄 1.
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2019.
41. 笹平直樹.
膵癌・化学療法 1.
第 105 回日本消化器病学会総会: 金沢市, 2019.
42. 笹平直樹.
血清 IgG4 値と自己免疫性膵炎の診断.
日本臨床検査自動化学会第 51 回大会: 横浜市, 2019.
43. 谷口孝伸, 武田剛志, 古川貴光, 三重堯文, 澤田雅志, 鈴木健, 金田遼, 春日章良, 松山真人, 佐々木隆, 尾阪将人, 笹平直樹, 井上陽介, 高澤豊.
5 年間の自然史を追跡しえた膵粘液性嚢胞腫瘍 (MCN) の 1 例.
日本消化器病学会関東支部第 356 回例会: 東京, 2019.
44. 谷口孝伸, 笹平直樹, 高澤豊, 澤田雅志, 武田剛志, 金田遼, 松山真人, 佐々木隆, 尾阪将人.
当院で MCN として診療した 48 症例の検討.
第 50 回日本膵臓学会大会: 東京, 2019.
45. 金田遼, 佐々木隆, 谷口孝伸, 澤田雅志, 武田剛志, 松山真人, 尾阪将人, 笹平直樹.
より効果的な膵液細胞診を行うための当院の課題.
第 50 回日本膵臓学会大会: 東京, 2019.
46. 金田遼, 澤田雅志, 佐々木隆, 松山真人, 尾阪将人, 高橋祐, 平塚真生子, 上田和彦, 重松康之, 稲村健太郎, 笹平直樹.
特異な発生進展形式を来した肝外胆管周囲腫瘍の一例.
第 71 回日本消化器画像診断研究会: 和歌山市, 2019.

【上部消化管内科】

1. Akazawa, N., Horie, Y., Tamashiro, A., Tokai, Y., Shiroma, S., Nakano, K., Namikawa, K., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J.
Lymph node metastasis of esophagogastric junction adenocarcinoma.
Digestive Disease Week (DDW 2019): San Diego, CA, USA, 2019.
2. Hirasawa, T.
Endoscopic diagnosis and endoscopic treatment for early gastric cancer.
温州市医学会: Wenzhou, China, 2019.
3. Hirasawa, T.
Endoscopic diagnosis for early gastric cancer.
第十一回杭州国際胆膵疾病診断治療検討会及第三回全国消化器内視鏡中青年専門家フォーラム: Hangzhou, China, 2019.

4. Hirasawa, T.
无漏诊的胃镜检查.
3rd Dongwu Forum : Suzhou, China, 2019.
5. Hirasawa, T.
胃癌发现技巧到放大内镜诊断.
北京友谊国际消化论坛 : Beijing, China, 2019.
6. Ikenoyama, Y., Hirasawa, T., Ishioka, M., Namikawa, K., Nakano, K., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J., Tada, T.
Comparing artificial intelligence using deep learning through convolutional neural networks and endoscopist' s diagnostic ability for detecting early gastric cancer.
Digestive Disease Week (DDW) : San Diego, CA, USA, 2019.
7. Ishioka, M., Hirasawa, T., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J., Tada, T.
Artificial intelligence for detecting gastric cancer from video images.
Digestive Disease Week (DDW) : San Diego, CA, USA, 2019.
8. Nakano, K., Chino, A., Kawachi, Y., Arai, M., Ide, D., Ishiyama, A., Saito, S., Fujisaki, J.
Gastric neoplasms associated with familial adenomatous polyposis.
Digestive Disease Week (DDW) : San Diego, CA, USA, 2019.
9. Namikawa, K., Hirasawa, T., Ikenoyama, Y., Ishioka, M., Tamashiro, A., Shiroma, S., Nakano, K., Tokai, Y., Akazawa, N., Yoshio, T., Tada, T., Fujisaki, J.
Can artificial intelligence-based diagnostic system perform differential diagnosis of gastric cancer and gastric ulcer ?
Digestive Disease Week (DDW) : San Diego, CA, USA, 2019.
10. Osumi, H., Kawachi, H., Yoshio, T., Ida, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Yamamoto, N., Yamaguchi, K., Nunobe, S., Takeuchi, K., Fujisaki, J.
Clinicopathological features of Epstein-Barr virus associated gastric carcinoma with submucosal invasion.
55th ASCO Annual Meeting : Chicago, IL, USA, 2019.
11. Shiroma, S., Yoshio, T., Aoyama, K., Ishiyama, A., Tsuchida, T., Fujisaki, J., Tada, T.
The application of artificial intelligence to detect esophageal squamous cell carcinoma in movies using convolutional neural networks.
Digestive Disease Week (DDW) : San Diego, CA, USA, 2019.
12. Tamashiro, A., Yoshio, T., Aoyama, K., Ishiyama, A., Tsuchida, T., Fujisaki, J., Tada, T.
Application of artificial intelligence using convolutional neural networks in the detection of esophageal cancer.
Digestive Disease Week (DDW) : San Diego, CA, USA, 2019.
13. Tokai, Y., Yoshio, T., Fujisaki, J., Aoyama, K., Tada, T.
Application of artificial intelligence using convolutional neural networks in diagnosing the invasion depth of esophageal squamous cell carcinoma.
Digestive Disease Week (DDW) : San Diego, CA, USA, 2019.
14. 並河健, 吉水祥一, 石山晃世志, 由雄敏之, 土田知宏, 藤崎順子.
Barrett' s 食道腺癌発癌における内臓脂肪の関与の検討.
第73回日本食道学会学術集会 : 福岡市, 2019.

15. 並河健, 森誠一, 藤崎順子.
H. pylori 未感染の早期印環細胞癌における whole-exome sequencing を用いた遺伝子解析の検討.
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2019.
16. 並河健, 藤崎順子, 平澤俊明, 土田知宏.
Helicobacter pylori 除菌後スキルス胃癌の臨床病理学的特徴.
第 109 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2019.
17. 中野薫, 河内洋, 石山晃世志, 由雄敏之, 土田知宏, 藤崎順子.
長期間経過を追うことができた食道ヨード不染域 4 例の病理組織学的検討.
第 73 回日本食道学会学術集会: 福岡市, 2019.
18. 中野薫, 平澤俊明, 池之山洋平, 玉城温子, 赤澤直樹, 渡海義隆, 城間翔, 並河健, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 土田知宏, 藤崎順子.
除菌後進行胃癌の検討.
第 105 回日本消化器病学会総会: 金沢市, 2019.
19. 乾山光子, 堀内裕介, 藤崎順子.
未分化型早期胃癌における低分化腺癌成分の術前予測因子の検討.
第 105 回日本消化器病学会総会: 金沢市, 2019.
20. 内藤咲貴子, 土田知宏, ほか.
健診内視鏡におけるヘリコバクターピロリ陰性胃癌の傾向と特徴.
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019): 神戸市, 2019.
21. 内藤咲貴子, 乾山光子, 堀内裕介, 山本智理子, 藤崎順子.
未分化型早期胃癌 ESD 症例治療成績の検討: HP 感染状態による差異.
第 109 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2019.
22. 内藤咲貴子.
胃④.
第 109 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2019.
23. 十倉淳紀, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏, 中島寛隆, 榊信廣, 藤崎順子.
Helicobacter Pylori 除菌後スキルス胃癌の 3 例.
第 109 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2019.
24. 吉水祥一, 由雄敏之, 藤崎順子.
20mm 以下の表在性非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍に対する内視鏡治療成績の検討.
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2019.
25. 吉水祥一, 由雄敏之, 藤崎順子.
十二指腸非乳頭部腫瘍に対する切除法別の R0 切除率と切除深度の比較検討.
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019): 神戸市, 2019.
26. 吉水祥一, 河内洋, 山本頼正, 伊藤寛倫, 藤崎順子.
非乳頭部十二指腸 SM 癌のリンパ節転移危険因子に関する臨床病理学的検討.
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2019.
27. 吉水祥一, 由雄敏之, 藤崎順子.
非乳頭部十二指腸腺腫・癌の鑑別診断に有用な NBI 拡大内視鏡所見についての検討.
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2019.
28. 吉水祥一, 由雄敏之, 藤崎順子.
食道扁平上皮 SM 癌に対する内視鏡的切除と追化学放射線療法の長期成績.
第 105 回日本消化器病学会総会: 金沢市, 2019.
29. 土方一範, 由雄敏之, ほか.
表在型食道癌に対する内視鏡的切除後における

- 内視鏡経過観察の限界。
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019) : 神戸市, 2019.
30. 土方一範, 石山晃世志, 由雄敏之, 土田知宏, 藤崎順子.
食道真性憩室近傍の食道表在癌に対し ESD にて切除し得た 1 例.
第 108 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 : 東京, 2019.
31. 城間翔, 由雄敏之, 青山和玄, 石山晃世志, 土田知宏, 藤崎順子, 多田智裕.
Conventional neural networks による人工知能を用いた内視鏡動画における食道扁平上皮癌の検出.
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019) : 神戸市, 2019.
32. 城間翔, 堀内裕介, 藤崎順子.
H. pylori 未感染分化型胃癌 (腸型) と H. pylori 感染分化型胃癌における特徴の比較検討.
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会 : 東京, 2019.
33. 城間翔, 堀内裕介, 山本智理子, 吉水祥一, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏, 藤崎順子.
H. pylori 未感染分化型胃癌と H. pylori 既感染分化型胃癌の内視鏡所見の比較検討.
第 91 回日本胃癌学会総会 : 沼津市, 2019.
34. 城間翔, 石山晃世志, 河内洋, 山本智理子, 吉水祥一, 堀内裕介, 平澤俊明, 由雄敏行, 土田知宏, 藤崎順子.
TypeA または TypeB1 血管を認めた食道表在癌内視鏡治療例の臨床病理学的特徴の検討.
第 73 回日本食道学会学術集会 : 福岡市, 2019.
35. 堀内裕介.
ESD.
第 91 回日本胃癌学会総会 : 沼津市, 2019.
36. 堀江義政, 堀内裕介, 藤崎順子.
食道内視鏡治療における抗血栓薬の取り扱いと後出血リスクの検討.
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019) : 神戸市, 2019.
37. 堀江義政.
食道内視鏡治療の DOAC 内服による後出血率リスクの検討.
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会 : 東京, 2019.
38. 平澤俊明.
GIST.
第 91 回日本胃癌学会総会 : 沼津市, 2019.
39. 平澤俊明.
人工知能による医療のパラダイムシフト.
第 162 回日本消化器内視鏡学会 東北支部例会 : 仙台市, 2019.
40. 平澤俊明, 石岡充彬, 並河健, 中野薫, 池之山洋平, 藤崎順子.
人工知能を用いた胃癌の内視鏡診断.
第 15 回日本消化管学会総会学術集会 : 佐賀市, 2019.
41. 平澤俊明.
内視鏡診断において AI は人を超えたのか.
京都市医師会消化器医会定例学術講演会 : 京都市, 2019.
42. 平澤俊明.
内視鏡診断において AI は人を超えたのか.
京都消化器医会定例学術講演会 : 京都市, 2019.
43. 平澤俊明.
胃 (ESD 後出血).
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019) : 神戸市, 2019.
44. 平澤俊明.
胃癌診断における人工知能の応用.
第 91 回日本胃癌学会総会 : 沼津市, 2019.
45. 平澤俊明.
見落とさない上部内視鏡検査 : その胃癌見逃してまずよ! .

- 第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019) : 神戸市, 2019.
46. 平澤俊明.
見逃しのない胃癌内視鏡検診.
松戸市医師会学術講演会 : 松戸市, 2019.
47. 平澤俊明.
見逃しのない胃癌内視鏡検診.
文京区医師会学術講演会 : 東京, 2019.
48. 池之山洋平, 石山晃世志, 玉城温子, 堀江義政, 渡海義隆, 赤澤直樹, 城間翔, 並河健, 中野薫, 吉水祥一, 堀内裕介, 由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏, 藤崎順子, 峯真司, 渡邊雅之, 河内洋, 山本智理子.
B2 血管の壁深達度正診率に影響を与える臨床病理学的因子の検討.
第 105 回日本消化器病学会総会 : 金沢市, 2019.
49. 池之山洋平, 平澤俊明, 藤崎順子, 多田智裕.
早期胃癌拾い上げ診断 : AI vs 内視鏡医.
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019) : 神戸市, 2019.
50. 渡海義隆, 堀内裕介, 藤崎順子.
分化型優位組織混在型早期胃癌における ME-NBI 所見および対応する病理所見の検討.
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会 : 東京, 2019.
51. 渡海義隆, 堀内裕介, 藤崎順子.
分化型優位組織混在型早期胃癌の診断における NBI 併用拡大内視鏡の有用性.
第 108 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 : 東京, 2019.
52. 渡海義隆, 堀内裕介, 藤崎順子.
組織混在型胃癌における *H. pylori* 除菌の NBI 併用拡大内視鏡所見に及ぼす影響.
第 109 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 : 東京, 2019.
53. 渡海義隆, 堀内裕介, 藤崎順子.
組織混在型胃癌における *H. pylori* 除菌の NBI 併用拡大内視鏡所見に及ぼす影響.
- 第 105 回日本消化器病学会総会 : 金沢市, 2019.
54. 渡海義隆, 由雄敏之, 青山和玄, 石山晃世志, 土田知宏, 吉水祥一, 堀内裕介, 平澤俊明, 多田智裕, 藤崎順子.
表在型食道扁平上皮癌深達度診断における AI (artificial intelligence) の有用性の検討.
第 73 回日本食道学会学術集会 : 福岡市, 2019.
55. 玉城温子, 由雄敏之, 青山和玄, 石山晃世志, 土田知宏, 平澤俊明, 堀内裕介, 吉水祥一, 藤崎順子, 多田智裕.
人工知能を用いた咽頭癌の診断・検出の有用性.
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019) : 神戸市, 2019.
56. 玉城温子, 由雄敏之, 佐々木隆.
瘻孔を有する食道悪性狭窄に対するステント留置術の治療成績.
第 108 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 : 東京, 2019.
57. 由雄敏之.
上部 9.
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会 : 東京, 2019.
58. 石山晃世志.
上部 6.
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会 : 東京, 2019.
59. 石岡充彬, 平澤俊明, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 土田知宏, 高松学, 河内洋, 山本智理子, 藤崎順子.
壁細胞機能不全症に合併した多発胃 NET の 2 例.
第 15 回日本消化管学会総会学術集会 : 佐賀市, 2019.
60. 石岡充彬, 平澤俊明, 三嶋裕子, 横山雅大, 照井康仁, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 土田知宏, 藤崎順子.
当院における胃 MALT リンパ腫の臨床病理学的特徴.

第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019) : 神戸市, 2019.

61. 藤崎順子, 上堂文也.
消化管の拡大内視鏡診断の最新の知見 : 胃.
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会 : 東京, 2019.
62. 赤澤直樹, 藤崎順子, 高松学.
H. pylori 未感染未分化型胃癌の臨床病理学的特徴の検討.
日本消化器病学会関東支部第 356 回例会 : 東京, 2019.
63. 赤澤直樹, 鈴木桂悟, 玉城温子, 渡海義隆, 堀江義政, 城間翔, 中野薫, 並河健, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏, 今村裕, 峯真司, 河内洋, 渡邊雅之, 藤崎順子.
LSBE (Long segment Barrett' s esophagus) 腺癌の発育進展様式に関する考察.
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会 : 東京, 2019.
64. 赤澤直樹, 藤崎順子, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏.
LSBE 腺癌発育進展様式に関する検討.
第 73 回日本食道学会学術集会 : 福岡市, 2019.
65. 赤澤直樹, 玉城温子, 池之山洋平, 堀江義政, 渡海義隆, 城間翔, 中野薫, 並河健, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏, 河内洋, 藤崎順子.
バレット食道腺癌の背景因子 (LSBE と SSBE) と臨床経過の比較検討.
第 105 回日本消化器病学会総会 : 金沢市, 2019.
66. 赤澤直樹, 藤崎順子, 高松学, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏.
早期未分化型胃癌の臨床病理学的特徴, 進展様式と H. pylori 感染の関連性について.
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019) : 神戸市, 2019.

67. 赤澤直樹.
研修医 I (食道・胃・十二指腸).
日本消化器病学会関東支部第 356 回例会 : 東京, 2019.
68. 赤澤直樹, 並河健, 中野薫, 藤崎順子.
表在型バレット食道腺癌の異時、同時多発病変の検討.
第 108 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 : 東京, 2019.

【下部消化管内科】

1. Tamegai, Y., Fukunaga, Y.
Progress in full-thickness excision surgery in the gastrointestinal tract : Laparoscopic and endoscopic cooperative surgery (LECS) to overcome the limitations of endoscopic resection for colorectal tumours.
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会 : 東京, 2019.
2. Yakabi, S., Takamatsu, M., Saito, S.
Diagnosis and treatment for SM cancer using "JNET" classification : The risk of lymph node metastasis and criteria for curable submucosal invasive colorectal cancer.
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会 : 東京, 2019.
3. 中尾栄祐, ほか.
Endocytoscopy が有用であった Is+Iic を呈した粘膜内癌の一例.
第 29 回大腸 Iic 研究会 : 東京, 2019.
4. 中尾栄祐, 斎藤彰一, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広.
当院における下部消化管内視鏡検査の工夫 : 通常光観察から超拡大観察まで.
第 109 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 : 東京, 2019.
5. 中尾栄祐, 斎藤彰一, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広.
超拡大内視鏡所見と JNET 分類・pit pattern 分類および病理組織所見との整合性に関する検討.

- 第 109 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：
東京, 2019.
6. 五十嵐正広.
潰瘍性大腸炎の日常診療でベドリズムブをどう
使っていくか.
第 109 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：
東京, 2019.
 7. 井出大資.
大腸・その他.
第 109 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：
東京, 2019.
 8. 光吉優貴, 斎藤彰一, 屋嘉比聖一, 井出大資,
千野晶子, 五十嵐正広.
全大腸炎型潰瘍性大腸炎の長期罹患経過観察中
に直腸進行癌を発症した 1 例.
日本消化器病学会関東支部第 357 回例会：東
京, 2019.
 9. 光吉優貴, 井出大資, 斎藤彰一, 池之山洋平,
畑森裕之, 屋嘉比聖一, 西川雄介, 安江千尋,
千野晶子, 五十嵐正広.
大腸 ESD 初学者における traction device
(TD) の有用性と TD を併用した粘膜下ポケッ
ト形成法への応用.
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会：東京,
2019.
 10. 光吉優貴.
大腸：大腸腫瘍.
第 109 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：
東京, 2019.
 11. 千野晶子, 佐々木文郷.
大腸腫瘍 NET.
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会：東京,
2019.
 12. 安江千尋, 千野晶子, 井出大資, 斎藤彰一,
五十嵐正広, 高松学, 河内洋.
単施設における直腸 T1 癌の治療成績
第 90 回大腸癌研究会：京都市, 2019.
 13. 屋嘉比聖一, 高松学, 斎藤彰一.
大腸 T1 (SM) 癌におけるリンパ節転移率の高
い病理学的危険因子および内視鏡的所見の検
討.
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW
2019)：神戸市, 2019.
 14. 屋嘉比聖一, 斎藤彰一, 井出大資, 千野晶子,
河内洋.
全大腸炎型潰瘍性大腸炎の長期罹患経過観察中
に直腸進行癌を発症した 1 例.
第 108 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：
東京, 2019.
 15. 斎藤彰一, 浦岡俊夫.
腫瘍の診断・治療.
第 37 回日本大腸検査学会総会：東京, 2019.
 16. 斎藤彰一, 斎藤豊.
Diagnosis and treatment for SM cancer us-
ing "JNET" classification.
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会：東京,
2019.
 17. 斎藤彰一, 田邊聡.
日常臨床に役立つ画像強調内視鏡診断法.
第 108 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：
東京, 2019.
 18. 斎藤彰一.
下部消化管腫瘍に対する内視鏡治療：工夫とト
ラブルシューティング.
第 109 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：
東京, 2019.
 19. 松野高久, ほか.
SM 浸潤癌を疑った LST-NG (Pseudo-de-
pressed type) の一例.
第 29 回大腸 IIc 研究会：東京, 2019.
 20. 松野高久, 斎藤彰一, 井出大資, 千野晶子, 河
内洋.
当院における大腸腫瘍性病変に対する JNET 分
類の診断成績.
第 109 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：
東京, 2019.

21. 池之山洋平.
当院における JNET 分類の診断の特徴と成績.
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2019.
22. 池之山洋平，斎藤彰一，井出大資，千野晶子，河内洋.
大腸腫瘍性病変に対する JNET 分類の有用性について.
第 108 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京，2019.
23. 為我井芳郎， 齊田芳久.
大腸 LECS の現状と課題.
第 20 回腹腔鏡内視鏡合同手術研究会：神戸市，2019.
24. 為我井芳郎， 武田晋一郎， 財部紗基子.
繊維化病変に対する大腸 ESD の治療成績と課題.
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019)：神戸市，2019.
25. 為我井芳郎， 佐藤嘉高.
小腸大腸その他.
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2019.
26. 畑森裕之， 斎藤彰一， 井出大資， 千野晶子， 五十嵐正広.
上行結腸に認められた早期内分泌細胞癌の一例
早期胃癌研究会 2019 年 3 月度例会：東京，2019.
27. 畑森裕之， 千野晶子， 斎藤彰一.
大腸鋸歯状病変の基礎と臨床の最前線 分子生物学的アプローチによる大腸鋸歯状病変の生物学的特性の検討.
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2019.
28. 石岡充彬， 斎藤彰一， 井出大資， 千野晶子， 五十嵐正広.
下部消化管内視鏡検査時における腸管前処置薬の比較検討.
第 108 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京，2019.
29. 鈴木桂悟， 安江千尋， 斎藤彰一.
当院での大腸腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同手術 (Laparoscopic Cooperative Surgery-Colorectal ; LECS-CR) の治療成績
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019)：神戸市，2019.
30. 鈴木桂悟， ほか.
リンパ節転移を伴った直腸 LST-NG 病変の一例.
第 29 回大腸 IIC 研究会：東京，2019.
31. 鈴木桂悟， 池之山洋平， 光吉優貴， 中尾栄祐， 城間翔， 松野高久， 屋嘉比聖一， 井出大資， 千野晶子， 斎藤彰一， 五十嵐正広.
当院における大腸腫瘍性病変に対する JNET 分類の診断成績.
第 37 回日本大腸検査学会総会：東京，2019.
32. 鈴木桂悟， 安江千尋， 斎藤彰一， 福長洋介.
当院における大腸腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同手術 (Laparoscopic cooperative surgery-colorectal ; LECS-CR) の治療成績.
第 108 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京，2019.

【食道外科】

1. Imamura, Y., Toihata, T., Takamatsu, M., Tanaka, N., Mine, S., Mori, S., Oki, E., Morita, M., Baba, H., Sano, T., Watanabe, M.
MSI-low is an intermediate type between MSI-high and MSS in esophagogastric junction adenocarcinoma.
Gastrointestinal Cancer Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, CA, USA, 2019.
2. Imamura, Y., Toihata, T., Takamatsu, M., Tanaka, N., Mine, S., Mori, S., Oki, E., Morita, M., Baba, H., Sano, T., Watanabe, M.
MSI-L tumors exhibited an intermediate tumor immune microenvironment between MSI-H and MSS in esophagogastric junction adenocarcinoma.
11th AACR-JCA Joint Conference: Maui, HI, USA, 2019.

3. Mine, S., Watanabe, M., Imamura, Y., Okamura, A., Kozuki, R., Takahashi, K., Toihata, T.
Prophylactic lymphadenectomy without clinical supraclavicular nodal metastasis.
第73回日本食道学会学術集会：福岡市，2019.
4. Watanabe, M., Kozuki, R., Toihata, T., Takahashi, K., Okamura, A., Imamura, Y., Mine, S.
Minimally-invasive surgery for salvage esophagectomy.
第73回日本食道学会学術集会：福岡市，2019.
5. Watanabe, M., Kozuki, R., Toihata, T., Takahashi, K., Okamura, A., Imamura, Y., Mine, S.
Predictive factors for treatment failure and efforts to improve the long-term outcomes of patients with locally advanced esophageal cancer.
第74回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
6. Watanabe, M.
The current situation and trends of esophageal surgery clinical study.
Boao Surgery Forum, GCTAB Summit 2019: Boao, China, 2019.
7. Watanabe, M.
Reconstruction after esophagectomy for patients with a history of gastrectomy.
Yonsei Workshop on Esophageal Cancer: Seoul, Korea, 2019.
8. 上月亮太郎，渡邊雅之，問端輔，高橋慶太，岡村明彦，今村裕，峯真司。
高齢者食道癌に対する治療選択。
第119回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
9. 上月亮太郎，渡邊雅之，峯真司，今村裕，問端輔，高橋慶太。
高齢者の局所進行食道癌に対する治療選択の現状と課題。
第73回日本食道学会学術集会：福岡市，2019.
10. 今村裕，問端輔，上月亮太郎，高橋慶太，岡村明彦，峯真司，高松学，田中教生，森誠一，比企直樹，竹内賢吾，沖英次，森田勝，馬場秀夫，佐野武，野田哲生，渡邊雅之。
サロゲートマーカーを用いた遺伝子解析の工夫と国際共同研究による消化器癌研究推進。
第119回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
11. 今村裕，問端輔，高松学，峯真司，沖英次，森田勝，布部創也，馬場秀夫，佐野武，渡邊雅之。
EGJ adenocarcinoma with MSI-low may be beneficial for immune therapy.
第73回日本食道学会学術集会：福岡市，2019.
12. 今村裕，問端輔，高松学，峯真司，沖英次，森田勝，比企直樹，馬場秀夫，佐野武，渡邊雅之。
食道胃接合部腺癌におけるMSI-lowの臨床病理分子生物学的特徴と予後予測バイオマーカーの検討。
第74回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
13. 今村裕，問端輔，峯真司，高松学，沖英次，森田勝，比企直樹，馬場秀夫，佐野武，渡邊雅之。
食道胃接合部腺癌におけるMSI-low腫瘍の特徴。
第91回日本胃癌学会総会：沼津市，2019.
14. 問端輔，今村裕，上月亮太郎，高橋慶太，岡村明彦，峯真司，吉田直矢，佐伯浩司，沖英次，山本学，森田勝，比企直樹，馬場秀夫，佐野武，渡邊雅之。
食道胃接合部腺癌における組織型別にみたFOXP3/CD8比の意義。
第119回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
15. 問端輔，今村裕，高松学，峯真司，森田勝，布部創也，馬場秀夫，佐野武，渡邊雅之。

- 食道胃接合部腺癌における腫瘍浸潤リンパ球の評価方法の検討。
第73回日本食道学会学術集会：福岡市，2019.
16. 問端輔，今村裕，高松学，峯真司，沖英次，森田勝，比企直樹，馬場秀夫，佐野武，渡邊雅之。腫瘍辺縁 FOXP3/CD8 比は EBV 陽性と MSI-H を除く Diffuse 型食道胃接合部癌の予後因子である。
第74回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
17. 問端輔，高松学，峯真司，沖英次，森田学，馬場秀夫，佐野武，渡邊雅之。FOXP3/CD8 比は Diffuse 型食道胃接合部癌の予後因子である。
第91回日本胃癌学会総会：沼津市，2019.
18. 宇田川晴司，渡邊雅之。食道癌手術における再建の best practice。
第74回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
19. 岡村明彦，渡邊雅之，峯真司，今村裕，問端輔，高橋慶太，上月亮太郎，佐野武。食道切除術における術後炎症反応と予後。
第119回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
20. 岡村明彦，渡邊雅之，上月亮太郎，問端輔，高橋慶太，速水克，今村裕，峯真司。初診時切除不能局所進行食道癌に対するサルベージ手術の適応と成績。
第73回日本食道学会学術集会：福岡市，2019.
21. 岡村明彦，渡邊雅之，峯真司，今村裕，問端輔，高橋慶太，上月亮太郎，山下公太郎，佐野武。胸腔鏡下食道切除術における術後炎症と予後。
第74回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
22. 岡村明彦，渡邊雅之，峯真司，上月亮太郎，大竹玲子，高橋慶太，問端輔，今村裕。臨床的壁内転移を伴う食道扁平上皮癌の治療成績。
第57回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2019.
23. 岡村明彦，渡邊雅之，峯真司，今村裕，問端輔，高橋慶太，上月亮太郎，佐野武。低侵襲食道切除術における術後合併症と予後。
第27回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019)：神戸市，2019.
24. 峯真司，渡邊雅之，今村裕，岡村明彦，上月亮太郎，高橋慶太，問端輔，井田智，熊谷厚志，布部創也，比企直樹。食道胃接合部腺癌に対して食道切除を行う際のリンパ節郭清と再建法の問題点。
第119回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
25. 峯真司。手術10。
第73回日本食道学会学術集会：福岡市，2019.
26. 峯真司，渡邊雅之，今村裕，岡村明彦，高橋慶太，問端輔，上月亮太郎。食道切除術における胃管再建経路の検討。
第74回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
27. 日月裕司，渡邊雅之。食道癌サルベージ手術の適応と術式の工夫：特に高度局所進行症例への対応とリンパ節郭清の範囲について。
第73回日本食道学会学術集会：福岡市，2019.
28. 杉尾健二，渡邊雅之。Robotic surgery の現状と展望。
第29回日本気管食道科学会認定気管食道科専門医大会：東京，2019.
29. 渡邊雅之，上月亮太郎，問端輔，高橋慶太，岡村明彦，今村裕，峯真司。局所進行食道癌に対する術前化学放射線療法後またはサルベージ手術における胸腔鏡下食道切除の手技と成績。
第119回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.

30. 渡邊雅之 .
食道癌の集学的治療 .
第 73 回日本食道学会学術集会：福岡市，
2019.
31. 渡邊雅之 .
食道癌治療成績向上への挑戦 .
第 52 回日本胸部外科学会九州地方会総会：宮
崎市，2019.
32. 渡邊雅之 .
食道癌治療最新の進歩：外科的治療を中心に .
九州消化器癌学術講演会：福岡市，2019.
33. 渡邊雅之 .
Oncology emergency.
第 4 回日本がんサポーターケア学会学術集
会：青森市，2019.
34. 渡邊雅之，大竹玲子，上月亮太郎，問端輔，高
橋慶太，岡村明彦，今村裕 .
食道癌に対する根治的放射線療法後のサル
ベージ手術とコンバージョンサージェリー .
第 57 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，
2019.
35. 渡邊雅之，中森幹人 .
周術期管理におけるチーム医療 1.
第 72 回日本胸部外科学会定期学術集会：京都
市，2019.
36. 渡邊雅之，大竹玲子，上月亮太郎，高橋慶太，
問端輔，岡村明彦，今村裕，峯真司 .
食道癌に対する胃管再建の工夫とトラブル
シューティング .
第 72 回日本胸部外科学会定期学術集会：京都
市，2019.
37. 渡邊雅之 .
食道 9.
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW
2019)：神戸市，2019.
38. 渡邊雅之，大竹玲子，上月亮太郎，高橋慶太，
問端輔，岡村明彦，今村裕 .
食道癌に対するサルベージ手術の適応と成績 .
第 71 回日本気管食道学会総会ならびに学術講
演会：宇都宮市，2019.
39. 渡邊雅之 .
胃管再建 .
Fusion：再建を極める：東京，2019.
40. 渡邊雅之 .
Metastasis.
第 91 回日本胃癌学会総会：沼津市，2019.
41. 藤原義之，渡邊雅之 .
上部消化管癌集学的治療における手術のタイミ
ング .
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，
2019.
42. 鈴木健，岡村明彦，渡邊雅之，今村裕，峯真司，
浅利宗生，小倉真理子，市村崇，高張大亮，陳
頤松 .
Borderline resectable 食道扁平上皮癌に対す
る術前補助化学放射線療法の治療成績 .
第 73 回日本食道学会学術集会：福岡市，
2019.
43. 高橋慶太，湯田匡美，岡村明彦，上月亮太郎，
問端輔，今村裕，峯真司，渡邊雅之 .
食道癌の術後肺炎と長期予後の予測因子として
の術前咽頭培養の有用性 .
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，
2019.
44. 高橋慶太，上月亮太郎，問端輔，今村裕，峯真
司，小倉真理子，市村崇，陳頤松，渡邊雅之 .
食道癌術前静脈血栓症の現状とスクリーニ
ングの重要性 .
第 73 回日本食道学会学術集会：福岡市，
2019.
45. 高橋慶太，岡村明彦，上月亮太郎，問端輔，今
村裕，峯真司，渡邊雅之 .
頸部先行アプローチにて鏡視下食道切除術を施
行した右側大動脈弓を有する食道癌の 1 例 .
第 180 回胸部外科学会関東甲信越地方会：東
京，2019.

46. 高橋慶太, 上月亮太郎, 問端輔, 岡村明彦, 今村裕, 峯真司, 渡邊雅之.
高齢者食道癌術後の骨格筋減少が再発・予後に与える影響について.
日本外科代謝栄養学会第56回学術集会: 神戸市, 2019.
47. 高橋慶太, 上月亮太郎, 問端輔, 岡村明彦, 今村裕, 峯真司, 渡邊雅之.
高齢者食道癌術後の骨格筋減少が再発・予後に与える影響について.
第74回日本消化器外科学会総会: 東京, 2019.
48. 高橋慶太, 上月亮太郎, 問端輔, 岡村明彦, 今村裕, 峯真司, 渡邊雅之.
食道癌術後乳び胸が再発・予後に与える影響について.
第27回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019): 神戸市, 2019.
49. 高橋慶太, 岡村明彦, 上月亮太郎, 問端輔, 大竹玲子, 今村裕, 渡邊雅之.
左肺動脈右肺動脈起始症合併食道癌症例に対して、頸部先行アプローチ胸腔鏡下食道亜全摘術を施行した1例.
第32回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2019.

【胃外科】

1. Ida, S., Hiki, N., Kumagai, K., Nunobe, S., Ohashi, M., Sano, T., Yamaguchi, T.
Pancreatic compression during lymph node dissection in laparoscopic gastrectomy; possible cause of pancreatic leakage.
13th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Prague, Czech Republic, 2019.
2. Ida, S.
Laparoscopic and Endoscopic Cooperative Surgery (LECS) for the upper gastrointestinal tract
12th International Gastric Cancer Xihu Summit: Hangzhou, China, 2019.
3. Jiang, X., Hiki, N., Kumagai, K., Ohashi, M., Nunobe, S., Ida, S., Sano, T.

Comparison of anastomotic complications after laparoscopic total gastrectomy with esophagojejunostomy using circular stapler versus linear stapler
13th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Prague, Czech Republic, 2019.

4. Kano, Y.
Oncological feasibility of laparoscopic subtotal gastrectomy compared with laparoscopic proximal or total gastrectomy for cT1N0M0 gastric cancer in the upper gastric body.
14th China-Korea-Japan Laparoscopic Gastrectomy Joint Seminar: Shanghai, China, 2019.
5. Kumagai, K., Hiki, N., Nunobe, S., Ohashi, M., Ida, S., Yamaguchi, T., Sano, T.
Laparoscopic "pancreas-compressionless" gastrectomy; a novel approach to avoid pancreas injury.
第74回日本消化器外科学会総会: 東京, 2019.
6. Kumagai, K., Yamaguchi, T., Takashima, A., Nagashima, K., Kano, Y., Terashima, M., Yabusaki, H., Nishikawa, K., Tanabe, K., Yunome, G., Kawachi, Y., Yamada, T., Fukunaga, H., Kinoshita, T., Watanabe, M., Taniguchi, H., Sakamoto, T., Ishiyama, K., Boku, N.
Comparison between S-1 monotherapy and S-1 plus cisplatin as postoperative chemotherapy after R0 resection for stage IV gastric cancer patients with oligometastasis: A multicenter retrospective study.
Gastrointestinal Cancers Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, CA, USA, 2019.
7. Kumagai, K.
Laparoscopic "pancreas-compressionless" gastrectomy; a history of efforts against pancreas injury during laparoscopic gastrectomy in Japanese high-volume center.

- 14th China-Korea-Japan Laparoscopic Gastrectomy Joint Seminar: Shanghai, China, 2019.
8. Nunobe, S., Hiki, N., Kumagai, K., Ida, S., Ohashi, M., Sano, T.
Evaluation by E-PASS system of surgical outcomes after gastrectomy for elderly patients with stage I gastric cancer.
13th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Prague, Czech Republic, 2019.
 9. Nunobe, S., Ohashi, T., Kumagai, K., Ida, S., Ohashi, M., Mine, S., Watanabe, M., Sano, T.
Laparoscopic gastrectomy for patients with previous laparotomy in the upper abdomen.
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
 10. Nunobe, S.
腹腔鏡下胃切除のリンパ節郭清。
機能温存胃切除手術セミナー： Suzhou, China, 2019.
 11. Nunobe, S.
Laparoscopic gastrectomy for upper gastric cancer.
2nd Gastric Cancer Forum in the Western China: Chengdu, China, 2019.
 12. Nunobe, S.
AEG Experience in Japan.
2019 Sino-Japan AEG Elite Forum: Hangzhou, China, 2019.
 13. Ohashi, T., Nunobe, S., Ida, S., Kumagai, K., Ohashi, M., Sano, T., Yamaguchi, T., Hiki, N.
Retrospective analysis of reconstruction time of laparoscopic proximal gastrectomy with double-flap technique.
13th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Prague, Czech Republic, 2019.
 14. Ohashi, M.
Pylorus preserving gastrectomy for early gastric cancer in the middle third of the stomach :Is it beneficial to patients?
12th International Gastric Cancer Xihu Summit: Hangzhou, China, 2019.
 15. Ohashi, M. , Kano, Y.
Laparoscopic pylorus preserving gastrectomy in Japan.
Laparoscopic Pylorus Preserving Gastrectomy Forum: Suzhou, China, 2019.
 16. Ohashi, M.
Ganken style of pylorus preserving gastrectomy.
The Multinational Pylorus Preserving Gastrectomy Joint Seminar 2019: Shanghai, China, 2019.
 17. Ohashi, M.
Comparison of short- and long-term surgical outcomes of laparoscopic proximal gastrectomy with double-flap technique and laparoscopic subtotal gastrectomy for proximal gastric cancer
14th China-Korea-Japan Laparoscopic Gastrectomy Joint Seminar: Shanghai, China, 2019.
 18. Ri, M., Nunobe, S., Yagi, S., Takahashi, R., Ohashi, T., Ida, S., Kumagai, K., Ohashi, M., Hiki, N., Sano, T.
Changes in nutritional status and skeletal muscle after laparoscopic proximal gastrectomy with double flap technique for early gastric cancer.
13th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Prague, Czech Republic, 2019.
 19. Sano, T.
Gastric cancer classification and important medical needs, Eastern view.
13th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Prague, Czech Republic, 2019.
 20. Sano, T., Meyer, H.J.
How to manage complications in gastric cancer surgery.
13th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Prague, Czech Republic, 2019.

21. Sano, T.
Imaging-guided surgery applied to the digestive system.
13th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Prague, Czech Republic, 2019.
22. Sano, T.
Conversion-aiming chemotherapy and radical surgery.
39th Congress of European Society of Surgical Oncology (ESSO) Rotterdam, The Netherlands, 2019.
23. Sano, T.
Japanese adjuvant strategy for gastric cancer: Why not neoadjuvant?
39th Congress of European Society of Surgical Oncology (ESSO) Rotterdam, The Netherlands, 2019.
24. Sano, T.
Neoadjuvant therapy of local advanced gastric cancer.
第 91 回日本胃癌学会総会：沼津市，2019.
25. Takahashi, R., Ida, S., Isozaki, M., Yagi, S., Ohashi, T., Ri, M., Kumagai, K., Nunobe, S., Ohashi, M., Sano, T., Hiki, N.
Conversion surgery for gastric cancer with peritoneal metastasis or positive peritoneal cytology.
13th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Prague, Czech Republic, 2019.
26. Yagi, S., Nunobe, S., Otake, R., Tajima, J., Isozaki, M., Takahashi, R., Ohashi, T., Ri, M., Imamura, Y., Mine, S., Ida, S., Kumagai, K., Ohashi, M., Watanabe, M., Hiki, N., Sano, T.
Changes in clinicopathological features of resectable gastric cancer for about 3 decades.
13th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Prague, Czech Republic, 2019.
27. 乗宗麻衣, 高橋遼, 井田智, 高松学, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 比企直樹.
術前に胃 glomus 腫瘍を疑い、腹腔鏡・内視鏡
合同手術を施行した 2 例。
第 855 回外科集談会：東京，2019.
28. 井田智, JiangX., 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 比企直樹.
腹腔鏡下胃切除術後瘘液漏を避けるための脾臓を圧迫しない術野展開。
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
29. 井田智, 比企直樹, 熊谷厚志, 大橋学, 布部創也.
胃切除術後の早期栄養および運動介入療法の安全性。
日本外科代謝栄養学会第 56 回学術集会：神戸市，2019.
30. 井田智, 大橋拓馬, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 比企直樹.
胃切除後早期筋肉量減少を抑える取り組み。
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
31. 井田智.
がん治療における栄養療法の意義：骨格筋維持をめざして。
第 29 回日本病態生理学会大会：東大阪市，2019.
32. 井田智.
胃切除後障害を考える：筋肉量減少・ダンピング症候群・逆流性食道炎治療戦略。
Next Symposium in KITASATO：新たなる栄養療法を考える：相模原市，2019.
33. 井田智.
胃切除術後の早期栄養および運動療法を考える：安全性試験の結果より。
第 6 回消化器癌に関する栄養療法セミナー：福岡市，2019.
34. 井田智.
胃がん術後の栄養管理：脂肪乳剤投与の現状と問題点。
第 2 回桜山 NST セミナー：名古屋市，2019.

35. 井田智, 比企直樹, 熊谷厚志, 大橋学, 佐野武, 布部創也.
胃切除術後の早期栄養および運動介入の安全性試験 : preliminary reports.
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019): 神戸市, 2019.
36. 井田智, 熊谷厚志, 幕内梨恵, 大橋学, 佐野武, 布部創也.
腹腔鏡下胃切除術後膵液漏発生の原因と対策 : 膵臓の圧損傷に注目して.
第 81 回日本臨床外科学会総会 : 高知市, 2019.
37. 井田智, 天田塩, 幕内梨恵, 熊谷厚志, 大橋学, 岡村明彦, 今村裕, 渡邊雅之, 布部創也.
高齢者に対する腹腔鏡下胃切除術の術後経過に関する検討 : 術後筋肉量・身体機能に注目して
第 32 回日本内視鏡外科学会総会 : 横浜市, 2019.
38. 井田智.
がん患者の栄養管理 : 手術と化学療法を支える栄養管理.
第 34 回日本静脈栄養学会学術集会 : 東京, 2019.
39. 井田智, 比企直樹, 松尾宏美, 熊谷厚志, 峯真司.
胃切除術前経腸栄養療法の意義.
第 34 回日本静脈栄養学会学術集会 : 東京, 2019.
40. 井田智, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 比企直樹.
胃癌術前経管栄養の有用性.
第 91 回日本胃癌学会総会 : 沼津市, 2019.
41. 佐野武.
分子腫瘍マーカーを指標とする胃癌化学療法の考え方 : Thymidine phosphorylase を中心として.
第 119 回日本外科学会定期学術集会 : 大阪市, 2019.
42. 佐野武.
胃 : 上部胃癌・栄養指導.
第 119 回日本外科学会定期学術集会 : 大阪市, 2019.
43. 佐野武.
胃癌治療ガイドラインの変遷と果たしてきた役割.
第 119 回日本外科学会定期学術集会 : 大阪市, 2019.
44. 佐野武.
開腹手術をいかに.
第 44 回日本外科系連合学会学術集会 : 金沢市, 2019.
45. 佐野武.
ロボット胃切除術導入後のネクストステップ : 最大限の活用法.
第 74 回日本消化器外科学会総会 : 東京, 2019.
46. 佐野武.
消化器外科医の国内・国外留学の意義.
第 74 回日本消化器外科学会総会 : 東京, 2019.
47. 佐野武.
令和時代における胃癌化学療法.
第 57 回日本癌治療学会学術集会 : 福岡市, 2019.
48. 佐野武.
日本の取扱い規約と UICC/AJCC TNM 分類は統合可能か?
第 57 回日本癌治療学会学術集会 : 福岡市, 2019.
49. 佐野武, 寺島雅典.
最新のエビデンスに基づいた胃外科手術 (開腹 vs 鏡視下).
第 81 回日本臨床外科学会総会 : 高知市, 2019.
50. 佐野武.
進行胃癌を腹腔鏡で手術することの懸念点.
第 81 回日本臨床外科学会総会 : 高知市, 2019.

51. 佐野武, 木下敬弘.
上部胃癌に対する脾摘、脾門郭清の意義.
第 91 回日本胃癌学会総会: 沼津市, 2019.
52. 佐野武.
周術期化学療法の治療戦略: エビデンスの解釈
と予後向上のポイント: Stage III 術後補助化
学療法の最前線.
第 91 回日本胃癌学会総会: 沼津市, 2019.
53. 佐野武.
多様化する癌治療と患者コミュニケーション:
Shared decision making 実現に向けて.
第 91 回日本胃癌学会総会: 沼津市, 2019.
54. 佐野武, 布部創也, 大橋学, 熊谷厚志, 井田智.
胃を温存する早期胃癌治療.
第 91 回日本胃癌学会総会: 沼津市, 2019.
55. 八木秀祐, 布部創也, 大竹玲子, 田島ジェシー
雄, 磯崎正典, 高橋遼, 大橋拓馬, 李基成, 庄
司佳晃, 加納陽介, 今村裕, 峯真司, 井田智,
熊谷厚志, 大橋学, 渡邊雅之, 佐野武, 比企直
樹.
根治切除可能な胃癌の患者因子・腫瘍因子の時
代的变化.
第 119 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市,
2019.
56. 八木秀祐, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 佐野武,
布部創也.
根治切除可能な胃癌の患者因子・腫瘍因子の時
代的变化.
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW
2019): 神戸市, 2019.
57. 八木秀祐, 天田塩, 宗岡悠介, 太田絵美, 磯崎
正典, 高橋遼, 大橋拓馬, 李基成, 幕内梨恵,
井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 布部創也.
5 cm を超える SMT に対する LECS の治療成績
の検討.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市,
2019.
58. 八木秀祐, 井田智, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋
学, 佐野武, 比企直樹.
Current status and outlook of palliative
treatment: Clinical outcomes of palliative
treatment for advanced gastric cancer with
tumor bleeding.
第 91 回日本胃癌学会総会: 沼津市, 2019.
59. 加納陽介, 大橋学, 田島ジェシー雄, 大竹玲子,
磯崎正典, 八木秀祐, 高橋遼, 大橋拓馬, 李基
成, 庄司佳晃, 井田智, 熊谷厚志, 布部創也,
佐野武, 比企直樹.
化学療法専門医は外科医よりも術後 S-1 補助療
法の完遂率を高くできるか.
第 119 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市,
2019.
60. 加納陽介, 大橋学, 井田智, 熊谷厚志, 布部創
也, 佐野武, 比企直樹.
大弯浸潤を伴う 4 型上部胃癌では脾摘を省略で
きるか?
第 74 回日本消化器外科学会総会: 東京,
2019.
61. 加納陽介, 大橋学, 井田智, 熊谷厚志, 佐野武,
布部創也.
大弯浸潤を伴う 4 型胃癌に対する脾摘の検討.
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW
2019): 神戸市, 2019.
62. 加納陽介, 大橋学, 井田智, 熊谷厚志, 布部創
也, 佐野武, 比企直樹.
上部胃癌における脾摘の意義.
第 91 回日本胃癌学会総会: 沼津市, 2019.
63. 堀創史, 井田智, 幕内梨恵, 熊谷厚志, 大橋学,
布部創也.
胃切除術後内ヘルニアの検討.
第 81 回日本臨床外科学会総会: 高知市,
2019.
64. 大橋学, 井田智, 熊谷厚志, 布部創也.
腹腔鏡下胃切除術における脾上縁郭清のランド
マークとしての局所解剖.
第 73 回手術手技研究会: 東京, 2019.
65. 大橋学, 安福至, 井田智, 熊谷厚志, 布部創也,
佐野武, 比企直樹.

- P0CY1 を伴う大型 3 型・4 型胃癌に対するコンバージョン手術の治療成績。
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
66. 大橋学，速水克，井田智，熊谷厚志，幕内梨恵，佐野武，布部創也。
胃癌に対する幽門側胃切除術での肉眼的口側断端距離と腫瘍学的アウトカムとの関係。
第 57 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2019.
67. 大橋学。
他科との合同手術。
第 81 回日本臨床外科学会総会：高知市，2019.
68. 大橋学，幕内梨恵，井田智，熊谷厚志，佐野武，布部創也。
腹腔鏡下胃切除術における動脈周囲神経をランドマークにしたトンネル視野内の局所解剖。
第 81 回日本臨床外科学会総会：高知市，2019.
69. 大橋学，加納陽介，幕内梨恵，井田智，熊谷厚志，布部創也。
上部早期胃癌に対する噴門側胃切除術上側再建と幽門側胃下垂全摘術との短期、長期成績の比較。
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.
70. 大橋学。
胃・十二指腸悪性：手術手技 3。
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.
71. 大橋学，熊谷厚志，井田智，布部創也，佐野武，比企直樹。
大動脈周囲リンパ節転移を伴う進行胃癌に対する術前化学療法後手術の手技と治療成績。
第 91 回日本胃癌学会総会：沼津市，2019.
72. 大橋学。
術後化療 1。
第 91 回日本胃癌学会総会：沼津市，2019.
73. 大橋拓馬，布部創也，井田智，熊谷厚志，大橋学，今村裕，峯真司，渡邊雅之，比企直樹，佐野武。
腹部手術既往を有する腹腔鏡下幽門側胃切除術の検討。
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
74. 大橋拓馬，井田智，熊谷厚志，布部創也，大橋学，佐野武，比企直樹。
早期胃癌の切離断端陽性が予後に与える影響。
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
75. 大橋拓馬，井田智，幕内梨恵，熊谷厚志，大橋学，布部創也。
早期胃癌に対する腹腔鏡下胃切除における切離断端陽性が予後に与える影響。
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.
76. 大橋拓馬，布部創也，井田智，熊谷厚志，大橋学，佐野武，比企直樹。
腹腔鏡下噴門側胃切除術における観音開き法再建時間の検討。
第 91 回日本胃癌学会総会：沼津市，2019.
77. 大竹玲子，熊谷厚志，大橋学，布部創也，井田智，庄司佳晃，加納陽介，李基成，佐野武，比企直樹。
腹腔鏡下幽門保存胃切除術後合併症としての逆流性食道炎に関連する因子の検討。
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
78. 天田塩，井田智，馬城はるか，松尾宏美，幕内梨恵，熊谷厚志，大橋学，佐野武，布部創也。
高齢者における手術アプローチが胃切除術後の身体機能および筋肉量回復に及ぼす影響の検討。
第 49 回胃外科・術後障害研究会：鹿児島市，2019.
79. 天田塩，井田智，熊谷厚志，大橋学，佐野武，布部創也。
高齢者における手術アプローチが胃切除術後の身体機能および筋肉量回復に及ぼす影響。

- 第 81 回日本臨床外科学会総会：高知市，2019.
80. 太田絵美，井田智，幕内梨恵，熊谷厚志，大橋学，布部創也，佐野武。
当院における胃切除後の栄養指導と術後栄養状態の検討。
第 81 回日本臨床外科学会総会：胃外科，2019.
81. 宗岡悠介，大橋学，布部創也，天田塩，太田絵美，磯崎正典，大橋拓馬，高橋遼，八木秀祐，李基成，幕内梨恵，井田智，熊谷厚志，佐野武。
当科における胃全摘術の食道空腸吻合法についての検討。
第 81 回日本臨床外科学会総会：高知市，2019.
82. 山口俊晴。
スプライシングモジュレーターは新たな分子標的治療法となるか。
第 23 回日本がん分子標的治療学会学術集会：大阪市，2019.
83. 山口俊晴。
若手外科医の教育について考える：Academic surgeon を育成すべきか？育成できるのか？。
第 81 回日本臨床外科学会総会：高知市，2019.
84. 山口俊晴。
都市型専門病院の外科医の働き方：外科医の地獄にならないための働き方改革。
第 81 回日本臨床外科学会総会：高知市，2019.
85. 山口俊晴。
高齢者のがん治療の現状と未来。
第 31 回日本老年麻酔学会：東京，2019.
86. 布部創也。
胃：手術成績：2。
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
87. 布部創也，比企直樹，熊谷厚志，井田智，大橋学，峯真司，今村裕，渡邊雅之，福長洋介，斎浦明夫，佐野武。
高齢者の早期胃がん手術症例の検討：E-PASS の有用性。
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
88. 布部創也。
広がりゆく LECS：消化器内科と消化器外科の融合。
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2019.
89. 布部創也。
指導医から学ぶ胃がん手術：技術認定に向けた納得！のアドバイス。
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
90. 布部創也。
胃・十二指腸：診断。
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
91. 布部創也，幕内梨恵，井田智，熊谷厚志，大橋学，佐野武。
食道胃接合部粘膜下腫瘍に対する外科的治療戦略。
8th Reduced Port Surgery Forum：東京，2019.
92. 布部創也。
胃腫瘍に対する Inverted LECS の有用性。
第 20 回腹腔鏡内視鏡合同手術研究会：神戸市，2019.
93. 布部創也，庄司佳晃，熊谷厚志。
食道胃接合部粘膜下腫瘍に対する治療戦略。
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019)：神戸市，2019.
94. 布部創也。
蛍光ガイド下手術の現況。
第 81 回日本臨床外科学会総会：高知市，2019.

95. 布部創也.
Year by year 変わりゆく胃癌これから我々は何をすべきか：上部進行胃癌に対する Strategy.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.
96. 布部創也，幕内梨恵，井田智，熊谷厚志，大橋学，岡村明彦，今村裕，渡邊雅之.
腹腔鏡下噴門側胃切除術・観音開き法再建の吻合部逆流・狭窄のリスク因子解析.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.
97. 布部創也，川久保博文.
腹腔鏡内視鏡合同手術（LECS）の新展開.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.
98. 布部創也.
進行胃癌への低侵襲手術：「郭清」のコツとピットフォール.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.
99. 布部創也.
栄養 1.
第 91 回日本胃癌学会総会：沼津市，2019.
100. 布部創也，比企直樹，熊谷厚志，大橋学，井田智，佐野武.
高齢者の Stage I 胃癌に対する手術成績の検討.
第 91 回日本胃癌学会総会：沼津市，2019.
101. 幕内梨恵.
小腸：良性疾患 3.
第 81 回日本臨床外科学会総会：高知市，2019.
102. 幕内梨恵，大橋拓馬，李基成，井田智，熊谷厚志，大橋学，布部創也，佐野武.
腹腔鏡下噴門側胃切除術後の上川法による食道残胃吻合の手術時間に関する因子.
第 81 回日本臨床外科学会総会：高知市，2019.
103. 幕内梨恵，天田塩，宗岡悠介，太田絵美，堀創史，磯崎正典，高橋遼，八木秀祐，大橋拓馬，李基成，井田智，熊谷厚志，大橋学，布部創也.
胃癌に対するロボット支援下胃切除術の安全な導入.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.
104. 庄司佳晃，布部創也，井田智，熊谷厚志，大橋学，今村裕，峯真司，渡邊雅之，比企直樹，佐野武.
食道胃接合部癌・上部胃癌に対する腹腔鏡下噴門側胃切除術・観音開き法再建の手術成績及び吻合部逆流・狭窄のリスク因子解析.
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
105. 庄司佳晃，熊谷厚志，井田智，布部創也，大橋学，佐野武，比企直樹.
腹腔鏡下胃切除における ICG 蛍光法によるセンチネルリンパ節生検及び OSNA 法によるリンパ節転移診断.
第 91 回日本胃癌学会総会：沼津市，2019.
106. 李基成，布部創也，大竹玲子，磯崎正典，田島ジェシー雄，八木秀祐，高橋遼，大橋拓馬，庄司佳晃，加納陽介，井田智，熊谷厚志，大橋学，比企直樹，佐野武.
腹腔鏡下噴門側胃切除・観音開き再建後の体重・骨格筋量減少のリスク因子について.
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
107. 李基成，熊谷厚志，八木秀祐，高橋遼，大橋拓馬，井田智，布部創也，大橋学，比企直樹，佐野武.
腹腔鏡下胃切除術・R-Y 再建における十二指腸断端の埋没縫合が断端縫合不全を予防する効果.
第 73 回手術手技研究会：東京，2019.
108. 李基成，大橋学，高橋遼，八木秀祐，大橋拓馬，井田智，熊谷厚志，布部創也，比企直樹，佐野武.
傍大動脈リンパ節転移陽性の進行胃癌に対する術前化学療法後切除の治療成績と予後因子.

- 第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
109. 李基成，井田智，布部創也，幕内梨恵，熊谷厚志，大橋学，佐野武。
胃切除術後の血糖変動とダンピング症状の発生との関連について。
第 49 回胃外科・術後障害研究会：鹿児島市，2019.
110. 李基成，布部創也，太田絵美，天田塩，宗岡悠介，磯崎正典，八木秀祐，高橋遼，大橋拓馬，幕内梨恵，井田智，熊谷厚志，大橋学。
当院における LECS の治療成績の変遷。
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.
111. 李基成，布部創也，井田智，熊谷厚志，大橋学，比企直樹，佐野武。
腹腔鏡下噴門側胃切除・観音開き再建後の栄養・骨格筋の変化。
第 91 回日本胃癌学会総会：沼津市，2019.
112. 柘野佑太，河内洋，新井正美，高松学，山本智理子，並河健，藤崎順子，布部創也，高澤豊，竹内賢吾。
Hereditary diffuse gastric cancer の 4 症例。
第 108 回日本病理学会総会：東京，2019.
113. 比企直樹，市川大輔。
胃切除後の機能評価。
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
114. 熊谷厚志，入野誠之，神谷諭，速水克，井田智，布部創也，大橋学，比企直樹，山口俊晴，佐野武。
これからの日本の外科医はどうあるべきか？：スウェーデンでの臨床経験から考えること。
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
115. 熊谷厚志，井田智，松尾宏美，伊沢由紀子，松下亜由子，川名加織，高木久美，中屋恵梨香，伊丹優貴子，榎田滋穂，山口彩，岡野亜子，中濱孝志，大橋学，布部創也。
術前化学療法のために胃空腸吻合術を先行した胃癌 3 例の体重変化。
第 12 回日本静脈経腸栄養学会北海道支部例会：札幌市，2019.
116. 熊谷厚志，比企直樹，大橋学，井田智，幕内梨恵，大橋拓馬，磯崎正典，高橋遼，八木秀祐，山口俊晴，佐野武，布部創也。
腹腔鏡下胃切除術における開腹移行例の検討：がん専門病院での 14 年の経験から。
第 57 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2019.
117. 熊谷厚志，比企直樹，布部創也，大橋学，井田智，李基成，大橋拓馬，高橋遼，八木秀祐，磯崎正典，山口俊晴，佐野武。
腹腔鏡下胃切除術を安全に行うには？ 開腹移行例の変遷に見る腹腔鏡下胃切除術の進歩。
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019)：神戸市，2019.
118. 熊谷厚志，入野誠之，神谷諭，速水克，幕内梨恵，井田智，大橋学，布部創也，山口俊晴，佐野武。
スウェーデンでの臨床経験から、これからの日本の外科医のあり方を考える。
第 81 回日本臨床外科学会総会：高知市，2019.
119. 熊谷厚志，井田智，幕内梨恵，李基成，大橋拓馬，高橋遼，八木秀祐，磯崎正典，宗岡悠介，天田塩，太田絵美，大橋学，布部創也。
腹腔鏡下胃切除術の開腹移行例から考える、内視鏡手術の『トラブルシューティング』の意味。
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.
120. 熊谷厚志。
栄養セミナー。
ウエル・カムサポートセンター健康セミナー：藤沢市，2019.
121. 熊谷厚志，井田智，松尾宏美，伊沢由紀子，松下亜由子，川名加織，高木久美，中屋恵梨香，伊丹優貴子，榎田滋穂，山口彩，岡野亜子，幕内梨恵，大橋学，布部創也。

- 早期胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術における術後合併症予測因子としての術前栄養指標と患者体型の意義。
第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会：京都市，2019.
122. 熊谷厚志。
栄養デバイス 1。
第 34 回日本静脈栄養学会学術集会：東京，2019.
123. 熊谷厚志。
NAC。
第 91 回日本胃癌学会総会：沼津市，2019.
124. 熊谷厚志，比企直樹，布部創也，大橋学，井田智，山口俊晴，佐野武。
腹腔鏡下胃切除術における開腹移行例の検討。
第 91 回日本胃癌学会総会：沼津市，2019.
125. 熊谷厚志。
噴門部・接合部腫瘍に対する LECS の実際。
第 19 回腹腔鏡内視鏡合同手術研究会：沼津市，2019.
126. 田島ジェシー雄，布部創也，井田智，熊谷厚志，大橋学，比企直樹，佐野武，今村裕，峯真司，渡邊雅之。
根治切除を行った高齢者胃癌患者における術前栄養状態と予後との関連。
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
127. 田島ジェシー雄，布部創也，井田智，熊谷厚志，大橋学，佐野武，比企直樹。
Stage I 高齢者胃癌患者における術後短期長期予後因子の検討。
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
128. 田島ジェシー雄，布部創也，幕内梨恵，井田智，熊谷厚志，大橋学，佐野武。
高齢者における早期胃癌切除術後の長期予後因子の検討。
第 57 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2019.
129. 田島ジェシー雄，井田智，熊谷厚志，布部創也，大橋学，大竹玲子，八木秀祐，高橋遼，李基成，加納陽介，庄司佳晃，佐野武，比企直樹。
当院における残胃癌の臨床病理学的特徴と予後因子の探索。
第 91 回日本胃癌学会総会：沼津市，2019.
130. 田島ジェシー雄，井田智，大竹玲子，大橋拓馬，高橋遼，八木秀祐，李基成，庄司佳晃，加納陽介，熊谷厚史，大橋学，布部創也。
胃上部 GIST に対する LECS の手術成績と手術手技の工夫。
第 19 回腹腔鏡内視鏡合同手術研究会：沼津市，2019.
131. 磯崎正典，布部創也，大竹玲子，田島ジェシー雄，大橋拓馬，高橋遼，八木秀祐，李基成，庄司佳晃，加納陽介，井田智，熊谷厚志，大橋学，今村裕，峯真司，渡邊雅之，佐野武，比企直樹。
当院における Type1 胃カルチノイドに対する術式の選択。
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
132. 磯崎正典，井田智，熊谷厚志，布部創也，大橋学，佐野武，比企直樹。
4 型胃癌のリンパ節転移と予後。
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
133. 磯崎正典，井田智，幕内梨恵，熊谷厚志，大橋学，布部創也。
4 型胃癌のリンパ節転移と予後。
第 81 回日本臨床外科学会総会：高知市，2019.
134. 磯崎正典，井田智，大竹玲子，田島ジェシー雄，大橋拓馬，高橋遼，八木秀祐，李基成，庄司佳晃，加納陽介，熊谷厚志，布部創也，大橋学，佐野武，比企直樹。
4 型胃癌のリンパ節転移と予後。
第 91 回日本胃癌学会総会：沼津市，2019.
135. 高橋遼，布部創也，八木秀祐，大竹玲子，田島ジェシー雄，大橋拓馬，李基成，庄司佳晃，加納陽介，井田智，熊谷厚志，大橋学，佐野武，比企直樹。

Trastuzumab 併用化学療法後に conversion surgery を施行した HER2 陽性進行胃癌・食道胃接合部癌の化学療法前後における HER2 発現の変化に関する検討。

第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.

136. 高橋遼，熊谷厚志，庄司佳晃，井田智，大橋学，佐野武，布部創也。

腹腔鏡下胃切除における ICG 蛍光法によるセンチネルリンパ節生検および OSNA 法によるリンパ節転移診断。

日本蛍光ガイド手術研究会第 2 回学術集会：京都市，2019.

137. 高橋遼，大橋学，磯崎正典，八木秀祐，大橋拓馬，李基成，井田智，熊谷厚志，布部創也，佐野武。

幽門保存胃切除術における術後胃内容排泄遅延のリスク因子解析。

第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.

138. 高橋遼，大橋学，天田塩，宗岡悠介，磯崎正典，八木秀祐，大橋拓馬，李基成，幕内梨恵，井田智，熊谷厚志，布部創也。

腹腔鏡下幽門保存胃切除術における術後胃内容排泄遅延に関する解析。

第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.

139. 高橋遼，井田智，布部創也，大橋学，佐野武，比企直樹。

腹膜播種または腹水洗浄細胞診陽性胃癌の conversion surgery の治療成績。

第 91 回日本胃癌学会総会：沼津市，2019.

【大腸外科】

1. Akiyoshi, T., Nagasaki, T., Yamaguchi, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M., Sano, T.

Laparoscopic surgery for locally advanced or recurrent rectal cancer.

第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.

2. Akiyoshi, T., Tominaga, T., Nagasaki, T., Yamaguchi, T., Konishi, T., Fukunaga, Y., Ueno, M.

Prognostic value of metastatic lymph node regression grade following neoadjuvant chemoradiotherapy in patients with locally advanced rectal cancer.

2019 European Society of Coloproctology, 14th Scientific & Annual Meeting : Vienna, Austria, 2019.

3. Akiyoshi, T.

日本における側方リンパ節輪郭清の最新動向。4K シンポジウム：Chengdu, China, 2019.

4. Akiyoshi, T.

Laparoscopic surgery for locally recurrent rectal cancer.

8th Asian Robotic and Laparoscopic Camp for Colorectal Surgeons : Shanghai, China, 2019.

5. Akiyoshi, T.

Outcomes of salvage lateral pelvic lymph node dissection for lateral lymph node recurrence in rectal cancer.

8th Asian Robotic and Laparoscopic Camp for Colorectal Surgeons : Shanghai, China, 2019.

6. Akiyoshi, T.

Treatment for advanced colorectal cancer I.

8th Asian Robotic and Laparoscopic Camp for Colorectal Surgeons : Shanghai, China, 2019.

7. Fukunaga, Y., Ueno, M., Nagayama, S., Konishi, T., Akiyoshi, T., Nagasaki, T., Yamaguchi, T., Mukai, T.

Laparoscopic transverse colectomy with D3 lymph node dissection in each location.

第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.

8. Fukunaga, Y.
直腸がんに対する腹腔鏡下側方郭清。
腹腔鏡下胃腸手術 : Suzhou, China, 2019.
9. Konishi, T.
Laparoscopic lateral pelvic node dissection.
44th Annual Meeting of the Korean Society
of Endoscopic & Laparoscopic Surgeons
(KSELS) Seoul, Korea, 2019.
10. Konishi, T.
Laparoscopic lateral pelvic node dissection.
2019 Yonsei Colorectal Cancer International
Symposium) : Seoul, Korea, 2019.
11. Konishi, T.
Eastern experience of CME from Japan.
1st Portsmouth Complete Mesocolic Exci-
sion (CME) Symposium : Portsmouth, UK,
2019.
12. Konishi, T.
Assessing and managing lateral pelvic
lymph nodes : Surgical strategies.
Multidisciplinary International Rectal Can-
cer Society Scientific Symposium : Philadel-
phia, PA, USA, 2019.
13. Konishi, T.
Live demonstration of laparoscopic colorec-
tal surgery.
15th Shanghai International Colorectal
Cancer Symposium : Shanghai, China,
2019.
14. Konishi, T., Tominaga, T., Yamaguchi, T.,
Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Fujimoto, Y.,
Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Different oncologic impact of mesocolic
lymph node metastasis between right and
left colon cancer after curative colectomy :
Results of anatomical mapping of harvest-
ed lymph nodes in 1, 429 patients under-
going D3 dissection.
American Society of Colon & Rectal Sur-
geons (ASCRS) Annual Meeting : Cleve-
land, OH, USA, 2019.
15. Konishi, T.
Neoadjuvant (chemo) radiotherapy with
total mesorectal excision only is not suffi-
cient to prevent lateral local recurrence in
enlarged nodes 等、3 講演。
XII International Conference of Russian
School of Colorectal Surgery : Moscow,
Russia, 2019.
16. Konishi, T.
Mentorship of a cadaver training course of
laparoscopic colorectal surgery.
American Forum MASTERS 2019-COL-
ORECTAL : Orlando, FL, USA, 2019.
17. Konishi, T.
When West meets East, the role of lateral
pelvic lymph node dissection for rectal can-
cer.
2019 CGMH International Symposium on
Colorectal Cancer : Taipei, Taiwan, 2019.
18. Konishi, T.
Improved oncologic outcomes of D3 dis-
section for colon cancer with standardiza-
tion of laparoscopic surgery : results of 10
years experiences at a single cancer cen-
ter.
2019 European Society of Coloproctology,
14th Scientific & Annual Meeting : Vienna,
Austria, 2019.
19. Konishi, T.
Oncologic impact of proximal mesocolic and
superior mesenteric lymph node metastasis
after curative right colectomy with D3 dis-
section : results of prospective anatomical
mapping of harvested lymph nodes.
2019 European Society of Coloproctology,
14th Scientific & Annual Meeting : Vienna,
Austria, 2019.
20. Konishi, T.
1) D3 dissection for right colectomy
2) Tips and tricks of laparoscopic right col-
ectomy with D3 dissection.

- Conference on Colorectal Cancer : Let' s Look from the Right Side : Arkhangelsk, Russia, 2019.
21. Konishi, T.
Lateral pelvic lymph node dissection for rectal cancer in the era of neoadjuvant therapy.
5th China-Japan International GI Expert Meeting : Chengdu, China, 2019.
 22. Konishi, T.
(1) Lateral lymph node dissection in rectal cancer : in favor
(2) Colorectal surgical techniques : Lateral nodal dissection.
39th Congress of European Society of Surgical Oncology (ESSO) Rotterdam, The Netherlands, 2019.
 23. Konishi, T.
Lateral node dissection in rectal cancer.
Seminar at the Morning Surgical Conference : Rotterdam, The Netherlands, 2019.
 24. Konishi, T.
Fluorescence and image guided surgery.
8th Asian Robotic and Laparoscopic Camp for Colorectal Surgeons : Shanghai, China, 2019.
 25. Konishi, T.
Lateral node dissection after nCRT : what to do after shrinkage ?
8th Asian Robotic and Laparoscopic Camp for Colorectal Surgeons : Shanghai, China, 2019.
 26. Konishi, T.
Live surgery I .
8th Asian Robotic and Laparoscopic Camp for Colorectal Surgeons : Shanghai, China, 2019.
 27. Konishi, T.
Pelvic anatomy outside of the TME : lessons from extended surgery.
8th Asian Robotic and Laparoscopic Camp for Colorectal Surgeons : Shanghai, China, 2019.
 28. Konishi, T.
Extended pelvic surgery beyond TME through minimally invasive approach.
2019 Annual Meeting of Chinese Academy of Colorectal Surgery : Beijing, China, 2019.
 29. Konishi, T., Yamaguchi, K., Fukunaga, Y.
Lateral nodal disease : what does it mean to us in Japan in the era of multidisciplinary treatment ? .
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019) : 神戸市, 2019.
 30. Konishi, T.
Safe procedures for laparoscopic TME and beyond.
2019 Annual Meeting of Taiwanese Society of Colon and Rectal Surgeons : Kaohsiung, China, 2019.
 31. Konishi, T.
(1) Surgical Technique : Step by Step How I Do it ?
(2) Unilateral vs. Bilateral LPLND
(3) Complications during LLND
(4) LLND for the recurrent disease after TME.
Masterclass : Rectal Cancer and Lateral Node Dissection : Sao Paulo, Brazil, 2019.
 32. Konishi, T.
Pelvic lymph node dissection.
International Colorectal Disease Symposium 2019 : Hong Kong, 2019.

33. Konishi, T.
Phase II trial of neoadjuvant chemotherapy, chemoradiotherapy and laparoscopic surgery with selective lateral node dissection for poor-risk rectal cancer.
Society of Surgical Oncology 2019 Annual Cancer Symposium (SSO) : San Diego, CA, USA, 2019.
34. Kozuki, R., Shinozaki, E., Osumi, H., Wakatsuki, T., Suenaga, M., Ogura, M., Suzuki, T., Nakayama, I., Takahari, D., Chin, K., Nagasaki, T., Konishi, T., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M., Yamaguchi, K.
A retrospective analysis of the association between perioperative, post adjuvant carcinoembryonic antigen level and prognosis in stage III colorectal cancer.
5th ESMO Asia 2019 Congress : Singapore, 2019.
35. Matsui, S., Fukunaga, Y., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Ueno, M., Sano, T.
Influence of needlescopic surgery on long-term prognosis after laparoscopic rectal cancer surgery.
Association of Coloproctology of Great Britain and Ireland (ACPGBI) Annual Meeting : Dublin, Ireland, 2019.
36. Matsui, S., Fukunaga, Y., Ueno, M., Nagayama, S., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Ueno, M., Yamaguchi, T.
Prognostic value of peritoneal cytology in colorectal cancer.
2019 European Society of Coloproctology, 14th Scientific & Annual Meeting : Vienna, Austria, 2019.
37. Nagaoka, T., Mukai, T., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Nagayama, S., Fukunaga, Y.
Circular stapler size and risk of anastomotic stricture after colorectal anastomosis.
2019 European Society of Coloproctology, 14th Scientific & Annual Meeting : Vienna, Austria, 2019.
38. Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Tominaga, T., Konishi, T., Matsui, S., Nagaoka, T., Fukunaga, Y.
Correlation between prognostic nutritional index and the occurrence of postoperative complications in colon cancer patients undergoing laparoscopic surgery.
2019 European Society of Coloproctology, 14th Scientific & Annual Meeting : Vienna, Austria, 2019.
39. Nagayama, S., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Fukunaga, Y., Nakamura, Y., Ueno, M.
The application of circulating tumor DNA analysis for detecting minimal residual disease and predicting recurrence in colorectal cancer patients.
第27回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019) : 神戸市, 2019.
40. Yamaguchi, T.
Robotic surgery for rectal cancer.
5th Huaxia minimally invasive surgery forum in Yanjiao city : Yanjiao, China, 2019.
41. Yamaguchi, T.
Robotic surgery for rectal cancer.
Forum on Deep Blockade and Minimally Invasive Techniques in Enhanced Recovery After Surgery for Colorectal Cancer : Suzhou, China, 2019.
42. Yamaguchi, T.
Robotic extralevator abdominoperineal resection with en-block multivisceral resection and lateral node dissection for locally advanced rectal cancer.
8th Asian Robotic and Laparoscopic Camp for Colorectal Surgeons : Shanghai, China, 2019.

43. 上野雅資.
後腹膜腫瘍.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，
2019.
44. 中西良太，秋吉高志，江本慎，平山和義，吉岡
聡，北川祐資，本間理，永岡智之，松井信平，富
永哲郎，南宏典，宮成淳，山口智弘，長壽寿矢，
小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅
資.
当院における骨盤内臓摘除術の適応と治療成
績.
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，
2019.
45. 中西良太，中屋恵梨香，小西毅，山口智弘，長
壽寿矢，秋吉高志，長山聡，福長洋介，比企直
樹，上野雅史.
Covering ileostomy を伴う直腸切除術におけ
る High output syndrome と栄養状態悪化の
現状と対策.
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，
2019.
46. 中西良太，小西毅，向井俊貴，山口智弘，長壽
寿矢，秋吉高志，長山聡，福長洋介，上野雅資.
がん研有明病院大腸外科における内視鏡技術認
定取得を目指した教育システム.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，
2019.
47. 中西良太，秋吉高志，福長洋介，向井俊貴，山
口智弘，長壽寿矢，小西毅，長山聡，上野雅資.
下部直腸癌に対する TaTME 併用腹腔鏡 ISR の
手技と短期成績.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，
2019.
48. 吉岡聡，藤本佳也，松浦信子，石川加奈子，藤
浪文子，上野雅資.
ストーマ近傍に発生した局所進行異時性大腸癌
に対し、腹壁再建を伴う根治切除術を施行した
2 例.
第 36 回日本ストーマ・排泄リハビリテーショ
ン学会総会：大阪市，2019.
49. 向井俊貴，山口智弘，長壽寿矢，秋吉高志，小
西毅，長山聡，上野雅資，福長洋介.
cT4b 結腸癌に対する腹腔鏡下手術の治療成績.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，
2019.
50. 富永哲郎，秋吉高志，長壽寿矢，山口智弘，藤
本佳也，小西毅，長山聡，福長洋介，上野雅資.
直腸癌術前化学放射線療法におけるリンパ節
regression の予後に対する影響.
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，
2019.
51. 富永哲郎，秋吉高志，長壽寿矢，山口智弘，小
西毅，長山聡，福長洋介，上野雅資.
直腸癌術前化学放射線療法施行症例における可
溶性 PD-L1 値と予後に関する検討.
第 74 回日本大腸肛門病学会学術集会：東京，
2019.
52. 富永哲郎，長壽寿矢，秋吉高志，山口智弘，小
西毅，長山聡，福長洋介，上野雅資.
腹腔鏡下結腸切除患者における術前 Prognostic
nutritional index と術後合併症に関する検討.
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW
2019)：神戸市，2019.
53. 小倉淳司，秋吉高志，山本智理子，河内洋，石
川雄一，森誠一，大庭幸治，柳野正人，福長洋
介，上野雅資.
直腸癌における術前化学放射線療法と PD-L1
の発現及び CD8 陽性 T 細胞の関係性について.
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，
2019.
54. 小西毅.
局所進行下部直腸癌に対する CRT vs 側方郭
清.
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，
2019.
55. 小西毅，向井俊樹，山口智弘，長壽寿矢，秋吉
高志，長山聡，福長洋介，上野雅資.
JCOG0212 は予防的側方郭清を支持したの
か？：両側予防郭清を標準としない立場からの
解釈と提言.

- 第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
56. 小西毅.
局所進行・再発直腸癌に対する手術手技.
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
57. 小西毅.
直腸癌の集学的治療と Watch & Wait：外科医はどう貢献すべきか.
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
58. 小西毅.
腹腔鏡下側方リンパ節郭清：上から、下から、横から：困難症例の対処.
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
59. 小西毅.
超低位吻合から拡大手術.
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
60. 小西毅.
マルチアングルから見た骨盤手術解剖：鏡視下骨盤手術の解剖と展開のコツ：直腸外科の立場から.
第 16 回日本婦人科がん会議：東京，2019.
61. 小西毅.
骨盤内視鏡外科：Challenge for innovation.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.
62. 小西毅.
局所進行下部直腸癌に対する術前治療の選択と治療成績.
第 90 回大腸癌研究会：京都市，2019.
63. 山口智弘.
直腸がん手術におけるロボットの有用性と手術のコツ.
第 15 回名古屋消化器外科セミナー 名古屋市，2019.
64. 山口智弘.
技術認定医合格を目指して.
6th JUNTENDO UNIVERSITY Colorectal Video Conference：東京，2019.
65. 山口智弘.
ロボット手術導入時の工夫.
第 11 回腹腔鏡下大腸切除研究会セミナー：国頭郡恩納村，2019.
66. 山口智弘.
直腸癌手術におけるモダリティーの選択：開腹・腹腔鏡・ロボット.
第 44 回日本外科系連合学会学術集会：金沢市，2019.
67. 山口智弘.
直腸癌に対するロボット手術導入時の工夫.
第 51 回埼玉大腸疾患研究会：さいたま市，2019.
68. 山口智弘.
大腸切除術に対する対空内吻合導入を目指して.
1st Intracorporeal anastomosis hands-on seminar：東京，2019.
69. 山口智弘.
ロボット手術を安全に導入するためには？.
県北周術期研究会：医療の安全を考える会：大田原市，2019.
70. 山口智弘.
悩みを解消し能力を引き出す！ ロボット支援下直腸切除術の工夫.
第 81 回日本臨床外科学会総会：高知市，2019.
71. 山口智弘，鈴木伸明.
直腸・肛門.
第 81 回日本臨床外科学会総会：高知市，2019.
72. 山口智弘.
大腸悪性：直腸癌ロボット支援手術 1.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.

73. 山口智弘, 田島ジェシー雄, 江本慎, 中西良太, 平山和義, 永岡智之, 松井信平, 村橋賢, 向井俊貴, 長壽壽矢, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 上野雅資, 福長洋介.
直腸癌に対するロボット支援手術の問題点をどう解決するか?
第 32 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2019.
74. 山口智弘.
直腸癌に対する腹腔鏡下側方リンパ節郭清の適応、予後.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2019.
75. 山口智弘.
結腸癌体腔内吻合から直腸癌ロボット手術: 明日からの診療に役立つ手技のコツ.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2019.
76. 山口智弘, 富永哲郎, 永岡智之, 本間理, 松井信平, 南宏典, 宮成淳, 長壽壽矢, 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資.
当院におけるロボット支援下直腸癌手術の導入と実際.
第 11 回日本ロボット外科学会: 名古屋市, 2019.
77. 山口智弘.
局所進行下部直腸癌に対する術前治療の選択と治療成績.
第 90 回大腸癌研究会: 京都市, 2019.
78. 山口智弘.
直腸癌に対する最新の手術手技について.
武庫川大腸癌セミナー: 尼崎市, 2019.
79. 山口智弘.
保険適用となったロボット支援下直腸がん手術.
第 3 回がん研・海上ビル診療所合同セミナー: 東京, 2019.
80. 山口智弘.
ロボット手術の実際と今後の展望.
第 4 回 MIOS (Minimally Invasive Ophthalmic Surgery) の会: 横浜市, 2019.
81. 山口智弘.
超音波凝固切開装置の原理と使用法.
Tokyo SoTM Conference For Colorectal Surgery: 東京, 2019.
82. 平山和義, 長壽壽矢, 南宏典, 山口智弘, 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資.
当院における閉塞性大腸癌に対する術前ステント留置症例の検討.
第 74 回日本消化器外科学会総会: 東京, 2019.
83. 平山和義, 長山聡, 中西良太, 江本慎, 田島ジェシー雄, 永岡智之, 松井信平, 村橋賢, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽壽矢, 秋吉高志, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介.
S 状結腸多発癌手術時に偶然発見された閉鎖孔ヘルニアの 1 例.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2019.
84. 本間理, 福長洋介, 石塚直樹, 永岡智之, 松井信平, 富永哲郎, 南宏典, 宮成淳, 山口智弘, 長壽壽矢, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 上野雅資.
層別化解析を用いた直腸癌手術における経肛門ドレーンの検討.
第 119 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2019.
85. 本間理, 千野晶子, 井出大資, 福長洋介, 岸原輝仁, 上野雅資, 五十嵐正広, 斎藤彰一, 藤崎順子.
直腸癌術後吻合部狭窄に対する Radial incision and cutting method (RIC) の安全性・有効性に関する検討.
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019): 神戸市, 2019.
86. 村橋賢, 秋吉高志, 前佛均.
術前治療を施行した進行直腸癌症例を用いた cell free DNA の経時的変化と治療効果予測.
第 119 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2019.

87. 村橋賢, 秋吉高志, 前佛均, 長壽寿矢, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資.
術前治療を施行した進行直腸癌症例を用いた ctDNA の経時的変化と病理学的治療効果の関連解析.
第 74 回日本消化器外科学会総会: 東京, 2019.
88. 村橋賢, 秋吉高志, 前佛均, 上野雅資, 佐野武, 野田哲生.
術前治療を施行した進行直腸癌を用いた定量的 ctDNA 解析と治療効果予測.
第 74 回日本大腸肛門病学会学術集会: 東京, 2019.
89. 松井信平, 福長洋介, 上野雅資, 長山聡, 小西毅, 秋吉高志, 藤本佳也, 長壽寿矢, 山口智弘, 佐野武.
腹腔鏡下大腸切除手術における needlescopic surgery の長期予後に与える影響.
第 119 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2019.
90. 松井信平, 福長洋介, 上野雅資, 長山聡, 小西毅, 秋吉高志, 長壽寿矢, 山口智弘, 佐野武.
原発性大腸癌における腹水細胞診の長期予後に与える影響
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019): 神戸市, 2019.
91. 松井信平, 福長洋介, 上野雅資, 長山聡, 小西毅, 秋吉高志, 長壽寿矢, 山口智弘, 向井俊貴.
虫垂腫瘍に対する腹腔鏡手術.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2019.
92. 永岡智之, 小西毅, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資.
DST 吻合における小径および大径吻合器の安全性の比較検討.
第 119 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2019.
93. 永岡智之, 秋吉高志, 山口智弘, 長壽寿矢, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資.
他臓器浸潤結腸癌に対する腹腔鏡下手術の安全性.
第 74 回日本消化器外科学会総会: 東京, 2019.
94. 永岡智之, 福長洋介, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 上野雅資.
当科における腹腔鏡下直腸癌術後の縫合不全回避の試み.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2019.
95. 江本慎, 福長洋介, 北川祐資, 吉岡聡, 平山和義, 中西良太, 永岡智之, 本間理, 松井信平, 富永哲郎, 南宏典, 宮成淳, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 上野雅資.
腹腔鏡下結腸癌手術後の吻合別短期成績の検討.
第 119 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2019.
96. 江本慎, 福長洋介, 富永哲郎, 平山和義, 中西良太, 永岡智之, 松井信平, 村橋賢, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 上野雅資.
大腸癌術後の異時性傍大動脈リンパ節転移切除症例の検討.
第 81 回日本臨床外科学会総会: 高知市, 2019.
97. 江本慎, 福長洋介, 平山和義, 中西良太, 永岡智之, 田島ジェシー雄, 松井信平, 村橋賢, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 上野雅資.
横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術における吻合別短期および長期成績の検討.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2019.
98. 深田浩志, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資.
脾彎曲部進行結腸癌に対する腹腔鏡下手術の手法と治療成績.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2019.
99. 清住雄希, 福長洋介, 向井俊貴, 長壽寿矢, 山口智弘, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 上野雅資.

- 直腸 NET の術前検査におけるリンパ節転移診断に関する検討。
第 7 回日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会：東京，2019.
100. 田島ジェシー雄，長壽寿矢，村橋賢，平山和義，江本慎，中西良太，永岡智之，松井信平，向井俊貴，山口智弘，秋吉高志，小西毅，長山聡，上野雅資，福長洋介。
胃大腸重複癌に対する腹腔鏡下同時切除術の検討。
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.
101. 福長洋介。
大腸腫瘍に対する LECS の可能性。
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2019.
102. 福長洋介。
腹腔鏡下直腸癌手術：適切な AW 確保のために。
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
103. 福長洋介。
進行横行結腸癌に対する手術手技のコツと工夫。
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
104. 福長洋介。
大腸癌に対する Needlescopic surgery。
8th Reduced Port Surgery Forum：東京，2019.
105. 福長洋介，上野雅資，長山聡，小西毅，秋吉高志，長壽寿矢，山口智弘，向井俊貴，松井信平，三城弥範，福岡宏倫。
当院における大腸癌に対する Needlescopic surgery の治療成績。
8th Reduced Port Surgery Forum：東京，2019.
106. 福長洋介，斎藤彰一，千野晶子，井出大資，五十嵐正広，為我井芳郎，長壽寿矢，鈴木神祐，鉾之原健太郎。
当院における大腸腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術。
第 20 回腹腔鏡内視鏡合同手術研究会：神戸市，2019.
107. 福長洋介。
直腸癌手術での縫合不全回避。
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.
108. 秋吉高志，中西良太，江本慎，平山和義，北川祐資，吉岡聡，本間理，永岡智之，松井信平，富永哲郎，南宏典，宮成淳，山口智弘，長壽寿也，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資。
Preoperative chemoradiotherapy for advanced low rectal cancer : Current status and future perspective.
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
109. 秋吉高志。
直腸：化学放射線療法：1。
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
110. 秋吉高志。
下部進行直腸癌に対する側方郭清の是非 1。
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
111. 秋吉高志。
腹腔鏡下側方リンパ節郭清：Transanal approach & laparoscopic。
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
112. 秋吉高志。
大腸 29。
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019)：神戸市，2019.
113. 秋吉高志，上原圭介。
cT4b 結腸癌に対する腹腔鏡下手術の適応、治療成績。
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.

114. 秋吉高志.
大腸悪性：cT4b 結腸癌：適応・治療成績
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，
2019.
115. 秋吉高志，小西毅，山口智弘，長壽寿矢，福長
洋介，上野雅資.
局所進行下部直腸癌における術前放射線（化学）
療法の有無による局所再発率及び局所再発部位
の相違.
第 90 回大腸癌研究会：京都市，2019.
116. 藤本佳也.
大腸手術 1.
第 74 回日本大腸肛門病学会学術集会：東京，
2019.
117. 藤本佳也，高橋俊二，阿江啓介，友松純一，石
川雄一，高澤豊，植野映子，角美奈子，松本誠
一.
ストーマ合併症（傍ストーマヘルニア）に対す
る手術（Lap-Sugarbaker 法）.
第 36 回日本ストーマ・排泄リハビリテーシ
ョン学会総会：大阪市，2019.
118. 鉾之原健太郎，西田尚弘，三吉範克，高橋秀和，
原口直紹，畑泰司，松田宙，水島恒和，森正樹，
土岐祐一郎.
MSI 大腸癌の予後に関連する遺伝子の同定.
第 57 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，
2019.
119. 鉾之原健太郎，秋吉高志，向井俊貴，山口智弘，
長壽寿矢，小西毅，長山聡，福長洋介，上野雅
資.
当院における前立腺癌の既往を有する直腸癌症
例に対する腹腔鏡下根治切除の手術成績.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，
2019.
120. 長山聡.
基本の手技を極める！腹腔鏡下 S 状結腸・直腸
切除術のピットフォール.
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，
2019.
121. 長山聡，清谷一馬，建智博，山口智弘，長壽
寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，福長洋介，上
野雅資.
癌特異的抗原の効率的な同定とそれらを標的と
した免疫治療戦略の開発.
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，
2019.
122. 長山聡.
大腸癌の転移・再発をきたす進化の選択圧につ
いて.
第 40 回癌免疫外科研究会：金沢市，2019.
123. 長山聡，山口智弘，長壽寿矢，秋吉高志，小西
毅，藤本佳也，福長洋介，上野雅資.
直腸癌手術に情熱を注いだ偉大なる先人たち.
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，
2019.
124. 長山聡，岡本拓也，八尾良司.
大腸癌発生と薬剤感受性における IFN / STA
シグナル伝達系の関与.
第 78 回日本癌学会学術総会：京都市，2019.
125. 長山聡.
大腸癌の診断・再発予測マーカーとしての
ctDNA の有用性.
第 57 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，
2019.
126. 長山聡.
大腸悪性：直腸癌縫合不全 2.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，
2019.
127. 長山聡，向井俊貴，山口智弘，長壽寿矢，秋吉
高志，小西毅，上野雅資，福長洋介.
腹腔鏡下結腸右半切除術における D3 リンパ節
郭清の定型化.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，
2019.
128. 長壽寿矢，秋吉高志，富永哲郎，松井信平，山
口智弘，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，
上野雅資.
当院における局所進行下部直腸癌に対する治療
戦略.

第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.

129. 長壽寿矢，秋吉高志，山口智弘，小西毅，長山聡，福長洋介，上野雅資.

当院における側方リンパ節郭清症例の治療成績.

第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.

130. 長壽寿矢，秋吉高志，向井俊貴，山口智弘，小西毅，長山聡，福長洋介，上野雅資.

当院における進行下部直腸癌に対する治療戦略.

第 74 回日本大腸肛門病学会学術集会：東京，2019.

131. 長壽寿矢.

知っておきたい腹腔鏡下直腸切除のコツとピットフォール：TME の基本手技からアドバンス症例まで.

第 74 回日本大腸肛門病学会学術集会：東京，2019.

132. 長壽寿矢，秋吉高志，福長洋介，向井俊貴，山口智弘，小西毅，長山聡，村橋賢，松井信平，永岡智之，江本慎，中西良太，平山和義，上野雅資.

当院における腹腔鏡下側方リンパ節郭清の治療成績.

第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.

【肝胆膵外科】

1. Arakaki, M., Inoue, Y., Ono, Y., Sato, T., Mise, Y., Ito, H., Takahashi, Y.

The efficacy of perioperative nutrition management and preoperative serum prealbumin on long-term outcomes after pancreatectomy.

第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会：高松市，2019.

2. Inoue, Y., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.

Paradigm shift in dissection of pancreatic

surgery provided by artery-first approach.

Lithuanian Society of Surgeons Congress : Vilnius, Lithuania, 2019.

3. Inoue, Y., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Mise, Y., Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.

Neoadjuvant therapy using Gem+nab-paclitaxel for borderline resectable pancreatic cancers.

第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会：高松市，2019.

4. Inoue, Y., Ono, Y., Sato, T., Mise, Y., Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.

Tailored pancreaticoduodenectomy- a case presentation with SMA-LV-2 and celiac-hepatic artery LV-3 dissection for an advanced pancreatic body cancer.

第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会：高松市，2019.

5. Inoue, Y., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.

Various benefits of multidisciplinary treatment using GEM+nab-paclitaxel for borderline resectable pancreatic cancers.

31st World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists, and Oncologists (IASGO) : Bangkok, Thailand, 2019.

6. Inoue, Y., Ito, H., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Takahashi, Y.

Standardized technique of distal pancreatectomy with celiac axis resection : Tricks to achieve zero mortality over 53 cases.

Annual Meeting of Americas Hepato-Pancreato-Biliary Association (AHPBA) : Miami, FL, USA, 2019.

7. Irie, S., Inoue, Y., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Mise, Y., Ito, H., Takahashi, Y.

The safe dissection based on jejunal veins anatomy.

第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会：高松市，2019.

8. Irie, S., Takahashi, Y., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Inoue, Y., Mise, Y.
The surgical technique of hepatopancreaticoduodenectomy with combined resection of portal vein and hepatic artery for biliary cancer and gallbladder cancer.
第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会：高松市，2019.
9. Ito, H., Takahashi, Y., Ono, Y., Sato, T., Mise, Y., Inoue, Y., Saiura, A.
Hepato-pancreaticoduodenectomy (HPD) for perihilar cholangiocarcinoma.
Society for Surgery of the Alimentary Tract (SSAT) 60th Annual Meeting : San Diego, CA, USA, 2019.
10. Ito, H., Takemura, N., Ono, Y., Sato, T., Mise, Y., Inoue, Y., Takahashi, Y.
Gastric cancer liver metastasis : optimal management for oligometastatic disease.
第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会：高松市，2019.
11. Ito, H., Saiura, A., Ono, Y., Sato, T., Mise, Y., Inoue, Y., Takahashi, Y.
Pancreatic neuroendocrine tumors : Role of microscopic lymphatic invasion (LI) in risk-stratification for disease recurrence.
第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会：高松市，2019.
12. Ito, H., Ono, Y., Sato, T., Mise, Y., Inoue, Y., Takahashi, Y.
Pancreatic neuroendocrine tumors : Role of microscopic lymphatic invasion (LI) in risk-stratification for disease recurrence.
31st World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists, and Oncologists (IASGO) : Bangkok, Thailand, 2019.
13. Ito, H.
Left hepatectomy with extrahepatic bile duct resection for perihilar cholangiocarcinoma.
Clinical Congress 2019 American College of Surgeons : San Francisco, CA, USA, 2019.
14. Ito, H., Takemura, N., Ono, Y., Sato, T., Mise, S., Inoue, Y., Takahashi, Y., Saiura, A.
Gastric cancer liver metastasis : Optimal management for oligo-metastatic disease.
Gastrointestinal Cancers Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI) : San Francisco, CA, USA, 2019.
15. Ito, H., Ono, Y., Sato, T., Mise, Y., Inoue, Y., Takahashi, Y., Saiura, A.
Modified distal pancreatectomy with celiac artery resection (DP-CAR) for locally advanced pancreatic cancer.
Annual Meeting of Americas Hepato-Pancreato-Biliary Association (AHPBA) : Miami, FL, USA, 2019.
16. Kuroki, N., Inoue, Y., Ono, Y., Sato, T., Mise, Y., Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.
Relationship between depth of invasion and lymph node metastases of ampullary cancer in terms of implications of laparoscopic pancreaticoduodenectomy.
第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会：高松市，2019.
17. Kuroki, N., Mise, Y., Ono, Y., Sato, T., Inoue, Y., Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.
Tumor volume change in 3D imaging software well predicts the chance of conversion hepatectomy in patients with unresectable colorectal liver metastases.
第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会：高松市，2019.
18. Mise, Y., Omichi, K., Ito, H., Ono, Y., Sato, T., Inoue, Y., Takahashi, Y., Saiura, A.
Aggressive surgery for highly advanced colorectal liver metastases.

第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会：高松市，2019.

19. Mise, Y., Hasegawa, K., Oba, M., Yamaguchi, K., Uetake, H., Yoshino, T., Morita, S., Takahashi, K., Unno, M., Shimada, Y., Muro, K., Yoshida, K., Mori, M., Baba, H., Shimada, M., Saiura, A., Matsumura, M., Ishiguro, K., Sugihara, K., Kokudo, N.
EXPERT study : Randomized phase III trial of radical surgery and postoperative mFOLFOX6 versus perioperative mFOLFOX6 plus cetuximab in patients with KRAS wild-type resectable colorectal liver metastases (CLMs).
Gastrointestinal Cancers Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI) : San Francisco, CA, USA, 2019.
20. Miyashita, M., Takahashi, Y., Ono, Y., Sato, T., Mise, Y., Inoue, Y., Ito, H., Saiura, A.
Pancreaticoduodenectomy for periampullary cancer after hepatobiliary resection ; Four cases report.
第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会：高松市，2019.
21. Oba, A., Inoue, Y., Sato, T., Miyashita, M., Arakaki, M., Ushida, Y., Kuroki, N., Omichi, K., Ono, Y.
The role of distal pancreatectomy with celiac axis resection (DP-CAR) for advanced pancreatic cancer in the era of modern therapeutic regimens : Is it safe and feasible?
第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会：高松市，2019.
22. Oba, A., Inoue, Y., Miyashita, M., Arakaki, M., Ushida, Y., Kuroki, N., Omichi, K., Ono, Y., Sato, T., Mise, Y., Ito, H., Saiura, A., Takahashi, Y.
Treatment strategy for radiologically occult metastatic pancreatic cancer.

第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会：高松市，2019.

23. Omichi, K., Inoue, Y., Mise, Y., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.
The difference of the degree of hypertrophy between portal vein embolization followed by hepatectomy and portal vein ligation and embolization in staged hepatectomy.
第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会：高松市，2019.
24. Omichi, K., Inoue, Y., Mise, Y., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Saiura, A., Takahashi, Y.
Selection of appropriate treatment for primary hepatocellular carcinoma.
第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会：高松市，2019.
25. Ono, Y., Inoue, Y., Mise, Y., Oba, A., Irie, S., Omichi, K., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.
Evaluation of splenic vein pressure to predict sinistral portal hypertension after pancreaticoduodenectomy with splenic vein resection.
第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会：高松市，2019.
26. Ono, Y., Inoue, Y., Mise, Y., Oba, A., Irie, S., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.
Optimal technique for splenic vein reconstruction after pancreaticoduodenectomy with portal vein resection for pancreatic cancer.
第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会：高松市，2019.
27. Ono, Y., Saiura, A., Matsueda, K., Hiratsuka, M., Inoue, Y., Sato, T., Ito, H., Saiura, A.
Evaluation of splenic vein pressure to predict sinistral portal hypertension after pancreaticoduodenectomy with splenic vein

- resection. Who need splenic vein reconstruction?
31st World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists, and Oncologists (IASGO) : Bangkok, Thailand, 2019.
28. Sato, T., Arakaki, M., Ushida, Y., Miyashita, H., Kuroki, N., Omichi, K., Oba, A., Irie, S., Ono, Y., Mise, S., Inoue, Y., Ito, H., Takahashi, Y.
Fibrin sealant patching method for liver cut surface in laparoscopic hepatectomy.
第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会 : 高松市, 2019.
29. Sato, T., Arakaki, M., Ushida, Y., Miyashita, M., Kuroki, N., Omichi, K., Oba, A., Irie, S.
Initial experience of laparoscopic distal pancreatectomy with en bloc lymph node dissection for pancreatic cancer.
第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会 : 高松市, 2019.
30. Takahashi, Y., Ito, H., Inoue, Y., Mise, Y., Ono, Y., Sato, T., Irie, S., Oba, A., Omichi, K., Kuroki, N., Ushida, Y., Miyashita, M., Arakaki, M., Saiura, A.
Conversion surgery for initially unresectable perihilar biliary tract cancer.
第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会 : 高松市, 2019.
31. Ushida, Y., Ito, H., Mise, Y., Ono, Y., Sato, T., Oba, A., Omichi, K., Takahashi, Y.
Conversion surgery for initially unresectable pancreatic cancer.
第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会 : 高松市, 2019.
32. Ushida, Y., Inoue, Y., Oba, A., Ito, H., Mise, Y., Ono, Y., Sato, T., Omichi, K., Takahashi, Y.
Survival analysis of patients with resectable pancreatic ductal adenocarcinoma.
第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会 : 高松市, 2019.
33. 三瀬祥弘, 大道清彦, 佐藤崇文, 小野嘉大, 井上陽介, 高橋祐, 齋浦明夫.
進行大腸癌肝転移に対する手術成績の変遷.
第 119 回日本外科学会定期学術集会 : 大阪市, 2019.
34. 三瀬祥弘, 大道清彦, 伊藤寛倫, 井上陽介, 佐藤崇文, 小野嘉大, 高橋祐, 齋浦明夫.
高度進行大腸癌肝転移に対する手術治療成績の進歩.
第 74 回日本消化器外科学会総会 : 東京, 2019.
35. 三瀬祥弘.
3D シミュレーションを用いた仮想肝切除により肝臓手術はいかに進化したか.
第 25 回肝血流動態機能イメージ研究会 : 東京, 2019.
36. 中川茂樹, 崔尚仁, 宮下真美子, 風見由祐, 新垣碧, 牛田雄, 野村亮介, 黒木直美, 大道清彦, 小野嘉大, 佐藤崇文, 井上陽介, 馬場秀夫, 高橋祐.
膵頭十二指腸切除術後合併症を軽減する為の至適ドレナージの検討.
第 81 回日本臨床外科学会総会 : 高知市, 2019.
37. 中川茂樹, 宮下真美子, 風見由祐, 黒木直美, 大道清彦, 小野嘉大, 佐藤崇文, 井上陽介, 高橋祐.
腹腔鏡下脾温存体尾部切除術の手技と成績.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会 : 横浜市, 2019.
38. 井上陽介.
膵頭十二指腸切除の癌郭清 : 来るべき MIS 保険収載に向けて.
第 11 回膵臓内視鏡外科研究会 : 横浜市, 2019.
39. 井上陽介, 齋浦明夫, 大庭篤志, 川勝章司, 小野嘉大, 佐藤崇文, 三瀬祥弘, 伊藤寛倫, 高橋祐.

- Pancreaticoduodenectomy with supracolic anterior artery-first approach for pancreatic cancers.
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
40. 井上陽介，大庭篤志，小野嘉大，佐藤崇文，三瀬祥弘，伊藤寛倫，佐々木隆，尾阪将人，笹平直樹，高橋祐。
GEM-nabPTX による Borderline Resectable 膵癌術前治療のメリット。
第 50 回日本膵臓学会大会：東京，2019.
41. 井上陽介。
オペレコを極める：膵頭部 BR-A 膵癌に対する SSPPD。
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
42. 井上陽介，大庭篤志，小野嘉大，佐藤崇文，三瀬祥弘，伊藤寛倫，高橋祐，齋浦明夫。
膵体部局所進行癌に対する DP-CAR：今後も続けるべき術式なのか？
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
43. 井上陽介，平塚真生子，小野嘉大，佐藤崇文，伊藤寛倫，高橋祐，松田陽子，齋浦明夫。
Borderline resectable 膵頭部癌に対する術前化学療法は、切除術式を変えるのか？
第 57 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2019.
44. 井上陽介。
SMA 直上～左側で膵を切りたい時にどうするか？ LV-1 SMA 郭清 +Pancreas last 法による腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術。
第 11 回膵臓内視鏡外科研究会：横浜市，2019.
45. 井上陽介。
膵頭十二指腸切除の癌郭清：来るべき MIS 保険収載に向けて。
第 11 回膵臓内視鏡外科研究会：横浜市，2019.
46. 井上陽介，佐藤崇文，小野嘉大，高橋祐。
腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術導入の現状と今後の課題。
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.
47. 伊藤寛倫，竹村信行，佐藤崇文，小野嘉大，三瀬祥弘，井上陽介，高橋祐，齋浦明夫。
Gastric cancer liver metastasis : Updated our experience and optimal selection criteria for resection.
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
48. 伊藤寛倫，村松万里江，宮下真美子，小野嘉大，佐藤崇文，三瀬祥弘，井上陽介，高橋祐，齋浦明夫，前佛均。
悪性胆道閉塞患者に対する胆汁リキッドバイオペシー。
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
49. 伊藤寛倫。
消化管外科領域における新規バイオマーカー 4 (肝胆膵)。
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，2019.
50. 伊藤寛倫，村松万里江，宮下真美子，小野嘉大，佐藤崇文，井上陽介，高橋祐，前佛均。
胆汁リキッドバイオペシーを用いた胆道狭窄患者のがん診断。
第 57 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2019.
51. 佐藤崇文，ほか。
膵頭部の動脈アーケードを温存した腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術。
第 11 回膵臓内視鏡外科研究会：横浜市，2019.
52. 佐藤崇文，井上陽介，宮下真美子，黒木直美，大道清彦，小野嘉大，高橋祐。
膵癌に対する後腹膜一括郭清を伴う腹腔鏡下膵体尾部切除術。
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.

53. 入江彰一.
オペレコを極める：脾切除における術前術後
シェーマの重要性について.
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，
2019.
54. 大庭篤志，佐藤崇文，井上陽介，中瀬古裕一，
入江彰一，大道清彦，伊藤寛倫，小野嘉大，三
瀬祥弘，高橋祐，齋浦明夫.
左胃動脈再建／温存腹腔動脈幹合併脾体尾部切
除の臨床的意義の検討.
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，
2019.
55. 大道清彦，井上陽介，三瀬祥弘，小野嘉大，佐
藤崇文，伊藤寛倫，高橋祐，齋浦明夫.
至適な系統的切除範囲の選択：27 年間の初発
肝細胞癌切除症例の解析から亜区域切除の有効
性を考える.
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，
2019.
56. 大道清彦，三瀬祥弘，黒木直美，大庭篤志，入
江彰一，宮下真美子，牛田雄太，新垣碧，小野
嘉大，佐藤崇文，伊藤寛倫，井上陽介，齋浦明
夫，高橋祐.
進行大腸癌肝転移に対する積極的な外科治療の
意義.
第 55 回日本肝癌研究会：東京，2019.
57. 大道清彦，三瀬祥弘，黒木直美，大庭篤志，小
野嘉大，佐藤崇文，伊藤寛倫，井上陽介，高橋
祐，齋浦明夫.
切除不能大腸癌肝転移における当院の Conver
sion hepatectomy の現状：前向き登録症例の
解析.
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，
2019.
58. 大道清彦，井上陽介，小野嘉大，佐藤崇文，高
橋祐.
当院における大腸癌両葉多発肝転移に対する二
期的肝切除例の検討.
第 81 回日本臨床外科学会総会：高知市，
2019.
59. 大道清彦，渡邊元己，石沢武彰，伊藤寛倫，三
瀬祥弘，井上陽介，齋浦明夫，高橋祐.
門脈塞栓術と 2 期的肝切除の初回肝切除時に行
う門脈塞栓・結紮の肝肥大率の検討.
第 25 回肝血流動態機能イメージ研究会：東京，
2019.
60. 宮下真美子，高橋祐，小野嘉大，佐藤崇文，三
瀬祥弘，井上陽介，伊藤寛倫，齋浦明夫.
胆道癌肝切除における肝管空腸吻合縫合不全の
検討.
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，
2019.
61. 宮下真美子，井上陽介，小野嘉大，佐藤崇文，
伊藤寛倫，三瀬祥弘，齋浦明夫，高橋祐.
診断に苦慮した脾頭部腫瘍の 1 例.
第 853 回外科集談会：東京，2019.
62. 宮下真美子，井上陽介，小野嘉大，佐藤崇文，
三瀬祥弘，伊藤寛倫，高橋祐，齋浦明夫.
脾体尾部切除後に胃穿孔をきたした一例.
第 50 回日本脾臓学会大会：東京，2019.
63. 宮下真美子，高橋祐，小野嘉大，佐藤崇文，三
瀬祥弘，井上陽介，伊藤寛倫，齋浦明夫.
胆道癌肝切除における胆汁漏の検討.
第 74 回日本消化器外科学会総会：東京，
2019.
64. 宮下真美子，井上陽介，牛田雄太，風見由祐，
野村亮介，黒木直美，大庭篤志，大道清彦，中
川茂樹，小野嘉大，佐藤崇文，高橋祐.
肝細胞癌破裂及び卵巣転移疑いに対して ICG 蛍
光イメージング併用肝切除を施行した 1 例.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，
2019.
65. 小野嘉大，井上陽介，大庭篤志，入江彰一，中
瀬古裕一，大道清彦，佐藤崇文，三瀬祥弘，伊
藤寛倫，高橋祐，齋浦明夫.
脾癌手術における左側門脈圧亢進症予防のため
の脾静脈再建の手技と適応.
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，
2019.

66. 小野嘉大, 齋浦明夫, 大庭篤志, 入江彰一, 佐藤崇文, 三瀬祥弘, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐.
脾静脈合併切除を伴う脾頭十二指腸切除における脾静脈再建の手技と意義.
第 73 回手術手技研究会 : 東京, 2019.
67. 小野嘉大, 井上陽介, 高橋祐, 三瀬祥弘, 大庭篤志, 入江彰一, 佐藤崇文, 大道清彦, 伊藤寛倫, 齋浦明夫.
Stage I 脾癌の予後と再発形式に関する検討.
第 74 回日本消化器外科学会総会 : 東京, 2019.
68. 小野嘉大, ほか.
脾尾部癌に対する腹腔鏡下脾体尾部切除術施行中に左尿管損傷を認めた一例.
第 11 回脾臓内視鏡外科研究会 : 横浜市, 2019.
69. 崔尚仁, 井上陽介, 大道清彦, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 高橋祐.
肝門部領域原発の悪性リンパ腫の 1 切除例.
第 853 回外科集談会 : 東京, 2019.
70. 新垣碧, 大庭篤志, 井上陽介, 小野嘉大, 佐藤崇文, 三瀬祥弘, 伊藤寛倫, 高橋祐, 齋浦明夫.
脾癌に対する ICG 蛍光法併用審査腹腔鏡の有有用性の検討.
第 119 回日本外科学会定期学術集会 : 大阪市, 2019.
71. 新垣碧, 井上陽介, 小野嘉大, 佐藤崇文, 三瀬祥弘, 伊藤寛倫, 高橋祐, 齋浦明夫.
脾切除術における周術期栄養介入およびプレアルブミン値を用いた評価の検討.
第 74 回日本消化器外科学会総会 : 東京, 2019.
72. 水野智哉, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 伊藤寛倫, 高橋祐, 齋浦明夫.
中央脾温存脾切除術の手技と要点.
第 119 回日本外科学会定期学術集会 : 大阪市, 2019.
73. 牛田雄太, 井上陽介, 佐藤崇文, 小野嘉大, 三瀬祥弘, 伊藤寛倫, 高橋祐, 齋浦明夫.
切除不能脾癌肝転移に対する Conversion therapy.
第 119 回日本外科学会定期学術集会 : 大阪市, 2019.
74. 牛田雄太, 小野嘉大, 井上陽介, 大庭篤志, 大道清彦, 佐藤崇文, 三瀬祥弘, 伊藤寛倫, 高橋祐, 齋浦明夫.
Oligometastasis を伴う切除不能脾癌に対する Conversion surgery についての検討.
第 74 回日本消化器外科学会総会 : 東京, 2019.
75. 牛田雄太, 高橋祐, 笹平直樹, 尾阪将人, 佐々木隆, 伊藤寛倫, 井上陽介, 佐藤崇文, 小野嘉大.
切除不能肝門部胆管癌・胆嚢癌に対する conversion surgery についての検討.
第 55 回日本胆道学会学術集会 : 名古屋市, 2019.
76. 牛田雄太, 井上陽介, 小野嘉大, 佐藤崇文, 高橋祐.
腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した胆嚢脂肪肉腫の 1 例.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会 : 横浜市, 2019.
77. 野村亮介, 大道清彦, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 井上陽介, 伊藤寛倫, 齋浦明夫, 高橋祐.
術前診断が困難であった脾頭部黄色性肉芽腫症腫瘍の 1 切除例.
第 853 回外科集談会 : 東京, 2019.
78. 風見由祐, 高橋祐, 小野嘉大, 佐藤崇文, 井上陽介.
残脾全摘術後の短期および長期予後に関する検討.
第 81 回日本臨床外科学会総会 : 高知市, 2019.

79. 高橋祐, 伊藤寛倫, 井上陽介, 三瀬祥弘, 小野嘉大, 佐藤崇文, 入江彰一, 大庭篤志, 中瀬古裕一, 大道清彦, 黒木直美, 牛田雄太, 宮下真美子, 新垣碧, 齋浦明夫.
肝門部領域胆管癌, 術後腹腔内出血例の検討と臍周囲リンパ郭清の意義.
第 119 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2019.
80. 高橋祐, 伊藤寛倫, 井上陽介, 小野嘉大, 佐藤崇文, 大庭篤志, 大道清彦, 黒木直美, 牛田雄太, 宮下真美子, 新垣碧, 風見由祐.
肝門部領域胆管癌手術、肝十二指腸間膜および臍周囲リンパ郭清の実際と短期・長期成績.
第 73 回手術手技研究会: 東京, 2019.
81. 高橋祐.
術前ドレナージのベストプラクティス.
第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会: 高松市, 2019.
82. 高橋祐, 伊藤寛倫, 井上陽介, 三瀬祥弘, 小野嘉大, 大庭篤志, 大道清彦, 齋浦明夫.
上中部胆管癌における至適術式は? “右肝動脈切除に注目して”.
第 74 回日本消化器外科学会総会: 東京, 2019.
83. 高橋祐, 笹平直樹, 齋浦明夫.
肝門部領域胆管癌に対する最新の画像診断と治療戦略: 悪性肝門部胆管閉塞に対する術前胆管内ステント (Inside-stent) の安全性と有用性に関する前向き研究.
第 55 回日本胆道学会学術集会: 名古屋市, 2019.
84. 高橋祐, 伊藤寛倫, 井上陽介, 小野嘉大, 佐藤崇文, 大庭篤志, 大道清彦, 黒木直美, 牛田雄太, 宮下真美子, 新垣碧, 風見由祐, 中川茂樹, 野村亮介, 崔尚仁.
切除不能肝門部胆管癌・胆嚢癌に対する Conversion surgery の経験.
第 81 回日本臨床外科学会総会: 高知市, 2019.
85. 高橋祐.
サルコーマ治療における消化器外科の役割.
第 2 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会: 東京, 2019.
86. 黒木直美, 小野嘉大, 井上陽介, 牛田雄太, 宮下真美子, 新垣碧, 大道清彦, 中瀬古裕一, 入江彰一, 大庭篤志, 佐藤崇文, 三瀬祥弘, 伊藤寛倫, 高橋祐, 齋浦明夫.
臍頭十二指腸切除術における神経叢郭清と術後神経性下痢.
第 119 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2019.
87. 黒木直美, 小野嘉大, 井上陽介, 佐藤崇文, 三瀬祥弘, 伊藤寛倫, 高橋祐, 齋浦明夫.
臍頭十二指腸切除術におけるリンパ節郭清と上腸間膜動脈周囲神経叢郭清の意義.
第 74 回日本消化器外科学会総会: 東京, 2019.
88. 黒木直美.
当院における腹腔鏡下臍頭十二指腸切除 (LPD) 視野展開の定型化.
第 11 回臍臓内視鏡外科研究会: 横浜市, 2019.
89. 黒木直美, 宮下真美子, 大道清彦, 佐藤崇文, 小野嘉大, 井上陽介, 高橋祐.
十二指腸乳頭部癌における深達度とリンパ節転移の関係から腹腔鏡下臍頭十二指腸切除術 (LPD) の適応を考える.
第 32 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2019.
90. 齋浦明夫, 藤井努.
臍癌における artery first approach: 長期予後からみた臨床的意義.
第 119 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2019.
91. 齋浦明夫.
肝臓.
第 73 回手術手技研究会: 東京, 2019.
92. 齋浦明夫.
Stage1 臍癌の再発から学ぶこと.
第 74 回日本消化器外科学会総会: 東京, 2019.

【乳腺内科】

1. Hara, F., Kitada, M., Takahashi, M., Kikawa, Y., Kato, H., Sakata, E., Naito, Y., Hasegawa, Y., Saito, T., Iwasa, T., Tsurutani, J., Taira, N., Takashima, T., Kashiwabara, K., Aihara, T., Mukai, H.
Randomized, optimal dose-finding, phase II study of tri-weekly nab-paclitaxel in patients with metastatic breast cancer (ABROAD).
55th ASCO Annual Meeting: Chicago, IL, USA, 2019.
2. Kobayashi, K., Niikura, N., Saji, S., Iwamoto, T., Iwakuma, N., Kikawa, Y., Masuda, N., Watanabe, K., Takeshita, T., Oba, M., Ohno, S.
Fulvestrant with additional palbociclib in advanced or metastatic hormone receptor-positive HER2-negative breast cancer after progression to fulvestrant monotherapy: JBCRG- M07 (FUTURE trial).
42nd Annual San Antonio Breast Cancer Symposium (SABCS): San Antonio, TX, USA, 2019.
3. Shibayama, T., Chin, M., Ono, M., Kobayashi, T., Chan, T., Ting, C.H., Hara, F., Hosonaga, M., Kobayashi, K., Inagaki, R., Ito, Y., Ueno, T., Takahashi, S., Ohno, S., Nakamura, Y., Low, S.K.
Monitoring of CDK4/6 inhibitor treatment response through blood liquid biopsy in metastatic breast cancer.
42nd Annual San Antonio Breast Cancer Symposium (SABCS): San Antonio, TX, USA, 2019.
4. Shibayama, T., Kobayashi, T., Ohno, S., Ito, Y., Ueno, T., Ono, M., Takahashi, S., Low, S.K.
Clinical significance of ESR1 gene mutation of DNA analysis for hormone receptor-positive metastatic breast cancer.
11th AACR-JCA Joint Conference: Maui, HI, USA, 2019.
5. 伊藤良則 .
最近の知見・経験から考える ER 陽性/HER2 陰性進行・再発乳癌における治療シークエンス .
第 27 回日本乳癌学会学術総会 : 東京 , 2019.
6. 伊藤良則 .
薬物療法による副作用のマネージメント .
第 27 回日本乳癌学会学術総会 : 東京 , 2019.
7. 伊藤良則 .
ホルモン受容体陽性原発性乳がんの治療最適化 : 術前ホルモン療法役割 .
第 19 回関東ホルモンと癌研究会 : 東京 , 2019.
8. 前田哲代 , 小野麻紀子 , 柴山朋子 , 北川大 , 細永真理 , 添田郁美 , 小林心 , 平良眞一郎 , 小林隆之 , 福田貴代 , 秋吉清百合 , 阿部朋未 , 藤島成 , 吉田和世 , 高橋俊二 , 堀井理絵 , 秋山太 , 上野貴之 , 伊藤良則 , 大野真司 .
リンパ節転移陰性 (N0) トリプルネガティブ乳癌 (TNBC) における術後アンストラサイクリン単独治療群の予後の検討 .
第 27 回日本乳癌学会学術総会 : 東京 , 2019.
9. 原文堅 .
BRCA 変異陽性乳癌に対するベストケアと治療戦略 .
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会 : 京都市 , 2019.
10. 原文堅 , 鶴谷純司 .
Evolving strategies for enhancing the impact of immunotherapy in breast cancer.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会 : 京都市 , 2019.
11. 小林心 .
HR 陽性 HER2 陰性 : 進行再発乳癌に対する治療戦略 .
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会 : 京都市 , 2019.
12. 小林心 , 伊藤良則 .
Thrombocytopenia caused by pegfilgrastim in patients with breast cancer.

第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.

13. 小林心，吉田和世，柴山朋子，小野麻紀子，細永真理，小林隆之，石塚直樹，高橋俊二，上野貴之，伊藤良則，大野真司。
早期乳癌化学療法時におけるペグフィルグラスチム使用に伴う血小板減少について。
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
14. 小林隆之，伊藤良則，福田貴代，倉田麻美，柴山朋子，小野真紀子，平良眞一，高橋俊二，細永真理，小林心，上野貴之，大野真司。
転移性乳癌患者におけるパルボシクリブ投与後の経口フッ化ピリミジン薬の有効性に関する検討。
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.
15. 小林隆之，伊藤良則，小林心，細永真理，柴山朋子，北川大，小野麻紀子，平良眞一郎，高橋俊二，大野真司。
ER 陽性 HER2 陰性転移乳癌に対するパルボシクリブ併用療法後の治療選択の実際。
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
16. 柴山朋子，小野麻紀子，小林隆之，上野貴之，伊藤良則，大野真司，Low, S., 高橋俊二。
ホルモン陽性転移再発乳癌における ctDNA 変異スペクトルの研究。
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
17. 細永真理，伊藤良則，福田貴代，倉田麻美，柴山朋子，小林隆之，小林心，前田哲代，中島絵里，北川大，小野麻紀子，平良眞一郎，吉田玲子，高橋俊二，上野貴之，中島健，大野真司。
生殖細胞系列 BRCA1/2 遺伝子変異陽性再発転移乳癌患者における内分泌療法、化学療法感受性の検討。
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.
18. 細永真理，伊藤良則，倉田麻美，福田貴代，柴山朋子，小林隆之，小林心，前田哲代，秋吉清百合，稲荷均，中島絵里，北川大，小野麻紀子，平良眞一郎，吉田玲子，高橋俊二，上野貴之，大野真司。

コンパニオン診断としての BRAC analysis の現状と今後の課題。

第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.

【乳腺外科】

1. Akiyoshi, S.
Anthracycline followed by trastuzumab is still one of treatment options for small tumor with negative HER-2 -positive breast cancer.
16th St. Gallen International Breast Cancer Conference: Vienna, Austria, 2019.
2. Kataoka, A., Abe, T., Takeda, M., Uehiro, N., Saeki, S., Ono, M., Hara, F., Morizono, H., Ito, Y., Ueno, T., Ohno, S.
Actual treatment results and pregnancy outcomes of young patients with breast cancer in Japan.
6th World Congress of the International Society for Fertility Preservation: New York, NY, USA, 2019.
3. Maeshima, Y.
The accuracy of axillary node assessment by ultrasound after neoadjuvant chemotherapy in clinically node positive patients.
Global Breast Cancer Conference 2019: Incheon, Korea, 2019.
4. Ogiya, A., Sato, A., Sakai, T., Iwase, T., Osako, T., Horii, R., Akiyama, F., Ueno, T., Ohno, S.
Utility of second sentinel lymph node biopsy for patients with cN0 ipsilateral breast cancer recurrence after an initial sentinel lymph node biopsy.
20th American Society of Breast Surgeons Annual Meeting: Dallas, TX, USA, 2019.
5. Takahashi, Y.
Does metastatic inflammatory breast cancer have a worse prognosis after surgery?
5th World Congress on Controversies in Breast Cancer (CoBrCa) San Francisco, CA, USA, 2019.

6. Takahashi, Y., Ming, Y., Shibayama, T., Maeda, T., Miyagi, Y., Ogiya, A., Kitagawa, D., Soeda, I., Morizono, H., Fujishima, M., Ueno, T., Ohno, S., Nakamura, Y., Low, S. Genomic landscape of circulating tumor DNA in early-stage breast cancer. 42nd Annual San Antonio Breast Cancer Symposium (SABCS): San Antonio, TX, USA, 2019.
7. Ueno, T. Role of multigene assays to guide decisions for neoadjuvant therapy. Global Breast Cancer Conference 2019: Incheon, Korea, 2019.
8. 上野貴之.
乳腺：全般：4.
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
9. 上野貴之.
乳腺 5：基礎・バイオマーカー.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.
10. 上野貴之，林田哲，新井遥子.
Breast Cancer 誌の現状と Review 状況.
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
11. 上野貴之.
ゲノム・エピゲノム解析の進歩.
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
12. 上野貴之.
乳がんにおけるがん遺伝子パネル検索：NCC オンコパネルについて.
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
13. 上野貴之.
日本人発見 BRCA 遺伝子の基礎と HBOC の臨床：遺伝子は知っている.
第 7 回日本乳房オンコプラステックサージャリー学会総会：さいたま市，2019.
14. 上野貴之.
Triple negative 乳癌：再発転移後の治療.
第 52 回日本内分泌外科学会学術大会：東京，2019.
15. 上野貴之.
トリプルネガティブ乳癌における新たな治療戦略と副作用マネジメント.
第 52 回日本内分泌外科学会学術大会：東京，2019.
16. 上野貴之.
進行・再発乳がんのバイオロジーと化学療法の位置付け.
第 57 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2019.
17. 上野貴之，堀口慎一郎.
一般演題 N.
第 16 回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市，2019.
18. 上野貴之.
ホルモン受容体陽性原発性乳がんの治療最適化：術前ホルモン療法の役割.
第 19 回関東ホルモンと癌研究会：東京，2019.
19. 井上有香，荻谷朗子，大迫智，細永真理，深田一平，小林心，伊藤良則，上野貴之，大野真司.
無治療で完全奏効を 8 年維持している HER2 陽性 StageIV 乳癌.
第 16 回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市，2019.
20. 前島佑里奈，荻谷朗子，多田真奈美，田中美幸，貴志美紀，高橋洋子，宮城由美，上野貴之，大野真司.
術前化学療法後の腋窩超音波検査の精度について.
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
21. 前島佑里奈，伊藤良則，柴山朋子，細永真理，小野麻紀子，小林心，小林隆之，上野貴之，小口正彦，高橋俊二，大野真司.
Characteristics and prognosis of leptomeningeal metastasis in patients with breast cancer.

- 第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.
22. 前島佑里奈，荻谷朗子，多田真奈美，田中幸美，貴志美紀，高橋洋子，宮城由美，上野貴之，大野真司．
術前化学療法後の腋窩超音波検査の精度について．
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
23. 前島佑里奈，大迫智，森園英智，温泉川真由，菊池真理，上野貴之，大野真司．
原発性乳癌との鑑別を要した卵巣癌乳腺転移の 1 例．
第 16 回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市，2019.
24. 前田哲代，小野麻紀子，柴山朋子，北川大，細永真理，添田郁美，小林心，平良眞一郎，小林隆之，福田貴代，秋吉清百合，阿部朋未，藤島成，吉田和世，高橋俊二，堀井理絵，秋山太，上野貴之，伊藤良則，大野真司．
リンパ節転移陰性（N0）トリプルネガティブ乳癌（TNBC）における術後アンストラサイクリン単独治療群の予後の検討．
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
25. 北川大，中島絵里，吉田玲子，前田哲代，秋吉清百合，細永真理，稲荷均，岩瀬拓士，中島健，上野貴之，大野真司．
BRCA1/2 病的変異保持者の異時性両側乳癌から考えるサーベイランスの現状と対側乳房管理の適正化について．
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
26. 北川大，中島絵里，吉田玲子，前田哲代，秋吉清百合，細永真理，稲荷均，堀井理絵，上野貴之，秋山太，大野真司．
BRCA1/2 病的変異陽性非浸潤性乳管癌（DCIS）の臨床病理学的特徴．
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
27. 北川大．
当院でのリスク低減乳房切除（RRM）と乳房再建の現状と課題．
- 第 7 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会：さいたま市，2019.
28. 坂井威彦，森園英智．
乳癌サブタイプ分類と個別化治療の展望：今後細胞組織学的検査に求められること．
第 60 回日本臨床細胞学会総会：東京，2019.
29. 坂井威彦．
症例報告：外科治療④．
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
30. 多田真奈美，荻谷朗子，田中幸美，前島佑里奈，貴志美貴，高橋洋子，片岡明美，宮城由美，上野貴之，堀井理絵，秋山太，大野真司．
当院での皮膚温存乳房全切除術，乳頭温存乳房全切除術における局所再発の検討．
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
31. 大野真司，櫻井なおみ．
患者・医療職．
第 4 回日本がんサポーターティブケア学会学術集会：青森市，2019.
32. 大野真司．
HR 陽性 HER2 陰性進行再発乳がん治療の新時代：CDK4/6i 登場から 1 年を経て．
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
33. 大野真司，三好康夫．
遺伝性乳癌の診断，治療，予防の現状と将来展望．
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
34. 大野真司．
乳がんとピンクリボン活動：あなたの乳房は大丈夫ですか．
第 55 回日本循環器病予防学会学術集会：久留米市，2019.
35. 大野真司．
VEGF 制御による腫瘍環境の改善：乳がんにおけるゲノム医療．

- 第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.
36. 大野真司，清水千佳子。
治療方針決定支援プロセスにおける多職種役割。
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.
37. 大野真司。
Optimizing outcomes in early stage breast cancer : incorporating insight from TAILORx.
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
38. 大野真司。
アドバンスドケアプランニング。
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
39. 大野真司。
多職種のための M&M (Morbidity and Mortality) カンファレンス 2019 in TOKYO : うまくいかなかった事例に学び、医療の質を高める。
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
40. 大野真司。
世界は今：患者とともに創る再発乳がん医療。
第 4 回日本がんサポーターティブケア学会学術集会：青森市，2019.
41. 大野真司，櫻井なおみ。
組織への Advance Care Planning 実践の普及。
第 4 回日本がんサポーターティブケア学会学術集会：青森市，2019.
42. 大野真司。
「乳房を感じる」病院賛否両論：がん特化型病院か総合病院かクリニックか。
第 7 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：さいたま市，2019.
43. 大野真司。
irAE マネジメントの実際と展望：乳癌治療における免疫チェックポイント阻害剤の導入に向けて。
第 57 回日本癌治療学会学術総会：福岡市，2019.
44. 大野真司。
がんと再生医療。
第 57 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2019.
45. 大野真司。
グランドカンサーボード。
第 16 回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市，2019.
46. 大野真司。
乳癌治療と HBOC に関する最新の知見。
第 7 回日本 HBOC コンソーシアム学術総会：東京，2019.
47. 大野真司。
CDK4/6 阻害剤への期待と問題点そして今後に向けて。
第 16 回日本乳癌学会九州地方会：宜野湾市，2019.
48. 宮城由美，荻谷朗子，北川大，中島絵里，照屋なつき，坂井威彦，森園英智，上野貴之，岩瀬拓士，大野真司。
腋窩郭清について考える：腋窩郭清の手技をどう伝えるか？
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
49. 宮城由美。
人工物を用いた乳房再建後の乳癌治療について。
第 7 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：さいたま市，2019.
50. 宮城由美。
当院における人工物を用いた乳房再建の工夫「Cocoon Method」。
第 7 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：さいたま市，2019.
51. 森園英智，増田しのぶ。
乳腺穿刺吸引細胞診の鑑別困難の実際。
第 60 回日本臨床細胞学会総会：東京，2019.

52. 森園英智, 池畑浩一, 添田郁美, 福岡恵, 高畑史子, 米倉利香, 高橋洋子, 宮城由美, 圓岡有里, 五十里美栄子, 加藤千絵子, 國分優美, 菊池真理, 五味直哉, 堀井理絵, 上野貴之, 大野真司.
乳頭分泌物細胞診の現状.
第 27 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2019.
53. 森園英智.
乳腺 5.
第 58 回日本臨床細胞学会秋期大会: 岡山市, 2019.
54. 添田郁美, 小林心, 大迫智, 荻谷朗子, 倉田麻美, 福田貴代, 柴山朋子, 細永真理, 小野麻紀子, 小林隆之, 堀井理絵, 秋山太, 上野貴之, 伊藤良則, 大野真司.
微小リンパ節転移陽性乳癌術後化学療法未実施例における予後とその臨床・病理学的特徴の検討.
第 27 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2019.
55. 片岡明美, 阿部朋未, 武田美鈴, 植弘奈津恵, 佐伯澄人, 森園英智, 伊藤良則, 上野貴之, 大野真司, 山内英子.
妊娠関連乳癌 (PABC) 171 例における妊娠期乳癌と出産後授乳期乳癌の比較と長期治療成績.
第 27 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2019.
56. 片岡明美.
特定の患者、病態別診療① (若年性乳癌).
第 27 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2019.
57. 片岡明美.
妊孕性.
第 4 回日本がんサポーターティブケア学会学術集会: 青森市, 2019.
58. 片岡明美.
乳癌と共に生きる: 最新の治療と療養について.
大田区女性の健康づくり講演会: 東京, 2019.
59. 片岡明美.
がんの治療と在宅療養: 適切な治療を適切なタイミングで受ける.
江東区在宅医療シンポジウム: 東京, 2019.
60. 片岡明美.
開業医のお悩み相談「教えて TBC! こんな時、どうしてる?: より良い乳癌診療の為に」.
Tokyo Breast Consortium: 東京, 2019.
61. 片岡明美.
授乳期乳がんに関する研究報告.
日本乳癌学会 班研究「包括的な妊娠期乳がん診療構築に向けた研究」症例から学ぶ妊娠期乳がん: みんなで守ろう 2 つの命: 2019.
62. 田中幸美, 荻谷朗子, 多田真奈美, 前島佑里奈, 貴志美紀, 照屋なつき, 高橋洋子, 片岡明美, 宮城由美, 堀井理絵, 秋山太, 菊池真理, 五味直哉, 上野貴之, 大野真司.
当院の乳房血管肉腫 9 例の病理学的因子と予後の検討.
第 27 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2019.
63. 田中幸美, 荻谷朗子, 照屋なつき, 宮城由美, 大迫智, 秋山太, 菊池真理, 五味直哉, 上野貴之, 大野真司.
針生検後、経過観察された乳腺低異型度血管肉腫の一例.
第 81 回日本臨床外科学会総会: 高知市, 2019.
64. 福岡恵, 森園英智, 添田郁美, 高畑史子, 高橋洋子, 米倉理香, 宮城由美, 菊池真理, 國分優美, 五味直哉, 加藤千絵子, 池畑浩一, 堀井理絵, 秋山太, 上野貴之, 大野真司.
分泌を契機に診断に至った乳頭腫を合併した DCIS の 1 例.
第 10 回 DCIS 研究会: 長崎市, 2019.
65. 福田貴代, 伊藤良則, 柴山朋子, 細永真理, 小林隆之, 小林心, 上野貴之, 大野真司.
周術期化学療法施行乳癌患者における B 型肝炎ウイルス (HBV) の年齢別既感染割合と再活性化率の検討.
第 27 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2019.
66. 秋吉清百合, 小林心, 小林隆之, 細永真理, 北川大, 堀井理絵, 秋山太, 上野貴之, 伊藤良則, 大野真司.
リンパ節転移陽性 HER2 陽性乳癌に対する術前化学療法の治療効果の検討: 治療 Escalation

- の適応を探る。
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
67. 秋吉清百合，小林心，小林隆之，細永真理，北川大，上野貴之，伊藤良則，森正樹，大野真司。
リンパ節転移陽性 HER2 陽性乳癌における術前化学療法の治療効果と再発についての検討。
第 57 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2019.
68. 稲荷均，照屋なつき，貴志美紀，岩瀬拓士，伊藤良則，高橋俊二，五味直哉，菊池真理，堀井理絵，秋山太，上野貴之，大野真司。
術前化学療法によりリンパ節転移陰性となった乳癌症例の予後の検討。
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
69. 米倉利香。
乳癌の広がり診断と切除範囲。
第 38 回日本画像医学会学術集会：東京，2019.
70. 荻谷朗子，藤島成，米倉利香，秋吉清百合，植弘奈津恵，高橋洋子，稲荷均，照屋なつき，中島絵里，北川大，片岡明美，坂井威彦，森園英智，宮城由美，大迫智，堀井理絵，秋山太，岩瀬拓士，上野貴之，大野真司。
センチネルリンパ節転移陰性で郭清を省略した 2477 症例の治療成績：観察期間中央値 10 年。
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
71. 荻谷朗子，岩瀬拓士，米倉利香，秋吉清百合，植弘奈津恵，藤島成，高橋洋子，稲荷均，照屋なつき，中島絵里，片岡明美，北川大，坂井威彦，森園英智，宮城由美，大迫智，堀井理絵，秋山太，上野貴之，大野真司。
cN0pN0 (sn) 郭清省略後の腋窩リンパ節再発症例の予後は cN0pN1 (sn) 郭清症例と同等か。
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
72. 荻谷朗子。
症例報告：臨床経過・病態②。
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
73. 荻谷朗子，貴志美紀，吉田和世，阿部朋未，米倉利香，照屋なつき，中島絵里，片岡明美，北川大，坂井威彦，森園英智，宮城由美，上野貴之，大迫智，大野真司。
センチネルリンパ節転移陽性例に対する腋窩リンパ節郭清省略試験の概要と変遷。
第 81 回日本臨床外科学会総会：高知市，2019.
74. 貴志美紀，照屋なつき，高畑史子，稲荷均，堀井理絵，秋山太，上野貴之，大野真司。
改訂乳癌取り扱い規約に基づく微小浸潤癌の予後の検討。
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
75. 貴志美紀，荻谷朗子，稲荷均，大迫智，上野貴之，大野真司。
術後 17 年目に切除となった pseudoepitheliomatous hyperplasia の一例。
第 81 回日本臨床外科学会総会：高知市，2019.
76. 高橋洋子，上野貴之，前島佑里奈，多田真奈美，田中幸美，貴志美紀，片岡明美，荻谷朗子，宮城由美，岩瀬拓士，大野真司。
炎症性乳癌に対する集学的治療の有効性についての検討。
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.

【婦人科】

1. Kanao, H.
No-touch technique in laparoscopic radical hysterectomy: Cadaver demonstrative surgery.
Stimulated Gynecologic Oncology and Urogynecology Training Course in Taiwan: Taiwan, 2019.
2. Kanao, H.
Post graduate course: Techniques and strategies of extreme pelvic sidewall dissection in malignancy : Applications in complex benign pelvic surgery.
48th Global Congress on MIGS (AAGL): Vancouver, Canada, 2019.

3. Kanao, H.
Laparoscopic nerve-sparing radical hysterectomy: Anatomic landmarks.
2019 International Forum of MIS in Gynecology Oncology, Gynecology Endoscopy Taiwan, 2019.
4. Kanao, H.
Laparoscopic versus laparotomic radical hysterectomy for cervical cancer.
2019 International Forum of MIS in Gynecology Oncology, Gynecology Endoscopy Taiwan, 2019.
5. Kanao, H.
Sentinel lymph nodes sampling in gynecologic oncology in Japan.
2019 International Forum of MIS in Gynecology Oncology, Gynecology Endoscopy Taiwan, 2019.
6. Nomura, H., Sugiyama, Y., Ito, T., Furuta, R., Komatsu, K., Takazawa, Y., Aoki, Y., Tanigawa, T., Matoda, M., Okamoto, S., Kanao, H., Omatsu, K., Kato, K., Utsugi, K., Takeshima, N.
Clinical management of the status of atypical endometrial cells using the descriptive reporting format for endometrial cytology.
20th International Congress of Cytology: Sidney, Australia, 2019.
7. 一瀬隆行, 岡本三四郎, 尾松公平, 青木洋一, 谷川輝美, 野村秀高, 的田眞紀, 金尾祐之, 宇津木久仁子, 杉山裕子, 竹島信宏.
子宮頸癌における術中腹水細胞診の検討.
第 60 回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2019.
8. 一瀬隆行, 野村秀高, 栗田智子, 的田眞紀, 根津幸穂, 青木洋一, 谷川輝美, 岡本三四郎, 尾松公平, 金尾祐之, 竹島信宏.
審査腹腔鏡と術中経皮的肝生検の併用にて診断に至った癌性腹膜炎、多発肝転移の 1 例.
第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 京都市, 2019.
9. 中林誠, 野村秀高, 尾身牧子, 田中佑治, 岡本幸太, 板橋彩, 一瀬隆行, 菅野素子, 伏木淳, 青木洋一, 谷川輝美, 根津幸穂, 栗田智子, 岡本三四郎, 的田眞紀, 尾松公平, 金尾祐之, 竹島信宏.
当院における腹腔鏡下子宮体癌根治術後の腹腔内播種再発 3 例の検討.
第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 京都市, 2019.
10. 伏木淳, 加藤一喜, 青木洋一, 尾身牧子, 板橋彩, 一瀬隆行, 菅野素子, 中林誠, 太田絵美, 西村宙起, 野村秀高, 谷川輝美, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 金尾祐之, 宇津木久仁子, 竹島信宏.
卵巣癌腹膜播種と誤認しうる, 閉経後進展した腹膜播種性平滑筋腫症.
第 61 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 新潟市, 2019.
11. 伏木淳, 岡本三四郎, 青木洋一, 中林誠, 岡本幸太, 田中佑治, 板橋彩, 菅野素子, 一瀬隆行, 尾身牧子, 栗田智子, 谷川輝美, 根津幸穂, 野村秀高, 的田眞紀, 尾松公平, 金尾祐之, 竹島信宏.
婦人科癌との鑑別に審査腹腔鏡が有用であった進行虫垂癌.
第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 京都市, 2019.
12. 加藤一喜.
進行卵巣がんに対する治療戦略: より安全でより確実な R0 手術を目指して.
第 41 回日本産婦人科手術学会総会: 東京, 2019.
13. 太田絵美, 尾松公平, 青木洋一, 野村秀高, 谷川輝美, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 宇津木久仁子, 杉山裕子, 竹島信宏.
卵巣癌 Stage I・II における腹水細胞診について.
第 60 回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2019.
14. 宇津木久仁子.
婦人科がん検診(細胞診/コルポスコピー/組織診など).

- 第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会：名古屋市，2019.
15. 宇津木久仁子．
子宮頸部腫瘍：特殊組織 1.
第 61 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：新潟市，2019.
16. 宇津木久仁子．
がん征圧後の患者を診る：合併症や副作用のケア．
吉田富三記念館講演会：福島市，2019.
17. 宇津木久仁子．
リンパ浮腫に対する診療体制の現状と課題．
第 4 回リンパ浮腫治療学会学術総会：淡路市，2019.
18. 宇津木久仁子．
がん治療後のリンパ浮腫を減らすには．
第 57 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2019.
19. 宇津木久仁子．
医師が教える子宮がんの基礎知識．
世田谷区令和元年度 がん講演会：東京，2019.
20. 宇津木久仁子，廣田彰男．
リンパ浮腫と保険制度：何が変わったか、今後の課題．
第 3 回日本リンパ浮腫学会総会：東京，2019.
21. 宇津木久仁子．
日本で最もリンパ節郭清術が多い施設で、リンパ浮腫治療を考える．
第 3 回日本リンパ浮腫学会総会：東京，2019.
22. 宇津木久仁子．
婦人科癌におけるリンパ節郭清の行方．
第 43 回日本リンパ学会総会：東京，2019.
23. 尾松公平，高澤豊，的田眞紀，岡本三四郎，谷川輝美，一瀬隆行，温泉川真由，青木洋一，太田絵美，尾身牧子，板橋彩，金尾祐之，竹島信宏．
粘膜型悪性黒色腫に対する抗 PD-1 抗体の使用経験．
- 第 61 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：新潟市，2019.
24. 尾松公平，金尾祐之，青木洋一，野村秀高，的田眞紀，谷川輝美，岡本三四郎，尾身牧子，中林誠，菅野素子，一瀬隆行，板橋彩，栗田智子，田中佑治，根津幸穂，伏木淳，岡本幸太，竹島信宏．
子宮体癌に腹壁瘢痕ヘルニアを合併した症例に鏡視下ヘルニア根治術をなし得た一例．
第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：京都市，2019.
25. 尾身牧子，谷川輝美，伏木淳，青木洋一，野村秀高，金尾祐之，加藤一喜，高澤豊，竹島信宏．
当院における子宮腺肉腫の臨床病理学的検討．
第 61 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：新潟市，2019.
26. 尾身牧子，野村秀高，田中佑治，根津幸穂，谷川輝美，的田眞紀，金尾祐之，宇津木久仁子，竹島信宏．
急速な転機をとった晩期再発子宮頸部すりガラス細胞癌の 1 例．
第 57 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2019.
27. 岡本三四郎，板橋彩，一瀬隆行，中林誠，尾身牧子，青木洋一，谷川輝美，野村秀高，的田眞紀，尾松公平，金尾祐之，竹島信宏．
転移性卵巣腫瘍を契機に発見された小腸原発腫瘍の 1 例．
第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会：名古屋市，2019.
28. 岡本三四郎，竹島信宏．
当院の LEGH 疑い症例についての検討．
第 60 回日本臨床細胞学会総会：東京，2019.
29. 岡本三四郎，伏木淳，中林誠，青木洋一，谷川輝美，野村秀高，的田眞紀，尾松公平，金尾祐之，竹島信宏．
当院の LEGH 疑い症例についての検討．
第 61 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：新潟市，2019.

30. 杉山裕子, 荷見勝彦.
組織発生を考慮した早期子宮体癌の内膜細胞診所見.
第 60 回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2019.
31. 松尾千穂.
リンパ浮腫における保険制度: 現場からみた現状と課題.
第 3 回日本リンパ浮腫学会総会: 東京, 2019.
32. 板橋彩, 尾松公平, 岡本三四郎, 青木洋一, 谷川輝美, 野村秀高, 的田真紀, 金尾祐之, 竹島信宏.
当院で治療を行った顆粒膜細胞腫 16 例の検討.
第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会: 名古屋市, 2019.
33. 板橋彩, 金尾祐之, 青木洋一, 谷川輝美, 野村秀高, 的田真紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 竹島信宏.
ベバシズマブ維持療法後の再発卵巣癌における PFI とプラチナ感受性についての後方視的検討.
第 61 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 新潟市, 2019.
34. 板橋彩, 金尾祐之, 谷川輝美, 栗田智子, 青木洋一, 根津幸穂, 野村秀高, 的田真紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 竹島信宏.
Aggressive angiomyxoma 術後の会陰ヘルニアに対して腹腔鏡下メッシュ修復が有効であった 1 例.
第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 京都市, 2019.
35. 板橋彩, 金尾祐之, 谷川輝美, 栗田智子, 青木洋一, 根津幸穂, 野村秀高, 的田真紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 竹島信宏.
FIGO IB1 子宮頸癌に対する「no-look no-touch」法による腹腔鏡下広汎子宮全摘術.
第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 京都市, 2019.
36. 根津幸穂, 中村基寛, 山崎優, 五島裕之, 久嶋則行, 三木明德.
ダグラス窩閉鎖を伴う子宮筋腫に対する腹腔鏡下子宮全摘術の工夫.
第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 京都市, 2019.
37. 根津幸穂, 尾身牧子, 野村秀高, 田中佑二, 板橋彩, 岡本三四郎, 金尾祐之, 杉山裕子, 高澤豊, 竹島信宏.
多彩な組織像を示した子宮頸部類内膜腺癌の一例.
第 58 回日本臨床細胞学会秋期大会: 岡山市, 2019.
38. 温泉川真由.
Session II: がん研有明病院からの症例報告「MSI-H 陽性であった子宮体部悪性腫瘍の一例」.
第 11 回 Rare Cancer Meeting: 東京, 2019.
39. 温泉川真由.
初回卵巣がん治療における poly ADP ribose polymerase (PARP) 阻害剤の位置づけ.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
40. 温泉川真由.
PARP 阻害剤使用の実際: 卵巣がん、乳がん、前立腺がんの立場より.
第 7 回日本 HBOC コンソーシアム学術総会: 東京, 2019.
41. 的田真紀.
子宮頸癌の化学療法.
第 60 回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2019.
42. 的田真紀.
難治性がんの治療戦略: がん研有明病院で行なっている広汎子宮全摘術.
第 16 回日本婦人科がん会議: 東京, 2019.
43. 竹島信宏.
MSI-High がんに対するキイトルーダの有効性・安全性.
第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会: 名古屋市, 2019.
44. 竹島信宏.
婦人科悪性腫瘍における腹水細胞診の研究.
第 60 回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2019.

45. 竹島信宏.
卵巣癌治療の新展開.
第 57 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，
2019.
46. 竹島信宏，伏木淳.
子宮内膜症合併不妊への対応：手術、ART、薬
物療法のベストな選択と治療戦略：子宮内膜症
由来の癌について知っておきたいこと：不妊治
療終了後のマネージメントについて.
第 137 回関東連合産科婦人科学会：前橋市，
2019.
47. 竹島信宏.
医療倫理セミナー：人を対象とする医学系研究
に関する倫理について.
第 58 回日本臨床細胞学会秋期大会：岡山市，
2019.
48. 竹島信宏.
子宮頸癌 1.
第 41 回日本産婦人科手術学会：東京，2019.
49. 栗田智子，ほか.
機能性子宮を有する子宮頸部低形成・腔欠損症
に対して、腹腔鏡補助下造腔術（人工真皮を用
いた McIndoe 法改良術式）を施行した 1 例.
第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：
京都市，2019.
50. 菅野素子，谷川輝美，的田眞紀，青木洋一，野
村秀高，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，竹
島信宏.
子宮体癌 IA 期の腹水細胞診陽性例における抗
癌剤治療の意義.
第 60 回日本臨床細胞学会総会：東京，2019.
51. 菅野素子，谷川輝美，的田眞紀，板橋彩，一瀬
隆行，中林誠，伏木淳，尾身牧子，青木洋一，
野村秀高，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，
竹島信宏.
術前化学療法を行った進行子宮体癌における予
後因子についての検討.
第 61 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：新潟
市，2019.
52. 菅野素子，青木洋一，野村秀高，岡本幸太，板
橋彩，根津幸穂，栗田智子，谷川輝美，的田眞
紀，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，竹島信
宏.
腹腔鏡下子宮全摘術後の腔断端離開に対し、腔
パイプを用い経腔的に安全に気腹し腹腔鏡下に
修復し得た一例.
第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：
京都市，2019.
53. 西村宙起，ほか.
ドセタキセルによる浮腫に対しリンパ管静脈吻
合術（LVA）が効果を奏した 1 例.
第 3 回日本リンパ浮腫学会総会：東京，2019.
54. 谷川輝美，的田眞紀，板橋彩，尾身牧子，青木
洋一，野村秀高，岡本三四郎，尾松公平，金尾
祐之，竹島信宏.
プラチナ感受性再発卵巣癌に対する PARP 阻害
薬（オラパリブ）の臨床像および有害事象に関
する検討.
第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会：名古
屋市，2019.
55. 谷川輝美，的田眞紀，板橋彩，伏木淳，野村秀
高，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，竹島信
宏.
プラチナ感受性再発卵巣癌に対する PARP 阻害
薬（オラパリブ）の効果と有害事象についての
検討.
第 61 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：新潟
市，2019.
56. 野村秀高.
子宮悪性腫瘍に対する低侵襲手術.
第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会：名古
屋市，2019.
57. 野村秀高，ほか.
遺伝性乳癌卵巣癌に対して施行した RRSO77
例の臨床病理学的検討.
第 25 回日本家族性腫瘍学会学術集会：東京，
2019.
58. 野村秀高.
婦人科領域におけるリンパ節郭清.

- 第 44 回日本外科系連合学会学術集会：金沢市，2019.
59. 野村秀高，西村宙起，青木洋一，谷川輝美，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，加藤一喜，宇津木久仁子，杉山裕子，高澤豊，竹島信宏。
大腸癌転移の診断に細胞診が有効であった 1 例。
第 60 回日本臨床細胞学会総会：東京，2019.
60. 野村秀高。
婦人科。
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.
61. 野村秀高，西村宙起，青木洋一，谷川輝美，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，加藤一喜，宇津木久仁子，杉山裕子，高澤豊，竹島信宏。
早期の膵臓癌に対する手術療法の治療成績。
第 61 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：新潟市，2019.
62. 野村秀高。
広汎子宮全摘術における基靭帯・後層処理の考察：その 2。
第 3 回婦人科がん内視鏡出雲セミナー：松江市，2019.
63. 野村秀高，田中佑治，尾身牧子，根津幸穂，青木洋一，谷川輝美，栗田智子，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，竹島信宏。
婦人科悪性腫瘍に対する腹腔鏡下手術：安全に普及するため、若手からの提言：安全に腹腔鏡下悪性腫瘍手術を行うために。
第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：京都市，2019.
64. 野村秀高，田中佑治，尾身牧子，根津幸穂，青木洋一，谷川輝美，栗田智子，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，竹島信宏。
腹腔鏡下広汎子宮全摘術における基靭帯・膀胱子宮靭帯後層処理の工夫。
第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：京都市，2019.
65. 野村秀高，尾身牧子，田中佑治，青木洋一，谷川輝美，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，高澤豊，吉田玲子，竹島信宏。
遺伝性乳癌卵巣癌に対する婦人科のマネジメントで見えてきたもの。
第 57 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2019.
66. 野村秀高，中島絵里，北川大，吉田玲子，喜多瑞穂，芦原有美，小安美緒，竹内沙與子，中島健，上野貴之，竹島信宏。
リスク低減手術の対象とするべきか苦慮した症例についての考察と実際の対応。
第 7 回日本 HBOC コンソーシアム学術総会：東京，2019.
67. 野村秀高，杉山裕子，竹島信宏。
ポリープ状異型腺筋腫に対する高用量黄体ホルモン療法 23 例の治療成績。
第 19 回関東ホルモンと癌研究会：東京，2019.
68. 野村秀高。
婦人科がんにおける治療戦略：センチネルリンパ節郭清から薬物療法まで。
第 3 回日本リンパ浮腫学会総会：東京，2019.
69. 金尾祐之。
腹腔鏡下広範子宮全摘術。
第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会：名古屋市，2019.
70. 金尾祐之。
婦人科医が行う骨盤内手術。
第 119 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2019.
71. 金尾祐之。
婦人科悪性疾患に対する腹腔鏡手術戦略。
第 29 回骨盤外科機能温存研究会：東京，2019.
72. 金尾祐之。
子宮頸がん検診と予防。
第 60 回日本臨床細胞学会総会：東京，2019.

73. 金尾祐之。
婦人科疾患に対する腹腔鏡手術戦略：がん薬物療法も含めて。
道南産科婦人科医会 日本医師会生涯教育講座 学術講演会：函館市，2019.
74. 金尾祐之，竹島信宏，松浦基樹，玉手雅人，齋藤豪。
外科系教育の新時代：頻度の低い高難度手術をいかに教育するか？。
第 61 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：新潟市，2019.
75. 金尾祐之。
婦人科悪性腫瘍に対する骨盤外科手術：開腹手術、腹腔鏡手術の使い分け。
第 61 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：新潟市，2019.
76. 金尾祐之，竹島信宏。
腹腔鏡下広汎子宮全摘術のどの手術操作が再発を引き起こすのか。
第 61 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：新潟市，2019.
77. 金尾祐之。
骨盤手術解剖を究める：根治性を担保した婦人科悪性疾患内視鏡手術への道標。
第 61 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：新潟市，2019.
78. 金尾祐之。
マルチアングルから見た骨盤手術解剖：婦人科がん手術に必要な骨盤解剖。
第 16 回日本婦人科がん会議：東京，2019.
79. 金尾祐之。
拡大手術を経験して変わった TLH:何が必要で、何が不必要な操作なのか？
第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：京都市，2019.
80. 金尾祐之。
教育②。
第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：京都市，2019.
81. 金尾祐之。
腹腔鏡下広汎子宮全摘術のどの手術操作が再発を引き起こすのか。
第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：京都市，2019.
82. 金尾祐之。
婦人科悪性疾患に対する治療戦略。
第 20 回東海産婦人科内視鏡手術研究会：名古屋市，2019.
83. 金尾祐之。
腹腔鏡下広汎子宮全摘術のどの手術操作が再発を引き起こすのか。
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.
84. 金尾祐之。
骨盤内視鏡外科。
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.
85. 金尾祐之。
骨盤内視鏡外科：Challenge for innovation。
第 32 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.
86. 金尾祐之。
婦人科がんに対する手術戦略。
第 2 回骨盤解剖を紐解く会：札幌市，2019.
87. 金尾祐之。
婦人科悪性疾患に対する腹腔鏡手術。
第 1 回骨盤解剖を紐解く会：札幌市，2019.
88. 金尾祐之。
婦人科腹腔鏡下手術の現状。
第 7 回 FUSION フォーラム：骨盤外科手術を学ぼう：金沢市，2019.
89. 金尾祐之。
婦人科悪性疾患に対する腹腔鏡手術。
沖縄産婦人科手術手技セミナー 那覇市，2019.
90. 金尾祐之。
婦人科悪性疾患に対する腹腔鏡手術。

北九州地区婦人科周術期管理セミナー：北九州市，2019.

91. 金尾祐之.
婦人科悪性腫瘍に対する低侵襲手術.
第4回若手のための産婦人科内視鏡手術懇話会：東京，2019.
92. 金尾祐之.
骨盤内悪性腫瘍への腹腔鏡アプローチ：婦人科医の立場から.
第9回東京婦人科がん手術手技研究会：東京，2019.
93. 金尾祐之.
Laparoscopic extensive surgery based on a detail pelvic anatomy.
第13回日本骨盤臓器脱手術学会/The 6th Annual Meeting of the Asia-Pacific Urogynecology Association(APUGA)：宜野湾市，2019.
94. 長島稔，竹島信宏.
日本人婦人科癌患者におけるTC、DC、DP使用時のFN発症率とリスク因子との関係.
第57回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2019.
95. 青木洋一，尾身牧子，伏木淳，金尾祐之，谷川輝美，野村秀高，的田真紀，岡本三四郎，尾松公平，加藤一喜，宇津木久仁子，杉山裕子，竹島信宏.
外陰部に発生したhidradenoma papilliferumの一例.
第61回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：新潟市，2019.
96. 青木洋一，金尾祐之，伏木淳，尾身牧子，竹島信宏.
バードモノプティを用いた腹腔鏡下針生検.
第59回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：京都市，2019.
97. 青木洋一.
子宮体癌：腹腔鏡手術の中期成績と合併症.
第32回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2019.

【頭頸科】

1. 三谷浩樹，村上龍次.
第10群CRT/BRT1.
第43回日本頭頸部癌学会：金沢市，2019.
2. 三谷浩樹，山田武千代.
第58群鼻・副鼻腔.
第29回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会：仙台市，2019.
3. 小泉雄，佐藤由紀子，三谷浩樹，米川博之，福島啓文，佐々木徹，新橋渉，瀬戸陽，戸田和寿，神山亮介，日高竜太，市川千恭，永井遼斗，福田幸太，森田琢磨，尾股丈，江原雄一，渡嘉敷邦彦，鳥居淳一，山村晃司，伊東優，道塚智彦.
臨床からみた口腔細胞診の現状と要望.
第60回日本臨床細胞学会総会：東京，2019.
4. 尾股丈，ほか.
咽喉食摘術症例における術後放射線治療後の甲状腺機能に関する検討.
第29回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会：仙台，2019.
5. 川端一嘉，福島啓文.
頭頸部手術.
第6回耳鼻咽喉・頭頸部外科手術手技研修：第29回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会サテライトセミナー：仙台市，2019.
6. 川端一嘉.
縦隔郭清術.
第29回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会：仙台市，2019.
7. 市川千恭，佐々木徹，山村晃司，道塚智彦，渡嘉敷邦彦，鳥居淳一，尾股丈，永井遼斗，日高竜太，神山亮介，瀬戸陽，新橋渉，福島啓文，米川博之，三谷浩樹.
当科における喉頭全摘術の瘻孔率の報告および瘻孔防止の工夫.
第43回日本頭頸部癌学会：金沢市，2019.
8. 戸田和寿.
甲状腺14.
第52回日本内分泌外科学会学術大会：東京，2019.

9. 新橋渉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 瀬戸陽, 神山亮介, 日高竜太, 市川千恭, 永井遼斗, 川端一嘉.
中咽頭癌放射線治療後再発症例における予後因子についての検討.
第 29 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会: 仙台市, 2019.
10. 永井遼斗, 福島啓文, 三谷浩樹, 米川博之, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 戸田和寿, 小泉雄, 神山亮介, 日高竜太, 福田幸太, 市川千恭, 森田琢磨, 川端一嘉.
当院における他臓器からの転移性甲状腺癌症例の検討.
第 43 回日本頭頸部癌学会: 金沢市, 2019.
11. 渡嘉敷邦彦, 戸田和寿, 福島啓文, 三谷浩樹.
気管内に発生した異所性甲状腺例.
第 71 回日本気管食道学会総会ならびに学術講演会: 宇都宮市, 2019.
12. 神山亮介, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 小泉雄, 日高竜太.
縦隔気管孔症例に対する挿管用気管チューブ管理.
第 43 回日本頭頸部癌学会: 金沢市, 2019.
13. 福島啓文, 神山亮介.
咽頭摘出後リハビリテーションについての集学的アプローチ.
GPRJ 2019: 金沢市, 2019.
14. 長谷川泰久, 米川博之.
31 群 口腔 1.
第 29 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会: 仙台市, 2019.
15. 高橋剛史.
下咽頭扁平上皮癌放射線治療後の原発残存・再発病変に対する救済手術症例の検討.
第 29 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会: 仙台市, 2019.

【整形外科】

1. Ae, K.
Progress of the surgical margin evaluation-our new evaluation method and safe margin analysis.
41st Annual Meeting of the Royal College of Orthopaedics Surgeons of Thailand (RCOST): Pattaya, Thailand, 2019.
2. Ae, K.
Safe surgical margin analysis of each sarcomas classified by histology : Different safe margins for different histology.
41st Annual Meeting of the Royal College of Orthopaedics Surgeons of Thailand (RCOST): Pattaya, Thailand, 2019.
3. Funauchi, Y., Ae, K., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Matsumoto, S.
Characteristics and prognosis after unplanned resection of superficial soft tissue sarcomas (UPS/MFS) in Japan.
71st Annual International Congress of the Egyptian Orthopaedic Association: Cairo, Egypt, 2019.
4. Funauchi, Y., Ae, K., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Matsumoto, S.
Tumor infiltrating lymphocyte in sarcomas and multi-omics analysis for myxoid liposarcoma : our progress of translational research in Cancer Institute Hospital of JFCR.
71st Annual International Congress of the Egyptian Orthopaedic Association: Cairo, Egypt, 2019.
5. Funauchi, Y., Ae, K., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Matsumoto, S.
Usefulness of navigation-assisted surgery for bone and soft-tissue sarcoma; more accurate, reduce bleeding, and non-time-consuming.
71st Annual International Congress of the Egyptian Orthopaedic Association: Cairo, Egypt, 2019.

6. Funauchi, Y., Ae, K., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Minami, Y., Saito, M., Kurosawa, N., Takashina, Y., Matsumoto, S., Takazawa, Y., Hiruta, N.
A 57-year-old male, soft tissue sarcoma of the left forearm.
31st Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, Japan, 2019.
7. Funauchi, Y., Tanizawa, T., Matsumoto, S., Ae, K.
Follow-up case study presentations about previous SSMS Meetings.
31st Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, Japan, 2019.
8. Hayakawa, K., Tanizawa, T., Ae, K., Matsumoto, S., Funauchi, Y., Minami, Y., Saito, M., Kurosawa, N., Takashina, Y., Sugiura, Y., Takazawa, Y., Hiruta, N.
A 21-year-old male, low grade myxoid tumor of the left lower leg.
31st Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, Japan, 2019.
9. Hayakawa, K., Ae, K., Matsumoto, S., Tanizawa, T.
The safety margin analysis based on the surgical margin registration in Japan.
31st Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, Japan, 2019.
10. Kurosawa, N., Ae, K., Matsumoto, S., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Minami, Y., Saito, M., Takashina, Y., Sugiura, Y., Takazawa, Y., Hiruta, N.
42 year-old female, chondrosarcoma of the right pelvis.
31st Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, Japan, 2019.
11. Minami, Y., Ae, K., Matsumoto, S., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Saito, M., Kurosawa, N., Takashina, Y., Sugiura, Y., Takazawa, Y.
Extracompartmental tumoral invasion of extraskelatal myxoid chondrosarcoma.
第 12 回東京骨軟部腫瘍フォーラム：東京，2019.
12. Minami, Y., Ae, K., Matsumoto, S., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Saito, M., Kurosawa, N., Takashina, Y., Sugiura, Y., Takazawa, Y., Hiruta, N.
A 45-year-old female, synovial sarcoma of the left shoulder.
31st Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, Japan, 2019.
13. Saito, M., Ae, K., Matsumoto, S., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Minami, Y., Kurosawa, N., Takashina, Y., Sugiura, Y., Takazawa, Y., Hiruta, N.
An 89-year-old female, pleomorphic rhabdomyosarcoma of the right forearm.
31st Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, Japan, 2019.
14. Tsuji, R., Ae, K., Matsumoto, S., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Minami, Y., Saito, M., Tamura, S.
Hip transposition procedure for a periacetabular malignant bone tumor: A case report.
第 101 回東京医科歯科大学整形外科集談会：東京，2019.
15. 三浪友輔，阿江啓介，松本誠一，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，黒澤紀雄，高階祐輔，杉浦善弥，高澤豊.
Solitary fibrous tumor の臨床像および治療成績.
第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：川越市，2019.

16. 三浪友輔, 阿江啓介, 松本誠一, 谷澤泰介, 早川景子, 船内雄生, 齊藤正徳, 黒澤紀雄, 高階祐介, 杉浦善弥, 高澤豊.
骨外性粘液型軟骨肉腫の発育様式.
第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 川越市, 2019.
17. 早川景子, 阿江啓介, 谷澤泰介, 船内雄生, 三浪友輔, 齊藤正徳, 黒澤紀雄, 高階祐輔, 松本誠一, 大川淳.
大腿骨人工骨頭再建を要した軟部肉腫の治療成績.
第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 川越市, 2019.
18. 早川景子, 阿江啓介, 谷澤泰介, 船内雄生, 三浪友輔, 齊藤正徳, 黒澤紀雄, 高階祐輔, 松本誠一, 大川淳.
足部発生軟部肉腫の治療成績
第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 川越市, 2019.
19. 早川景子, 阿江啓介, 谷澤泰介, 船内雄生, 三浪友輔, 齊藤正徳, 西村英樹, 田村聡至, 辻利奈, 松本誠一.
当院における骨軟部腫瘍 AYA 世代患者に対する妊孕性温存取り組みについて.
第 57 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2019.
20. 早川景子, 阿江啓介, 谷澤泰介, 船内雄生, 三浪友輔, 齊藤正徳, 中野めぐみ, 小林秀嗣, 渡邊紗矢, 松本誠一.
骨軟部腫瘍領域における血栓塞栓症について.
VTE BOARD FORUM: 開催地不明, 2019.
21. 早川景子, 阿江啓介, 谷澤泰介, 船内雄生, 三浪友輔, 齊藤正徳, 中野めぐみ, 小林秀嗣, 渡邊紗矢, 仲野兼司, 友松純一, 高橋俊二, 松本誠一.
進行性軟部肉腫に対するエリブリンの治療成績.
関東骨軟部腫瘍研究会: 開催地不明, 2019.
22. 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 早川景子, 船内雄生, 三浪友輔, 齊藤正徳.
関節周囲骨軟部腫瘍に対する再建術: 肘関節周囲発生軟部肉腫に対する人工関節を用いた再建.
第 47 回日本関節病学会: 福岡市, 2019.
23. 松本誠一.
延長型人工膝関節の長期治療成績.
第 92 回日本整形外科学会学術総会: 横浜市, 2019.
24. 松本誠一.
軟部肉腫診療における細胞診の役割.
第 60 回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2019.
25. 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 早川景子, 船内雄生, 三浪友輔, 齊藤正徳, 黒澤紀雄, 高階祐輔, 川口智義, 中山隆之, 早乙女進一.
工ホバの証人における骨・軟部腫瘍診療
第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 川越市, 2019.
26. 松本誠一, 中谷文彦.
悪性骨腫瘍 2.
第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 川越市, 2019.
27. 松本誠一, 小林英介.
肉腫治療の施設間連携と集約化.
第 2 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会: 東京, 2019.
28. 船内雄生, 阿江啓介, 谷澤泰介, 早川景子, 三浪友輔, 齊藤正徳, 黒澤紀雄, 高階祐輔, 松本誠一, 大川淳.
関節包外切除中に関節液が漏出した骨肉腫症例の局所制御性と生命予後.
第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 川越市, 2019.
29. 船内雄生, 阿江啓介, 谷澤泰介, 早川景子, 三浪友輔, 齊藤正徳, 黒澤紀雄, 高階祐輔, 松本誠一, 大川淳.
骨原発悪性腫瘍における広範切除時 intraleisional 操作の有無が局所制御と生命予後に与える影響.
第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 川越市, 2019.

30. 船内雄生, 佐藤靖祥, 早川景子, 谷澤泰介, 松本誠一, 仲野兼司, 友松純一, 小林由香利, 大川淳, 垣見和宏, 高橋俊二, 阿江啓介.
腫瘍浸潤 T リンパ球の解析による肉腫における免疫療法の可能性の探索.
第 68 回東日本整形災害外科学会: 東京, 2019.
31. 船内雄生, 三浪友輔, 早川景子, 谷澤泰介, 松本誠一, 阿江啓介.
表在性軟部肉腫 (UPS/MFS) の臨床的特徴と予後: 深部発生例との比較.
第 57 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2019.
32. 船内雄生, 鎌谷高志, 平田真, 植田幸嗣, 松田浩一, 角田達彦, 阿江啓介.
Multi-omics data を用いた粘液型脂肪肉腫の予後予測因子と新規治療標的候補の探索.
第 17 回関東骨軟部基礎を語る会: 東京, 2019.
33. 谷澤泰介.
手術合併症・予防.
第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 川越市, 2019.
34. 谷澤泰介, 阿江啓介, 松本誠一, 早川景子, 船内雄生.
人工肘関節置換にて再建を行った肘関節周囲発生局所進行軟部肉腫症例の検討.
第 31 回日本肘関節学会学術集会: 小樽市, 2019.
35. 谷澤泰介.
腫瘍・類似疾患.
第 31 回日本肘関節学会学術集会: 小樽市, 2019.
36. 辻利奈, 早川景子, 阿江啓介, 松本誠一, 谷澤泰介, 船内雄生, 三浪友輔, 齊藤正徳, 西村英樹, 田村聡至, 大川淳.
軟骨肉腫と軟部肉腫の double sarcoma の 1 例.
第 68 回東日本整形災害外科学会: 東京, 2019.
37. 阿江啓介.
骨・軟部肉腫に対する安全な切除縁と縮小手術.
東京都臨床整形外科医会統合研修会: 東京, 2019.
38. 阿江啓介, 松本誠一, 谷澤泰介, 早川景子, 船内雄生, 三浪友輔, 齊藤正徳, 川口智義, 大川淳.
がん診療拠点病院における整形外科: その現状と課題: がん専門病院におけるサブスペシャリティ研修とその実際.
第 92 回日本整形外科学会学術総会: 横浜市, 2019.
39. 阿江啓介, 中村知樹.
悪性軟部腫瘍 1.
第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 川越市, 2019.
40. 阿江啓介, 松本誠一, 谷澤泰介, 早川景子, 船内雄生, 三浪友輔, 齊藤正徳, 川口智義, 大川淳.
肉眼的切除縁評価による R0 手術の指標と組織型別の安全な切除縁解析.
第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 川越市, 2019.
41. 阿江啓介.
腫瘍用人工膝関節置換術のリビジョンセンター構想.
第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 川越市, 2019.
42. 阿江啓介, 松本誠一, 谷澤泰介, 早川景子, 船内雄生, 三浪友輔, 齊藤正徳, 川口智義, 大川淳.
骨肉腫の術前化学療法効果判定と縮小手術.
第 68 回東日本整形災害外科学会: 東京, 2019.
43. 阿江啓介.
骨・軟部組織腫瘍の治療戦略.
第 57 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2019.

44. 阿江啓介.
骨軟部（運動器）骨軟部腫瘍に対する切除縁評価と化学療法効果判定：画像による化学療法効果判定と安全な切除縁解析に基づく手術計画.
第 38 回日本画像医学会学術集会：東京，2019.
45. 高階祐輔，谷澤泰介，阿江啓介，早川景子，船内雄生，黒澤紀雄，杉浦善弥，大川淳.
足趾に発生した修復性巨細胞肉芽腫（giant cell reparative granuloma）の 3 例.
第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：川越市，2019.
46. 黒澤紀雄，松本誠一，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，三浪友輔，高階祐輔，杉浦善弥，高澤豊.
BCOR-CCNB3 融合遺伝子陽性肉腫の 4 症例の臨床経過.
第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：川越市，2019.
47. 黒澤紀雄，松本誠一，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，三浪友輔，齊藤正徳，高階祐輔.
骨盤部悪性軟部腫瘍と鑑別を要した後腹膜線維症の一例.
第 68 回東日本整形災害外科学会：東京，2019.
48. 黒澤紀雄，松本誠一，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，三浪友輔，齊藤正徳，高階祐輔.
BCOR-CCNB3 融合遺伝子陽性肉腫の 4 症例の臨床経過.
第 2 回日本サルコーム治療研究学会学術集会：東京，2019.
49. 齊藤正徳，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，三浪友輔，黒澤紀雄，高階祐輔，松本誠一，大川淳.
初回転移が肺外転移であった軟部肉腫の治療成績.
第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：川越市，2019.
50. 齊藤正徳，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，三浪友輔，黒澤紀雄，高階祐輔，杉浦善弥，松本誠一，大川淳.
血管リンパ管肉腫の治療成績.
第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：川越市，2019.

【泌尿器科】

1. Fujiwara, R., Numao, N., Komai, Y., Ogawa, M., Inatsu, H., Ishikawa, Y., Yasuoka, S., Yuasa, t., Yamamoto, S., Fukui, I., Yonese, J.
Effects of enhanced recovery after surgery protocols of postoperative ileus and bowel obstruction in patients undergoing radical cystectomy.
34th Annual European Association of Urology (EAU) Congress: Barcelona, Spain, 2019.
2. Ishikawa, Y., Numao, N., Yasuoka, S., Fujiwara, R., Inatsu, H., Ogawa, M., Komai, Y., Yuasa, T., Yamamoto, S., Fukui, I., Yonese, J.
Combination of prebiopsy magnetic resonance imaging and systematic biopsy can efficiently predict ipsilateral negative lymph-node metastasis in prostate cancer treated with radical prostatectomy and extended pelvic lymph node dissection.
34th Annual European Association of Urology (EAU) Congress: Barcelona, Spain, 2019.
3. Komai, Y., Ishikawa, Y., Yasuoka, S., Inatsu, H., Fujiwara, R., Ogawa, M., Numao, N., Yuasa, T., Yamamoto, S., Yonese, J.
The crush carving technique using a soft coagulation device-A simple method for successful laparoscopic hemi-nephrectomy without hilar clampin.
34th Annual European Association of Urology (EAU) Congress: Barcelona, Spain, 2019.

4. Numao, N., Fujiwara, R., Yasuoka, S., Ishikawa, Y., Inatsu, H., Ogawa, M., Komai, Y., Yuasa, T., Yamamoto, S., Fukui, I., Yonese, J.
Comparative study of 1-day versus multiple-day administration of antimicrobial prophylaxis in radical cystectomy.
34th Annual European Association of Urology (EAU) Congress: Barcelona Spain, 2019.
5. 増田均, 山本真也, 沼尾昇, 小川将宏, 井上亨, 武田隼人, 上原翔, 三神晃, 萩原喜一, 湯浅健, 福井巖, 米瀬淳二.
がん研究会有明病院における低侵襲手術の動向.
第 12 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会: 東京, 2019.
6. 安岡正太郎, 湯浅健, 石川雄大, 稲津宏紀, 藤原遼, 小川将宏, 駒井好信, 沼尾昇, 山本真也, 米瀬淳二, 福井巖.
再発・転移性尿路上皮癌に対するペンプロリズムの初期経験.
第 107 回日本泌尿器科学会総会: 名古屋市, 2019.
7. 山本真也.
がん専門病院における術後 ED 治療と医師に求められること.
第 107 回日本泌尿器科学会総会: 名古屋市, 2019.
8. 山本真也, 沼尾昇, 駒井好信, 小川将宏, 稲津宏紀, 藤原遼, 石川雄大, 安岡正太郎, 湯浅健, 福井巖, 米瀬淳二.
前立腺全摘除術を施行した高リスク前立腺がんにおける術前内分泌療法の有効性.
第 107 回日本泌尿器科学会総会: 名古屋市, 2019.
9. 山本真也, 沼尾昇, 駒井好信, 小川将宏, 藤原遼, 安岡正太郎, 湯浅健, 福井巖, 米瀬淳二.
ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術後タダラフィルを使用した陰莖リハビリテーションが及ぼす排尿機能への影響.
日本性機能学会第 30 回学術総会: 徳島市, 2019.
10. 山本真也, 沼尾昇, 駒井好信, 小川将宏, 藤原遼, 石川雄大, 安岡正太郎, 湯浅健, 福井巖, 米瀬淳二.
2 つ以内のリスク因子を有する高リスク前立腺がんにおける術前内分泌療法期間の検討.
第 57 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2019.
11. 山本真也, 沼尾昇, 駒井好信, 小川将宏, 藤原遼, 石川雄大, 安岡正太郎, 湯浅健, 福井巖, 米瀬淳二.
ロボット支援腹腔下膀胱全摘除術の初期経験.
第 33 回日本泌尿器科内鏡視鏡学会総会: 京都市, 2019.
12. 海野陽介, ほか.
全身拡散強調画像 (DWIBS) にて診断し得た後腹膜原発絨毛癌仙骨再発の 1 例.
第 84 回日本泌尿器科学会東部総会: 東京, 2019.
13. 湯浅健.
前立腺がん: 男性ホルモンと骨・骨転移.
第 107 回日本泌尿器科学会総会: 名古屋市, 2019.
14. 湯浅健.
膀胱癌における薬物療法の最前線: 免疫チェックポイント阻害剤の現状と展望.
第 107 回日本泌尿器科学会総会: 名古屋市, 2019.
15. 湯浅健, 藤原遼, 安岡正太郎, 石川雄大, 稲津宏紀, 小川将宏, 駒井好信, 沼尾昇, 山本真也, 福井巖, 米瀬淳二.
転移性腎細胞癌に対するニボルマブの治療成績.
第 107 回日本泌尿器科学会総会: 名古屋市, 2019.
16. 湯浅健.
膀胱腫瘍 / 薬物療法 2.
第 84 回日本泌尿器科学会東部総会: 東京, 2019.

17. 湯浅健 .
前立腺がん：男性ホルモンと骨代謝・骨転移 .
第 19 回関東ホルモンと癌研究会：東京，
2019.
18. 米瀬淳二 .
ロボット支援手術 / 腎腫瘍 1 (新規技術、術
前因子、手術手技、仮性動脈瘤) .
第 107 回日本泌尿器科学会総会：名古屋市，
2019.
19. 米瀬淳二，安岡正太郎，石川雄大，稲津宏紀，
藤原遼，小川将宏，駒井好信，沼尾昇，湯浅健，
山本真也，福井巖 .
膀胱全摘を施行した病理学的リンパ節転移陽性
(pN+) 症例の検討 .
第 107 回日本泌尿器科学会総会：名古屋市，
2019.
20. 米瀬淳二 .
筋層非浸潤性膀胱癌の治療成績を目指した取り
組み .
第 84 回日本泌尿器科学会東部総会：東京，
2019.
21. 米瀬淳二 .
前立腺全摘除 .
第 12 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会
学術集会：東京，2019.
22. 米瀬淳二 .
膀胱全摘 .
第 12 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会
学術集会：東京，2019.
23. 米瀬淳二 .
膀胱癌手術 (全摘除・部分切除・尿路再建) .
第 12 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会
学術集会：東京，2019.
24. 駒井好信，井上雅晴，石川雄大，藤原遼，稲津
宏紀，小川将宏，沼尾昇，増田均，湯浅健，山
本真也，米瀬淳二 .
Segmental ischemia での腹腔鏡下腎部分切除
を可能にする renovascular microdissection
手技の実際 .
第 107 回日本泌尿器科学会総会：名古屋市，
2019.
25. 駒井好信 .
マルチアングルから見た骨盤手術解剖：婦人科
の先生にみてもらいたい女性膀胱全摘 .
第 16 回日本婦人科がん会議：東京，2019.
26. 駒井好信，金尾祐之，石川雄大，竹村公佑，藤
原遼，小川将宏，湯浅健，山本真也，米瀬淳二 .
鏡視下女性膀胱全摘における手技の工夫：直腸
剥離による血管処理の簡易化 .
第 33 回日本泌尿器科内視鏡学会総会：京都市，
2019.
27. 駒井好信，後藤田直人，井上雅晴，三神晃，井
上亨，小川将宏，山本真也，米瀬淳二 .
Segmental ischemia での腎部分切除を可能に
する renovascular microdissection：腹腔鏡下
アプローチにおける手技の実際
第 12 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会
学術集会：東京，2019.
28. 駒井好信，石川雄大，沼尾昇，福井巖，米瀬淳
二 .
他科から学ぶ腹腔鏡手術手技 .
第 12 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会
学術集会：東京，2019.

【血液腫瘍科】

1. Fukuta, T., Nishimura, N., Shirouchi, Y.,
Inoue, N., Uryu, H., Okabe, T., Kusano, Y.,
Mishima, Y., Yokoyama, M., Terui, Y.
Angiotensin II receptor blockers might re-
duce a cardiotoxicity induced by carfilzomib:
retrospective analysis of 17 cases.
17th International Myeloma Workshop:
Boston, MA, USA, 2019.
2. Nishimura, N., Suzuki, K., Tsukada, N., Na-
gata, Y., Okaduka, K., Mishima, Y., Yokoya-
ma, M., Nishiwaki, K., Ishida, T., Yano, S.,
Terui, Y., Suzuki, K.
Bortezomib, lenalidomide, and dexametha-
sone in transplant-eligible newly diagnosed
multiple myeloma: A multicenter retro-
spective comparative analysis.

- 17th International Myeloma Workshop:
Boston, MA, USA, 2019.
3. Shirouchi, Y., Mishima, Y., Mishima, Y., Fukada, I., Inoue, N., Okabe, T., Uryu, H., Kusano, Y., Nishimura, N., Yokoyama, M., Terui, Y.
Long-term follow-up of clonal evolutions of myeloma cells in the bone marrow.
17th International Myeloma Workshop:
Boston, MA, USA, 2019.
 4. Uryu, H., Mishima, Y., Mishima, Y., Yokoyama, M., Nishimura, N., Kusano, Y., Okabe, T., Inoue, N., Fukuta, T., Shirouchi, Y., Hatake, K., Terui, Y.
Cell-free DNA genotyping analysis in diffuse large B-cell lymphoma; the correlation between TP53 gene mutation and cereblon gene mutation.
61st American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting: Orlando, FL, USA, 2019.
 5. 三嶋裕子, 三嶋雄二, 横山雅大, 西村倫子, 草野善晴, 井上典仁, 瓜生英樹, 福田貴規, 城内優子, 畠清彦, 照井康仁.
多発性骨髄腫血清 cell free DNA を用いた濃度測定と遺伝子変異解析の臨床治療における有用性.
第 81 回日本血液学会学術集会: 東京, 2019.
 6. 井上典仁, 城内優子, 福田貴規, 草野善晴, 瓜生英樹, 岡部崇志, 三嶋裕子, 西村倫子, 横山雅大, 津山直子, 竹内賢吾, 照井康仁.
濾胞性リンパ腫患者に対するベンダムスチンの有効性と安全性.
第 81 回日本血液学会学術集会: 東京, 2019.
 7. 城内優子, 三嶋裕子, 三嶋雄二, 横山雅大, 西村倫子, 草野善晴, 井上典仁, 西原杏奈, 瓜生英樹, 福田貴規, 畠清彦, 照井康仁.
Elevated circulating cell-free DNA levels in malignant lymphoma and associations with clinical characteristics.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
 8. 城内優子, 横山雅大, 福田貴規, 井上典仁, 瓜生英樹, 草野善晴, 西村倫子, 三嶋裕子, 照井康仁.
末梢性 T 細胞リンパ腫における生存予後因子としての 34 か月無増悪生存期間.
第 81 回日本血液学会学術集会: 東京, 2019.
 9. 横山雅大.
症例報告 1 (血液).
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
 10. 照井康仁.
腫瘍進化と不均一性.
第 23 回日本がん分子標的治療学会学術集会: 大阪市, 2019.
 11. 照井康仁.
Recent advances in therapeutics for malignant lymphoma.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
 12. 照井康仁, 伊藤薫樹.
医療従事者の働き方を考える.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
 13. 照井康仁.
Oncocardiology を開花させる.
第 2 回日本腫瘍循環器学会学術集会: 旭川市, 2019.
 14. 照井康仁.
高齢化社会におけるがん化学療法のマネジメント.
第 4 回日本がんサポーターティブケア学会学術集会: 青森市, 2019.
 15. 瓜生英樹, 三嶋裕子, 横山雅大, 西村倫子, 草野善晴, 井上典仁, 西原杏奈, 福田貴規, 城内優子, 津山直子, 竹内賢吾, 照井康仁.
形質転換を伴ったびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫と新規びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の予後比較.
第 81 回日本血液学会学術集会: 東京, 2019.

16. 福田貴規, 西村倫子, 城内優子, 井上典仁, 草野善晴, 三嶋裕子, 横山雅大, 照井康仁.
骨髄腫患者におけるボルテゾミブ登場後の自家末梢血幹細胞移植.
第 81 回日本血液学会学術集会: 東京, 2019.
17. 西村倫子.
ミドル・アップダウンによる当院の医師の働き方改革.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
18. 西村倫子.
細胞性腫瘍における薬剤師の治療介入.
第 8 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会: 札幌市, 2019.
19. 遠藤誉也, 福田貴規, 西原杏奈, 西村倫子, 照井康仁.
放射線治療後に鼠径リンパ節の急速増大を認めた孤発性形質細胞腫の 1 例.
日本内科学会第 649 回関東地方会: 東京, 2019.

【総合腫瘍科】

1. Takahashi, S., Megumi, Y., Sakata, Y., Ikezawa, H., Matsuoka, T., Kawai, A.
One-year follow-up results of eribulin for soft-tissue sarcoma including rare subtypes in a real-world observational study in Japan.
European Society for Medical Oncology (ESMO) 2019 Congress: Barcelona, Spain, 2019.
2. Urasaki, T., Nakano, K., Tomomatsu, J., Yamashita, K., Takazawa, Y., Komai, Y., Yamamoto, S., Yuasa, T., Yonese, J., Takahashi, S.
Adult genitourinary sarcoma: Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research experience.
The CTOS 2019 Annual Meeting: Tokyo, 2019.
3. Yunokawa, M., Takahashi, S., Aoki, D., Yon-

emori, K., Takehara, K., Harano, H., Nomura, H., Noguchi, E., Horie, K., Ogasawara, A., Okame, S., Doi, T.

First-in-human phase I study of TAS-117, an allosteric AKT inhibitor, in patients with advanced solid tumors.

European Society for Medical Oncology (ESMO) 2019 Congress: Barcelona, Spain, 2019.

4. 仲野兼司, 船内雄生, 早川景子, 谷澤泰介, 阿江啓介, 松本誠一, 高橋俊二.
The clinical efficacy of eribulin to soft tissue sarcoma patients: differences in histological subtypes.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
5. 仲野兼司.
L-sarcoma におけるエリブリンの治療導入ラインと予後の考察.
第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 川越市, 2019.
6. 仲野兼司, 船内雄生, 早川景子, 谷澤泰介, 阿江啓介, 松本誠一, 高橋俊二.
L-サルコーマにおけるエリブリンの治療導入ラインと予後の考察.
第 2 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会: 東京, 2019.
7. 仲野兼司, 友松純一, 温泉川真由, 西澤正俊, 小野麻紀子, 平良眞一郎, 高橋俊二, 阿江啓介, 松本誠一.
横紋筋肉腫への VAC レジメン: AYA 世代とそれ以上の年代の成人での効果の比較.
第 2 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会: 東京, 2019.
8. 仲野兼司.
肉腫 (サルコーマ) の治療について知ろう: 手術、放射線治療、抗がん剤、緩和ケア.
第 2 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会: 東京, 2019.
9. 佐藤靖祥, 船内雄生, 仲野兼司, 小林由香利, 藤枝奈緒, 平良眞一郎, 友松純一, 早川景子,

- 谷澤泰介, 松本誠一, 阿江啓介, 垣見和宏, 高橋俊二.
腫瘍浸潤 T リンパ球の解析による肉腫における免疫療法の可能性の探索.
第 2 回日本サルコーム治療研究学会学術集会: 東京, 2019.
10. 小野麻紀子, 市村崇, 青木洋一, 竹内抄與子, 佐山郁子, 黒田直子, 横井麻珠美, 大友陽子, 山田欣子, 山田玲子, 吾妻慧一, 片岡明美, 大野真司.
がん専門病院における AYA 世代がん患者の妊孕性温存の取り組み.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
11. 小野麻紀子.
患者支援・サバイバーシップ.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
12. 小野麻紀子, 大迫智, 平良眞一郎, 柴山朋子, 細永真理, 小林心, 小林隆之, 上野貴之, 伊藤良則, 大野真司, 秋山太, 高橋俊二.
乳癌再発時における好中球・リンパ球比と転移巣の腫瘍浸潤リンパ球に関する検討.
第 27 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2019.
13. 川口城毅, 仲野兼司, 浦崎哲也, 福田直樹, 平良眞一郎, 小野麻紀子, 友松純一, 温泉川真由, 西澤正俊, 阿江啓介, 高橋俊二.
Retrospective analysis of trabectedin therapy for soft tissue sarcoma.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
14. 川口城毅.
軟部肉腫に対するトラベクテジン治療の後ろ向き検討.
第 2 回日本サルコーム治療研究学会学術集会: 東京, 2019.
15. 浦崎哲也, 船内雄生, 友松純一, 温泉川真由, 早川景子, 小野麻紀子, 西澤正俊, 平良眞一郎, 谷澤泰介, 仲野兼司, 松本誠一, 阿江啓介, 高橋俊二.
進行・再発血管肉腫症例に対する weekly paclitaxel 療法の後方視的検討.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
16. 浦崎哲也.
ペムブロリズマブ投与後に間質性肺炎を繰り返し、ステロイド漸減中に重度の口腔粘膜炎、結膜炎を認めた尿路上皮癌の一例.
日本泌尿器腫瘍学会第 5 回学術集会: 福岡市, 2019.
17. 温泉川真由, 福田直樹, 王曉斐, 川口城毅, 浦崎哲也, 仲野兼司, 西澤正俊, 小野麻紀子, 平良眞一郎, 友松純一, 高橋俊二.
Feasibility of concurrent chemoradiotherapy with cisplatin in elderly patients with head and neck cancer.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
18. 温泉川真由.
PARP 阻害剤使用の実際: 卵巣がん、乳がん、前立腺がんの立場より.
第 7 回日本 HBOC コンソーシアム学術総会: 東京, 2019.
19. 王曉斐, 浦崎哲也, 川口城毅, 福田直樹, 西澤正俊, 温泉川真由, 平良眞一郎, 小野麻紀子, 仲野兼司, 友松純一, 高橋俊二.
The importance of percutaneous endoscopic gastrostomy in head and neck cancer patients receiving chemoradiotherapy.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
20. 福田直樹.
甲状腺癌に対する好中球 / リンパ球比の意義: 臨床試験と自験例から考える Lenvatinib 導入タイミング.
第 31 回日本内分泌外科学会総会: 東京, 2019.
21. 福田直樹, 仲野兼司, 西澤正俊, 温泉川真由, 平良眞一郎, 小野麻紀子, 友松純一, 戸田和寿, 三谷浩樹, 高橋俊二.

- Neutrophil to lymphocyte ratio (NLR) can be an on-treatment marker during lenvatinib treatment for patients with RR-DTC.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.
22. 福田直樹，高張大亮，鈴木健，太田弓子，大隅寛木，中山巖馬，若槻尊，市村崇，小倉真理子，大木暁，末永光邦，篠崎英司，陳勁松，山口研成。
Outcomes of ramucirumab plus sb-PTX or nab-PTX for advanced gastric or gastroesophageal junction cancer patients.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.
23. 高橋俊二。
Cancer treatment-induced bone loss (CTIBL): 機序と予防・治療。
第 92 回日本内分泌学会学術総会：仙台市，2019.
24. 高橋俊二。
肉腫治療における集学的アプローチの推進：肉腫治療における腫瘍内科医の役割。
第 92 回日本整形外科学会学術総会：横浜市，2019.
25. 高橋俊二。
再発・転移頭頸部扁平上皮癌の一次療法。
第 43 回日本頭頸部癌学会：金沢市，2019.
26. 高橋俊二。
腫瘍内科から見た希少がん。
第 44 回日本外科系連合学会学術集会：金沢市，2019.
27. 高橋俊二，Modi, S., 鶴谷純司，Kropf, I., 岩田広治，Wada, R., Yin, O., Garimella, T., 杉原匡周，Zhang, L., Lee, C., 齊藤格，川崎結衣，Yver, A., 田村研治。
Dose justification for [fam-] trastuzumab deruxtecan (DS-8201a) in HER2-positive breast cancer.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.
28. 高橋俊二。
Japanese subgroup analysis of KEY-NOTE-048: Ph3 study of 1L pembrolizumab for R/M head and neck squamous cell carcinoma.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.
29. 高橋俊二，大瀧ます美，友松純一，小野真紀子，温泉川真由，伊藤良則，柴山朋子，小林心，笹平直樹，尾坂将人，陳勁松，山口研成，福田直樹，西澤正俊，中村祐輔，LowSiew-Kee。
Liquid biopsy for detection of actionable mutation in various cancer patients.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.
30. 高橋俊二。
進行転移性悪性軟部肉腫に対する治療戦略。
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.
31. 高橋俊二。
転移性乳癌患者における Oncologic emergency。
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
32. 高橋俊二。
腫瘍免疫から見た免疫チェックポイント阻害剤の適切な使用方法。
第 57 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2019.
33. 高橋俊二。
肉腫治療の施設内連携。
第 2 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会：東京，2019.

【総合診療部】

1. 志賀太郎。
CTRCD の治療：どんな治療をいつ始め、いつまで続けるか？。
日本心エコー図学会第 30 回学術集会：松本市，2019.

2. 志賀太郎 .
腫瘍循環器病学へのいざない：実臨床における
Onco-Cardiology.
第 108 回日本病理学会総会：東京，2019.
3. 志賀太郎 .
Current status of and issues in manage-
ment of cancer-associated thrombosis in
Japanese patients.
第 41 回日本血栓止血学会学術集会：津市，
2019.
4. 志賀太郎，田尻和子 .
腫瘍循環器 .
第 252 回日本循環器学会関東甲信越地方会：
東京，2019.
5. 志賀太郎 .
がん専門病院と近隣総合病院との連携 .
第 2 回日本腫瘍循環器学会学術集会：旭川市，
2019.
6. 志賀太郎 .
がんと心疾患を診療する：血管不全とがん治療 .
第 4 回日本がんサポーターブケア学会学術集
会：青森市，2019.
7. 志賀太郎 .
免疫療法に必要な支持療法 .
第 4 回日本がんサポーターブケア学会学術集
会：青森市，2019.
8. 志賀太郎，赤澤宏 .
研究から学ぶ 10：Cardio-oncology.
第 67 回日本心臓病学会学術集会：名古屋市，
2019.
9. 志賀太郎 .
がん治療関連性心血管障害の管理について .
第 83 回日本循環器学会学術集会：横浜市，
2019.

【麻酔科】

1. 千々和優介，平島潤子，石川晴士，広山万希子，
見市光寿，横田美幸 .
婦人科腫瘍患者における術前 DVT スクリーニ
ングとして有用な予測因子の検討：D-dimer
を中心として .
日本麻酔科学会第 66 回学術集会：神戸市，
2019.
2. 森島光一郎，大里彰二郎，山本理恵，吉岡清佳，
石川晴士，横田美幸 .
人工気胸を用いた腹臥位胸腔鏡下食道切除術に
おける術後肺合併症の検討 .
日本麻酔科学会第 66 回学術集会：神戸市，
2019.
3. 横田美幸 .
フレイル・サルコペニア患者の手術・周術期管
理を考える .
日本麻酔科学会第 66 回学術集会：神戸市，
2019.
4. 横田美幸 .
安全委員会：手術室・ICU 外での安全な鎮静（の
管理体制）をどう構築するか？ .
日本麻酔科学会第 66 回学術集会：神戸市，
2019.
5. 横田美幸 .
胸部・腹部外科における multimodal analge-
sia 硬膜外鎮痛、末梢神経ブロックのどちらを
主体に考えるか？ .
日本麻酔科学会第 66 回学術集会：神戸市，
2019.
6. 横田美幸 .
2040 年に向けて麻酔科医はどう準備すべきか .
日本臨床麻酔学会第 39 回大会：軽井沢町，
2019.
7. 横田美幸，土田英昭 .
高齢者の鎮静 .
第 31 回日本老年麻酔学会：東京，2019.

【形成外科】

1. Karakawa, R.
Anatomical relationship among the perforator, great saphenous veins, subcutaneous nerves, and lymphatic vessels in profunda femoris artery perforator (PAP) flap.
第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会：札幌市，2019.
2. Karakawa, R., Yano, T., Yoshimatsu, H., Tanakura, K., Miyashita, H., Hayashi, A., Sawaizumi, M.
Profunda femoris artery perforator (PAP) flap: an anatomical study of the lymph collecting vessels.
10th Congress of World Society for Reconstructive Microsurgery (WSRM): Bologna, Italy, 2019.
3. Karakawa, R., Yano, T., Yoshimatsu, H., Tanakura, K., Miyashita, H., Hayashi, A., Sawaizumi, M.
The relationship of lymph collecting vessels, accessory saphenous vein, and profunda femoris artery perforator (PAP) flap: Anatomical study and clinical application.
American Society for Reconstructive Microsurgery (ASRM) Annual Meeting: Palm Desert, CA, USA, 2019.
4. Majima, K., Yano, T., Miyashita, H., Tanakura, K., Shibata, T., Kuramoto, Y., Yoshimatsu, H., Honda, T., Sawaizumi, M.
Two cases of simultaneous procedure of breast reconstruction using deep inferior epigastric perforator(DIEP) flap and total uterus ablation with bilateral-oophorectomy for uterine fibroids.
10th Congress of World Society for Reconstructive Microsurgery (WSRM): Bologna, Italy, 2019.
5. Suzuki, A.
A successful case of early treatment for heparin induced thrombocytopenia (HIT) as a cause of free flap failure in the head reconstructive surgery.
10th Congress of World Society for Reconstructive Microsurgery (WSRM): Bologna, Italy, 2019.
6. Tanakura, K., Yano, T., Imai, T., Miyashita, H., Kuramoto, Y.
A low-cost training model for harvesting of deep inferior epigastric artery perforator flap using pig belly meat.
88th American Society of Plastic Surgeons (ASPS) Annual Meeting: San Diego, CA, 2019.
7. Yano, T.
Microsurgery/Reconstruction 3.
第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会：札幌市，2019.
8. Yano, T., Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Suzuki, A., Majima, K., Sawaizumi, M.
A possibility of PAP flap neurotization for a sensate small breast reconstruction.
10th Congress of World Society for Reconstructive Microsurgery (WSRM): Bologna, Italy, 2019.
9. Yano, T., Yoshimatsu, H., Tanakura, K., Miyashita, H., Karakawa, R., Hayashi, A., Sawaizumi, M.
Four different situations and ways of salvage for perforator damage during DIEP free flap harvesting.
American Society for Reconstructive Microsurgery (ASRM) Annual Meeting: Palm Desert, CA, USA, 2019.
10. Yoshimatsu, H.
Anatomy and clinical applications of chimeric SCIP flaps.
2nd Annual Meetings of Chinese Association of Microsurgeons 2019: Dalian, China, 2019.
11. Yoshimatsu, H.
Use of the transverse branch of the SCIA to facilitate chimeric SCIP reconstruction.
第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会：札幌市，2019.

12. Yoshimatsu, H.
Chimeric SCIP flaps.
10th Congress of World Society for Reconstructive Microsurgery (WSRM): Bologna, Italy, 2019.
13. Yoshimatsu, H.
Supermicrosurgical end-to-side anastomosis.
10th Congress of World Society for Reconstructive Microsurgery (WSRM): Bologna, Italy, 2019.
14. Yoshimatsu, H.
Efficacy of LVA for post-surgical lymphorrhea and chemotherapy-induced lymphedema.
Die Lange Nacht der Lymphchirurgie: Vienna, Austria, 2019.
15. Yoshimatsu, H.
Chimeric SCIP flaps.
Luzerner Kantonsspital Grand Round: Lucerne, Switzerland, 2019.
16. Yoshimatsu, H.
The first successful free perforator flap transfer in a patient with Werner syndrome.
American Society for Reconstructive Microsurgery (ASRM) Annual Meeting: Palm Desert, CA, USA, 2019.
17. Yoshimatsu, H.
Use of the transverse branch of the SCIA for a landmark in elevation of deep branch-based SCIP flaps.
American Society for Reconstructive Microsurgery (ASRM) Annual Meeting: Palm Desert, CA, USA, 2019.
18. Yoshimatsu, H.
Visualization of the intradermal plexus and the dermis flap: A new step beyond perforator flaps.
American Society for Reconstructive Microsurgery (ASRM) Annual Meeting: Palm Desert, CA, USA, 2019.
19. 倉元有木子, 矢野智之, 澤泉雅之.
SAQLA-study における中止症例の検討.
第7回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: さいたま市, 2019.
20. 倉元有木子.
ハイポリウムセンターから学ぶ: よくある合併症から稀な合併症まで.
第7回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: さいたま市, 2019.
21. 倉元有木子, 矢野智之, 宮下宏紀, 吉松英彦, 柴田知義, 鈴木明世, 森山壮, 辛川領, 佐官俊一, 澤泉雅之, 棚倉健太, 大野真司.
がん研有明病院における10年間の腹部遊離皮弁による乳房再建: 乳癌治療の進歩とともに.
第46回日本マイクロサージャリー学会学術集会: 東京, 2019.
22. 倉元有木子.
上肢軟部悪性腫瘍切除後再建: 取るに足る再建のために.
第24回日本形成外科手術手技学会: 横浜市, 2019.
23. 前田恵里沙, 棚倉健太, 矢野智之, 宮下宏紀, 倉元有木子, 吉松英彦, 柴田知義, 鈴木明世, 辛川領, 眞島昂也, 澤泉雅之.
シリコーンプレストインプラント豊胸術後20年目に外因性遅発性漿液腫をきたした一例.
第7回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: さいたま市, 2019.
24. 吉松英彦.
リンパ漏、リンパ浮腫に対するリンパ管静脈吻合術.
第3回日本リンパ浮腫学会総会: 東京, 2019.
25. 坪根隼次郎, 倉元有木子, 矢野智之, 宮下宏紀, 吉松英彦, 柴田知義, 鈴木明世, 森山壮, 辛川領, 佐官俊一, 鶴田優希, 澤泉雅之.
食道亜全摘再建時の胃管の右胃大網動静脈損傷に対してマイクロ下に修復した1例.

- 第 46 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：東京，2019.
26. 宮下宏紀．
乳房 5.
第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会：札幌市，2019.
27. 宮下宏紀，矢野智之，棚倉健太，澤泉雅之．
ハイボリュームセンターのマイクロサージャンとして二度の男性育休の経験．
第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会：札幌市，2019.
28. 山本覚，矢野智之，古林玄，棚倉健太，宮下宏紀，倉元有木子，柴田知義，澤泉雅之．
外陰部の欠損に対して対側の太陰唇皮弁によって再建した一例．
第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会：札幌市，2019.
29. 柴田知義，澤泉雅之，矢野智之，棚倉健太，宮下宏紀，倉元有木子，吉松英彦，鈴木明世，辛川領，森山壮，佐官俊一，坪根隼次郎，鶴田優希．
SBI（シリコンプレストインプラント）を用いた 1 次 2 期乳房再建時の抗生剤使用検討．
第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会：札幌市，2019.
30. 柴田知義，澤泉雅之，矢野智之，棚倉健太，宮下宏紀，倉元有木子，吉松英彦，鈴木明世．
SBI（シリコンプレストインプラント）を用いた 1 次 2 期再建時の抗生剤使用の漸減とその結果．
第 7 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会：さいたま市，2019.
31. 棚倉健太．
これから乳房再建を学ぶ若者へ：究めよ Basic Master への道：人工物再建．
第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会：札幌市，2019.
32. 棚倉健太．
人工物による乳房再建の基本：感染対策とサイズ選択のポイント．
- 第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会：札幌市，2019.
33. 棚倉健太，宮城由美，矢野智之，上野貴之，大野真司．
乳房切除・再建は当科ではこうやる：日本の High Volume Center での乳腺・形成共同診療．
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
34. 棚倉健太．
知っておきたい！乳房再建 最前線：患者さんの QOL 向上のためにできること．
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
35. 棚倉健太，矢野智之，宮下宏紀，倉元有木子，吉松英彦，柴田知義，鈴木明世，辛川領，前田恵里沙，眞島昂也，山本覚，佐官俊一，坪根隼次郎，鶴田優希，上野貴之，大野真司，澤泉雅之．
Laser speckle imaging の乳腺領域への応用：NSM を中心に．
第 7 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会：さいたま市，2019.
36. 棚倉健太．
Macrofill で行う患者に寄り添う乳房再建．
第 7 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会：さいたま市，2019.
37. 棚倉健太，ほか．
1 人でもできる！ドナーサイトもきれいな PAP 皮弁挙上．
第 46 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：東京，2019.
38. 棚倉健太，宮城由美．
一次二期再建のための NSM/SSM：がん研での術式の変遷．
乳房再建セミナー in 鹿児島：鹿児島市，2019.
39. 棚倉健太，河村進．
外科治療の効果と限界．
第 3 回日本リンパ浮腫学会総会：東京，2019.
40. 棚倉健太ほか．
医師に対するリーダーシップ、マネジメント教育とその機会．

- 第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会：札幌市，2019.
41. 森山壮，宮下宏紀，棚倉健太，倉元有木子，吉松英彦，柴田知義，鈴木明世，辛川領，佐官俊一，眞島昂也，矢野智之，澤泉雅之。
遊離皮弁再建の遅発性皮弁血流トラブルに関する検討。
第 46 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：東京，2019.
42. 眞島昂也，宮下宏紀，矢野智之，棚倉健太，倉元有木子，吉松英彦，柴田知義，澤泉雅之。
全身麻酔での豊胸術後より発症した Tapia 症候群の 1 例。
第 62 回日本形成外科学会学術集会：札幌市，2019.
43. 眞島昂也，宮下宏紀，矢野智之，倉元有木子，吉松英彦，柴田知義，鈴木明世，森山壮，辛川領，佐官俊一，坪根隼次郎，鶴田優希。
当院における DIEP flap による乳房再建後の腹壁癒痕ヘルニアの検討。
第 7 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：さいたま市，2019.
44. 眞島昂也，棚倉健太，矢野智之，宮下宏紀，倉元有木子，吉松英彦，柴田知義，鈴木明世，森山壮，辛川領，坪根隼次郎，澤泉雅之。
遊離皮弁による乳房再建症例に対する D-dimer 測定による深部静脈血栓症スクリーニング。
第 46 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：東京，2019.
45. 矢野智之，眞島昂也，山本覚，鈴木朋世，柴田知義，辛川領，辻英貴，澤泉雅之。
当科における下眼瞼広範囲全層欠損に対する再建アプローチ。
第 7 回日本眼形成再建外科学会学術集会：東京，2019.
46. 矢野智之。
眼瞼。
第 7 回日本眼形成再建外科学会学術集会：東京，2019.
47. 矢野智之。
マイクロサージャリー 1。
第 62 回日本形成外科学会学術集会：札幌市，2019.
48. 矢野智之，辛川領，棚倉健太，宮下宏紀，倉元有木子，吉松英彦，柴田知義，澤泉雅之。
安全な Profunda artery perforator (PAP) flap の挙上の実際と臨床応用時のコツ。
第 62 回日本形成外科学会学術集会：札幌市，2019.
49. 矢野智之，棚倉健太，宮下宏紀，倉元有木子，吉松英彦，柴田知義，澤泉雅之。
Social Network Service における“がん研”が獲得した「いいね！」の解析。
第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会：札幌市，2019.
50. 矢野智之。
井の中の蛙マイクロの大海を知る。
第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会：札幌市，2019.
51. 矢野智之。
動画で知る安全な PAP flap の挙上の実際と臨床応用時のコツ。
第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会：札幌市，2019.
52. 矢野智之。
頭蓋底手術のサバイバーシップを支える頭蓋底再建術。
第 24 回日本脳腫瘍の外科学会：浜松市，2019.
53. 矢野智之。
「乳房を感じる」病院賛否両論：がん特化型病院か総合病院かクリニックか：がん研は誰もが治療を受けたいセンターを目指す。
第 7 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：さいたま市，2019.
54. 矢野智之，宮下宏紀，倉元有木子，吉松英彦，柴田知義，鈴木明世，森山壮，辛川領，棚倉健太，澤泉雅之。

シンプルで助手いらず“1人”で挙げる DIEP flap.

第46回日本マイクロサージャリー学会学術集会：東京，2019.

55. 矢野智之，吉松英彦，辛川領，前田恵里沙，眞島昂也，福島啓文，三谷浩樹，澤泉雅之。
上顎部切後開口運動域 0mm 患者に対する腓骨皮弁を用いた整容・機能改善手術。
第37回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会：長崎市，2019.
56. 辛川領，矢野智之，吉松英彦，関拓哉，荒船龍彦，澤泉雅之。
スマートデバイスを用いたマイクロサージェリートレーニングシステムの開発。
第62回日本形成外科学会総会・学術集会：札幌市，2019.
57. 鈴木明世，宮下宏紀，矢野智之，棚倉健太，柴田知義，倉元有木子，澤泉雅之。
乳房一次再建後の局所再発について。
第62回日本形成外科学会総会・学術集会：札幌市，2019.
58. 鈴木明世，宮下宏紀，西澤綾，北川大，柴田知義，吉松英彦，倉元有木子，矢野智之，澤泉雅之。
乳房一次再建におけるエキスパンダー挿入術後に発症した壊疽性膿皮症の一例。
第7回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会：さいたま市，2019.
59. 鶴田優希，倉元有木子，澤泉雅之，矢野智之，宮下宏紀，吉松英彦，柴田知義。
卵巣卵管切除術（RRSO）と同時に破損 SBI 入れ替え術を施行した、遺伝性乳癌卵巣癌症候群（HBOC）の一例。
第7回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会：さいたま市，2019.
60. 鶴田優希，辛川領，宮下宏紀，矢野智之，倉元有木子，吉松英彦，柴田知義，鈴木明世，森山壮，佐官俊一，眞島昂也，阿江啓介。
右精索原発未分化多型肉腫の4度目の再発に対して PAP flap での再建を施行した一例。

第46回日本マイクロサージャリー学会学術集会：東京，2019.

【眼科】

1. 辻英貴，吉田淳，竹内賢吾。
CD30 陽性の T 細胞性リンパ増殖性疾患。
第52回眼科臨床病理組織研究会：大分市，2019.
2. 辻英貴。
涙嚢に生じた悪性腫瘍。
第8回日本涙道・涙液学会総会（フォーサム 2019 京都）：京都市，2019.
3. 辻英貴。
視神経腫瘍。
第37回日本眼腫瘍学会：東京，2019.
4. 辻英貴。
眼窩内容除去術に至った1症例。
第34回日本眼窩疾患シンポジウム：新潟市，2019.
5. 辻英貴。
眼部腫瘍：Pearls & pitfalls
第238回高知大学眼科研究会・第239回高知県眼科集談会：高知市，2019.
6. 辻英貴。
眼領域の腫瘍：症例から学んで、よりよいマネジメントへ。
平成30年度第2回千葉県眼科医会総会：千葉市，2019.
7. 辻英貴。
甲状腺眼症治療の実際；評価と内科的治療を中心に。
第30回日本眼瞼義眼床手術学会：大阪市，2019.
8. 辻英貴。
眼鏡に装着したエピテーゼに生じた諸問題とその対策。
第30回日本眼瞼義眼床手術学会：大阪市，2019.

9. 辻英貴 .
眼部腫瘍アップデート：よりよいマネージメントを目指して .
第 7 回中央区医師会学術講演会：東京，2019.
10. 辻英貴 .
瞼結膜に生じた IgG4 関連眼疾患 .
第 12 回 IgG4 研究会：富山市，2019.

【感染症科】

1. 帆足公佑，大串大輔，佐々木俊治，原田壮平，羽山ブライアン .
クモ膜下ポート留置中の患者に生じた *Serratia marcescens* による細菌性髄膜炎の一例 .
第 93 回日本感染症学会学術講演会：名古屋市，2019.
2. 武田孝一，榎田泰祐，帆足公佑，大串大輔，羽山ブライアン .
Cutibacterium acnes による人工膝関節感染症の一例 .
第 68 回日本感染症学会東日本地方会学術集会，第 66 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会：仙台市，2019.
3. 羽山ブライアン .
血液培養以外で検出されたカンジダをどのように扱うか？
第 68 回日本感染症学会東日本地方会学術集会，第 66 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会：仙台市，2019.
4. 羽山ブライアン .
院内感染対策における VPD (Vaccine preventable diseases) について .
第 31 回日本老年麻酔学会：東京，2019.

【皮膚科】

1. 堤田新 .
メラノーマ 13 .
第 35 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会：神戸市，2019.
2. 堤田新 .
メラノーマの術後補助化学療法の進歩 .
第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会：札幌市，2019.

3. 堤田新 .
メラノーマにおけるリンパ節郭清の意義と術後補助療法 .
第 43 回日本リンパ学会総会：東京，2019.
4. 西澤綾 .
治せなかった手湿疹はありませんか？異汗性湿疹の多彩な症状と治療の工夫 .
第 35 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会：松山市，2019.
5. 西澤綾 .
マルチキナーゼ阻害薬による皮膚障害の予防、治療対策：甲状腺がんで使用する薬剤を中心に .
第 31 回日本内分泌外科学会総会：東京，2019.
6. 西澤綾 .
皮膚障害 .
第 4 回日本がんサポーターブケア学会学術集会：青森市，2019.

【歯科】

1. 富塚健 .
口腔ケアはがん治療に本当に必要か：これだけは知ってほしい口腔ケアのポイント .
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会：京都市，2019.
2. 富塚健 .
がん治療に必要な口腔機能管理とは .
第 238 回みなとセミナー：横浜市，2019.
3. 榊原安侑子，倉林くみ子，菅野勇樹，菅家康介，久保田恵吾，江口奈緒子，木暮麻優，田村恵，富塚健 .
骨吸収抑制薬投与後に発症したステージ 2 顎骨壊死への対応について .
日本がん口腔支持療法学会第 5 回学術大会：東京，2019.

【放射線治療部】

1. Nakano, M., Imae, T., Nakamoto, T., Haga, A., Nawa, K., Nomura, Y., Chhatkuli, R., Demachi, K., Takahashi, W., Yamamoto, K., Nakagawa, K., Hashimoto, M., Yoshioka, Y., Oguchi, M.

- Pseudo-CBCT image prediction of head and neck cancer patient using principal component vector fields of early treatment fractions.
American Association of Physicists in Medicine (AAPM) 61st Annual Meeting: San Antonio, TX, USA, 2019.
2. Taguchi, S., Yoshioka, Y., Mishima, Y., Nishimura, N., Yokoyama, M., Takeuchi, K., Teuri, Y., Oguchi, M.
Assessment of late toxicities of liver and kidney after definitive radiotherapy for gastric MALT lymphoma.
61st Annual Meeting of American Society for Radiation Oncology(ASTRO): Chicago, IL, USA, 2019.
 3. Yoshioka, Y.
High-dose-rate brachytherapy and other radiotherapy for prostate cancer.
Annual Meeting of Chinese Medical Association Radiation Oncology Branch Brachytherapy Group: Changchun, China, 2019.
 4. Yoshioka, Y.
Current status and perspectives of high-dose-rate brachytherapy for prostate cancer.
16th National Meeting of Chinese Society of Therapeutic Radiation Oncology (CSTRO): Shenzhen, China, 2019.
 5. 下谷内奈々, ほか.
局所進行舌癌に対して IMRT を用いた術後放射線療法の治療成績.
日本放射線腫瘍学会第 32 回学術大会: 名古屋市, 2019.
 6. 中島直美, 小口正彦.
乳房温存手術後断端陰性症例に対するブースト照射について.
第 27 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2019.
 7. 中島直美, 兼安祐子.
女性医師のキャリア支援: プロとして輝き続けるために.
 8. 中野正寛, 今江禄一, 仲本宗泰, 名和要武, 芳賀昭弘, 高橋渉, 中川恵一, 橋本成世, 吉岡靖生, 小口正彦.
Pseudo-CBCT image prediction of head and neck cancer patient using principal component vector fields of early treatment fractions.
第 117 回日本医学物理学会学術大会: 横浜市, 2019.
 9. 佐々木理栄, 田口千藏, 桑原宏文, 吉岡靖生, 篠崎英司, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 福長洋介, 上野雅資, 小口正彦.
肛門管浸潤を有する下部進行直腸癌に対する術前化学放射線療法の予防領域に関する検討.
第 57 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2019.
 10. 利安隆史, 猪田浩隆, 熊井康子, 吉岡靖生, 佐藤由紀子, 田中宏子, 高橋俊二, 小口正彦, 三谷浩樹.
p16 陽性中咽頭癌に対する IMRT を用いた同時化学放射線療法の治療成績.
第 43 回日本頭頸部癌学会: 金沢市, 2019.
 11. 利安隆史.
Exax Trac と OBI の併用による頭頸部領域の IGRT について.
BRAINLAB SEMINAR 2019: 東京, 2019.
 12. 利安隆史.
頭頸部がんチーム医療: 放射線治療医の立場から.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
 13. 利安隆史, ほか.
頭頸部放射線治療と血清フェリチンの相関の検討.
日本放射線腫瘍学会第 32 回学術大会: 名古屋市, 2019.

14. 利安隆史, ほか.
p16 陽性中咽頭癌に対する IMRT を用いた同時化学放射線療法の治療成績.
第 4 回日本 HPV 研究会学術集会: 東京, 2019.
15. 吉岡靖生.
ガイドラインから見た放射線療法とホルモン療法の考え方.
第 107 回日本泌尿器科学会総会: 名古屋市, 2019.
16. 吉岡靖生.
HDR 小線源療法.
第 84 回日本泌尿器科学会東部総会: 東京, 2019.
17. 吉岡靖生.
VISICOIL と OAR を用いた前立腺 IGRT (True Beam).
日本放射線腫瘍学会第 32 回学術大会: 名古屋市, 2019.
18. 吉岡靖生.
より良い前立腺がん治療を目指して: 泌尿器科、放射線科の立場から: ハイドロゲルスペースを用いた治療経験.
日本放射線腫瘍学会第 32 回学術大会: 名古屋市, 2019.
19. 吉岡靖生.
前立腺癌各種治療法の特徴: 高線量率組織内照射.
日本放射線腫瘍学会第 32 回学術大会: 名古屋市, 2019.
20. 吉岡靖生.
小線源治療 I.
日本放射線腫瘍学会第 32 回学術大会: 名古屋市, 2019.
21. 吉岡靖生, 鈴木一洋, 小口正彦.
AI で時代は変わるのか: がん研究会有明病院における AI ホスピタルの取り組み.
第 17 回九州放射線治療システム研究会: 福岡市, 2019.
22. 吉岡靖生, 奥田隆仁, 中村太郎, 鈴木淳司, 高橋宏典, 伊藤誠, 高瀬裕樹, 小口正彦.
前立腺がんに対する定位放射線治療: ガイドラインとエビデンス.
サイバーナイフ研究会第 13 回学術研究会: 東京, 2019.
23. 小口正彦.
ILROG 教育セミナー報告: 最新の放射線治療.
第 34 回悪性リンパ腫治療研究会: 横浜市, 2019.
24. 小口正彦.
後期高齢者がんの放射線治療.
第 31 回日本老年麻酔学会: 東京, 2019.
25. 猪田浩隆, 利安隆史, 芹澤慈子, 吉岡靖生, 小口正彦.
進行下咽頭扁平上皮癌に対する術後強度変調放射線療法 (IMRT) の成績.
第 43 回日本頭頸部癌学会: 金沢市, 2019.
26. 田口千蔵, ほか.
胃 MALT リンパ腫放射線治療後の肝臓および腎臓の晩期毒性に関する検討.
日本放射線腫瘍学会第 32 回学術大会: 名古屋市, 2019.
27. 篠村一磨, ほか.
椎体の転移性骨腫瘍に対する IMRT による再照射の有用性の検討.
日本放射線腫瘍学会第 32 回学術大会: 名古屋市, 2019.
28. 角美奈子, 後藤志保.
集学的治療における患者ケア.
日本放射線腫瘍学会第 32 回学術大会: 名古屋市, 2019.
29. 角美奈子.
放射線治療 update.
第 60 回日本肺癌学会学術集会: 大阪市, 2019.
30. 角美奈子.
骨軟部肉腫に対する重粒子線治療.

第 2 回日本サルコーム治療研究学会学術集会：
東京，2019.

31. 鈴木涼子，ほか。
Efficacy of radiation for focally tumor-exposed margin after breast conserving surgery: an update.
日本放射線腫瘍学会第 32 回学術大会：名古屋市，2019.

【放射線治療チーム】

1. Fujimoto, D.
Evaluation of the dosimetric robustness for 4DCT based internal margin against respiratory motion variations of lung cancer.
第 117 回日本医学物理学会学術大会：横浜市，2019.
2. Miyauchi, H., Takahashi, H., Hasegawa, T., Hashimoto, M.
Image processing method using super-resolution technique for exposure dose reduction：被ばく線量低減を目的とした超解像技術を用いた画像処理システムの構築。
第 118 回日本医学物理学会学術大会：福井市，2019.
3. Murakami, Y., Magome, T., Mizutani, T., Sato, T., Yoshioka, Y., Oguchi, M.
Potential of radiomic feature related to prostatic calcifications for the machine learning based prediction of biochemical recurrence in prostate cancer patient.
American Society for Radiation Oncology 61st Annual Meeting: Chicago, IL, USA, 2019.
4. Murakami, Y., Magome, T., Nakano, M., Sato, T., Yoshioka, Y., Oguchi, M.
Effect of prostatic calcification on radiomic features extracted from computed tomography (CT).
Taiwan Society of Radiological Technologists (TWSRT) and the International Conference of Medical Imaging: Taichung, Taiwan, 2019.
5. Tsuno, H., Sasaki, K., Shimizu, M., Takase, N., Takahashi, T., Saotome, S., Miyauchi, H., Sato, T.
Evaluation of uncertainty in electrometer calibration factor measurement using ^{192}Ir source after electrometer separated calibration：電位計分離校正後における ^{192}Ir を用いた電位計校正定数計法の不確かさの評価。
第 118 回日本医学物理学会学術大会：福井市，2019.
6. 上間達也，村上悠，有馬誠人，佐藤洋輔，吉岡稔，佐藤智春。
強度変調回転照射の治療計画における開口形状コントローラーに関する基礎的検討。
第 47 回日本放射線技術学会秋季学術大会：大阪市，2019.
7. 上間達也。
放射線治療計画の立て方のポイント（IMRT・SBRT）。
平成 30 年度第 3 回神奈川県放射線治療技術研究会：東京，2019.
8. 中島大，富田哲也。
品質保証・品質管理 1。
第 75 回日本放射線技術学会総会学術大会：横浜市，2019.
9. 中島大，辰巳大作。
体幹部定位照射技術：高精度リニアックなら，ここまで出来る体幹部定位照射。
第 75 回日本放射線技術学会総会学術大会：横浜市，2019.
10. 五十嵐ありさ，津野隼人，高橋太郎，佐藤洋輔，金子真洋，五月女達子，橋本竹雄，佐藤智春。
異なる出力補正方法に伴うデータ処理の違いによる計測結果の比較検討。
日本放射線技術学会第 12 回中部放射線医療技術学術大会：浜松市，2019.
11. 佐藤智春，小林大輔。
放射線治療（照射技術 3，小線源治療）。
第 75 回日本放射線技術学会総会学術大会：横浜市，2019.

12. 佐藤智春 .
日本放射線技術学会における研究倫理 .
第 73 回日本放射線技術学会東京支部春期学術大会 : 東京 , 2019.
13. 佐藤智春 .
放射線治療物理学 .
2019 年度日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療セミナー基礎コース (東北 I 地区) : 盛岡市 , 2019.
14. 佐藤智春 , 田中義浩 .
放射線治療 (計測 2) .
第 47 回日本放射線技術学会秋季学術大会 : 大阪市 , 2019.
15. 佐藤智春 .
AAPM TG106 の解説 .
平成 30 年度 日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療セミナー基礎コース (東京地区)「ビームデータのコミッショニング (Monaco 編)」 : 東京 , 2019.
16. 小泉優貴 .
日本放射線技術学会における研究倫理 .
第 73 回日本放射線技術学会東京支部春期学術大会 : 東京 , 2019.
17. 小泉優貴 .
最新の放射線治療機器・技術 .
日本放射線技術学会東京支部第 7 回学生向けセミナー : 東京 , 2019.
18. 小泉優貴 .
放射線治療における精度管理技術 “入門” .
日本放射線技術学会第 36 回東京支部秋期学術大会研究教育班合同企画シンポジウム : 東京 , 2019.
19. 小泉優貴 .
治療装置の jaw,MLC, キャリッジの位置精度確認 (実習) .
日本放射線技術学会第 54 回放射線治療セミナー : 東京 , 2019.
20. 村上悠 , ほか .
前立腺癌患者における Radiomics 特徴量を用いた生化学的再発予測モデルの構築 .
日本放射線腫瘍学会第 32 回学術大会 : 名古屋市 , 2019.
21. 村上悠 , ほか .
VMAT を用いた肺定位放射線治療における ITV 内の CT 値の割り当てが GTV 線量に及ぼす影響 .
日本放射線腫瘍学会第 32 回高精度外部照射部会研究会 : 東京 , 2019.
22. 津野隼人 .
そんなに怖くない不確かさ .
東京放射線治療技術研究会 : 東京 , 2019.
23. 津野隼人 , 佐々木浩二 , 清水森人 , 高瀬信宏 , 佐藤智春 .
分離校正を受けた電位計を基準とした電位計相互校正による電位計校正定数の経年変化と不確かさの評価 .
第 47 回日本放射線技術学会秋季学術大会 : 大阪市 , 2019.
24. 津野隼人 , 五十嵐ありさ .
ユーザが精度管理を行う医療用直線加速器を用いた水吸収線量の不確かさの評価 .
日本放射線技術学会 第 12 回中部放射線医療技術学術大会 : 浜松市 , 2019.
25. 津野隼人 , ほか .
Evaluation of uncertainty during measuring entrance surface dose in image-guided radiation therapy .
第 75 回日本放射線技術学会総会学術大会 : 横浜市 , 2019.

【画像診断センター】

1. Miyaji, N., Iimori, T., Miwa, K., Tsushima, H., Yokosuka, N., Wagatsuma, K.
Determination of a reliable assessment of radiation doses to the eye lens in nuclear medicine.
65th Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging (SNMMI) Annual Meeting: Anaheim, CA, USA, 2019.

2. 宮司典明, 茂木一樹, 滝口智洋, 寺内隆司, 小泉満.
PET 用自動投与装置の遮蔽効果と業務従事者の外部被ばく.
PET サマーセミナー 2019 in 福島: 福島市, 2019.
3. 宮司典明.
核医学 (SPECT, Planar) 骨軟部組織 ②, その他 ①.
第 47 回日本放射線技術学会秋季学術大会: 大阪市, 2019.
4. 宮司典明.
核医学部会 (核医学: 核医学整体画像診断学).
第 47 回日本放射線技術学会秋季学術大会: 大阪市, 2019.
5. 宮司典明, ほか.
班報告: 核医学領域における水晶体被ばくの実態に関する基礎検討.
第 47 回日本放射線技術学会秋季学術大会: 大阪市, 2019.
6. 島田直毅.
がん FDG-PET における定量的指標の標準化に向けたファントム試験手順書および画像評価手法の確立.
第 59 回日本核医学会学術総会: 松山市, 2019.
7. 島田直毅.
新型 PET/CT 装置を対象にしたがん FDG-PET 多施設ファントム試験について.
第 7 回クリニカル PET フォーラム: 東京, 2019.
8. 島田直毅.
核医学.
日本放射線技術学会第 66 回関東支部研究発表会: 千葉市, 2019.
9. 島田直毅, ほか.
肥満患者における半導体 PET/CT の有用性.
TOPIC: 東京, 2019.
10. 川端一広, 大澤敦, 宮司典明, 高津一郎, 伊藤良真, 永井一夫.
The effect of slice thickness and matrix on 3D-MRI image display using virtual reality.
第 75 回日本放射線技術学会総会学術大会: 横浜市, 2019.
11. 茂木一樹, ほか.
定量的骨 SPECT/CT による集積体積を応用したイメージングバイオマーカの精度評価.
第 75 回日本放射線技術学会総会学術大会: 横浜市, 2019.

【画像診断部】

1. Kikuchi, M.
Digital breast tomosynthesis: How to use in clinical practice.
The Korea-China-Japan Joint Meeting on Breast Imaging: Seoul, Korea, 2019.
2. Kikuchi, M.
Breast cancer screening by ABVS and ad-junction of DBT to 2D MG.
7th International Symposium on Automated Whole Breast Ultrasound: Hangzhou, China, 2019.
3. Ueno, T.
Effective and rewarding interpretation of musculoskeletal tumors. Soft tissue tumor and diffusion-weighted image.
National University of Singapore: Singapore, 2019.
4. 上田和彦.
画像診断報告書: Clear reporting への手掛かり.
第 455 回日本医学放射線学会関東地方会定期大会: 川崎市, 2019.
5. 上田和彦.
画像診断報告書: Clear reporting への手掛かり.
第 55 回日本医学放射線学会秋季臨床大会: 名古屋市, 2019.

6. 上田和彦 .
肝細胞癌の画像診断 (LI-RADS を含む) .
第 55 回日本医学放射線学会秋季臨床大会 : 名古屋市 , 2019 .
7. 上田和彦 .
症例報告 .
第 25 回肝血流動態機能イメージ研究会 : 2019 .
8. 上田和彦 .
読影業務と画像所見の「見える化」が変える、
これからの画像診断 .
第 38 回日本画像医学会学術集会 : 東京 , 2019 .
9. 中山詩穂莉 , 田中優美子 , 岡本三四郎 , 竹島信宏 , 高澤豊 , 松枝清 , 岡田真広 .
術前診断が可能であった脂肪肉腫成分を含む子宮癌肉腫の一例 .
第 33 回日本腹部放射線学会総会 : 下関市 , 2019 .
10. 丹内啓允 .
症例提示 .
第 17 回フィルムリーディング倶楽部東銀座 : 東京 , 2019 .
11. 丹内啓允 , 藤井裕太 , 相田典子 , 野澤久美子 , 藤田和俊 , 丹羽徹 , 佐藤博信 .
中脳水道狭窄で発症し、急速増大した第 3 脳室内胚細胞腫瘍の 2 例 .
第 14 回小児神経放射線研究会 : 東京 , 2019 .
12. 五味直哉 .
体表リンパ節腫大の診断 : 針生検の有用性 (中上級)
日本超音波医学会第 92 回学術集会 第 18 回教育セッション : 東京 , 2019 .
13. 五味直哉 , 菊池真理 , 堀井理絵 , 秋山太 , 國分優美 , 宮城由美 , 森園英智 , 米倉利香 , 高畑史子 , 高橋洋子 , 福岡恵 , 添田郁美 , 加藤千絵子 , 圓岡有里 , 上野貴之 , 大野真司 .
Amorphous grouped calcifications マネジメント構築に向けたステレオガイド下吸引式乳房組織生検 12 年の検討 .
第 27 回日本乳癌学会学術総会 : 東京 , 2019 .
14. 五味直哉 .
診断法 : その他の診断法 .
第 27 回日本乳癌学会学術総会 : 東京 , 2019 .
15. 五味直哉 , 菊池真理 .
ケースディスカッション .
第 5 回乳腺画像・インターベンション研究会 : 2019 .
16. 五味直哉 .
MRI ガイド下生検の実際 .
第 15 回乳房 MRI 研究会 : 東京 , 2019 .
17. 五味直哉 .
インプラント破損の画像診断 .
乳房再建セミナー in 鹿児島 : 鹿児島市 , 2019 .
18. 五味直哉 , 菊池真理 .
乳腺 : Cancer Board of the Breast : 症例検討に必要なこと .
第 38 回日本画像医学会学術集会 : 東京 , 2019 .
19. 伊藤浩一 .
Oxaliplatin 投与例の Gd-EOB-DTPA 投与後 MRI 肝細胞相像低信号域 .
第 25 回肝血流動態機能イメージ研究会 : 東京 , 2019 .
20. 和田武 .
骨盤底仙尾骨前病巣に対する経仙骨孔穿刺に関する検討 .
第 48 回日本 IVR 学会総会 : 福岡市 , 2019 .
21. 寺村易予 .
骨腫瘍 .
第 30 回骨軟部放射線診断セミナー : 仙台市 , 2019 .
22. 寺村易予 , 植野映子 , 杉浦善弥 , 高澤豊 , 阿江啓介 , 松枝清 .
Tenosynovial giant cell tumor of the lumbar spine .

- 第 30 回骨軟部放射線診断セミナー：広島市，2019.
23. 山元龍哉，河野敦，松枝清，駒井好信，山本真也，米瀬淳二，稲村健太郎．
低悪性度多房嚢胞性腎腫瘍の CT 画像所見．
第 33 回日本腹部放射線学会総会：下関市，2019.
24. 山元龍哉，Gulanbar, A., 稲村健太郎，河野敦，駒井好信，米瀬淳二，高澤豊，松枝清．
淡明細胞型腎細胞癌様の造影 CT パターンを示した乳頭状腎細胞癌の検討．
第 7 回泌尿器画像診断・治療技術研究会：京都市，2019.
25. 松枝清．
はじめるから始める：c-TACE の成績向上への工夫．
第 48 回日本 IVR 学会総会：福岡市，2019.
26. 松枝清．
緩和 IVR でのおさえておくべきポイント：画像診断も含め．
第 9 回緩和 IVR 研究会：東京，2019.
27. 植野映子．
腫瘍および腫瘍類似疾患「骨軟部」脂肪性病変について．
第 11 回 吉祥寺画像診断セミナー：東京，2019.
28. 植野映子．
軟部腫瘍．
第 30 回骨軟部放射線診断セミナー：仙台市，2019.
29. 植野映子．
脊椎の腫瘍性病変．
第 55 回日本医学放射線学会秋季臨床大会：名古屋市，2019.
30. 横井健人．
症例発表：症例 7 肺胞蛋白症．
第 389 回東京レントゲンカンファレンス：東京，2019.
31. 田中優美子．
婦人科画像診断．
第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会：名古屋市，2019.
32. 田中優美子．
泌尿器 2：成人で気づく奇形・正常異．
第 78 回日本医学放射線学会総会：横浜市，2019.
33. 田中優美子．
大会長公募症例 GU．
第 33 回日本腹部放射線学会総会：下関市，2019.
34. 田中優美子，近藤譲，新井ゆう子，市川良太，西田正人，櫻井学，坂田晃子，松岡亮太，齋田司，佐藤豊実，野口雅之，南学，松枝清．
画像で Female Adnexal Tumor of probable Wolffian Origin (FATWO) の予後推定は可能か．
第 33 回日本腹部放射線学会総会：下関市，2019.
35. 田中優美子．
卵巣腫瘍のマクロと画像．
第 13 回診断病理サマーフェスト：病理と臨床の対話：東京，2019.
36. 田中優美子．
子宮体部腫瘍の画像診断．
第 13 回診断病理サマーフェスト：病理と臨床の対話：東京，2019.
37. 田中優美子．
婦人科悪性腫瘍画像検査の基本：画像診断ガイドラインと MRI を中心に．
第 83 回静岡県 MRI 研究会：静岡市，2019.
38. 田中優美子．
付属器腫瘍の画像診断：Common disease と pitfall．
第 55 回日本医学放射線学会秋季臨床大会：名古屋市，2019.

39. 田中優美子 .
婦人科悪性腫瘍 MRI 検査の基本 .
婦人科癌画像セミナー : 土浦市 , 2019 .
40. 田中優美子 .
子宮内膜症の画像診断 : 最近話題の諸問題 .
第 53 回こまばイメージング研究会 : 東京 ,
2019 .
41. 田中宏子 .
画像診断のポイント : 鼻副鼻腔、唾液腺 .
第 32 回頭頸部放射線研究会 : 名古屋市 ,
2019 .
42. 石山光富 .
肺癌の PET/CT 診断 .
第 45 回肺癌診断会及び画像セミナー : 和歌山
市 , 2019 .
43. 立川智弘 .
健診センターにおける低線量胸部 CT について :
完全逐次近似再構成法 : Model-Based Itera-
tive Reconstruction を用いた使用経験 .
第 45 回肺癌診断会及び画像セミナー : 和歌山
市 , 2019 .
44. 菊池真理 .
各領域研究の進歩 1 乳房 .
第 4 回 Advanced Medical Imaging 研究会 :
大阪市 , 2019 .
45. 菊池真理 , 五味直哉 , 堀井理絵 , 秋山太 , 國分
優美 , 上野貴之 , 大野真司 .
Amorphous grouped calcifications の良悪性
鑑別における MRI の有用性評価 .
第 27 回日本乳癌学会学術総会 : 東京 , 2019 .
46. 菊池真理 .
画像診断 14: 効果判定 .
第 27 回日本乳癌学会学術総会 : 東京 , 2019 .
47. 菊池真理 .
若年性乳がん : 妊娠期乳がん と 妊孕性 .
第 6 期 第 2 回 乳がん TV 講座 : 東京 , 2019 .
48. 菊池真理 .
マルチモダリティを使いこなす : 実践トモシン
セシス ! .
第 5 回横浜戸塚乳癌画像診断研究会 : 横浜市 ,
2019 .
49. 菊池真理 .
診断 : 乳房 .
日本放射線科専門医会第 7 回放射線科レジデン
トセミナー : 東京 , 2019 .
50. 菊池真理 .
乳房画像診断の cutting edge を知ろう : 乳房
画像のマルチモダリティ診断 : 術前化学療法評
価における有用性 .
第 32 回 JCR ミッドウィンターセミナー : 福岡
市 , 2019 .
51. 菊池真理 .
乳腺画像診断 : マルチモダリティから言える事 .
第 38 回日本画像医学会学術集会 : 東京 ,
2019 .
52. 角谷嘉亮 , 丹内啓允 , 渡辺洋志 , 負門克典 , 田
中宏子 , 松枝清 , 文敏景 , 奥村栄 , 二宮浩範 ,
石川雄一 .
充実成分内に骨化を形成した微少浸潤腺癌に甲
状腺癌転移が腫瘍内転移をきたした 1 例 .
第 55 回日本医学放射線学会秋季臨床大会 : 名
古屋市 , 2019 .
53. 負門克典 .
気管支内結節の画像診断 .
第 78 回日本医学放射線学会総会 : 横浜市 ,
2019 .
54. 負門克典 .
一般口演 2 .
第 455 回日本医学放射線学会関東地方会定期
大会 : 川崎市 , 2019 .
55. 負門克典 .
肺静脈・胸膜と肺結節の関係 .
第 45 回肺癌診断会及び画像セミナー : 和歌山
市 , 2019 .

【核医学部】

1. 川端一広, 大澤敦, 宮司典明, 高津一郎, 伊藤良真, 永井一夫.
The effect of slice thickness and matrix on 3D-MRI image display using virtual reality.
第 75 回日本放射線技術学会総会学術大会: 横浜市, 2019.

【臨床遺伝医療部】

1. 中島健.
家族性大腸腺腫症の内視鏡サーベイランス・治療.
第 25 回日本家族性腫瘍学会学術集会: 東京, 2019.
2. 中島健.
ゲノム医療と家族性腫瘍.
第 108 回日本病理学会総会: 東京, 2019.
3. 中島健.
遺伝性腫瘍診断における細胞診・組織診の重要性.
第 60 回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2019.
4. 吉田玲子.
HBOC 診療の拡がりと共に見えてくるこれからの課題.
第 25 回日本家族性腫瘍学会学術集会: 東京, 2019.
5. 吉田玲子, 上野貴之, 伊藤良則, 高橋俊二, 竹内抄與子, 大野真司.
乳がんゲノム診療時代の、現在のがんの “cure” と将来のがんの “care” に寄り添う.
第 27 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2019.
6. 吉田玲子.
わが国の HBOC 診療の連携の拡充と課題.
第 61 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 新潟市, 2019.
7. 吉田玲子.
日本人発見 BRCA 遺伝子の基礎と HBOC の臨床: 遺伝子は知っている.
第 7 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会: さいたま市, 2019.

8. 吉田玲子.
HBOC 診療の診断・治療・社会の壁を考える.
第 7 回日本 HBOC コンソーシアム学術総会: 東京, 2019.

【集中治療部】

1. 山本豊, 根本真記, 川尻恵子, 両角陽子, 保田知生, 横田美幸.
がん専門病院で導入した RRS の活動報告.
第 14 回医療の質・安全学会学術集会: 京都市, 2019.
2. 山本豊, 粕谷美絵, 中山章子, 望月俊明, 横田美幸.
がん専門病院で導入した MET の短期成果についての報告.
第 46 回日本集中医療学会学術集会: 京都市, 2019.
3. 山本豊.
専門医講習: 感染.
第 31 回日本老年麻酔学会: 東京, 2019.
4. 望月俊明, 山本豊, 横田美幸.
5-fluorouracil による化学療法中、高アンモニア血症、意識障害を来した一例.
第 46 回日本集中医療学会学術集会: 京都市, 2019.
5. 道浦悠, 望月俊明, 山本豊, 関根和彦, 横田美幸.
救急外来で発熱性好中球減少症と診断される高齢担癌患者の特徴.
第 47 回日本救急医学会総会・学術集会: 東京, 2019.

【臨床検査センター】

1. Matsumura, Y., Shiga, T., Tokunaga, T., Komatsu, K., Miyake, K., Ebihara, A., Nakayama, K.
A case of rectal cancer complicated with vasospastic angina, whose long term holter electrocardiogram was useful for diagnosis.
57th Congress of Korean Association of Medical Technologists & International Symposium: Pyeonchang, Korea, 2019.

2. Ono, S., Takizawa, H., Suzuki, Y., Nakazawa, K., Kaihara, K., Sekita, T., Komatsu, K., Nakayama, K., Miyake, K.
Assessment of basic performance of novel soluble IL-2R (sIL-2R) reagent for measurement with CLEIA.
57th Congress of Korean Association of Medical Technologists & International Symposium: Pyeonchang, Korea, 2019.
3. 関田綱基.
がん専門病院における日常検査で検出された腫瘍マーカーの非特異反応の解析.
第 59 回日本臨床化学学会年次学術集会：仙台市，2019.

【救急部】

1. 望月俊明，山本豊，横田美幸.
5-fluorouracil による化学療法中、高アンモニア血症、意識障害を来した一例.
第 46 回日本集中医療学会学術集会：京都市，2019.
2. 望月俊明.
オンコロジーエマージェンシーの麻酔管理：総論オンコロジーエマージェンシーとは.
日本麻酔科学会第 66 回学術集会：神戸市，2019.
3. 道浦悠，望月俊明，山本豊，関根和彦，横田美幸.
救急外来で発熱性好中球減少症と診断される高齢担癌患者の特徴.
第 47 回日本救急医学会総会・学術集会：東京，2019.

【超音波検査部】

1. 加藤千絵子，堀井理絵，宮城由美，國分優美，圓岡有里，小関ゆり子，五十里美栄子，佐藤和子，添田郁美，福岡恵，米倉利香，高橋洋子，森園英智，松枝清，秋山太，上野貴之，大野真司.
乳頭腺管癌の超音波画像 - 乳腺腫瘍の組織学的分類の改訂による影響について.
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.

2. 國分優美.
2nd look US が有用であった一例.
日本超音波医学会第 92 回学術集会 / 第 42 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会：東京，2019.
3. 國分優美.
乳癌画像診断基礎講座：乳房超音波入門.
第 28 回日本乳癌画像研究会：仙台市，2019.
4. 國分優美.
2nd look US とインターベンション.
第 38 回日本画像医学会学術集会：東京，2019.
5. 圓岡有里，宮城由美，國分優美，加藤千絵子，五十里美栄子，添田郁美，福岡恵，米倉利香，高橋洋子，森園英智，菊池真理，五味直哉，松枝清，堀井理絵，秋山太，上野貴之，大野真司.
乳腺原発血管肉腫の画像所見の検討.
第 27 回日本乳癌学会学術総会：東京，2019.
6. 圓岡有里.
脾臓 Sclerosing angiomatoid nodular transformation (SANT) の検討.
日本超音波医学会第 31 回関東甲信越地方会学術集会：東京，2019.
7. 山田恵子.
新たな診断基準項目に向けて：甲状腺結節超音波診断基準に縦横比を導入する意義
日本超音波医学会第 92 回学術集会：東京，2019.
8. 山田恵子.
頭頸部.
第 43 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会：福島市，2019.
9. 藤原良将.
上腹部、標準走査記録断面画像の基本.
第 50 回 Rad-US 学術講演会：東京，2019.
10. 藤原良将.
上腹部超音波画像の描出能向上のコツ.
メデイセオ総合医療フェア 2019in 東京：東京，2019.

【病理部】

1. Kawachi, Y., Ichinose, J., Kondo, Y., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M. Utility of artificial intelligence in estimation of the histologic type of lung cancer. IASLC 20th World Conference on Lung Cancer: Barcelona, Spain, 2019.
2. 南順子, ほか.
がん研有明病院におけるリンチ症候群スクリーニング検査の成績.
第 25 回日本家族性腫瘍学会学術集会: 東京, 2019.
3. 堀井理絵, 秋山太, 竹内賢吾.
乳癌における HER2 の遺伝子増幅とタンパク過剰発現.
第 108 回日本病理学会総会: 東京, 2019.
4. 堀井理絵.
乳癌取り扱い規約: 乳腺腫瘍の組織学的分類の改定点.
第 38 回日本画像医学会学術集会: 東京, 2019.
5. 大迫智, 馬場郷子, 坂田征士, 富樫由紀, 上野貴之, 大野真司, 竹内賢吾, 秋山太.
腺様嚢胞癌と腺筋上皮腫の混合型乳腺腫瘍: 腺様嚢胞癌の新しい組織亜型か?
第 108 回日本病理学会総会: 東京, 2019.
6. 大迫智.
OSNA 予後調査結果.
第 12 回セラノスティクス研究会: 東京, 2019.
7. 柘野佑太, 河内洋, 新井正美, 高松学, 山本智理子, 並河健, 藤崎順子, 布部創也, 高澤豊, 竹内賢吾.
Hereditary diffuse gastric cancer の 4 症例.
第 108 回日本病理学会総会: 東京, 2019.
8. 河内洋, ほか.
Hereditary diffuse gastric cancer における signet-ring cell carcinoma in situ の病理学的検討.
第 25 回日本家族性腫瘍学会学術集会: 東京, 2019.
9. 河内洋.
食道癌の組織型と鑑別診断.
第 108 回日本病理学会総会: 東京, 2019.
10. 河内洋.
内視鏡医に必要な病理の基本的知識.
第 97 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2019.
11. 河内洋.
大腸 NET のすべて.
第 91 回大腸癌研究会: 東京, 2019.
12. 河内洋.
消化管における神経内分泌腫瘍の特徴
第 7 回日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会: 東京, 2019.
13. 河内洋.
いわゆる分化型・未分化型混在早期胃癌の病理診断における問題点.
第 91 回日本胃癌学会総会: 沼津市, 2019.
14. 竹内賢吾.
T/NK 細胞リンパ腫 WHO 分類改定の要点.
ML Forum in NAGASAKI: 長崎市, 2019.
15. 高松学, 山本智理子, 河内洋, 小林真季, 千野晶子, 斎藤彰一, 上野雅資, 石川雄一.
サイトケラチン免疫染色と機械学習 (AI) を併用した T1 大腸癌リンパ節転移予測の自動化の試み.
第 89 回大腸癌研究会: 東京, 2019.

【細胞診断部】

1. Komatsu, K., Sugiyama, Y.
Education of cytotechnologists; Introducing Japanese system and global communication.
20th International Congress of Cytology: Sydney, Australia, 2019.

2. Komatsu, K.
Molecular pathology for new era.
57th Congress of The Korean Association of Medical Technologists and International Conference: Pyeongchang, Korea, 2019.
3. Komatsu, K.
New technology for pathology and cytology work field.
57th Congress of The Korean Association of Medical Technologists and International Conference: Pyeongchang, Korea, 2019.
4. Sugiyama, Y.
Directly sampled endometrial cytology for detection of early stage endometrial cancers.
42nd European Congress of Cytology: Malmo, Sweden, 2019.
5. 伊藤崇彦, 石井脩平, 山田麻里沙, 山崎奈緒子, 池畑浩一, 藤山淳三, 古田則行, 小松京子, 高澤豊, 杉山裕子.
併存病変を考慮すべき LEGH の特徴的細胞所見について.
第 60 回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2019.
6. 古田則行.
軟部肉腫と希少がんの細胞診: 軟部肉腫をモデルとして希少がんの細胞診の在り方を考える.
第 60 回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2019.
7. 古田則行, 山田範幸.
液体処理標本 (Liquid-based preparation) のメリットデメリット.
第 58 回日本臨床細胞学会秋期大会: 岡山市, 2019.
8. 小松京子.
病理支援システムとプリンター.
第 60 回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2019.
9. 小松京子, 澤田達男.
スライドカンファレンス.
第 33 回関東臨床細胞学会学術集会 / 第 38 回東京都臨床細胞学会総会・学術集会: 東京, 2019.
10. 小松京子.
病理分野における ISO15189 の要求事項に対する対応と、その活用.
第 56 回関甲信支部首都圏支部医学検査学会: 東京, 2019.
11. 小松京子, 田畑務.
婦人科領域の Neuroendocrine tumor revisited.
第 58 回日本臨床細胞学会秋期大会: 岡山市, 2019.
12. 星利良.
呼吸器 4.
第 60 回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2019.
13. 星利良.
呼吸器・縦隔 4.
第 58 回日本臨床細胞学会秋期大会: 岡山市, 2019.
14. 杉山裕子, 荷見勝彦.
組織発生を考慮した早期子宮体癌の内膜細胞診所見.
第 60 回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2019.
15. 池畑浩一, 森園英智, 坂井威彦, 古田則行, 小松京子, 堀井理絵, 杉山裕子.
乳腺穿刺吸引細胞診 (FNA) における鑑別困難症例の検討.
第 60 回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2019.
16. 池畑浩一, 古田則行, 藤山淳三, 星利良, 山崎奈緒子, 山田麻里沙, 伊藤崇彦, 小松京子, 高澤豊, 杉山裕子.
消化器領域における EUS-FNA on-site cytology 当院の運用方法.
第 60 回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2019.
17. 藤山淳三.
スライドカンファレンス.
第 60 回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2019.

【栄養管理部】

1. Izawa, Y., Ichimura, T., Chin, K., Shinozaki, E., Takahari, D., Suenaga, M., Ogura, M., Wakatsuki, T., Osumi, H., Nakayama, I., Mine, S., Hiki, N., Ishizuka, N., Yamaguchi, K.
Feasibility study of diet counseling (DC) with oral nutritional supplements (ONS) for advanced esophageal and gastric cancer during chemotherapy (CT) or chemoradiotherapy (CRT): First report of ONS compliance from a prospective randomized controlled clinical study (DiCON study).
Gastrointestinal Cancers Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, CA, USA, 2019.
2. 中濱孝志, 井田智, 熊谷厚志, 松尾宏美, 伊沢由紀子, 伊丹優貴子, 川名加織, 峯真司, 比企直樹.
がん化学療法と放射線治療を支える栄養管理.
第34回日本静脈栄養学会学術集会: 東京, 2019.
3. 井田智, 比企直樹, 熊谷厚志, 大橋学, 布部創也.
胃切除術後の早期栄養および運動介入療法の安全性.
日本外科代謝栄養学会第56回学術集会: 神戸市, 2019.
4. 井田智, 大橋拓馬, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 比企直樹.
胃切除後早期筋肉量減少を抑える取り組み.
第74回日本消化器外科学会総会: 東京, 2019.
5. 井田智.
がん治療における栄養療法の意義: 骨格筋維持をめざして.
第29回日本病態生理学会大会: 東大阪市, 2019.
6. 井田智.
がん患者の栄養管理: 手術と化学療法を支える栄養管理.
第34回日本静脈栄養学会学術集会: 東京, 2019.
7. 井田智, 比企直樹, 松尾宏美, 熊谷厚志, 峯真司.
胃切除術前経腸栄養療法の意義.
第34回日本静脈栄養学会学術集会: 東京, 2019.
8. 井田智, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 比企直樹.
胃癌術前経管栄養の有用性.
第91回日本胃癌学会総会: 沼津市, 2019.
9. 伊丹優貴子, 峯真司, 荻谷朗子, 岡野亜子, 松尾千穂, 田端聡, 松尾宏美, 井田智, 熊谷厚志, 中濱孝志, 片岡明美, 上野貴之, 宇津木久仁子, 大野真司, 比企直樹.
減量栄養指導を施行した乳癌関連上肢リンパ浮腫患者における体組成の変化.
第34回日本静脈栄養学会学術集会: 東京, 2019.
10. 伊丹優貴子.
リンパ浮腫患者の栄養管理.
第3回日本リンパ浮腫学会総会: 東京, 2019.
11. 伊沢由紀子, 中山巖馬, 陳頸松, 篠崎英司, 高張大亮, 末永光邦, 大木暁, 小倉真理子, 大隅寛木, 鈴木健, 熊谷厚志, 山口研成.
切除不能進行・再発胃がんの全身化学療法の継続性・治療効果と栄養指標の関連の検討.
第57回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2019.
12. 山口彩, 井田智, 船内雄生, 松尾宏美, 岡野亜子, 榎田滋穂, 松下亜由子, 伊丹優貴子, 中屋恵梨香, 高木久美, 川名加織, 伊沢由紀子, 中濱孝志, 熊谷厚志, 阿江啓介.
軟部肉腫術後の下肢リンパ漏発生に関する術前栄養指標も含めたリスク因子の検討.
第57回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2019.
13. 岡野亜子, 伊丹優貴子, 片岡明美, 田端聡, 松尾千穂, 松尾宏美, 井田智, 上野貴之, 宇津木久仁子, 大野真司, 熊谷厚志.

乳癌関連上肢リンパ浮腫患者における体脂肪量と浮腫の関連。

第4回日本がんサポーターブケア学会学術集会：青森市，2019。

14. 川名加織，井田智，熊谷厚志，松尾宏美，伊沢由紀子，伊丹優貴子，中濱孝志，峯真司，比企直樹。
がん化学療法と放射線治療を支える栄養管理。
第34回日本静脈栄養学会学術集会：東京，2019。

15. 川名加織，榎田滋穂，児玉珠理，千葉玲子，坂田早苗，前島亜美，藤木由佳子，細田明美，熊谷厚志，中濱孝志，峯真司，井田智，比企直樹。
頭頸部癌化学放射線療法患者における安静時エネルギー代謝量、栄養状態の推移に関する検討。
第34回日本静脈栄養学会学術集会：東京，2019。

16. 松下亜由子，熊谷厚志，松尾宏美，中濱孝志，川原玲子，峯真司。
がん専門病院における管理栄養士の緩和ケアチーム参加について。
第11回日本静脈経腸栄養学会首都圏支部学術集会：横浜市，2019。

17. 松尾宏美，井田智，熊谷厚志，伊沢由紀子，川名加織，高木久美，中屋恵梨香，伊丹優貴子，松下亜由子，山口彩，榎田滋穂，岡野亜子，中濱孝志，峯真司，比企直樹。
胃切除後患者における術式別の体組成と摂取エネルギーの変化。
第34回日本静脈栄養学会学術集会：東京，2019。

18. 松尾宏美。
胃切除後患者における術式別の体組成と摂取エネルギーの変化。
第34回日本静脈栄養学会学術集会：東京，2019。

19. 松尾宏美，井田智，熊谷厚志，伊沢由紀子，川名加織，高木久美，中屋恵梨香，伊丹優貴子，松下亜由子，山口彩，榎田滋穂，岡野亜子，中濱孝志，峯真司，比企直樹。

胃癌患者における術後栄養指導と栄養状態の変化。

第91回日本胃癌学会総会：沼津市，2019。

20. 榎田滋穂，熊谷厚志，岡野亜子，山口彩，松下亜由子，中屋恵梨香，川名加織，高木久美，伊沢由紀子，井田智。
卵巣癌術後合併症に関連する臨床病理学的因子の検討。
第42回日本栄養アセスメント研究会：大阪市，2019。

21. 榎田滋穂，熊谷厚志，松尾宏美，岡野亜子，山口彩，伊丹優貴子，中屋恵梨香，高木久美，川名香織，伊沢由紀子，中濱孝志，井田智，峯真司，尾松公平，比企直樹。
卵巣癌術後合併症に関連する臨床病理学的因子の検討と栄養介入の可能性。
第34回日本静脈栄養学会学術集会：東京，2019。

22. 熊谷厚志，井田智，松尾宏美，伊沢由紀子，松下亜由子，川名加織，高木久美，中屋恵梨香，伊丹優貴子，榎田滋穂，山口彩，岡野亜子，幕内梨恵，大橋学，布部創也。
早期胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術における術後合併症予測因子としての術前栄養指標と患者体型の意義。
第35回日本臨床栄養代謝学会学術集会：京都市，2019。

23. 熊谷厚志。
栄養デバイス1。
第34回日本静脈栄養学会学術集会：東京，2019。

【緩和治療部】

1. Kawahara, R.
Cell-free and concentrated ascites reinfusion therapy (CART) associated with manual lymph drainage (MLD) for refractory malignant ascites and severe lower limb lymphedema in advanced cancer patients: three case reports.
13th Asia Pacific Hospice Conference (APHC): Surabaya, Indonesia, 2019.

2. Sakurai, H.
Comparison between patient-reported and clinician-reported outcome : validation of the integrated palliative care outcome scale - staff version.
16th World Congress of the European Association for Palliative Care (EAPC): Berlin Germany, 2019.
3. Sakurai, H.
What does “Feeling at Peace” mean in Japanese cancer patients? : Subanalysis of validation of the integrated palliative care outcome scale.
13th Asia Pacific Hospice Conference (APHC): Surabaya, Indonesia, 2019.
4. 佐伯吉規.
越境する精神科医.
日本総合病院精神医学会無床フォーラム 2019: 東京, 2019.
5. 佐伯吉規.
緩和医療とアルコール関連問題.
第 54 回アルコール・アディクション医学会学術総会: 札幌市, 2019.
6. 佐伯吉規.
無床精神科は「リエゾン」だけか? : 独自外来を展開する精神科医達.
第 32 回日本総合病院精神医学会総会: 倉敷市, 2019.
7. 川原玲子.
保険診療の現状.
第 49 回日本ペインクリニック学会関西地方会: 大阪市, 2019.
8. 川原玲子.
緩和医療における腹水濾過濃縮再静注法の展開.
第 24 回日本緩和医療学会学術大会: 横浜市, 2019.
9. 川原玲子.
がん疼痛.
日本ペインクリニック学会第 53 回大会: 熊本市, 2019.
10. 川原玲子, 星野奈月, 河野友絵, 大友陽子, 古谷良太, 竹野伸洋, 三澤貴代美.
ヒドロモルフォン注の有効性と安全性の検討.
日本ペインクリニック学会第 53 回大会: 熊本市, 2019.
11. 川原玲子.
抑肝散が筋緊張に対して有用であった 1 例.
第 32 回日本疼痛漢方研究会学術集会: 東京, 2019.
12. 川原玲子.
緩和ケアの必要性を模索する.
日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第 59 回合同学術集会: 東京, 2019.
13. 星野奈月, 三澤貴代美, 水野俊美, 竹内抄與子, 中原美穂, 鴨川郁子, 大島淑夫, 森安真優, 橋本幸輝, 副島梓, 市村崇.
18 歳以下の子どもをもつがん患者の実態を明らかにするための後方視的解析.
第 24 回日本緩和医療学会学術大会: 横浜市, 2019.
14. 星野奈月.
当院における進行がん患者に対する緩和ケアの提供体制に関する一考察.
第 78 回日本癌学会学術総会: 京都市, 2019.
15. 秋月晶子.
オンコロジーと緩和医療の統合.
第 4 回日本がんサポーターティブケア学会学術集会: 青森市, 2019.

【看護部】

1. Onji, J., Nakayama, A., Yokota, J.
Impact of an early skills training on self-efficacy in new graduate nurses.
10th International Council of Nurses Nurse Practitioner / Advanced Practice Nursing Network (ICN NP/ APN): Singapore, 2019.

2. Suzuki, M., Goto, S., Kamogawa, I., Uesugi, N., Nagasaki, R.
Trends of chemotherapy-related symptoms intensity during chemotherapy in outpatients with breast cancer: A descriptive study.
4th Asian Oncology Nursing Society Conference (AONSC): Mumbai, India, 2019.
3. 三澤貴代美, 市村崇, 今村優里, 小笠原麻衣子, 鴨川郁子, 木原央貴, 鈴木智子, 竹内抄與子, 中原美穂, 平野和恵, 水野俊美, 副島梓, 橋本幸輝, 大島淑夫, 星野奈, 森安真優.
がん専門病院における18歳以下の子どもをもつがん患者へのかかわりに関する実態調査.
第17回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
4. 上間美夕紀.
平成31年度“がん”を知る! サマーセミナー in がん研.
市民公開講座: 東京, 2019.
5. 上間美夕紀, 花出正美, 水野俊美, 宮城八重子.
がん相談支援センターにおけるAYA世代のがん患者からの相談内容.
第33回日本がん看護学会学術集会: 福岡市, 2019.
6. 中山章子, 中原由美子, 北野雅子, 床知恵子, 恩地純子, 横田淳子.
院内における外来・病棟間の継続看護体制に関する文献検討.
第23回日本看護管理学会学術集会: 新潟市, 2019.
7. 佐山郁子, 柴山朋子, 伊藤良則, 床知恵子, 鈴木美智子, 水野俊美, 萩野茜, 藤倉知花, 大野真司.
マギーズ東京と共催した乳がん再発転移の患者会の現状と課題.
第4回日本がんサポーターティブケア学会学術集会: 青森市, 2019.
8. 佐山郁子, ほか.
多職種で関わる妊孕性温存支援の運用に向けての課題.
第4回日本がんサポーターティブケア学会学術集会: 青森市, 2019.
9. 佐野紀代, 福島啓文, 三谷浩樹.
プロヴォックス挿入患者の術前・術後指導について.
第43回日本頭頸部癌学会: 金沢市, 2019.
10. 吉岡聡, 藤本佳也, 松浦信子, 石川加奈子, 藤浪文子, 上野雅資.
ストーマ近傍に発生した局所進行異時性大腸癌に対し、腹壁再建を伴う根治切除術を施行した2例.
第36回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会: 大阪市, 2019.
11. 大友陽子.
緩和ケアチームと管理栄養士の協働と効果: 看護師の立場から.
第22回日本病態栄養学会年次学術集会: 横浜市, 2019.
12. 大澤めぐみ.
がん告知による患者の精神的ケア.
第36回東京消化器内視鏡技師会セミナー: 東京, 2019.
13. 小林薫, 稲見摩紀, 永野裕子, 倉富美里.
内視鏡検査前タイムアウト実施の現状と今後の課題.
第82回日本消化器内視鏡技師学会: 東京, 2019.
14. 平山美香.
病棟看護師への内視鏡室見学研修の効果.
第35回東京消化器内視鏡技師研究会: 東京, 2019.
15. 床知恵子.
がん告知による患者の精神的ケア.
第36回東京消化器内視鏡技師会セミナー: 東京, 2019.
16. 後藤志保.
緩和ケアにおける放射線治療と看護.
第24回日本緩和医療学会学術大会: 横浜市, 2019.

17. 後藤志保.
がん性疼痛に対する CT ガイド下内臓神経ブロック：内視鏡下神経ブロックが困難だった症例.
第 9 回緩和 IVR 研究会：東京，2019.
18. 星野公子，長崎礼子，尾阪将人.
進行肺がん患者に対する PANDA プログラムにおける外来治療室看護師の関わり.
第 50 回日本脳臓学会大会：東京，2019.
19. 松尾千穂.
リンパ浮腫における保険制度：現場からみた現状と課題.
第 3 回日本リンパ浮腫学会総会：東京，2019.
20. 柴山理恵，望月俊明，大野瑞季，粕谷美絵，横田美幸.
がん専門病院救急外来における JTAS トリアージ区分の特徴.
第 22 回日本臨床救急医学会総会・学術集会：和歌山市，2019.
21. 横井麻珠美.
オブジーボ・ヤーボイの併用療法の副作用マネジメント.
Immune Checkpoint Inhibitor Nurse Seminar in JFCR: 東京，2019.
22. 横田淳子，中山章子，恩地純子，鈴木美穂.
新卒看護師と既卒者・部署異動看護師における社会人基礎力とリアリティショックの関連の検討.
第 23 回日本看護管理学会学術集会：新潟市，2019.
23. 水野俊美.
がん患者等への支援.
日本緩和医療学会緩和ケア継続教育プログラム PEACE PROJECT: 2019.
24. 水野俊美.
がんとともに生きる：がん治療と就労の両立支援.
平成 30 年度世田谷区がん講演会：東京，2019.
25. 濱口恵子.
アドバンス・ケア・プランニング (ACP) における多施設連携と看護の力：がん患者の希望をつなぐ地域医療を目指して.
第 33 回日本がん看護学会学術集会：福岡市，2019.
26. 田端聡.
リンパ浮腫との上手な付き合い方.
あけぼの鳥取リンパ浮腫講演会 in 鳥取：米子市，2019.
27. 田端聡.
浮腫を再考する：がんサバイバーとリンパ浮腫.
第 17 回日本フットケア学会年次学術集会：名古屋市，2019.
28. 田端聡.
看護師の立場からみた外科療法の現状と課題.
第 3 回日本リンパ浮腫学会総会：東京，2019.
29. 石川加奈子，藤浪文子，松浦信子，藤本佳也.
がん専門病院におけるストーマリハビリテーションのしくみづくり：外来病棟継続看護システムの活用.
第 36 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会：札幌市，2019.
30. 稲城陽子.
中規模病院の副看護師長が看護管理経験から得る学び.
第 23 回日本看護管理学会学術集会：新潟市，2019.
31. 船越さおり，大澤めぐみ，鈴木めぐみ，黒田直子，井田恵都，野口まゆみ，佐山郁子，鈴木美智子，望月淑子，古寺麻希，佐野紀代，床知恵子，水野俊美，濱口恵子.
苦痛スクリーニングを用いた外来看護面談の普及を目指した取り組み（実践報告）.
第 33 回日本がん看護学会学術集会：福岡市，2019.
32. 花出正美.
がん患者と家族に寄り添うことについて考える.

- Japan Cancer Survivors Day 2019: 東京, 2019.
33. 花出正美.
治療をうける老年者の看護: がん医療における高齢者ケアの現状と課題.
第 24 回日本老年看護学術集会: 仙台市, 2019.
34. 花出正美.
就労継続の支援: 看護師の立場から.
第 23 回日本肝臓学会大会: 神戸市, 2019.
35. 花出正美.
就労継続の支援: 看護師の立場から.
第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2019): 神戸市, 2019.
36. 花出正美.
がん看護の知と技の継承: 研究と実践のさらなる融合.
第 33 回日本がん看護学会学術集会: 福岡市, 2019.
37. 藤木由佳子, 床知恵子, 長崎礼子, 武岡奈美, 深田一平, 柴山朋子, 小林心, 伊藤良則, 高橋俊二, 岩瀬拓士, 大野真司, 鈴木美穂.
ドセタキセル治療を受ける患者における爪甲障害の予防: 改良型フローズングローブとアイスノンによる冷却法の比較.
第 33 回日本がん看護学会学術集会: 福岡市, 2019.
38. 角美奈子, 後藤志保.
集学的治療における患者ケア.
日本放射線腫瘍学会第 32 回学術大会: 名古屋市, 2019.
39. 鈴木純子, 小泉直美, 宇津木智子.
がん終末期における看取りのパンフレットの使用方法についての文献検討.
第 43 回日本死の臨床研究会年次大会: 神戸市, 2019.
40. 鈴木美穂.
高度実践看護師による「実践報告」の実際.
- 第 33 回日本がん看護学会学術集会: 福岡市, 2019.
41. 長崎礼子.
進行膵がん患者に対する PANDA プログラムにおける外来治療室看護師の関わり.
膵がん教室ワークショップ: 2019.
42. 鴨川郁子, 黒田直子, 赤土朋美, 竹内抄與子, 星野公子, 上間美夕紀, 武田知子, 三澤貴代美, 東千絵, 横井麻珠美, 花出正美.
認定看護師・専門看護師の企画・運営による一般公開講座に関する 10 年間の活動報告.
第 34 回日本がん看護学会学術集会: 東京, 2019.
43. 黒田直子, 竹内抄與子, 片岡明美, 小野麻紀子, 阿部朋未.
がんサバイバーシップにおける看護師の役割: 妊孕性温存ワーキンググループ活動から見てきたこと.
第 27 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2019.
44. 齋藤由美子.
当院の CRC の働き方.
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 京都市, 2019.
- 【薬剤部】**
1. 中野泰寛.
肺がん.
第 11 回日本がん薬剤学会学術大会: 東京, 2019.
2. 中野泰寛.
皮膚障害の評価とマネージメント (肺がん症例を通じて).
東京都病院薬剤師会 がん薬物療法専門薬剤師養成研究会公開講座: 症例形式を取り入れた副作用評価とマネジメント: 東京, 2019.
3. 前勇太郎, 三木真梨杏, 横川貴志, 渡邊大至, 友松純一, 高橋俊二, 濱敏弘.
横紋筋肉腫ピンクリスチン + アクチノマイシン D + シクロフォスファミド療法における末梢神経障害の発現状況と RDI との関係.
第 29 回日本医療薬学会年会: 福岡市, 2019.

4. 吾妻慧一 .
臨床薬剤師が支える悪性リンパ腫の薬物療法 :
チームガザイバでの臨床薬剤師の関わりと実
際 .
第 11 回日本がん薬剤学会学術大会 : 東京 ,
2019 .
5. 吾妻慧一 , 根本真記 , 横川貴志 , 阿部三千代 ,
西村倫子 , 照井康仁 , 濱敏弘 .
多職種によるサリドマイド製剤およびサリドマ
イド誘導体の安全管理遵守の取り組み .
第 29 回日本医療薬学会年会 : 福岡市 , 2019 .
6. 吾妻慧一 .
B 細胞性腫瘍における薬剤師の治療介入 .
第 8 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 : 札幌市 ,
2019 .
7. 小林一男 , 川上和宜 , 横川貴志 , 青山剛 , 鈴木
賢一 , 若槻尊 , 末永光邦 , 山口研成 , 濱敏弘 .
レゴラフェニブによる手足症候群のリスク因子
の検討 .
第 11 回日本がん薬剤学会学術大会 : 東京 ,
2019 .
8. 小林一男 , 鈴木賢一 , 青山剛 , 横川貴志 , 式部
さあ里 , 平出誠 , 橋本幸輝 , 飯倉佑介 , 湯浅健 ,
佐藤均 , 杉山恵理花 , 田島正教 , 米瀬淳二 , 濱
敏弘 .
尿路上皮癌におけるペムブロリズマブの免疫関
連有害事象発現と治療効果との関連 .
第 29 回日本医療薬学会年会 : 福岡市 , 2019 .
9. 山端悠介 , 小林一男 , 横川貴志 , 山田玲子 , 濱
敏弘 .
閉鎖式薬物移送システムのケモセーフロック®
における有用性の検討 .
第 11 回日本がん薬剤学会学術大会 : 東京 ,
2019 .
10. 川上和宜 .
アウトカムに繋げるファーマシューティカルケ
アの実践 : がん薬物療法における患者を診るス
キル .
第 9 回岐阜がんチーム医療研究会 : 岐阜市 ,
2019 .
11. 川上和宜 .
症例検討会 .
第 2 回慶応義塾大学がんプロフェッショナル研
修会 : 東京 , 2019 .
12. 川上和宜 .
がん化学療法に伴う末梢神経障害の対応策を目
指した基礎・臨床での取り組みと融合 : 臨床現
場での課題と対応策 .
第 29 回日本医療薬学会年会 : 福岡市 , 2019 .
13. 川上和宜 .
新しい時代を担う薬剤師の副作用マネジメン
トを考える : 抗がん治療において患者を視るス
キル : 事例紹介 .
第 29 回日本医療薬学会年会 : 福岡市 , 2019 .
14. 川上和宜 .
肺がん治療の薬学的ケアの実践 .
第 5 回東京都病院薬剤師会「がん薬物療法専門
薬剤師養成研究会」 : 東京 , 2019 .
15. 川上和宜 .
内服抗がん薬のアドヒアランス評価と向上への
アプローチ .
東京都病院薬剤師会 がん薬物療法専門薬剤師
養成研究会公開講座 : 症例形式を取り入れた副
作用評価とマネジメント : 東京 , 2019 .
16. 平出誠 .
がん患者の深部静脈血栓症治療における Edox-
aban シングルドラッグアプローチの有効性と
安全性の検討 .
第 2 回日本腫瘍循環器学会学術集会 : 旭川市 ,
2019 .
17. 式部さあ里 , 鈴木賢一 , 小林一男 , 西尾誠人 ,
濱敏弘 .
シスプラチン初回治療時の悪心嘔吐が 2 コース
目以降の悪心嘔吐や治療継続に与える影響 .
第 8 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 : 札幌市 ,
2019 .
18. 根本真記 .
糖尿病とがん : 目指すはバランスの良い治療関
係 .
第 29 回日本医療薬学会年会 : 福岡市 , 2019 .

19. 根本真記, 井上典仁, 吾妻慧一, 濱敏弘, 照井康仁.
低悪性度リンパ腫およびマントル細胞リンパ腫における BR 療法後のリンパ球数と IgG 値の推移の検討.
第 81 回日本血液学会学術集会: 東京, 2019.
20. 森祐佳, 中村匡志, 竹野伸洋, 大島淑夫, 山田健志, 三谷浩樹, 濱敏弘.
せん妄対策は頭頸部がん患者の周術期管理に有益か.
第 29 回日本医療薬学会年会: 福岡市, 2019.
21. 橋本幸輝.
小児・AYA 世代における制吐療法の問題点.
第 11 回日本がん薬剤学会学術大会: 東京, 2019.
22. 橋本幸輝, 小林一男, 吾妻慧一, 横川貴志, 柴田直樹, 吉岡秀哲, 副島梓, 羽鳥正浩, 平出誠, 鈴木賢一, 湯浅健, 米瀬淳二, 濱敏弘.
尿路上皮がんにおけるゲムシタビン + シスプラチン併用療法 day15 中止のリスク因子の検討.
第 8 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会: 札幌市, 2019.
23. 浅野舞美, 小林一男, 山端悠介, 横川貴志, 鈴木亘, 平出誠, 三木真梨杏, 岩崎愛理, 濱敏弘.
抗がん薬の分割使用による医療費削減効果の検討.
第 29 回日本医療薬学会年会: 福岡市, 2019.
24. 濱敏弘, 井上杏奈, 小林一男.
バイオハザード安全キャビネットの HEPA フィルターはどのくらい抗がん薬を捕集するか、またいつ交換するべきか.
第 11 回日本がん薬剤学会学術大会: 東京, 2019.
25. 濱敏弘, 長谷川祐介.
注意が必要な臨床背景をもつ患者のがん薬物療法.
第 11 回日本がん薬剤学会学術大会: 東京, 2019.
26. 濱敏弘.
最新のがん治療とがん治療に関わる薬剤師を取り巻く環境について.
CHUGAI Directors of Pharmacy Forum 2019: 地域包括ケアシステム時代のがん医療を考える: 東京, 2019.
27. 濱敏弘.
抗がん薬職業曝露に対する正しい理解と組織対策について.
ケモセラピーセミナー多摩: 東京, 2019.
28. 濱敏弘.
医療機関におけるリスク最小化活動: 病院薬剤部におけるリスクコミュニケーションと実際の業務についての紹介.
レギュラトリーサイエンス エキスパート研修会認定コース: 東京, 2019.
29. 濱敏弘.
安全ながん薬物療法を実践するためのリスク最小化活動.
道南地区オンコロジーセミナー: 釧路市, 2019.
30. 濱敏弘.
がん薬物療法のトレンドと薬剤師の関わり方.
東京都病院薬剤師会診療所例会: 東京, 2019.
31. 濱敏弘.
胃癌ガイドラインに関する講演.
第 2 回がん薬物療法専門薬剤師養成研究会: 東京, 2019.
32. 濱敏弘.
肺がん化学療法における最新治療と薬剤師のかかわり方.
Oncology Pharmacist Eye Seminar in 沖縄: 沖縄, 2019.
33. 濱敏弘.
医療の現場が求めている医薬品を適正かつ効果的に使用するための情報とは何か: 病院の立場から.
持田製薬販売株式会社社員教育講演: 東京, 2019.

34. 濱敏弘 .
Combo × combo : 薬剤師と医師の連携で ICI を活かす .
第 29 回日本医療薬学会年会 : 福岡市 , 2019 .
35. 濱敏弘 .
がん専門薬剤師の薬学的介入の視点と症例サマリーのまとめ方のコツ .
第 29 回日本医療薬学会年会 : 福岡市 , 2019 .
36. 濱敏弘 .
「漢方を通して、緩和ケアの意義を再考する」 : 西洋医学との使い分け、難治性嘔気や食欲不振への対応 .
日本薬学会第 139 年会 : 千葉市 , 2019 .
37. 濱敏弘 .
東京都がん診療連携拠点病院における高齢者のがん薬物療法の現状 .
東京都病院薬剤師会専門薬剤師養成部セミナー : 東京 , 2019 .
38. 瀧口友美 .
EGFR チロシンキナーゼ阻害薬 (EGFR-TKI) における皮膚乾燥ケアに対する取り組み .
第 29 回日本医療薬学会年会 : 福岡市 , 2019 .
39. 羽鳥正浩 , 川上和宜 , 若槻尊 , 青山剛 , 中野泰寛 , 小林一男 , 鈴木賢一 , 山口研成 , 濱敏弘 .
レゴラフェニブの実投与量と治療効果の後方視的検討 .
第 29 回日本医療薬学会年会 : 福岡市 , 2019 .
40. 舘合慶一 , 川上和宜 , 森本重輝 , 二木翔平 , 保田知生 .
内服自己管理薬に関するヒヤリ・ハット事例の解析 .
第 29 回日本医療薬学会年会 : 福岡市 , 2019 .
41. 鈴木賢一 , 谷村学 .
薬剤師がマネジメントする悪心嘔吐対策 : ガイドライン以外にも考えるべきこと .
第 11 回日本がん薬剤学会学術大会 : 東京 , 2019 .
42. 鈴木賢一 .
転換期を迎えたがん免疫療法 : irAE をどう考えるか .
第 8 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 : 札幌市 , 2019 .
43. 青山剛 .
大腸がんの薬物療法マネジメント .
第 11 回日本がん薬剤学会学術大会 : 東京 , 2019 .
44. 青山剛 .
薬剤師が知っておきたい大腸がんを使用する注射薬のポイント : 副作用モニタリング、副作用の対策、臓器機能による投与量設計 .
第 9 回岐阜がんチーム医療研究会 : 岐阜市 , 2019 .
45. 青山剛 , 鴨川郁子 .
消化器がんにおけるチーム医療の実践 .
第 33 回日本がん看護学会学術集会 : 福岡市 , 2019 .
46. 飯倉佑介 , 小林一男 , 青山剛 , 横川貴志 , 式部さあ里 , 平出誠 , 橋本幸輝 , 鈴木賢一 , 湯浅健 , 佐藤均 , 杉山恵理花 , 田島正教 , 米瀬淳二 , 濱敏弘 .
腎癌ニボルマブの免疫関連有害事象と全生存期間との関連 .
第 29 回日本医療薬学会年会 : 福岡市 , 2019 .

10. 雑誌・単行本発表業績

【呼吸器内科】

1. Amino, Y., Kitazono, S., Uematsu, S., Hasegawa, T., Yoshizawa, T., Uchibori, K., Yanagitani, N., Horiike, A., Horai, T., Kasahara, K., Nishio, M.
Efficacy of anti-PD-1 therapy for recurrence after chemoradiotherapy in locally advanced NSC LC
Int. J. Clin. Oncol., 25(1): 67-73. 2019.
2. Fukuda, K., Takeuchi, S., Arai, S., Katayama, R., Nanjo, S., Tanimoto, A., Nishiyama, A., Nakagawa, T., Taniguchi, H., Suzuki, T., Yamada, T., Nishihara, H., Ninomiya, H., Ishikawa, Y., Baba, S., Takeuchi, K., Horiike, A., Yanagitani, N., Nishio, M., Yano, S.
Epithelial-to-mesenchymal transition is a mechanism of ALK inhibitor resistance in lung cancer independent of ALK mutation status
Cancer Res., 79(7): 1658-1670. 2019.
3. Gong, B., Kiyotani, K., Sakata, S., Nagano, S., Kumehara, S., Baba, S., Besse, B., Yanagitani, N., Friboulet, L., Nishio, M., Takeuchi, K., Kawamoto, H., Fujita, N., Katayama, R.
Secreted PD-L1 variants mediate resistance to PD-L1 blockade therapy in non-small cell lung cancer
J. Exp. Med., 216(4): 982-1000. 2019.
4. Hasegawa, T., Yanagitani, N., Utsumi, H., Wakui, H., Sakamoto, H., Tozuka, T., Yoshida, H., Amino, Y., Uematsu, S., Yoshizawa, T., Uchibori, K., Kitazono, S., Horiike, A., Horai, T., Kuwano, K., Nishio, M.
Association of high neutrophil-to-lymphocyte ratio with poor outcomes of pembrolizumab therapy in high-PD-L1-expressing non-small cell lung cancer
Anticancer Res., 39(12): 6851-6857. 2019.
5. Hiraide, M., Minowa, Y., Nakano, Y., Suzuki, K., Shiga, T., Nishio, M., Miyoshi, J., Takahashi, H., Hama, T.
Drug interactions between tyrosine kinase inhibitors (gefitinib and erlotinib) and warfarin: Assessment of international normalized ratio elevation characteristics and in vitro CYP2C9 activity
J. Oncol. Pharm. Pract., 25(7): 1599-1607. 2019.
6. Hirashima, T., Satouchi, M., Hida, T., Nishio, M., Kato, T., Sakai, H., Imamura, F., Kiura, K., Okamoto, I., Kasahara, K., Uchida, H., Vowler, S.L., Mitsudomi, T.
Osimertinib for Japanese patients with T790M-positive advanced non-small cell lung cancer: A pooled subgroup analysis
Cancer Sci., 110(9): 2884-2893. 2019.
7. Horinouchi, H., Nishio, M., Hida, T., Nakagawa, K., Sakai, H., Nogami, N., Atagi, S., Takahashi, T., Saka, H., Takenoyama, M., Katakami, N., Tanaka, H., Takeda, K., Satouchi, M., Isobe, H., Maemondo, M., Goto, K., Hirashima, T., Minato, K., Sumiyoshi, N., Tamura, T.
Three-year follow-up results from phase II studies of nivolumab in Japanese patients with previously treated advanced non-small cell lung cancer: Pooled analysis of ONO-4538-05 and ONO-4538-06 studies
Cancer Med., 8(11): 5183-5193. 2019.
8. Ito, K., Nishio, M., Kato, M., Murakami, H., Aoyagi, Y., Ohe, Y., Okayama, T., Hashimoto, A., Ohsawa, H., Tanaka, G., Nonoshita, K., Ito, S., Matsuo, K., Miyadera, K.
TAS-121, a selective mutant EGFR inhibitor, shows activity against tumors expressing various EGFR mutations including T790M and uncommon mutations G719X
Mol. Cancer Ther., 18(5): 920-928. 2019.

9. Katayama, R., Gong, B., Togashi, N., Miyamoto, M., Kiga, M., Iwasaki, S., Kamai, Y., Tominaga, Y., Takeda, Y., Kagoshima, Y., Shimizu, Y., Seto, Y., Oh-hara, T., Koike, S., Nakao, N., Hanazawa, H., Watanabe, K., Yoda, S., Yanagitani, N., Hata, A.N., Shaw, A.T., Nishio, M., Fujita, N., Isoyama, T.
The new-generation selective ROS1/NTRK Inhibitor DS-6051b overcomes crizotinib resistant ROS1-G2032R mutation in preclinical models
Nat. Commun., 10(1): 3604. 2019.
10. Katsuya, Y., Horinouchi, H., Seto, T., Umemura, S., Hosomi, Y., Satouchi, M., Nishio, M., Kozuki, T., Hida, T., Sukigara, T., Nakamura, K., Kuchiba, A., Ohe, Y.
Single-arm, multicentre, phase II trial of nivolumab for unresectable or recurrent thymic carcinoma: PRIMER study
Eur. J. Cancer, 113: 78-86. 2019.
11. Kawashima, Y., Nishikawa, S., Ninomiya, H., Yoshida, R., Takano, N., Oguri, T., Kitazono, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Ohyanagi, F., Ishikawa, Y., Nishio, M.
Lung adenocarcinoma with Lynch syndrome and the response to nivolumab
Intern. Med., 58(10): 1479-1484. 2019.
12. Kishi, K., Sakai, H., Seto, T., Kozuki, T., Nishio, M., Imamura, F., Nokihara, H., Satouchi, M., Nakagawa, S., Tahata, T., Nakagawa, K.
First-line onartuzumab plus erlotinib treatment for patients with MET-positive and EGFR mutation-positive non-small-cell lung cancer
Cancer Treat. Res. Commun., 18: 100113. 2019.
13. Kitazono, S., Sakai, K., Yanagitani, N., Ariyasu, R., Yoshizawa, T., Dotsu, Y., Koyama, J., Saiki, M., Sonoda, T., Nishikawa, S., Uchibori, K., Horiike, A., Nishio, K., Nishio, M.
Barcode sequencing identifies resistant mechanisms to epidermal growth factor receptor inhibitors in circulating tumor DNA of lung cancer patients
Cancer Sci., 110(10): 3350-3357. 2019.
14. Koyama, J., Horiike, A., Yoshizawa, T., Dotsu, Y., Ariyasu, R., Saiki, M., Sonoda, T., Uchibori, K., Nishikawa, S., Kitazono, S., Yanagitani, N., Ninomiya, H., Ishikawa, Y., Nishio, M.
Correlation between thyroid transcription factor-1 expression, immune-related thyroid dysfunction, and efficacy of anti-programmed cell death protein-1 treatment in non-small cell lung cancer
J. Thorac. Dis., 11(5): 1919-1928. 2019.
15. Mizugaki, H., Hamada, A., Shibata, T., Hosoda, F., Nakamura, H., Okuma, Y., Shukuya, T., Umemura, S., Horiike, A., Fukui, T., Kogure, Y., Daga, H., Urata, Y., Yamada, K., Saeki, S., Fujisaka, Y., Nakamura, Y., Sato, M., Yoshida, T., Hotta, T., Oizumi, S., Fujiwara, Y., Ohe, Y., Fujiwara, Y.
Exploration of germline variants responsible for adverse events of crizotinib in anaplastic lymphoma kinase-positive non-small cell lung cancer by target-gene panel sequencing
Lung Cancer, 128: 20-25. 2019.
16. Nakagawa, K., Garon, E.B., Seto, T., Nishio, M., Ponce Aix, S., Paz-Ares, L., Chiu, C.H., Park, K., Novello, S., Nadal, E., Imamura, F., Yoh, K., Shih, J.Y., Au, K.H., Moro-Sibilot, D., Enatsu, S., Zimmermann, A., Frimodt-Moller, B., Visseren-Grul, C., Reck, M.
Ramucirumab plus erlotinib in patients with untreated, EGFR-mutated, advanced non-small-cell lung cancer (RELAY): a randomised, double-blind, placebo-controlled, phase 3 trial
Lancet Oncol., 20(12): 1655-1669. 2019.
17. Nishio, M., Nakagawa, K., Mitsudomi, T., Yamamoto, N., Tanaka, T., Kuriki, H.,

- Zeaiter, A., Tamura, T.
Corrigendum to "Analysis of central nervous system efficacy in the J-ALEX study of alectinib versus crizotinib in ALK-positive non-small-cell lung cancer" [Lung Cancer 121 (July) (2018) Pages 37-40] Lung Cancer, 132: 160. 2019.
18. Nishio, M., Takahashi, T., Yoshioka, H., Nakagawa, K., Fukuhara, T., Yamada, K., Ichiki, M., Tanaka, H., Seto, T., Sakai, H., Kasahara, K., Satouchi, M., Han, S.R., Noguchi, K., Shimamoto, T., Kato, T.
KEYNOTE-025: Phase 1b study of pembrolizumab in Japanese patients with previously treated programmed death ligand 1-positive advanced non-small-cell lung cancer
Cancer Sci., 110(3): 1012-1020. 2019.
 19. Nishio, M., Murakami, H., Ohe, Y., Hida, T., Sakai, H., Kasahara, K., Imamura, F., Baba, T., Kubota, K., Hosomi, Y., Shimokawa, T., Hayashi, H., Miyadera, K., Tamura, T.
Phase I study of TAS-121, a third-generation epidermal growth factor receptor (EGFR) tyrosine kinase inhibitor, in patients with non-small-cell lung cancer harboring EGFR mutations
Invest. New Drugs., 37(6): 1207-1217. 2019.
 20. Nishio, M., Sugawara, S., Atagi, S., Akamatsu, H., Sakai, H., Okamoto, I., Takayama, K., Hayashi, H., Nakagawa, Y., Kawakami, T.
Subgroup analysis of Japanese patients in a phase III study of atezolizumab in extensive-stage small-cell lung cancer (IMpower133)
Clin. Lung Cancer, 20(6): 469-476. 2019.
 21. Nogami, N., Nishio, M., Okamoto, I., Enatsu, S., Suzukawa, K., Takai, H., Nakagawa, K., Tamura, T.
Pemetrexed and carboplatin combination therapy followed by pemetrexed maintenance in Japanese patients with non-squamous non-small cell lung cancer: A subgroup analysis of elderly patients
Respir. Investig., 57(1): 27-33. 2019.
 22. Nokihara, H., Nishio, M., Yamamoto, N., Fujiwara, Y., Horinouchi, H., Kanda, S., Horiike, A., Ohyanagi, F., Yanagitani, N., Nguyen, L., Yaron, Y., Borgman, A., Tamura, T.
Phase 1 study of cabozantinib in Japanese patients with expansion cohorts in non-small-cell lung cancer
Clin. Lung Cancer, 20(3): e317-e328. 2019.
 23. Okada, K., Araki, M., Sakashita, T., Ma, B., Kanada, R., Yanagitani, N., Horiike, A., Koike, S., Oh-Hara, T., Watanabe, K., Tamai, K., Maemondo, M., Nishio, M., Ishikawa, T., Okuno, Y., Fujita, N., Katayama, R.
Prediction of ALK mutations mediating ALK-TKIs resistance and drug re-purposing to overcome the resistance
EBioMedicine, 41: 105-119. 2019.
 24. Osaki, A., Inoue, K., Sakai, H., Yamada, K., Minato, K., Ohyanagi, F., Tokuda, Y., Ikeda, N., Kagamu, H., Kubota, K., Tamura, T., Saeki, T.
A dose-finding randomized Phase II study of oral netupitant in combination with palonosetron .75 mg intravenous for the prevention of chemotherapy-induced nausea and vomiting in Japanese patients receiving highly emetogenic chemotherapy
Jpn. J. Clin. Oncol, 49(2): 121-129. 2019.
 25. Otsubo, K., Sakai, K., Takeshita, M., Harada, D., Azuma, K., Ota, K., Akamatsu, H., Goto, K., Horiike, A., Kurata, T., Nakagaki, N., Nosaki, K., Iwama, E., Nakanishi, Y., Nishio, K., Okamoto, I.
Genetic profiling of non-small cell lung cancer at development of resistance to

- first- or second-generation EGFR-TKIs by CAPP-seq analysis of circulating tumor DNA
Oncologist, 24(8): 1022-1026. 2019.
26. Reck, M., Mok, T.S.K., Nishio, M., Jotte, R.M., Cappuzzo, F., Orlandi, F., Stroyakovskiy, D., Nogami, N., Rodriguez-Abreu, D., Moro-Sibilot, D., Thomas, C.A., Barlesi, F., Finley, G., Lee, A., Coleman, S., Deng, Y., Kowanetz, M., Shankar, G., Lin, W., Socinski, M.A.
Atezolizumab plus bevacizumab and chemotherapy in non-small-cell lung cancer (IMpower150): key subgroup analyses of patients with EGFR mutations or baseline liver metastases in a randomised, open-label phase 3 trial
Lancet Respir. Med., 7(5): 387-401. 2019.
 27. Reck, M., Schenker, M., Lee, K.H., Provencio, M., Nishio, M., Lesniewski-Kmak, K., Sangha, R., Ahmed, S., Raimbourg, J., Feeney, K., Corre, R., Franke, F.A., Richardet, E., Penrod, J.R., Yuan, Y., Nathan, F.E., Bhagavatheswaran, P., DeRosa, M., Taylor, F., Lawrance, R., Brahmer, J.
Nivolumab plus ipilimumab versus chemotherapy as first-line treatment in advanced non-small-cell lung cancer with high tumour mutational burden: patient-reported outcomes results from the randomised, open-label, phase III CheckMate 227 trial
Eur. J. Cancer, 116: 137-147. 2019.
 28. Saiki, M., Iijima, Y., Honda, T., Mori, S., Tsutsui, T., Uchida, Y., Kobayashi, Y., Kakizaki, Y., Sakashita, H., Miyazaki, Y., Miyashita, Y.
Coexistence of dementia with smear-positive pulmonary tuberculosis is associated with patient in-hospital mortality
Respir. Investig., 57(4): 354-360. 2019.
 29. Saiki, M., Yoshizawa, T., Dotsu, Y., Ariyasu, R., Koyama, J., Sonoda, T., Uchibori, K., Nishikawa, S., Kitazono, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Nishio, M.
Correlation between serum adenosine deaminase activity and efficacy of anti-programmed cell death-1 antibody
Lung Cancer, 133: 4-9. 2019.
 30. Shimomura, A., Yamamoto, N., Kondo, S., Fujiwara, Y., Suzuki, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Kitazono, S., Ohyanagi, F., Doi, T., Kuboki, Y., Kawazoe, A., Shitara, K., Ohno, I., Banerji, U., Sundar, R., Ohkubo, S., Calleja, E.M., Nishio, M.
First-in-human phase I study of an oral HSP90 inhibitor, TAS-116, in patients with advanced solid tumors
Mol. Cancer Ther., 18(3): 531-540. 2019.
 31. Sugawara, S., Nakagawa, K., Yamamoto, N., Nokihara, H., Ohe, Y., Nishio, M., Takahashi, T., Goto, K., Maemondo, M., Ichinose, Y., Seto, T., Sakai, H., Gemma, A., Imamura, F., Shingyoji, M., Saka, H., Inoue, A., Takeda, K., Okamoto, I., Kiura, K., Morita, S., Tamura, T.
Japanese subgroup analysis of a phase III study of S-1 versus docetaxel in non-small cell lung cancer patients after platinum-based treatment: EAST-LC
Int. J. Clin. Oncol., 24(5): 485-493. 2019.
 32. Takano, N., Ariyasu, R., Koyama, J., Sonoda, T., Saiki, M., Kawashima, Y., Oguri, T., Hisakane, K., Uchibori, K., Nishikawa, S., Kitazono, S., Yanagitani, N., Ohyanagi, F., Horiike, A., Gemma, A., Nishio, M.
Improvement in the survival of patients with stage IV non-small-cell lung cancer: Experience in a single institutional 1995-2017
Lung Cancer, 131: 69-77. 2019.
 33. Tsuchiya-Kawano, Y., Sasaki, T., Yamaguchi, H., Hirano, K., Horiike, A., Satouchi, M.,

- Hosokawa, S., Morinaga, R., Komiya, K., Inoue, K., Fujita, Y., Toyozawa, R., Kimura, T., Takahashi, K., Nishikawa, K., Kishimoto, J., Nakanishi, Y., Okamoto, I.
Updated survival data for a phase I/II study of carboplatin plus nab-paclitaxel and concurrent radiotherapy in patients with locally advanced non-small cell lung cancer
Oncologist: in press. 2019.
34. Watanabe, S., Yoshioka, H., Sakai, H., Hotta, K., Takenoyama, M., Yamada, K., Sugawara, S., Takiguchi, Y., Hosomi, Y., Tomii, K., Niho, S., Yamamoto, N., Nishio, M., Ohe, Y., Kato, T., Takahashi, T., Kamada, A., Suzukawa, K., Omori, Y., Enatsu, S., Nakagawa, K., Tamura, T.
Corrigendum to "Necitumumab plus gemcitabine and cisplatin versus gemcitabine and cisplatin alone as first-line treatment for stage IV squamous non-small cell lung cancer: A phase 1b and randomized, open-label, multicenter, phase 2 trial in Japan" [Lung Cancer, 129 (March) (2019) 55-62]
Lung Cancer, 132: 157-158. 2019.
35. Watanabe, S., Yoshioka, H., Sakai, H., Hotta, K., Takenoyama, M., Yamada, K., Sugawara, S., Takiguchi, Y., Hosomi, Y., Tomii, K., Niho, S., Yamamoto, N., Nishio, M., Ohe, Y., Kato, T., Takahashi, T., Kamada, A., Suzukawa, K., Omori, Y., Enatsu, S., Nakagawa, K., Tamura, T.
Necitumumab plus gemcitabine and cisplatin versus gemcitabine and cisplatin alone as first-line treatment for stage IV squamous non-small cell lung cancer: A phase 1b and randomized, open-label, multicenter, phase 2 trial in Japan
Lung Cancer, 129: 55-62. 2019.
36. 北園聡
腫瘍内科医に必要な緩和医療のポイント：薬物療法に伴う有害事象への対応：対症療法
臨床腫瘍プラクティス, 15(3): 181-186. 2019.
37. 堀池篤
悪性腫瘍の病理・遺伝子診断に基づくプレシジョンメディシン：ALK/ROS1/RET 融合遺伝子陽性がんの特徴と治療（肺がん）
医学のあゆみ, 269(3): 215-220. 2019.
38. 堀池篤
新規抗悪性腫瘍薬の開発：新しい標的 RET 特異的阻害薬
腫瘍内科, 24(1): 60-65. 2019.
39. 柳谷典子, 西尾誠人.
肺癌の外来管理.
呼吸器疾患最新の治療 2019-2020. (門田淳一, ほか編集), 東京：南江堂, pp. 463-566. 2019.
40. 柳谷典子, 西尾誠人
肺癌診療ガイドライン 2018 年版を読み解く：IV 期非小細胞肺癌における薬物療法 ALK 融合遺伝子陽性
呼吸器内科, 36(3): 241-245. 2019.
41. 網野喜彬, 北園聡, 西尾誠人
新しいがん免疫療法の動向：免疫チェックポイント阻害薬を含む標準的治療：非小細胞肺癌の薬物療法について：進行非小細胞肺癌
腫瘍内科, 24(3): 223-231. 2019.

【呼吸器外科】

- Goto, H., Mun, M., Mori, S., Samejima, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Uehara, H., Nakagawa, K., Okumura, S.
Thoracoscopic partial lung resection following pneumonectomy: a report of three cases
J. Cardiothorac. Surg., 14(1): 183. 2019.
- Ichinose, J., Mun, M., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S.
Efficiency of thoracoscopic palpation in localizing small pulmonary nodules
Surg. Today, 49(11): 921-926. 2019.
- Matsuura, Y., Ichinose, J., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.

- Prediction of and surgical strategy for adherent hilar lymph nodes in thoracoscopic surgery
Asian J. Endosc. Surg.: in press. 2019.
4. Matsuura, Y., Ichinose, J., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.
Recent fluorescence imaging technology applications of indocyanine green in general thoracic surgery
Surg. Today: in press. 2019.
 5. Matsuura, Y., Mun, M., Ichinose, J., Nakao, M., Nakagawa, K., Okumura, S.
Recent fluorescence-based optical imaging for video-assisted thoracoscopic surgery segmentectomy
Ann. Transl. Med., 7(2): 32. 2019.
 6. Nakao, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., Okumura, S., Mun, M.
Determining the most important factors in hospital readmission following surgery for lung cancer
Ann. Transl. Med., 7(Suppl 8): S269. 2019.
 7. Nakao, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakagawa, K., Okumura, S., Mun, M.
Long-term oncological outcome after thoracoscopic lobectomy for non-small cell lung cancer patients
J. Thorac. Dis., 11(7): 3112-3121. 2019.
 8. Nakao, M., Noma, D., Ichinose, J., Matsuura, Y., Mun, M., Nakagawa, K., Shigematsu, Y., Ninomiya, H., Ishikawa, Y., Okumura, S.
Unique pathological findings of lung adenocarcinoma after unexpected nivolumab treatment, possible different effects on the primary lesion and metastatic lymph nodes: case report
AME Case Rep., 3: 45. 2019.
 9. Sonoda, D., Matsuura, Y., Ichinose, J., Nakao, M., Ninomiya, H., Mun, M., Ishikawa, Y., Nakagawa, K., Satoh, Y., Okumura, S.
Ultra-late recurrence of non-small cell lung cancer over 10 years after curative resection
Cancer Manag. Res., 11: 6765-6774. 2019.
 10. Yoh, K., Takamochi, K., Shukuya, T., Hishida, T., Tsuboi, M., Sakurai, H., Goto, Y., Yoshida, K., Ohde, Y., Okumura, S., Ohashi, Y., Kunitoh, H.
Pattern of care in adjuvant therapy for resected Stage I non-small cell lung cancer: real-world data from Japan
Jpn. J. Clin. Oncol, 49(1): 63-68. 2019.
 11. 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景
三次元 CT とインドシアニンググリーン (ICG) 蛍光イメージングを用いた胸腔鏡下肺区域切除術
胸部外科, 72(7): 501-508. 2019.
 12. 一瀬淳二
最新の肺癌確定診断の進め方: 遠隔転移検索の検査
日本医事新報, (4965): 31-35. 2019.
 13. 中尾将之
最新の肺癌確定診断の進め方: 確定診断のための検査
日本医事新報, (4965): 26-30. 2019.
 14. 山口俊晴監修, 奥村栄編集, 文敏景編集協力
がん研スタイル 癌の標準手術: 肺癌. 東京: メジカルビュー社. 269p., 2019,
 15. 松浦陽介
最新の肺癌確定診断の進め方: 初診から検査の進め方と病期の決定
日本医事新報, (4965): 18-25. 2019.
 16. 松浦陽介, 奥村栄
転移性肺腫瘍の外科治療
日本臨床外科学会雑誌, 80(4): 641-651. 2019.

【消化器化学療法科】

1. Arai, H., Iwasa, S., Boku, N., Kawahira, M., Yasui, H., Masuishi, T., Muro, K., Minashi, K., Hironaka, S., Fukuda, N., Takahari, D., Nakajima, T.E.
Fluoropyrimidine with or without platinum as first-line chemotherapy in patients with advanced gastric cancer and severe peritoneal metastasis: a multicenter retrospective study
BMC Cancer, 19(1): 652. 2019.
2. Bekaii-Saab, T., Kim, R., Kim, T.W., O'Connor, J.M., Strickler, J.H., Malka, D., Sartore-Bianchi, A., Bi, F., Yamaguchi, K., Yoshino, T., Prager, G.W.
Third- or later-line therapy for metastatic colorectal cancer: Reviewing best practice
Clin. Colorectal Cancer, 18(1): e117-e129. 2019.
3. Boku, N., Ryu, M.H., Kato, K., Chung, H.C., Minashi, K., Lee, K.W., Cho, H., Kang, W.K., Komatsu, Y., Tsuda, M., Yamaguchi, K., Hara, H., Fumita, S., Azuma, M., Chen, L.T., Kang, Y.K.
Safety and efficacy of nivolumab in combination with S-1/capecitabine plus oxaliplatin in patients with previously untreated, unresectable, advanced, or recurrent gastric/gastroesophageal junction cancer: interim results of a randomized, phase II trial (ATTRACTION-4)
Ann. Oncol., 30(2): 250-258. 2019.
4. Chen, L.T., Satoh, T., Ryu, M.H., Chao, Y., Kato, K., Chung, H.C., Chen, J.S., Muro, K., Kang, W.K., Yeh, K.H., Yoshikawa, T., Oh, S.C., Bai, L.Y., Tamura, T., Lee, K.W., Hamamoto, Y., Kim, J.G., Chin, K., Oh, D.Y., Minashi, K., Cho, J.Y., Tsuda, M., Sameshima, H., Kang, Y.K., Boku, N.
A phase 3 study of nivolumab in previously treated advanced gastric or gastroesophageal junction cancer (ATTRACTION-2): 2-year update data
Gastric Cancer: in press. 2019.
5. Fuchs, C.S., Shitara, K., Di Bartolomeo, M., Lonardi, S., Al-Batran, S.E., Van Cutsem, E., Ilson, D.H., Alsina, M., Chau, I., Lacy, J., Ducreux, M., Mendez, G.A., Alavez, A.M., Takahari, D., Mansoor, W., Enzinger, P.C., Gorbounova, V., Wainberg, Z.A., Hege-
wisch-Becker, S., Ferry, D., Lin, J., Carlesi, R., Das, M., Shah, M.A.
Ramucirumab with cisplatin and fluoropyrimidine as first-line therapy in patients with metastatic gastric or junctional adenocarcinoma (RAINFALL): a double-blind, randomised, placebo-controlled, phase 3 trial
Lancet Oncol., 20(3): 420-435. 2019.
6. Fujii, S., Yoshino, T., Yamazaki, K., Muro, K., Yamaguchi, K., Nishina, T., Yuki, S., Shinozaki, E., Shitara, K., Bando, H., Mimaki, S., Nakai, C., Matsushima, K., Suzuki, Y., Akagi, K., Yamanaka, T., Nomura, S., Esumi, H., Sugiyama, M., Nishida, N., Mizokami, M., Koh, Y., Abe, Y., Ohtsu, A., Tsuchihara, K.
Histopathological factors affecting the extraction of high quality genomic DNA from tissue sections for next-generation sequencing
Biomed. Rep., 11(4): 171-180. 2019.
7. Ichida, H., Mise, Y., Ito, H., Ishizawa, T., Inoue, Y., Takahashi, Y., Shinozaki, E., Yamaguchi, K., Saiura, A.
Optimal indication criteria for neoadjuvant chemotherapy in patients with resectable colorectal liver metastases
World J. Surg. Oncol., 17(1): 100. 2019.
8. Kamo, H., Shinozaki, E., Sugase, T., Mizunuma, N., Taniguchi, S., Gotoh, T., Chin, K., Tanaka, T., Koga, K., Yamaguchi, K.
Leukocytoclastic vasculitis with purpura and renal failure induced by the anti-epidermal growth factor receptor antibody panitumumab: a case report
J. Med. Case Rep., 13(1): 13. 2019.

9. Kato, K., Cho, B.C., Takahashi, M., Okada, M., Lin, C.Y., Chin, K., Kadowaki, S., Ahn, M.J., Hamamoto, Y., Doki, Y., Yen, C.C., Kubota, Y., Kim, S.B., Hsu, C.H., Holtved, E., Xynos, I., Kodani, M., Kitagawa, Y.
Nivolumab versus chemotherapy in patients with advanced oesophageal squamous cell carcinoma refractory or intolerant to previous chemotherapy (ATTRACTION-3): a multicentre, randomised, open-label, phase 3 trial
Lancet. Oncology, 20(11): 1506-1517. 2019.
10. Kato, K., Satoh, T., Muro, K., Yoshikawa, T., Tamura, T., Hamamoto, Y., Chin, K., Minashi, K., Tsuda, M., Yamaguchi, K., Machida, N., Esaki, T., Goto, M., Komatsu, Y., Nakajima, T.E., Sugimoto, N., Yoshida, K., Oki, E., Nishina, T., Tsuji, A., Fujii, H., Kunieda, K., Saitoh, S., Omuro, Y., Azuma, M., Iwamoto, Y., Taku, K., Fushida, S., Chen, L.T., Kang, Y.K., Boku, N.
A subanalysis of Japanese patients in a randomized, double-blind, placebo-controlled, phase 3 trial of nivolumab for patients with advanced gastric or gastro-oesophageal junction cancer refractory to, or intolerant of, at least two previous chemotherapy regimens (ONO-4538-12, ATTRACTION-2)
Gastric Cancer, 22(2): 344-354. 2019.
11. Kawakami, K., Wakatsuki, T., Soejima, A., Kobayashi, K., Yokokawa, T., Aoyama, T., Suzuki, K., Suenaga, M., Yamaguchi, K., Inoue, A., Machida, Y., Hama, T.
Factors associated with regorafenib adherence with metastatic colorectal cancer
Patient Prefer. Adherence., 13: 1745-1750. 2019.
12. Kitagawa, Y., Osumi, H., Shinozaki, E., Ota, Y., Nakayama, I., Suzuki, T., Wakatsuki, T., Ichimura, T., Ogura, M., Ooki, A., Takahashi, D., Suenaga, M., Chin, K., Yamaguchi, K.
Safety and efficacy of irinotecan monotherapy in patients with platinum-refractory metastatic neuroendocrine carcinoma of the gastrointestinal tract: a single cancer center retrospective study
Cancer Manag. Res., 11: 5757-5764. 2019.
13. Kobayashi, K., Kawakami, K., Yokokawa, T., Aoyama, T., Suzuki, K., Wakatsuki, T., Suenaga, M., Sato, H., Sugiyama, E., Yamaguchi, K., Hama, T.
Association of hand-foot skin reaction with regorafenib efficacy in the treatment of metastatic colorectal cancer
Oncology, 96(4): 200-206. 2019.
14. Kondo, K., Matsusaka, S., Ishihara, S., Horie, H., Uehara, K., Oguchi, M., Murofushi, K., Ueno, M., Mizunuma, N., Shimbo, T., Kato, D., Okuda, J., Hashiguchi, Y., Nakazawa, M., Sunami, E., Kawai, K., Yamashita, H., Okada, T., Ishikawa, Y., Fujii, M., Nakajima, T.
Long-term results of a multicenter phase II study of preoperative chemoradiotherapy with S-1 plus oxaliplatin for locally advanced rectal cancer (JACCRO CC-04: SHOGUN Trial)
Radiother. Oncol., 134: 199-203. 2019.
15. Konishi, T., Shinozaki, E.
ASO author reflections: Combining intensive neoadjuvant therapy with minimally invasive surgery: A promising future strategy for rectal cancer with high-risk features
Ann. Surg. Oncol., 26(Suppl 3): 753-754. 2019.
16. Konishi, T., Shinozaki, E., Murofushi, K., Taguchi, S., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Akiyoshi, T., Nagasaki, T., Suenaga, M., Chino, A., Kawachi, H., Yamamoto, N., Ishikawa, Y., Oguchi, M., Ishizuka, N., Ueno, M., Yamaguchi, K.
Phase II trial of neoadjuvant chemotherapy, chemoradiotherapy, and laparoscopic surgery with selective lateral node dissection for poor-risk low rectal cancer
Ann. Surg. Oncol., 26(8): 2507-2513.

- 2019.
17. Mashima, T., Iwasaki, R., Kawata, N., Kawakami, R., Kumagai, K., Migita, T., Sano, T., Yamaguchi, K., Seimiya, H.
In silico chemical screening identifies epidermal growth factor receptor as a therapeutic target of drug-tolerant CD44v9-positive gastric cancer cells
Br. J. Cancer., 121(10): 846-856. 2019.
 18. Masuishi, T., Taniguchi, H., Kotani, D., Bando, H., Komatsu, Y., Shinozaki, E., Nakajima, T.E., Satoh, T., Nishina, T., Esaki, T., Wakabayashi, M., Nomura, S., Takahashi, K., Ono, H., Hirano, N., Fujishiro, N., Fuse, N., Sato, A., Ohtsu, A., Yoshino, T.
Rationale and design of the BRAVERY study (EPOC1701): a multicentre phase II study of eribulin in patients with BRAF V600E mutant metastatic colorectal cancer
ESMO Open, 4(6): e000590. 2019.
 19. Mitani, S., Kadowaki, S., Hasegawa, H., Wakatsuki, T., Hara, H., Tajika, M., Nishikawa, K., Hirao, M., Takahari, D., Chin, K., Muro, K.
Systemic chemotherapy for gastric cancer with early recurrence after adjuvant S-1 monotherapy: a multicenter retrospective study
Int. J. Clin. Oncol., 24(10): 1197-1203. 2019.
 20. Nakamura, Y., Yamanaka, T., Chin, K., Cho, H., Katai, H., Terashima, M., Misawa, K., Hirao, M., Yoshida, K., Oki, E., Sasako, M., Emi, Y., Bando, H., Kawashima, Y., Fukunaga, T., Gotoh, M., Ishibashi, T., Shitara, K.
Survival outcomes of two phase 2 studies of adjuvant chemotherapy with S-1 plus oxaliplatin or capecitabine plus oxaliplatin for patients with gastric cancer after D2 gastrectomy
Ann. Surg. Oncol., 26(2): 465-472. 2019.
 21. Nakayama, I., Shinozaki, E., Sakata, S., Yamamoto, N., Fujisaki, J., Muramatsu, Y., Hirota, T., Takeuchi, K., Takahashi, S., Yamaguchi, K., Noda, T.
Enrichment of CLDN18-ARHGAP fusion gene in gastric cancers in young adults
Cancer Sci., 110(4): 1352-1363. 2019.
 22. Nishina, T., Azuma, M., Nishikawa, K., Gotoh, M., Bando, H., Sugimoto, N., Amagai, K., Chin, K., Niwa, Y., Tsuji, A., Imamura, H., Tsuda, M., Yasui, H., Fujii, H., Yamaguchi, K., Yasui, H., Hironaka, S., Shimada, K., Miwa, H., Mitome, T., Kageyama, H., Hyodo, I.
Early tumor shrinkage and depth of response in patients with advanced gastric cancer: a retrospective analysis of a randomized phase III study of first-line S-1 plus oxaliplatin vs. S-1 plus cisplatin
Gastric Cancer, 22(1): 138-146. 2019.
 23. Nonomiya, Y., Yokokawa, T., Kawakami, K., Kobayashi, K., Aoyama, T., Takiguchi, T., Sugisaki, T., Suzuki, K., Suenaga, M., Wakatsuki, T., Yamaguchi, K., Sugimoto, Y., Hama, T.
Regorafenib-induced hand-foot skin reaction is more severe on the feet than on the hands
Oncol. Res., 27(5): 551-556. 2019.
 24. Osumi, H., Shinozaki, E., Takeda, Y., Wakatsuki, T., Ichimura, T., Saiura, A., Yamaguchi, K., Takahashi, S., Noda, T., Zembutsu, H.
Clinical relevance of circulating tumor DNA assessed through deep sequencing in patients with metastatic colorectal cancer
Cancer Med., 8(1): 408-417. 2019.
 25. Osumi, H., Shinozaki, E., Yamaguchi, K., Zembutsu, H.
Clinical utility of circulating tumor DNA for colorectal cancer
Cancer Sci., 110(4): 1148-1155. 2019.

26. Osumi, H., Shinozaki, E., Yamaguchi, K., Zembutsu, H.
Early change in circulating tumor DNA as a potential predictor of response to chemotherapy in patients with metastatic colorectal cancer
Sci. Rep., 9(1): 17358. 2019.
27. Osumi, H., Shinozaki, E., Wakatsuki, T., Suenaga, M., Ichimura, T., Ogura, M., Takahari, D., Ooki, A., Suzuki, T., Ota, Y., Nakayama, I., Chin, K., Miki, Y., Yamaguchi, K.
Non-V600E BRAF mutations and EGFR signaling pathway in colorectal cancer
Int. J. Cancer, 145(9): 1488-1495. 2019.
28. Shitara, K., Satoh, T., Iwasa, S., Yamaguchi, K., Muro, K., Komatsu, Y., Nishina, T., Esaki, T., Hasegawa, J., Kakurai, Y., Kamiyama, E., Nakata, T., Nakamura, K., Sakaki, H., Hyodo, I.
Safety, tolerability, pharmacokinetics, and pharmacodynamics of the afucosylated, humanized anti-EPHA2 antibody DS-8895a: a first-in-human phase I dose escalation and dose expansion study in patients with advanced solid tumors
J. Immunother. Cancer, 7(1): 219. 2019.
29. Suenaga, M., Cao, S., Zhang, W., Yang, D., Ning, Y., Okazaki, S., Berger, M.D., Miyamoto, Y., Schirripa, M., Soni, S., Barzi, A., Yamaguchi, T., Lenz, H.J.
Genetic variants in CCL5 and CCR5 genes and serum VEGF-A levels predict efficacy of bevacizumab in metastatic colorectal cancer patients
Int. J. Cancer, 144(10): 2567-2577. 2019.
30. Suzuki, Y., Kobayashi, K., Wakisaka, Y., Deng, D., Tanaka, S., Huang, C.J., Lei, C., Sun, C.W., Liu, H., Fujiwaki, Y., Lee, S., Isozaki, A., Kasai, Y., Hayakawa, T., Sakuma, S., Arai, F., Koizumi, K., Tezuka, H., Inaba, M., Hiraki, K., Ito, T., Hase, M., Matsusaka, S., Shiba, K., Suga, K., Nishikawa, M., Jona, M., Yatomi, Y., Yalikul, Y., Tanaka, Y., Sugimura, T., Nitta, N., Goda, K., Ozeki, Y.
Label-free chemical imaging flow cytometry by high-speed multicolor stimulated Raman scattering
Proc. Natl. Acad. Sci. U. S. A., 116(32): 15842-15848. 2019.
31. Takahari, D., Chin, K., Ishizuka, N., Takashima, A., Minashi, K., Kadowaki, S., Nishina, T., Nakajima, T.E., Amagai, K., Machida, N., Goto, M., Taku, K., Wakatsuki, T., Shoji, H., Hironaka, S., Boku, N., Yamaguchi, K.
Multicenter phase II study of trastuzumab with S-1 plus oxaliplatin for chemotherapy-naive, HER2-positive advanced gastric cancer
Gastric Cancer, 22(6): 1238-1248. 2019.
32. Takahashi, R., Ohashi, M., Kano, Y., Ida, S., Kumagai, K., Nunobe, S., Chin, K., Yamaguchi, K., Nagino, M., Sano, T., Hiki, N.
Timing and site-specific trends of recurrence in patients with pathological stage II or III gastric cancer after curative gastrectomy followed by adjuvant S-1 monotherapy
Gastric Cancer, 22(6): 1256-1262. 2019.
33. Takashima, A., Shitara, K., Fujitani, K., Koeda, K., Hara, H., Nakayama, N., Hironaka, S., Nishikawa, K., Kimura, Y., Amagai, K., Fujii, H., Muro, K., Esaki, T., Choda, Y., Takano, T., Chin, K., Sato, A., Goto, M., Fukushima, N., Hara, T., Machida, N., Ohta, M., Boku, N., Shimura, M., Morita, S., Koizumi, W.
Peritoneal metastasis as a predictive factor for nab-paclitaxel in patients with pretreated advanced gastric cancer: an exploratory analysis of the phase III ABSOLUTE trial
Gastric Cancer, 22(1): 155-163. 2019.
34. Yagi, S., Wakatsuki, T., Yamamoto, N., Chin, K., Takahari, D., Ogura, M., Ichimura, T., Nakayama, I., Osumi, H., Shinozaki, E.,

- Suenaga, M., Fujisaki, J., Ishikawa, Y., Yamaguchi, K., Namikawa, K., Horiuchi, Y.
Correction to: Clinical significance of intratumoral HER2 heterogeneity on trastuzumab efficacy using endoscopic biopsy specimens in patients with advanced HER2 positive gastric cancer
Gastric Cancer, 22(3): 526. 2019.
35. Yamada, Y., Boku, N., Mizusawa, J., Iwasa, S., Kadowaki, S., Nakayama, N., Azuma, M., Sakamoto, T., Shitara, K., Tamura, T., Chin, K., Hata, H., Nakamori, M., Hara, H., Yasui, H., Katayama, H., Fukuda, H., Yoshikawa, T., Sasako, M., Terashima, M.
Docetaxel plus cisplatin and S-1 versus cisplatin and S-1 in patients with advanced gastric cancer (JCOG1013): an open-label, phase 3, randomised controlled trial
Lancet Gastroenterol. Hepatol., 4(7): 501-510. 2019.
36. Yamaguchi, K., Komatsu, Y., Satoh, T., Uetake, H., Yoshino, T., Nishida, T., Yamazaki, N., Takikawa, H., Morimoto, T., Chosa, M., Sunaya, T., Hamada, Y., Muro, K., Sugihara, K.
Large-scale, prospective observational study of regorafenib in Japanese patients with metastatic colorectal cancer in a real-world clinical setting
Oncologist, 24(7): e450-e457. 2019.
37. Yoshikawa, T., Muro, K., Shitara, K., Oh, D.Y., Kang, Y.K., Chung, H.C., Kudo, T., Chin, K., Kadowaki, S., Hamamoto, Y., Hironaka, S., Yoshida, K., Yen, C.J., Omuro, Y., Bai, L.Y., Maeda, K., Ozeki, A., Yoshikawa, R., Kitagawa, Y.
Effect of first-line S-1 plus oxaliplatin with or without ramucirumab followed by paclitaxel plus ramucirumab on advanced gastric cancer in East Asia: The phase 2 RAIN-STORM randomized clinical trial
JAMA Netw. Open, 2(8): e198243. 2019.
38. Yoshino, T., Portnoy, D.C., Obermannova, R., Bodoky, G., Prausova, J., Garcia-Carbonero, R., Ciuleanu, T., Garcia-Alfonso, P., Cohn, A.L., Van Cutsem, E., Yamazaki, K., Lonardi, S., Muro, K., Kim, T.W., Yamaguchi, K., Grothey, A., O'Connor, J., Taieb, J., Wijayawardana, S.R., Hozak, R.R., Nasroulah, F., Tabernero, J.
Biomarker analysis beyond angiogenesis: RAS/RAF mutation status, tumour sidedness, and second-line ramucirumab efficacy in patients with metastatic colorectal carcinoma from RAISE, a global phase 3 study
Ann. Oncol., 30(1): 124-131. 2019.
39. 中山巖馬, 山口研成
Innovative な大腸癌診断・治療: 大腸癌化学療法における分子標的治療薬の使い分け
外科, 81(10): 1055-1063. 2019.
40. 中山巖馬, 高張大亮
研修医からの質問 Q&A Stage II 結腸がんに対する術後補助化学療法の推奨は、NCCN や ESMO ガイドラインでも異なると思われませんが、術式の異なる本邦ではどのように行うべきでしょうか?
臨床腫瘍プラクティス, 15(1): 64-65. 2019.
41. 大隅寛木, 篠崎英司, 山口研成
大腸がん領域における MRD (minimal residual disease) に対する血液循環腫瘍 DNA の有用性
腫瘍内科, 23(6): 589-595. 2019.
42. 山口研成
免疫チェックポイント阻害薬の現在
The GI Forefront, 14(2): 111-112. 2019.
43. 鈴木健, 篠崎英司
転移性肝癌: 化学療法
消化器外科, 42(7): 1033-1040. 2019.
44. 陳勁松
先輩ナースの熱血塾! + α でグッと伝わる! 消化器病棟の患者説明 (1 章) 内科的治療・検査の患者説明: 化学療法

消化器ナーシング, 24(8): 703-707. 2019.

45. 高張大亮

胃がん術後補助化学療法における併用化学療法の変遷と今後の展望

胃がん perspective, 10(3): 244-248. 2019.

【肝胆膵内科】

1. Doi, T., Kurokawa, Y., Sawaki, A., Komatsu, Y., Ozaka, M., Takahashi, T., Naito, Y., Ohkubo, S., Nishida, T.

Efficacy and safety of TAS-116, an oral inhibitor of heat shock protein 90, in patients with metastatic or unresectable gastrointestinal stromal tumour refractory to imatinib, sunitinib and regorafenib: a phase II, single-arm trial

Eur. J. Cancer, 121: 29-39. 2019.

2. Ioka, T., Ueno, M., Ueno, H., Park, J.O., Chang, H.M., Sasahira, N., Kanai, M., Chung, I.J., Ikeda, M., Nakamori, S., Mizuno, N., Omuro, Y., Yamaguchi, T., Hara, H., Sugimori, K., Furuse, J., Maguchi, H., Furukawa, M., Fukuzawa, K., Kim, J.S., Yukisawa, S., Takeuchi, M., Okusaka, T., Boku, N., Hyodo, I.

TAS-118 (S-1 plus leucovorin) versus S-1 in patients with gemcitabine-refractory advanced pancreatic cancer: a randomised, open-label, phase 3 study (GRAPE trial)

Eur. J. Cancer, 106: 78-88. 2019.

3. Kobayashi, S., Ueno, M., Omae, K., Kuramochi, H., Terao, M., Mizuno, N., Ozaka, M., Ueno, H., Uesugi, K., Kobayashi, N., Kobayashi, M., Todaka, A., Fukutomi, A.

Influence of initial dose intensity on efficacy of FOLFIRINOX in patients with advanced pancreatic cancer

Oncotarget, 10(19): 1775-1784. 2019.

4. Kudo, M., Ueshima, K., Chan, S., Minami, T., Chishina, H., Aoki, T., Takita, M., Hagiwara, S., Minami, Y., Ida, H., Takenaka, M., Sakurai, T., Watanabe, T., Morita, M., Ogawa,

C., Wada, Y., Ikeda, M., Ishii, H., Izumi, N., Nishida, N.

Lenvatinib as an initial treatment in patients with intermediate-stage hepatocellular carcinoma beyond up-to-seven criteria and Child-Pugh A liver function: A proof-of-concept study

Cancers (Basel), 11(8): pii: E1084. 2019.

5. Kuwai, T., Yamaguchi, T., Imagawa, H., Yoshida, S., Isayama, H., Matsuzawa, T., Yamada, T., Saito, S., Shimada, M., Hirata, N., Sasaki, T., Koizumi, K., Maetani, I., Saida, Y.

Factors related to difficult self-expandable metallic stent placement for malignant colonic obstruction: A post hoc analysis of a multicenter study across Japan

Dig. Endosc., 31(1): 51-58. 2019.

6. Matsumoto, I., Kamei, K., Omae, K., Suzuki, S., Matsuoka, H., Mizuno, N., Ozaka, M., Ueno, H., Kobayashi, S., Uesugi, K., Kobayashi, M., Todaka, A., Fukutomi, A.

FOLFIRINOX for locally advanced pancreatic cancer: Results and prognostic factors of subset analysis from a nation-wide multicenter observational study in Japan

Pancreatology, 19(2): 296-301. 2019.

7. Morizane, C., Okusaka, T., Mizusawa, J., Katayama, H., Ueno, M., Ikeda, M., Ozaka, M., Okano, N., Sugimori, K., Fukutomi, A., Hara, H., Mizuno, N., Yanagimoto, H., Wada, K., Tobimatsu, K., Yane, K., Nakamori, S., Yamaguchi, H., Asagi, A., Yukisawa, S., Kojima, Y., Kawabe, K., Kawamoto, Y., Sugimoto, R., Iwai, T., Nakamura, K., Miyakawa, H., Yamashita, T., Hosokawa, A., Ioka, T., Kato, N., Shioji, K., Shimizu, K., Nakagohri, T., Kamata, K., Ishii, H., Furuse, J.

Combination gemcitabine plus S-1 versus gemcitabine plus cisplatin for advanced/recurrent biliary tract cancer: the FUGA-BT (JCOG1113) randomized phase III clinical trial

- Ann. Oncol., 30(12): 1950-1958. 2019.
8. Saito, T., Nakai, Y., Mizuno, S., Isayama, H., Sasahira, N., Watanabe, T., Matsubara, S., Arizumi, T., Togawa, O., Hirano, K., Tsujino, T., Ishigaki, K., Hakuta, R., Saito, K., Takahara, N., Hamada, T., Kogure, H., Tada, M., Koike, K.
A randomized-controlled trial of early endotherapy versus wait-and-see policy for mild symptomatic pancreatic stones in chronic pancreatitis
Eur. J. Gastroenterol. Hepatol., 31(8): 979-984. 2019.
 9. Sasaki, T., Sato, T., Nakai, Y., Sasahira, N., Isayama, H., Koike, K.
Brain metastasis in pancreatic cancer: Two case reports
Medicine (Baltimore), 98(4): e14227. 2019.
 10. Sasaki, T., Kanata, R., Yamada, I., Matsuyama, M., Ozaka, M., Sasahira, N.
Improvement of treatment outcomes for metastatic pancreatic cancer: A real-world data analysis
In Vivo, 33(1): 271-276. 2019.
 11. Shirasu, H., Todaka, A., Omae, K., Fujii, H., Mizuno, N., Ozaka, M., Ueno, H., Kobayashi, S., Uesugi, K., Kobayashi, N., Hayashi, H., Sudo, K., Okano, N., Horita, Y., Kamei, K., Yukisawa, S., Kobayashi, M., Fukutomi, A.
Impact of UGT1A1 genetic polymorphism on toxicity in unresectable pancreatic cancer patients undergoing FOLFIRINOX
Cancer Sci., 110(2): 707-716. 2019.
 12. Takahara, N., Isayama, H., Nakai, Y., Sasaki, T., Saito, K., Sato, T., Hakuta, R., Ishigaki, K., Saito, T., Hamada, T., Mizuno, S., Kogure, H., Tada, M., Koike, K.
A feasibility study of gemcitabine, S-1 and leucovorin combination therapy (GSL) for advanced biliary tract cancer
J. Chmother., 31(5): 284-289. 2019.
 13. Yoshida, T., Hijioka, S., Hosoda, W., Ueno, M., Furukawa, M., Kobayashi, N., Ikeda, M., Ito, T., Kodama, Y., Morizane, C., Notohara, K., Taguchi, H., Kitano, M., Yane, K., Tsuchiya, Y., Komoto, I., Tanaka, H., Tsuji, A., Hashigo, S., Mine, T., Kanno, A., Murohisa, G., Miyabe, K., Takagi, T., Matayoshi, N., Sakaguchi, M., Ishii, H., Kojima, Y., Matsuo, K., Yoshitomi, H., Nakamori, S., Yanagimoto, H., Yatabe, Y., Furuse, J., Mizuno, N.
Surgery for pancreatic neuroendocrine tumor G3 and carcinoma G3 should be considered Separately
Ann. Surg. Oncol., 26(5): 1385-1393. 2019.
 14. 佐々木隆, 笹平直樹
エキスパートへの道: 胆・膵: ERCP関連 治療手技: その他: Gastric outlet obstruction: 狭窄部位別にみた十二指腸ステント留置法、胆管狭窄・十二指腸狭窄同時合併例のストラテジー
消化器内視鏡, 31(3): 470-474. 2019.
 15. 佐々木隆
切除可能境界 (BR) 膵癌の治療戦略について
日本医事新報, (4967): 50. 2019.
 16. 佐々木隆
悪性消化管狭窄に対するステント治療: 胃・十二指腸ステントの種類と使い分け
消化器・肝臓内科, 5(6): 581-587. 2019.
 17. 佐々木隆, 古川貴光, 三重堯文, 谷口孝伸, 澤田雅志, 武田剛志, 金田遼, 春日章良, 松山真人, 尾阪将人, 笹平直樹
胆膵癌に対する抗腫瘍療法の現状と展望: 胆膵癌に対するプレシジョン・メディシンの展望
消化器・肝臓内科, 6(3): 224-229. 2019.
 18. 佐々木隆, 尾阪将人, 笹平直樹
胆道癌に対する化学療法の前線
胆道, 33(1): 41-47. 2019.
 19. 佐々木隆, 澤田雅志, 武田剛志, 金田遼, 松山真人, 尾阪将人, 笹平直樹

膵癌・胆道癌最新動向 - 変わる！膵癌周術期化学療法と免疫チェックポイント阻害剤：膵癌治療：進行膵癌化学療法の最新臨床動向：Gem+Nab vs FOLFIRINOX、SIROX、二次治療以降、重粒子・陽子線の適応
肝・胆・膵, 78(5): 689-697. 2019.

20. 尾阪将人
膵癌の予後改善に向けて：遠隔転移を伴う膵癌に対する化学療法：一次治療の動向
医学のあゆみ, 268(11): 923-926. 2019.
21. 尾阪将人
逸脱症例から学ぶ：がん薬物療法：標準治療の実践！（第1章）がん薬物治療：膵がん
薬事, 61(10): 1756-1758. 2019.
22. 笹平直樹, 武田剛志, 金田遼, 松山真人, 佐々木隆, 尾阪将人
遭遇の機会が増えた IPMN/膵嚢胞：現状と課題：IPMN/膵嚢胞の診療：小膵嚢胞の観察法
臨牀消化器内科, 34(12): 1507-1513. 2019.

【上部消化管内科】

1. Abe, S., Ishihara, R., Takahashi, H., Ono, H., Fujisaki, J., Matsui, A., Takahashi, A., Goda, K., Kawada, K., Koike, T., Takeuchi, M., Tsuji, Y., Hirasawa, D., Oyama, T.
Long-term outcomes of endoscopic resection and metachronous cancer after endoscopic resection for adenocarcinoma of the esophagogastric junction in Japan
Gastrointest. Endosc., 89(6): 1120-1128. 2019.
2. Hirayama, Y., Fujisaki, J., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Yoshio, T., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Imamura, Y., Mine, S., Watanabe, M., Tsuchida, T.
Efficacy and safety of endoscopic resection for gastric tube cancer after surgical resection of esophageal squamous cell carcinoma
Esophagus, 16(2): 194-200. 2019.
3. Horie, Y., Yoshio, T., Aoyama, K., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Hira-

sawa, T., Tsuchida, T., Ozawa, T., Ishihara, S., Kumagai, Y., Fujishiro, M., Maetani, I., Fujisaki, J., Tada, T.

Diagnostic outcomes of esophageal cancer by artificial intelligence using convolutional neural networks
Gastrointest. Endosc., 89(1): 25-32. 2019.

4. Horiuchi, Y., Aoyama, K., Tokai, Y., Hirasawa, T., Yoshimizu, S., Ishiyama, A., Yoshio, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J., Tada, T.
Convolutional neural network for differentiating gastric cancer from gastritis using magnified endoscopy with narrow band imaging
Dig. Dis. Sci.: in press. 2019.
5. Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., Ida, S., Yoshimizu, S., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Nagahama, M., Takahashi, H., Tsuchida, T.
Pretreatment diagnosis factors associated with overtreatment with surgery in patients with differentiated-type early gastric cancer
Sci. Rep., 9: 15356. 2019.
6. Ide, D., Saito, S., Ohya, T.R., Nishikawa, Y., Horie, Y., Yasue, C., Chino, A., Igarashi, M., Saruta, M., Fujisaki, J.
Colorectal endoscopic submucosal dissection can be efficiently performed by a trainee with use of a simple traction device and expert supervision
Endosc. Int. Open, 7(6): E824-E832. 2019.
7. Ishioka, M., Hirasawa, T., Tada, T.
Detecting gastric cancer from video images using convolutional neural networks
Dig. Endosc., 31(2): e34-e35. 2019.
8. Ishioka, M., Hirasawa, T., Kawachi, H., Nakano, K., Kunieda, J., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J.
Enterochromaffin-like cell neuroendocrine tumor associated with parietal cell dysfunction

- Gastrointest. Endosc., 90(5): 841-845,e1. 2019.
9. Kato, M., Uedo, N., Nagahama, T., Yao, K., Doyama, H., Tsuji, S., Gotoda, T., Kawamura, T., Ebi, M., Yamamoto, K., Akasaka, T., Takatori, H., Handa, O., Akamatsu, T., Nishikawa, J., Hikichi, T., Yamashina, T., Imoto, A., Kitamura, Y., Mikami, T., Koike, T., Ohara, S., Kitamura, S., Yamaguchi, T., Kinjo, T., Inoue, T., Suzuki, S., Kaneko, A., Hirasawa, K., Tanaka, K., Kotachi, T., Miwa, K., Toya, Y., Kayaba, S., Ikehata, A., Minami, S., Mizukami, K., Oya, H., Ara, N., Fukumoto, Y., Komura, T., Yoshio, T., Morizono, R., Yamazaki, K., Shimodate, Y., Yamanouchi, K., Kawata, N., Kumagai, M., Sato, Y., Umeki, K., Kawai, D., Tanuma, T., Kishino, M., Konishi, J., Sumiyoshi, T., Oka, S., Kono, M., Sakamoto, T., Horikawa, Y., Ohyauchi, M., Hashiguchi, K., Waseda, Y., Kasai, T., Aoyagi, H., Oyamada, H., Shoji, M., Kiyotoki, S., Asonuma, S., Orikasa, S., Akaishi, C., Nagami, Y., Nakata, S., Iida, F., Nomura, T., Tominaga, K., Oka, K., Morita, Y., Suzuki, H., Ozeki, K., Kuribayashi, S., Akazawa, Y., Sasaki, S., Mikami, T., Miki, G., Sano, T., Satoh, H., Nakamura, M., Iwai, W., Tawa, H., Wada, M., Yoshimura, D., Hisanaga, Y., Shimokawa, T., Ishikawa, H.
Self-study of the non-extension sign in an e-learning program improves diagnostic accuracy of invasion depth of early gastric cancer
Endosc. Int. Open, 7(7): E871-E882. 2019.
 10. Kumagai, Y., Takubo, K., Kawada, K., Aoyama, K., Endo, Y., Ozawa, T., Hirasawa, T., Yoshio, T., Ishihara, S., Fujishiro, M., Tamaru, J.I., Mochiki, E., Ishida, H., Tada, T.
Diagnosis using deep-learning artificial intelligence based on the endocytoscopic observation of the esophagus
Esophagus, 16(2): 180-187. 2019.
 11. Minashi, K., Nihei, K., Mizusawa, J., Takizawa, K., Yano, T., Ezoe, Y., Tsuchida, T., Ono, H., Iizuka, T., Hanaoka, N., Oda, I., Morita, Y., Tajika, M., Fujiwara, J., Yamamoto, Y., Katada, C., Hori, S., Doyama, H., Oyama, T., Nebiki, H., Amagai, K., Kubota, Y., Nishimura, K., Kobayashi, N., Suzuki, T., Hirasawa, K., Takeuchi, T., Fukuda, H., Muto, M.
Efficacy of endoscopic resection and selective chemoradiotherapy for stage I esophageal squamous cell carcinoma
Gastroenterology, 157(2): 382-390.e3. 2019.
 12. Nakajo, K., Abe, S., Oda, I., Ishihara, R., Tanaka, M., Yoshio, T., Katada, C., Yano, T.
Impact of the Charlson Comorbidity Index on the treatment strategy and survival in elderly patients after non-curative endoscopic submucosal dissection for esophageal squamous cell carcinoma: a multi-center retrospective study
J. Gastroenterol., 54(10): 871-880. 2019.
 13. Nakano, K., Kawachi, H., Chino, A., Kita, M., Arai, M., Ide, D., Saito, S., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J.
Phenotypic variations of gastric neoplasms in familial adenomatous polyposis are associated with the endoscopic status of atrophic gastritis
Dig. Endosc.: in press. 2019.
 14. Osumi, H., Kawachi, H., Yoshio, T., Ida, S., Yamamoto, N., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Hiki, N., Takeuchi, K., Fujisaki, J.
Epstein-Barr virus status is a promising biomarker for endoscopic resection in early gastric cancer: proposal of a novel therapeutic strategy
J. Gastroenterol., 54(9): 774-783. 2019.
 15. Osumi, H., Kawachi, H., Murai, K., Kusafuka, K., Inoue, S., Kitamura, M., Yoshio, T., Kakusima, N., Ishihara, R., Ono, H., Yamamoto, N., Sugino, T., Nakatsuka, S., Ida, S., Nunobe, S., Bando, E., Omori, T., Takeuchi,

- K., Fujisaki, J.
Risk stratification for lymph node metastasis using Epstein-Barr virus status in submucosal invasive (pT1) gastric cancer without lymphovascular invasion: a multicenter observational study
Gastric Cancer, 22(6): 1176-1182. 2019.
16. Shoji, Y., Kumagai, K., Kamiya, S., Ida, S., Nunobe, S., Ohashi, M., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Yoshio, T., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Osako, T., Yamamoto, N., Fujisaki, J., Sano, T., Hiki, N.
Prospective feasibility study for single-tracer sentinel node mapping by ICG (indocyanine green) fluorescence and OSNA (one-step nucleic acid amplification) assay in laparoscopic gastric cancer surgery
Gastric Cancer, 22(4): 873-880. 2019.
 17. Suzuki, H., Takizawa, K., Hirasawa, T., Takeuchi, Y., Ishido, K., Hoteya, S., Yano, T., Tanaka, S., Endo, M., Nakagawa, M., Toyonaga, T., Doyama, H., Hirasawa, K., Matsuda, M., Yamamoto, H., Fujishiro, M., Hashimoto, S., Maeda, Y., Oyama, T., Takenaka, R., Yamamoto, Y., Naito, Y., Michida, T., Kobayashi, N., Kawahara, Y., Hirano, M., Jin, M., Hori, S., Niwa, Y., Hikichi, T., Shimazu, T., Ono, H., Tanabe, S., Kondo, H., Iishi, H., Ninomiya, M.
Short-term outcomes of multicenter prospective cohort study of gastric endoscopic resection: 'Real-world evidence' in Japan
Dig. Endosc., 31(1): 30-39. 2019.
 18. Uemura, N., Oda, I., Saito, Y., Ono, H., Fujisaki, J., Matsunashi, N., Ohata, K., Yahagi, N., Yada, T., Satoh, M., Tajiri, H., Inomata, M., Kitano, S.
Efficacy and safety of 0.6% sodium alginate solution in endoscopic submucosal dissection for esophageal and gastric neoplastic lesion: A randomized controlled study
Dig. Endosc., 31(4): 396-404. 2019.
 19. Yagi, S., Wakatsuki, T., Yamamoto, N., Chin, K., Takahari, D., Ogura, M., Ichimura, T., Nakayama, I., Osumi, H., Shinozaki, E., Suenaga, M., Fujisaki, J., Ishikawa, Y., Yamaguchi, K., Namikawa, K., Horiuchi, Y.
Clinical significance of intratumoral HER2 heterogeneity on trastuzumab efficacy using endoscopic biopsy specimens in patients with advanced HER2 positive gastric cancer
Gastric Cancer, 22(3): 518-525. 2019.
 20. Yamasaki, A., Shimizu, T., Kawachi, H., Yamamoto, N., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Sasaki, Y., Fujisaki, J.
Endoscopic features of esophageal adenocarcinoma derived from short-segment versus long-segment Barrett's esophagus
J. Gastroenterol. Hepatol., 35(2): 211-217. 2019.
 21. Yoshimizu, S., Yamamoto, Y., Horiuchi, Y., Yoshio, T., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J.
A suitable marking method to achieve lateral margin negative in endoscopic submucosal dissection for undifferentiated-type early gastric cancer
Endosc. Int. Open, 7(2): E274-E281. 2019.
 22. Yoshio, T., Ishiyama, A., Tsuchida, T., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Omae, M., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Sano, H., Yokota, M., Fujisaki, J.
Efficacy of novel sedation using the combination of dexmedetomidine and midazolam during endoscopic submucosal dissection for esophageal squamous cell carcinoma
Esophagus, 16(3): 285-291. 2019.
 23. 吉水祥一, 藤崎順子
内視鏡の読み方: 転移性胃腫瘍: 乳癌
臨床消化器内科, 34(1): 112-118. 2019.

24. 吉水祥一, 河内洋, 山本頼正, 中野薫, 鈴木桂悟, 石岡充彬, 土方一範, 渡海義隆, 赤澤直樹, 城間翔, 並河健, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏, 伊藤寛倫, 藤崎順子
十二指腸腺腫・癌の診断: 非乳頭部十二指腸 SM 癌の 12 例
胃と腸, 54(8): 1131-1140. 2019.
25. 堀江義政, 藤崎順子, 河内洋
腺窩上皮型胃癌を含む HP 未感染胃癌
日本ヘリコバクター学会誌, 21(1): 34-39. 2019.
26. 平澤俊明, 池之山洋平, 石岡充彬, 並河健, 多田智裕, 藤崎順子
AI 内視鏡の現状 (第 1 回) AI 内視鏡の基礎知識と胃癌診断への応用実際
消化器内視鏡, 31(7): 1102-1105. 2019.
27. 平澤俊明, 河内洋, 藤崎順子, 新井正美
Dr. 平澤の上部消化管内視鏡教室: この症例にチャレンジしてください: 多発する胃腫瘍
臨牀消化器内科, 34(4): 451-456. 2019.
28. 平澤俊明, 中野薫, 河内洋, 藤崎順子
Dr. 平澤の上部消化管内視鏡教室: この症例にチャレンジしてください: 胃粘膜下腫瘍
臨牀消化器内科, 34(9): 1165-1170. 2019.
29. 平澤俊明, 並河健, 藤崎順子, 河内洋
Dr. 平澤の上部消化管内視鏡教室: この症例にチャレンジしてください: 診断に苦慮した胃粘膜下腫瘍様病変
臨牀消化器内科, 34(11): 1415-1419. 2019.
30. 平澤俊明, 佐々木隆, 藤崎順子, 河内洋, 伊藤崇彦, 太田一樹
Dr. 平澤の上部消化管内視鏡教室: この症例にチャレンジしてください: 食道狭窄の 1 例
臨牀消化器内科, 34(2): 210-214. 2019.
31. 平澤俊明
Helicobacter Topics! 「旬の Helicobacter」を知り、驚き、理解を深め、楽しむ: Helicobacter pylori 既感染胃癌 (除菌後胃癌) 発見のための胃運動抑制の必要性
Helicobacter Research, 23(1): 36-39. 2019.
32. 平澤俊明, 池之山洋平, 堀江義政, 石岡充彬, 玉城温子, 城間翔, 並河健, 中野薫, 渡海義隆, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 土田知宏, 藤崎順子
人工知能のがん医療への応用: 人工知能を用いた内視鏡診断
癌と化学療法, 46(3): 412-417. 2019.
33. 河内洋, 中野薫, 池之山洋平, 佐藤由紀子, 石山晃世志, 由雄敏之, 藤崎順子
咽頭・食道癌の拡大観察に必要な基本的病理知識
胃と腸, 54(3): 308-319. 2019.
34. 河内洋, 中野薫, 藤崎順子
消化管粘膜内腫瘍の見方、考え方、そのエビデンス: Barrett 食道
病理と臨床, 37(8): 703-712. 2019.
35. 由雄敏之, 堀江義政, 青山和玄, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 平澤俊明, 土田知宏, 藤崎順子, 多田智裕
咽頭・食道内視鏡拡大観察の基本と最新知見: 食道領域の AI 診断の最前線: 食道癌拾い上げ診断の現状と拡大観察への考察
胃と腸, 54(3): 385-391. 2019.
36. 由雄敏之, 藤崎順子
食道胃接合部癌の内視鏡診断
Gastroenterological Endoscopy, 61(3): 243-251. 2019.
37. 石山晃世志, 土田知宏, 由雄敏之, 藤崎順子
当院における局注 1 回法に代わる食道 ESD 後狭窄予防対策の工夫
Prog. Dig. Endosc., 94(1): 41-44. 2019.
38. 藤崎順子, 吉水祥一, 堀内裕介, 平澤俊明, 由雄敏之, 石山晃世志, 土田知宏
エキスパートへの道: 上部消化管: 胃 *H. pylori* 陰性胃癌の診断と発見のコツ
消化器内視鏡, 31(1): 73-79. 2019.

39. 藤崎順子
消化管疾患の分類 2019 : 使い方, 使われ方 :
咽頭・食道 : Barrett 食道 : Barrett 食道腺癌
の肉眼型分類
胃と腸, 54(5): 602-603. 2019.
40. 鈴木晴久, 滝沢耕平, 平澤俊明, 竹内洋司, 石
戸謙次, 布袋屋修, 矢野友規, 田中信治, 遠藤
昌樹, 中川昌浩, 豊永高史, 土山寿志, 平澤欣
吾, 松田充, 山本博徳, 藤城光弘, 橋本哲, 前
田有紀, 小山恒男, 竹中龍太, 山本佳宣, 内藤
裕二, 道田知樹, 小林望, 河原祥朗, 平野正明,
神万里夫, 堀伸一郎, 丹羽康正, 引地拓人, 島
津太一, 小野裕之, 田辺聡, 近藤仁, 飯石浩康,
二宮基樹, 小田一郎, Web 登録システムを用い
た早期胃がん内視鏡切除症例の前向きコホート
研究グループ
早期胃がん内視鏡切除症例多施設前向きコホー
ト研究の短期成績 : ' Real-world evidence' in
Japan
Gastroenterological Endoscopy, 61(10):
2397-2408. 2019.

【下部消化管内科】

1. Chino, A., Kawachi, H., Takamatsu, M., Ha-
tamori, H., Ide, D., Saito, S., Igarashi, M.,
Fujisaki, J., Nagayama, S.
Macroscopic and microscopic morphology
and molecular profiling to distinguish het-
erogeneous traditional serrated adenomas
of the colorectum
Dig. Endosc.: in press. 2019.
2. Hatamori, H., Saito, S., Ide, D., Chino, A.,
Kawachi, H.
Neuroendocrine carcinoma of the colon: a
rare case arising from a serrated polyp
Gastrointest. Endosc., 90(6): 984-985.
2019.
3. Ide, D., Saito, S., Ohya, T.R., Nishikawa, Y.,
Horie, Y., Yasue, C., Chino, A., Igarashi, M.,
Saruta, M., Fujisaki, J.
Colorectal endoscopic submucosal dissec-
tion can be efficiently performed by a train-
ee with use of a simple traction device and
expert supervision
Endosc. Int. Open, 7(6): E824-E832. 2019.
4. Inoue, K., Okuda, T., Oka, K., Sugino, S.,
Endo, Y., Ota, T., Minagawa, Y., Yasue,
C., Tsuji, T., Katayama, T., Nakamura, H.,
Nagata, A., Komaki, T., Naito, Y., Itoh, Y.,
Kagawa, K.
Effects of L-menthol and carbon dioxide on
the adenoma detection rate during colo-
noscopy: L-menthol and carbon dioxide on
colonoscopy
Digestion: in press. 2019.
5. Konishi, T., Shinozaki, E., Murofushi, K.,
Taguchi, S., Fukunaga, Y., Nagayama, S.,
Fujimoto, Y., Akiyoshi, T., Nagasaki, T.,
Suenaga, M., Chino, A., Kawachi, H., Yama-
moto, N., Ishikawa, Y., Oguchi, M., Ishizu-
ka, N., Ueno, M., Yamaguchi, K.
Phase II trial of neoadjuvant chemothera-
py, chemoradiotherapy, and laparoscopic
surgery with selective lateral node dissec-
tion for poor-risk low rectal cancer
Ann. Surg. Oncol., 26(8): 2507-2513.
2019.
6. Nishikawa, Y., Chino, A., Ide, D., Saito, S.,
Igarashi, M., Takamatsu, M., Fujisaki, J.,
Igarashi, Y.
Clinicopathological characteristics and fre-
quency of multiple rectal neuroendocrine
tumors: a single-center retrospective study
Int. J. Colorectal Dis., 34(11): 1887-1894.
2019.
7. Suzuki, S., Fukunaga, Y., Tamegai, Y., Akiy-
oshi, T., Konishi, T., Nagayama, S., Saito, S.,
Ueno, M.
The short-term outcomes of laparoscop-
ic-endoscopic cooperative surgery for col-
orectal tumors (LECS-CR) in cases involv-
ing endoscopically unresectable colorectal
tumors
Surg. Today, 49(12): 1051-1057. 2019.
8. Takamatsu, M., Yamamoto, N., Kawachi, H.,
Chino, A., Saito, S., Ueno, M., Ishikawa, Y.,

- Takazawa, Y., Takeuchi, K.
Prediction of early colorectal cancer metastasis by machine learning using digital slide images
Comput. Methods Programs Biomed., 178: 155-161. 2019.
9. Takeuchi, Y., Mabe, K., Shimodate, Y., Yoshii, S., Yamada, S., Iwatate, M., Kawamura, T., Hotta, K., Nagaike, K., Ikezawa, N., Yamasaki, T., Komeda, Y., Asai, S., Abe, Y., Akamatsu, T., Sakakibara, Y., Ikehara, H., Kinjo, Y., Ohta, T., Kitamura, Y., Shono, T., Inoue, T., Ohda, Y., Kobayashi, N., Tanuma, T., Sato, R., Sakamoto, T., Harada, N., Chino, A., Ishikawa, H., Nojima, M., Uraoka, T.
Continuous anticoagulation and cold snare polypectomy versus heparin bridging and hot snare polypectomy in patients on anticoagulants with subcentimeter polyps: A randomized controlled trial
Ann. Int. Med.: in press. 2019.
10. Yasue, C., Chino, A., Takamatsu, M., Namikawa, K., Ide, D., Saito, S., Igarashi, M., Fujisaki, J.
Pathological risk factors and predictive endoscopic factors for lymph node metastasis of T1 colorectal cancer: a single-center study of 846 lesions
J. Gastroenterol., 54(8): 708-717. 2019.
11. 並河健, 斎藤彰一, 五十嵐正広, 河内洋
隆起型早期大腸癌の病態と診断: 発育進展の経過が追えた PG type 隆起型早期大腸癌の 1 例
胃と腸, 54(6): 927-932. 2019.
12. 光吉優貴, 斎藤彰一, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広
大腸腫瘍の内視鏡治療戦略: 攻めるか、引くか?: 早期癌の治療方針: EMR/ESD の選択方法
消化器内視鏡, 31(10): 1542-1545. 2019.
13. 光吉優貴, 斎藤彰一, 岸原輝仁, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広, 藤本佳也, 河内洋
早期大腸癌内視鏡治療後の転移再発と予後: 症例: リンパ節再発をきたした粘膜内癌と診断された直腸 LST 病変の 1 例
Intestine, 23(3): 263-266. 2019.
14. 千野晶子
手技の解説: 放射線性腸炎に対するアルゴンプラズマ凝固 (APC 治療) のコツ
Gastroenterological Endoscopy, 61(10): 2379-2387. 2019.
15. 斎藤裕輔, 岡志郎, 田中信治, 斎藤豊, 池松弘朗, 五十嵐正広, 和田祥城, 工藤進英, 小林清典, 井上雄志, 浦岡俊夫, 飯石浩康, 山野泰穂, 鶴田修, 永田信二, 蔵原晃一, 山口裕一郎, 佐野寧, 榎田博史, 堀松高博, 斎藤彰一, 上野秀樹, 石黒めぐみ, 石川秀樹, 味岡洋一, 大倉康男, 藤盛孝博, 渡邊聡明, 杉原健一, 大腸癌研究会「内視鏡摘除後大腸 T1 癌の転移・再発に関する多施設共同研究」プロジェクト研究班
早期大腸癌内視鏡治療後の転移再発と予後: 早期大腸癌内視鏡治療後の転移再発と予後の実態: 内視鏡治療後経過観察し再発した大腸 T1 (SM) 癌の転帰・予後
Intestine, 23(3): 239-244. 2019.
16. 斎藤彰一
内視鏡の読み方: 大腸腫瘍性病変の診断法: 拡大内視鏡所見
臨床消化器内科, 34(11): 1409-1414. 2019.
17. 斎藤彰一
内視鏡の読み方: 大腸腫瘍性病変の診断法: 通常内視鏡所見
臨床消化器内科, 34(3): 330-335. 2019.
18. 斎藤彰一
消化管疾患の分類 2019: 使い方, 使われ方: 小腸・大腸: 大腸腫瘍: 早期癌の肉眼型分類 (大腸癌取扱い規約)
胃と腸, 54(5): 660-661. 2019.
19. 斎藤豊, 坂本琢, 高丸博之, 松田尚久, 田中信治, 田尻久雄, 斎藤彰一, 和田祥城, 池松弘朗, 岡志郎, 佐野寧, 村上義孝, 石川秀樹
大腸内視鏡拡大観察の基本と最新知見: NBI/

JNET 分類に関する JGES/ESGE 国際共同研究
胃と腸, 54(1): 99-103. 2019.

20. 田中信治, 櫻田博史, 斎藤豊, 矢作直久, 山野泰穂, 斎藤彰一, 久部高司, 八尾隆史, 渡邊昌彦, 吉田雅博, 齊藤裕輔, 鶴田修, 五十嵐正広, 豊永高史, 味岡洋一, 杉原健一, 楠正人, 小池和彦, 藤本一眞, 田尻久雄, 日本消化器内視鏡学会, 大腸癌研究会, 日本大腸肛門病学会, 日本消化器病学会, 大腸 ESD/EMR ガイドライン作成委員会, 日本消化器内視鏡学会, ガイドライン委員会, ワーキング委員会
大腸 ESD/EMR ガイドライン (第 2 版)
Gastroenterological Endoscopy, 61(6): 1321-1344. 2019.
21. 畑森裕之, 斎藤彰一, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広
大腸ポリープ取り扱いの Up to Date : 6mm ~ 10mm のポリープ : Cold polypectomy を安全に施行するための術前診断
臨牀消化器内科, 34(9): 1105-1111. 2019.
22. 福長洋介, 斎藤彰一, 千野晶子, 為我井芳郎, 上野雅資, 長山聡, 小西毅, 秋吉高志, 長寄寿矢, 山口智弘, 向井俊貴, 五十嵐正広
消化器腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術 (LECS) up date : 胃粘膜下腫瘍以外に対する LECS : 大腸腫瘍に対する LECS
外科, 81(11): 1158-1164. 2019.
23. 鈴木桂悟, 斎藤彰一
エキスパートへの道 : 下部消化管 : 大腸 診断法 : SSA/P の診断法
消化器内視鏡, 31(2): 224-227. 2019.
24. 鈴木桂悟, 千野晶子, 井出大資, 斎藤彰一, 五十嵐正広, 藤崎順子
腸管感染症 : 腸管感染症の発生動向 現状と今後のトレンド
Intestine, 23(2): 109-115. 2019.

【食道外科】

1. Baba, Y., Yagi, T., Kosumi, K., Okadome, K., Nomoto, D., Eto, K., Hiyoshi, Y., Nagai, Y., Ishimoto, T., Iwatsuki, M., Iwagami, S., Miyamoto, Y., Yoshida, N., Komohara, Y., Watanabe, M., Baba, H.
Morphological lymphocytic reaction, patient prognosis and PD-1 expression after surgical resection for oesophageal cancer
Br. J. Surg., 106(10): 1352-1361. 2019.
2. Fennell, L., Dumenil, T., Wockner, L., Hartel, G., Nones, K., Bond, C., Borowsky, J., Liu, C., McKeone, D., Bowdler, L., Montgomery, G., Klein, K., Hoffmann, I., Patch, A.M., Kazakoff, S., Pearson, J., Waddell, N., Wirapati, P., Lochhead, P., Imamura, Y., Ogino, S., Shao, R., Tejpar, S., Leggett, B., Whitehall, V.
Integrative genome-scale DNA Methylation analysis of a large and unselected cohort reveals five distinct subtypes of colorectal adenocarcinomas
Cell. Mol. Gastroenterol. Hepatol., 8(2): 269-290. 2019.
3. Hayami, M., Watanabe, M., Mine, S., Imamura, Y., Okamura, A., Yuda, M., Yamashita, K., Toihata, T., Shoji, Y., Ishizuka, N.
Lateral thermal spread induced by energy devices: a porcine model to evaluate the influence on the recurrent laryngeal nerve
Surg. Endosc., 33(12): 4153-4163. 2019.
4. Hayami, M., Watanabe, M., Mine, S., Imamura, Y., Okamura, A., Yuda, M., Yamashita, K., Shoji, Y., Toihata, T., Kozuki, R., Ishizuka, N.
Steam induced by the activation of energy devices under a wet condition may cause thermal injury
Surg. Endosc.: in press. 2019.
5. Hirayama, Y., Fujisaki, J., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Yoshio, T., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Imamura, Y., Mine, S., Watanabe, M., Tsuchida, T.
Efficacy and safety of endoscopic resection for gastric tube cancer after surgical resec-

- tion of esophageal squamous cell carcinoma
Esophagus, 16(2): 194-200. 2019.
6. Imamura, Y., Watanabe, M., Toihata, T., Takamatsu, M., Kawachi, H., Haraguchi, I., Ogata, Y., Yoshida, N., Saeki, H., Oki, E., Taguchi, K., Yamamoto, M., Morita, M., Mine, S., Hiki, N., Baba, H., Sano, T.
 Recent incidence trend of surgically resected esophagogastric junction adenocarcinoma and microsatellite instability status in Japanese patients
Digestion, 99(1): 6-13. 2019.
 7. Kalikawe, R., Baba, Y., Nomoto, D., Okadome, K., Miyake, K., Eto, K., Hiyoshi, Y., Nagai, Y., Iwatsuki, M., Ishimoto, T., Iwagami, S., Miyamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
 Lysyl oxidase impacts disease outcomes and correlates with global DNA hypomethylation in esophageal cancer
Cancer Sci, 110(12): 3727-3737. 2019.
 8. Kiyozumi, Y., Baba, Y., Okadome, K., Yagi, T., Ishimoto, T., Iwatsuki, M., Miyamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Komohara, Y., Baba, H.
 IDO1 expression is associated with immune tolerance and poor prognosis in patients with surgically resected esophageal cancer
Ann. Surg., 269(6): 1101-1108. 2019.
 9. Kiyozumi, Y., Baba, Y., Okadome, K., Yagi, T., Ogata, Y., Eto, K., Hiyoshi, Y., Ishimoto, T., Iwatsuki, M., Iwagami, S., Miyamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
 Indoleamine 2, 3-dioxygenase 1 promoter hypomethylation is associated with poor prognosis in patients with esophageal cancer
Cancer Sci., 110(6): 1863-1871. 2019.
 10. Kosumi, K., Baba, Y., Okadome, K., Yagi, T., Kiyozumi, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
 Tumor long-interspersed nucleotide element-1 methylation level and immune response to esophageal cancer
Ann. Surg.: in press. 2019.
 11. Kurogochi, T., Honda, M., Yamashita, K., Hayami, M., Okamura, A., Imamura, Y., Mine, S., Watanabe, M.
 Safety and efficacy of preoperative chemotherapy followed by esophagectomy versus upfront surgery for resectable esophageal squamous cell carcinoma
Surg. Today, 49(2): 150-157. 2019.
 12. Kurokawa, Y., Takeuchi, H., Doki, Y., Mine, S., Terashima, M., Yasuda, T., Yoshida, K., Daiko, H., Sakuramoto, S., Yoshikawa, T., Kunisaki, C., Seto, Y., Tamura, S., Shimokawa, T., Sano, T., Kitagawa, Y.
 Mapping of lymph node metastasis from esophagogastric junction tumors: A prospective nationwide multicenter study
Ann. Surg.: in press. 2019.
 13. Mine, S., Watanabe, M., Kumagai, K., Okamura, A., Yuda, M., Hayami, M., Yamashita, K., Imamura, Y., Ishizuka, N.
 Comparison of mediastinal lymph node metastases from adenocarcinoma of the esophagogastric junction versus lower esophageal squamous cell carcinoma with involvement of the esophagogastric junction
Dis. Esophagus, 32(11): doz002. 2019.
 14. Mine, S., Watanabe, M.
 Reply to 'Is there really no difference of mediastinal lymph node metastasis pattern between esophageal adenocarcinoma and squamous cell carcinoma?'
Dis. Esophagus, 32(7): doz044. 2019.
 15. Okamura, A., Watanabe, M.
 Author's Reply: Significance of intramural metastasis in patients with esophageal squamous cell carcinoma: An indicator of aggressive cancer behavior

- World J. Surg., 43(10): 2649-2650. 2019.
16. Okamura, A., Yamashita, K., Kozuki, R., Takahashi, K., Toihata, T., Imamura, Y., Mine, S., Watanabe, M.
Inflammatory response and recurrence after minimally invasive esophagectomy
Langenbecks Arch. Surg., 404(6): 761-769. 2019.
 17. Okamura, A., Watanabe, M., Kozuki, R., Toihata, T., Takahashi, K., Imamura, Y., Mine, S.
Significance of intramural metastasis in patients with esophageal squamous cell carcinoma: An indicator of aggressive cancer behavior
World J. Surg., 43(8): 1997-2005. 2019.
 18. Takahashi, K., Mine, S., Kozuki, R., Toihata, T., Okamura, A., Imamura, Y., Watanabe, M.
Ivor-Lewis esophagectomy for patients with squamous cell carcinoma of the thoracic esophagus with a history of total pharyngolaryngectomy
Esophagus, 16(4): 382-385. 2019.
 19. Takahashi, K., Watanabe, M., Kozuki, R., Toihata, T., Okamura, A., Imamura, Y., Mine, S., Ishizuka, N.
Prognostic significance of skeletal muscle loss during early postoperative period in elderly patients with esophageal cancer
Ann. Surg. Oncol., 26(11): 3727-3735. 2019.
 20. Yagi, T., Baba, Y., Ishimoto, T., Iwatsuki, M., Miyamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
PD-L1 expression, tumor-infiltrating lymphocytes, and clinical outcome in patients with surgically resected esophageal cancer
Ann. Surg., 269(3): 471-478. 2019.
 21. Yagi, T., Baba, Y., Okadome, K., Kiyozumi, Y., Hiyoshi, Y., Ishimoto, T., Iwatsuki, M., Miyamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Komohara, Y., Baba, H.
Tumour-associated macrophages are associated with poor prognosis and programmed death ligand 1 expression in esophageal cancer
Eur. J. Cancer, 111: 38-49. 2019.
 22. Yamashita, K., Mine, S., Toihata, T., Fukudome, I., Okamura, A., Yuda, M., Hayami, M., Imamura, Y., Watanabe, M.
The usefulness of three-dimensional video-assisted thoracoscopic esophagectomy in esophageal cancer patients
Esophagus, 16(3): 272-277. 2019.
 23. Yoshida, N., Morito, A., Nagai, Y., Baba, Y., Miyamoto, Y., Iwagami, S., Iwatsuki, M., Hiyoshi, Y., Eto, K., Ishimoto, T., Kiyozumi, Y., Yagi, T., Nomoto, D., Akiyama, T., Toihata, T., Imamura, Y., Watanabe, M., Baba, H.
Clinical importance of sputum in the respiratory tract as a predictive marker of postoperative morbidity after esophagectomy for esophageal cancer
Ann. Surg. Oncol., 28(8): 2580-2586. 2019.
 24. Yoshida, N., Nagai, Y., Baba, Y., Miyamoto, Y., Iwagami, S., Iwatsuki, M., Hiyoshi, Y., Eto, K., Ishimoto, T., Kiyozumi, Y., Nomoto, D., Akiyama, T., Imamura, Y., Watanabe, M., Baba, H.
Effect of resection of the thoracic duct and surrounding lymph nodes on short- and long-term and nutritional outcomes after esophagectomy for esophageal cancer
Ann. Surg. Oncol., 26(6): 1893-1900. 2019.
 25. Yuda, M., Yamashita, K., Okamura, A., Hayami, M., Fukudome, I., Toihata, T., Imamura, Y., Mine, S., Ishizuka, N., Watanabe, M.
Influence of preoperative oropharyngeal microflora on the occurrence of postoperative pneumonia and survival in patients undergoing esophagectomy for esophageal

- cancer
Ann. Surg.: in press. 2019.
26. 上月亮太郎, 峯真司, 山下公太郎, 大串大輔, 佐々木俊治, 岡村明彦, 湯田匡美, 速水克, 今村裕, 古川恵一, 渡邊雅之
術前化学療法中に Ramsay Hunt 症候群を発症し, 播種性帯状疱疹・髄膜脳炎へ重症化をきたした進行食道癌の 1 例
日本外科感染症学会雑誌, 16(2): 136-139. 2019.
 27. 伊丹優貴子, 熊谷厚志, 望月宏美, 井田智, 峯真司, 中濱孝志, 比企直樹
肺がん術後呼吸器合併症と術前プレアルブミン値の検討
学会誌 JSPEN, 1(4): 236-241. 2019.
 28. 岡村明彦, 渡邊雅之, 上月亮太郎, 高橋慶太, 問端輔, 今村裕, 峯真司
術中・術後合併症を起こさないコツ: 食道癌手術: 術中・術後合併症を軽減する手術手技の工夫と周術期管理
消化器外科, 42(6): 913-922. 2019.
 29. 岡村明彦, 渡邊雅之, 上月亮太郎, 高橋慶太, 問端輔, 今村裕, 峯真司
食道扁平上皮癌における壁内転移の意義
日本気管食道科学会会報, 70(3): 225-230. 2019.
 30. 川名加織, 井田智, 佐々木徹, 小泉雄, 白尾浩太郎, 鶴沼静香, 熊谷厚志, 中濱孝志, 峯真司, 比企直樹
局所進行口腔癌術後症例における新規嚥下障害導入の効果と安全性の検討
学会誌 JSPEN, 1(3): 142-150. 2019.
 31. 榎田滋穂, 熊谷厚志, 望月宏美, 中濱孝志, 井田智, 峯真司, 比企直樹
免疫チェックポイント阻害薬によって生じた 1 型糖尿病にカーボカウント法が有効であった顎下腺癌の 1 例
学会誌 JSPEN, 1(1): 33-37. 2019.
 32. 渡邊雅之
ナースがおさえる正常 & 異常のポイントこれだけ! 消化器治療後の過程: まるみえ! タイムライン: 食道の治療とケア
消化器ナーシング, 24(5): 410-417. 2019.
 33. 渡邊雅之, 大竹玲子, 問端輔, 高橋慶太, 上月亮太郎, 岡村明彦, 今村裕
微細解剖に基づいた正確な上部消化管リンパ節郭清: 食道癌に対する気管分岐部および気管支周囲リンパ節郭清
消化器外科, 42(9): 1309-1317. 2019.
 34. 渡邊雅之, 岡村明彦, 上月亮太郎, 高橋慶太, 問端輔, 大竹玲子, 陳勁松, 鈴木健, 羽田忍, 高瀬鮎美, 早坂紀子
臓器別がん: Basic & New: 症例 FILE 付き: 食道がん
YORi-SOU がんナーシング, 9(6): 733-748. 2019.
 35. 渡邊雅之, 峯真司, 高橋慶太, 問端輔, 上月亮太郎, 今村裕, 岡村明彦
食道癌における頸部郭清術 胸部食道癌に対する鎖骨上リンパ節郭清の意義
日本気管食道科学会会報, 70(2): 164-167. 2019.
 36. 高木久美, 峯真司, 熊谷厚志, 井田智, 望月宏美, 中濱孝志, 比企直樹
臍頭十二指腸切除術施行患者において管理栄養士の病棟常駐における術後短期成績の検討
学会誌 JSPEN, 1(4): 242-249. 2019.

【胃外科】

1. Aoyama, T., Yoshikawa, T., Ida, S., Cho, H., Sakamaki, K., Ito, Y., Fujitani, K., Takiguchi, N., Kawashima, Y., Nishikawa, K., Oshima, T., Nunobe, S., Hiki, N.
Effects of perioperative eicosapentaenoic acid-enriched oral nutritional supplement on lean body mass after total gastrectomy for gastric cancer
J. Cancer, 10(5): 1070-1076. 2019.

2. Hayashi, M., Kawakubo, H., Shoji, Y., Mayanagi, S., Nakamura, R., Suda, K., Wada, N., Takeuchi, H., Kitagawa, Y.
Analysis of the effect of early versus conventional nasogastric tube removal on postoperative complications after transthoracic esophagectomy: A single-center, randomized controlled trial
World J. Surg., 43(2): 580-589. 2019.
3. Hiki, N., Nunobe, S.
Laparoscopic endoscopic cooperative surgery (LECS) for the gastrointestinal tract: Updated indications
Ann. Gastroenterol. Surg., 3(3): 239-246. 2019.
4. Honda, M., Kumamaru, H., Etoh, T., Miyata, H., Yamashita, Y., Yoshida, K., Kodera, Y., Kakeji, Y., Inomata, M., Konno, H., Seto, Y., Kitano, S., Watanabe, M., Hiki, N.
Surgical risk and benefits of laparoscopic surgery for elderly patients with gastric cancer: a multicenter prospective cohort study
Gastric Cancer, 22(4): 845-852. 2019.
5. Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., Ida, S., Yoshimizu, S., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Nagahama, M., Takahashi, H., Tsuchida, T.
Pretreatment diagnosis factors associated with overtreatment with surgery in patients with differentiated-type early gastric cancer
Sci. Rep., 9: 15356. 2019.
6. Kano, Y., Ohashi, M., Ida, S., Kumagai, K., Nunobe, S., Sano, T., Hiki, N.
Oncological feasibility of laparoscopic subtotal gastrectomy compared with laparoscopic proximal or total gastrectomy for cT1N0M0 gastric cancer in the upper gastric body
Gastric Cancer, 22(5): 1060-1068. 2019.
7. Katayama, H., Tsuburaya, A., Mizusawa, J., Nakamura, K., Katai, H., Imamura, H., Nashimoto, A., Fukushima, N., Sano, T., Sasako, M.
An integrated analysis of two phase II trials (JCOG0001 and JCOG0405) of preoperative chemotherapy followed by D3 gastrectomy for gastric cancer with extensive lymph node metastasis
Gastric Cancer, 22(6): 1301-1307. 2019.
8. Kodera, Y., Yoshida, K., Kumamaru, H., Kakeji, Y., Hiki, N., Etoh, T., Honda, M., Miyata, H., Yamashita, Y., Seto, Y., Kitano, S., Konno, H.
Introducing laparoscopic total gastrectomy for gastric cancer in general practice: a retrospective cohort study based on a nationwide registry database in Japan
Gastric Cancer, 22(1): 202-212. 2019.
9. Kumagai, K., Sano, T.
Gastric cancer.
Lymph Node Metastasis in Gastrointestinal Cancer. (S. Natsugoe, ed.), Singapore: Springer, pp. 358. 2019.
10. Kurashima, Y., Watanabe, Y., Hiki, N., Poudel, S., Kitagami, H., Ebihara, Y., Murakami, S., Shichinohe, T., Hirano, S.
Development of a novel tool to assess skills in laparoscopic gastrectomy using the Delphi method: the Japanese operative rating scale for laparoscopic distal gastrectomy (JORS-LDG)
Surg. Endosc., 33(12): 3945-3952. 2019.
11. Kurokawa, Y., Takeuchi, H., Doki, Y., Mine, S., Terashima, M., Yasuda, T., Yoshida, K., Daiko, H., Sakuramoto, S., Yoshikawa, T., Kunisaki, C., Seto, Y., Tamura, S., Shimokawa, T., Sano, T., Kitagawa, Y.
Mapping of lymph node metastasis from esophagogastric junction tumors: A prospective nationwide multicenter study
Ann. Surg.: in press. 2019.
12. Mashima, T., Iwasaki, R., Kawata, N., Kawakami, R., Kumagai, K., Migita, T.,

- Sano, T., Yamaguchi, K., Seimiya, H.
In silico chemical screening identifies epidermal growth factor receptor as a therapeutic target of drug-tolerant CD44v9-positive gastric cancer cells
Br. J. Cancer., 121(10): 846-856. 2019.
13. Osumi, H., Kawachi, H., Yoshio, T., Ida, S., Yamamoto, N., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Hiki, N., Takeuchi, K., Fujisaki, J.
Epstein-Barr virus status is a promising biomarker for endoscopic resection in early gastric cancer: proposal of a novel therapeutic strategy
J. Gastroenterol., 54(9): 774-783. 2019.
 14. Osumi, H., Kawachi, H., Murai, K., Kusafuka, K., Inoue, S., Kitamura, M., Yoshio, T., Kakusima, N., Ishihara, R., Ono, H., Yamamoto, N., Sugino, T., Nakatsuka, S., Ida, S., Nunobe, S., Bando, E., Omori, T., Takeuchi, K., Fujisaki, J.
Risk stratification for lymph node metastasis using Epstein-Barr virus status in submucosal invasive (pT1) gastric cancer without lymphovascular invasion: a multicenter observational study
Gastric Cancer, 22(6): 1176-1182. 2019.
 15. Ri, M., Hiki, N., Ishizuka, N., Ida, S., Kumagai, K., Nunobe, S., Ohashi, M., Sano, T.
Duodenal stump reinforcement might reduce both incidence and severity of duodenal stump leakage after laparoscopic gastrectomy with Roux-en-Y reconstruction for gastric cancer
Gastric Cancer, 22(5): 1053-1059. 2019.
 16. Shoji, Y., Kumagai, K., Kamiya, S., Ida, S., Nunobe, S., Ohashi, M., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Yoshio, T., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Osako, T., Yamamoto, N., Fujisaki, J., Sano, T., Hiki, N.
Prospective feasibility study for single-tracer sentinel node mapping by ICG (indocyanine green) fluorescence and OSNA (one-step nucleic acid amplification) assay in laparoscopic gastric cancer surgery
Gastric Cancer, 22(4): 873-880. 2019.
 17. Shoji, Y., Nunobe, S., Ida, S., Kumagai, K., Ohashi, M., Sano, T., Hiki, N.
Surgical outcomes and risk assessment for anastomotic complications after laparoscopic proximal gastrectomy with double-flap technique for upper-third gastric cancer
Gastric Cancer, 22(5): 1036-1043. 2019.
 18. Suenaga, M., Cao, S., Zhang, W., Yang, D., Ning, Y., Okazaki, S., Berger, M.D., Miyamoto, Y., Schirripa, M., Soni, S., Barzi, A., Yamaguchi, T., Lenz, H.J.
Genetic variants in CCL5 and CCR5 genes and serum VEGF-A levels predict efficacy of bevacizumab in metastatic colorectal cancer patients
Int. J. Cancer, 144(10): 2567-2577. 2019.
 19. Takahashi, R., Ohashi, M., Kano, Y., Ida, S., Kumagai, K., Nunobe, S., Chin, K., Yamaguchi, K., Nagino, M., Sano, T., Hiki, N.
Timing and site-specific trends of recurrence in patients with pathological stage II or III gastric cancer after curative gastrectomy followed by adjuvant S-1 monotherapy
Gastric Cancer, 22(6): 1256-1262. 2019.
 20. Terashima, M., Iwasaki, Y., Mizusawa, J., Katayama, H., Nakamura, K., Katai, H., Yoshikawa, T., Ito, Y., Kaji, M., Kimura, Y., Hirao, M., Yamada, M., Kurita, A., Takagi, M., Boku, N., Sano, T., Sasako, M.
Randomized phase III trial of gastrectomy with or without neoadjuvant S-1 plus cisplatin for type 4 or large type 3 gastric cancer, the short-term safety and surgical results: Japan Clinical Oncology Group Study (JCOG0501)
Gastric Cancer, 22(5): 1044-1052. 2019.

21. Tsujiura, M., Hiki, N., Ohashi, M., Nunobe, S., Kumagai, K., Ida, S., Ohashi, T., Sano, T., Yamaguchi, T.
Should pylorus-preserving gastrectomy be performed for overweight/obese patients with gastric cancer?
Gastric Cancer, 22(6): 1247-1255. 2019.
22. Yagi, S., Wakatsuki, T., Yamamoto, N., Chin, K., Takahari, D., Ogura, M., Ichimura, T., Nakayama, I., Osumi, H., Shinozaki, E., Suenaga, M., Fujisaki, J., Ishikawa, Y., Yamaguchi, K., Namikawa, K., Horiuchi, Y.
Clinical significance of intratumoral HER2 heterogeneity on trastuzumab efficacy using endoscopic biopsy specimens in patients with advanced HER2 positive gastric cancer
Gastric Cancer, 22(3): 518-525. 2019.
23. Yagi, S., Ida, S., Ohashi, M., Kumagai, K., Hiki, N., Sano, T., Nunobe, S.
Two cases of a perforated duodenal diverticulum after gastrectomy with Roux-en-Y reconstruction
Surg. Case Rep., 5(1): 169. 2019.
24. Yoshida, K., Kodera, Y., Kochi, M., Ichikawa, W., Kakeji, Y., Sano, T., Nagao, N., Takahashi, M., Takagane, A., Watanabe, T., Kaji, M., Okitsu, H., Nomura, T., Matsui, T., Yoshikawa, T., Matsuyama, J., Yamada, M., Ito, S., Takeuchi, M., Fujii, M.
Addition of docetaxel to oral fluoropyrimidine improves efficacy in patients with stage III gastric cancer: Interim analysis of JACCRO GC-07, a randomized controlled trial
J. Clin. Oncol., 37(15): 1296-1304. 2019.
25. Yoshikawa, T., Terashima, M., Mizusawa, J., Nunobe, S., Nishida, Y., Yamada, T., Kaji, M., Fukushima, N., Hato, S., Choda, Y., Yabusaki, H., Yoshida, K., Ito, S., Takeno, A., Yasuda, T., Kawachi, Y., Katayama, H., Fukuda, H., Boku, N., Sano, T., Sasako, M.
Four courses versus eight courses of adjuvant S-1 for patients with stage II gastric cancer (JCOG1104 [OPAS-1]): an open-label, phase 3, non-inferiority, randomised trial
Lancet Gastroenterol. Hepatol., 4(3): 208-216. 2019.
26. 井田智, 熊谷厚志
がんと栄養療法: がん治療における栄養介入: 周術期経腸栄養療法の意義
Progress in Medicine, 39(8): 785-788. 2019.
27. 井田智, 佐野武
新手術記録の書き方: : 胃・十二指腸の手術 / 胃癌: 開腹手術: 胃全摘術
消化器外科, 42(5): 541-549. 2019.
28. 伊丹優貴子, 熊谷厚志, 望月宏美, 井田智, 峯真司, 中濱孝志, 比企直樹
肺がん術後呼吸器合併症と術前プレアルブミン値の検討
学会誌 JSPEN, 1(4): 236-241. 2019.
29. 佐野武
胃癌手術の変遷とそのエビデンス
日本臨床外科学会雑誌, 80(10): 1771-1778. 2019.
30. 佐野武
胃癌診療 2019: 現状と課題: 胃癌治療の現状と課題: 胃癌治療ガイドライン第5版を巡って
臨床消化器内科, 34(11): 1353-1358. 2019.
31. 加納陽介, 井田智, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 比企直樹
胃癌診療アップデート: 腹腔鏡下胃切除後の消化管再建法
消化器外科, 42(2): 165-176. 2019.
32. 堀創史, 布部創也, 幕内梨恵, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 佐野武
内視鏡外科手術における思わぬ合併症と対応法: 腹腔鏡下胃切除術における再建困難例への対応
外科, 81(13): 1320-1324. 2019.

33. 大橋学, 高橋遼
腹腔鏡下胃手術のすべて: 基礎編: 完全腹腔鏡下幽門側胃切除における安全な胃十二指腸吻合
臨床外科, 74(10): 1176-1181. 2019.
34. 山口俊晴
進歩するがん医療: 低侵襲、個別化、そして予防へ
京都医学会雑誌, 66(1): 3-6. 2019.
35. 山口俊晴監修
担当医としてこのように答えたいがん患者・家族からの質問. 東京: へるす出版. 338p., 2019,
36. 川名加織, 井田智, 佐々木徹, 小泉雄, 白尾浩太郎, 鶴沼静香, 熊谷厚志, 中濱孝志, 峯真司, 比企直樹
局所進行口腔癌術後症例における新規嚥下障害導入の効果と安全性の検討
学会誌 JSPEN, 1(3): 142-150. 2019.
37. 李基成, 布部創也, 比企直樹
表在性十二指腸腫瘍の新展開: 表在性十二指腸腫瘍の低侵襲治療: D-LECS の現状と今後の可能性
消化器内視鏡, 31(7): 1090-1094. 2019.
38. 榎田滋穂, 熊谷厚志, 望月宏美, 中濱孝志, 井田智, 峯真司, 比企直樹
免疫チェックポイント阻害薬によって生じた1型糖尿病にカーボカウント法が有効であった顎下腺癌の1例
学会誌 JSPEN, 1(1): 33-37. 2019.
39. 比企直樹, 布部創也編集
令和スタイル 鏡視下胃手術のすべて. Medical View. 232p., 2019,
40. 高木久美, 峯真司, 熊谷厚志, 井田智, 望月宏美, 中濱孝志, 比企直樹
臍頭十二指腸切除術施行患者において管理栄養士の病棟常駐における術後短期成績の検討
学会誌 JSPEN, 1(4): 242-249. 2019.

【大腸外科】

1. Akiyoshi, T., Tanaka, N., Kiyotani, K., Gotoh, O., Yamamoto, N., Oba, K., Fukunaga, Y., Ueno, M., Mori, S.
Immunogenomic profiles associated with response to neoadjuvant chemoradiotherapy in patients with rectal cancer
Br. J. Surg., 106(10): 1381-1392. 2019.
2. Akiyoshi, T.
Laparoscopic Hartmann procedure with sacrectomy for locally recurrent rectal cancer
Dis. Colon Rectum, 62(12): 1551. 2019.
3. Akiyoshi, T., Toda, S., Tominaga, T., Oba, K., Tomizawa, K., Hanaoka, Y., Nagasaki, T., Konishi, T., Matoba, S., Fukunaga, Y., Ueno, M., Kuroyanagi, H.
Prognostic impact of residual lateral lymph node metastasis after neoadjuvant (chemo) radiotherapy in patients with advanced low rectal cancer
BJS Open, 3(6): 822-829. 2019.
4. Chan, D.K.H., Tan, K.K., Akiyoshi, T.
Diagnostic and management strategies for lateral pelvic lymph nodes in low rectal cancer-a review of the evidence
J. Gastrointest. Oncol., 10(6): 1200-1206. 2019.
5. Chino, A., Kawachi, H., Takamatsu, M., Hatamori, H., Ide, D., Saito, S., Igarashi, M., Fujisaki, J., Nagayama, S.
Macroscopic and microscopic morphology and molecular profiling to distinguish heterogeneous traditional serrated adenomas of the colorectum
Dig. Endosc.: in press. 2019.
6. Kohsaka, S., Tatsuno, K., Ueno, T., Nagano, M., Shinozaki-Ushiku, A., Ushiku, T., Takai, D., Ikegami, M., Kobayashi, H., Kage, H., Ando, M., Hata, K., Ueda, H., Yamamoto, S., Kojima, S., Oseto, K., Akaike, K., Suehara, Y., Hayashi, T., Saito, T., Takahashi,

- F., Takahashi, K., Takamochi, K., Suzuki, K., Nagayama, S., Oda, Y., Mimori, K., Ishihara, S., Yatomi, Y., Nagase, T., Nakajima, J., Tanaka, S., Fukayama, M., Oda, K., Nanguku, M., Miyazono, K., Miyagawa, K., Aburatani, H., Mano, H.
- Comprehensive assay for the molecular profiling of cancer by target enrichment from formalin-fixed paraffin-embedded specimens
Cancer Sci., 110(4): 1464-1479. 2019.
7. Kondo, K., Matsusaka, S., Ishihara, S., Horie, H., Uehara, K., Oguchi, M., Murofushi, K., Ueno, M., Mizunuma, N., Shimbo, T., Kato, D., Okuda, J., Hashiguchi, Y., Nakazawa, M., Sunami, E., Kawai, K., Yamashita, H., Okada, T., Ishikawa, Y., Fujii, M., Nakajima, T.
Long-term results of a multicenter phase II study of preoperative chemoradiotherapy with S-1 plus oxaliplatin for locally advanced rectal cancer (JACCRO CC-04: SHOGUN Trial)
Radiother. Oncol., 134: 199-203. 2019.
 8. Konishi, T., Shinozaki, E.
ASO author reflections: Combining intensive neoadjuvant therapy with minimally invasive surgery: A promising future strategy for rectal cancer with high-risk features
Ann. Surg. Oncol., 26(Suppl 3): 753-754. 2019.
 9. Konishi, T., Shimada, Y., Hsu, M., Wei, I.H., Pappou, E., Smith, J.J., Nash, G.M., Guillem, J.G., Paty, P.B., Garcia-Aguilar, J., Cercek, A., Yaeger, R., Stadler, Z.K., Segal, N.H., Varghese, A., Saltz, L.B., Shia, J., Vakkani, E., Gonen, M., Weiser, M.R.
Contemporary validation of a nomogram predicting colon cancer recurrence, revealing all-stage improved outcomes
JNCI Cancer Spectrum, 3(2): pkz015. 2019.
 10. Konishi, T., Shinozaki, E., Murofushi, K., Taguchi, S., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Akiyoshi, T., Nagasaki, T., Suenaga, M., Chino, A., Kawachi, H., Yamamoto, N., Ishikawa, Y., Oguchi, M., Ishizuka, N., Ueno, M., Yamaguchi, K.
Phase II trial of neoadjuvant chemotherapy, chemoradiotherapy, and laparoscopic surgery with selective lateral node dissection for poor-risk low rectal cancer
Ann. Surg. Oncol., 26(8): 2507-2513. 2019.
 11. Matsuda, T., Miyauchi, E., Hsu, Y.-W., Nagayama, S., Kiyotani, K., Zewde, M., Park, J.-H., Kato, T., Harada, M., Matsui, S., Ueno, M., Fukuda, K., Suzuki, N., Hazama, S., Nagano, H., Takeuchi, H., Vigneswaran, W.T., Kitagawa, Y., Nakamura, Y.
TCR sequencing analysis of cancer tissues and tumor draining lymph nodes in colorectal cancer patients.
Oncoimmunology, 8(6): e1588085. 2019.
 12. Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y., Tominaga, T., Yamaguchi, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Ueno, M.
The short- and long-term feasibility of laparoscopic surgery in colon cancer patients with bulky tumors
J. Gastrointest. Surg., 23(9): 1893-1899. 2019.
 13. Nagasaki, T., Mise, Y., Honma, S., Sato, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y., Tominaga, T., Nagaoka, T., Yamaguchi, T., Ueno, M.
Simultaneous laparoscopic left hemicolectomy and spleen-preserving distal pancreatectomy for descending colon cancer with pancreatic invasion
Asian J. Endosc. Surg., 12(3): 334-336. 2019.
 14. Nakai, N., Yamaguchi, T., Kinugasa, Y., Shiomi, A., Kagawa, H., Yamakawa, Y., Numata, M., Furutani, A., Yamaoka, Y., Manabe, S., Sawada, A.

- Diagnostic value of computed tomography (CT) and positron emission tomography (PET) for paraaortic lymph node metastasis from left-sided colon and rectal cancer
Asian J. Surg.: in press. 2019.
15. Ogura, A., Konishi, T., Beets, G.L., Cunningham, C., Garcia-Aguilar, J., Iversen, H., Toda, S., Lee, I.K., Lee, H.X., Uehara, K., Lee, P., Putter, H., van de Velde, C.J.H., Rutten, H.J.T., Tuynman, J.B., Kusters, M. Lateral nodal features on restaging magnetic resonance imaging associated with lateral local recurrence in low rectal cancer after neoadjuvant chemoradiotherapy or radiotherapy
JAMA Surg.: in press. 2019.
 16. Ogura, A., Konishi, T., Cunningham, C., Garcia-Aguilar, J., Iversen, H., Toda, S., Lee, I.K., Lee, H.X., Uehara, K., Lee, P., Putter, H., van de Velde, C.J.H., Beets, G.L., Rutten, H.J.T., Kusters, M. Neoadjuvant (Chemo)radiotherapy with total mesorectal excision only is not sufficient to prevent lateral local recurrence in enlarged nodes: Results of the multicenter lateral node study of patients with low cT3/4 rectal cancer
J. Clin. Oncol., 37(1): 33-43. 2019.
 17. Sada, H., Hinoi, T., Ueno, H., Yamaguchi, T., Inoue, Y., Konishi, T., Kobayashi, H., Kanemitsu, Y., Ishida, F., Ishida, H., Tomita, N., Matsubara, N., Sugihara, K. Prevalence of and risk factors for thyroid carcinoma in patients with familial adenomatous polyposis: results of a multicenter study in Japan and a systematic review
Surg. Today, 49(1): 72-81. 2019.
 18. Sakahara, M., Okamoto, T., Oyanagi, J., Takano, H., Natsume, Y., Yamanaka, H., Kusama, D., Fusejima, M., Tanaka, N., Mori, S., Kawachi, H., Ueno, M., Sakai, Y., Noda, T., Nagayama, S., Yao, R. IFN/STAT signaling controls tumorigenesis and the drug response in colorectal cancer
Cancer Sci., 110(4): 1293-1305. 2019.
 19. Suzuki, S., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Fukuoka, H., Ushigome, H., Murahashi, S., Miyanari, S., Minami, H., Ueno, M. Laparoscopic right hemicolectomy for a colon cancer patient with an ileal conduit
Asian J. Endosc. Surg., 12(1): 114-117. 2019.
 20. Suzuki, S., Fukunaga, Y., Tamegai, Y., Akiyoshi, T., Konishi, T., Nagayama, S., Saito, S., Ueno, M. The short-term outcomes of laparoscopic-endoscopic cooperative surgery for colorectal tumors (LECS-CR) in cases involving endoscopically unresectable colorectal tumors
Surg. Today, 49(12): 1051-1057. 2019.
 21. Takamatsu, M., Kawachi, H., Yamamoto, N., Kobayashi, M., Toyama, Y., Maekawa, T., Chino, A., Saito, S., Ueno, M., Takazawa, Y., Ishikawa, Y. Immunohistochemical evaluation of tumor budding for stratifying T1 colorectal cancer: optimal cut-off value and a novel computer-assisted semiautomatic method
Mod. Pathol., 32(5): 675-683. 2019.
 22. Takamatsu, M., Yamamoto, N., Kawachi, H., Chino, A., Saito, S., Ueno, M., Ishikawa, Y., Takazawa, Y., Takeuchi, K. Prediction of early colorectal cancer metastasis by machine learning using digital slide images
Comput. Methods Programs Biomed., 178: 155-161. 2019.
 23. Tominaga, T., Nagayama, S., Takamatsu, M., Miyanari, S., Nagasaki, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Fukunaga, Y., Ueno, M.

- A case of severe megacolon due to acquired isolated hypoganglionosis after low anterior resection for lower rectal cancer
Clin. J. Gastroenterol.: in press. 2019.
24. Tominaga, T., Akiyoshi, T., Yamamoto, N., Taguchi, S., Mori, S., Nagasaki, T., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Clinical significance of soluble programmed cell death-1 and soluble programmed cell death-ligand 1 in patients with locally advanced rectal cancer treated with neoadjuvant chemoradiotherapy
PLoS One, 14(2): e0212978. 2019.
 25. Tominaga, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y., Fujimoto, Y., Yamaguchi, T., Konishi, T., Nagayama, S., Ueno, M.
Feasibility of neoadjuvant therapy for elderly patients with locally advanced rectal cancer
Surg. Today, 49(8): 694-703. 2019.
 26. Tominaga, T., Akiyoshi, T., Yamamoto, N., Oba, K., Nagasaki, T., Yamaguchi, T., Konishi, T., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Prognostic value of metastatic lymph node regression grade after neoadjuvant chemoradiotherapy in patients with locally advanced rectal cancer
Surgery, 166(6): 1061-1067. 2019.
 27. Ushigome, H., Fukunaga, Y., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Ueno, M.
Difficulty of predicting lymph node metastasis on CT in patients with rectal neuroendocrine tumors
PLoS One, 14(2): e0211675. 2019.
 28. Watanabe, J., Ishida, F., Ishida, H., Fukunaga, Y., Watanabe, K., Naito, M., Watanabe, M.
A prospective multi-center registry concerning the clinical performance of laparoscopic colorectal surgery using an absorbable adhesion barrier (INTERCEED((R))) made of oxidized regenerated cellulose
Surg. Today, 49(10): 877-884. 2019.
 29. Yamaguchi, T., Kinugasa, Y., Mori, K.
Oncological outcomes of robotic-assisted laparoscopic lateral lymph node dissection for rectal cancer
Ann. Laparosc. Endosc. Surg., 4: 56. 2019.
 30. Yamaguchi, T., Kinugasa, Y.
Robotic-assisted laparoscopic surgery for rectal cancer.
Recent Advances in the Treatment of Colorectal Cancer. (H. Ishida, K. Koda, eds.), Springer Nature: Singapore, pp. 49-58. 2019.
 31. Yamaoka, Y., Imai, K., Shiomi, A., Kagawa, H., Hino, H., Yamakawa, Y., Yamaguchi, T., Kinugasa, Y., Kishida, Y., Ito, S., Hotta, K., Imai, T.
Endoscopic resection of T1 colorectal cancer prior to surgery does not affect surgical adverse events and recurrence
Surg. Endosc.: in press. 2019.
 32. Yamaoka, Y., Yamaguchi, T., Kinugasa, Y., Shiomi, A., Kagawa, H., Yamakawa, Y., Furutani, A., Manabe, S., Torii, K., Koido, K., Mori, K.
Mesorectal fat area as a useful predictor of the difficulty of robotic-assisted laparoscopic total mesorectal excision for rectal cancer
Surg. Endosc., 33(2): 557-566. 2019.
 33. 上野雅資, 秋吉高志, 長壽寿矢, 小西毅, 長山聡, 福長洋介
外科解剖に基づく腹腔鏡下横行結腸癌手術: 中部横行結腸癌に対する D3 リンパ節郭清を伴う腹腔鏡下結腸部分切除術
手術, 73(8): 1183-1187. 2019.
 34. 上野雅資, 秋吉高志, 福長洋介, 長山聡, 小西毅, 長壽寿矢
高度進行消化器癌に対する手術: 下部消化管: 高度進行直腸癌に対する腹腔鏡下骨盤内臓全摘術

- 手術, 73(4): 483-489. 2019.
35. 中西良太, 小西毅
FOCUS: 直腸癌術前化学放射線療法後の watch and see policy
臨床外科, 74(8): 999-1004. 2019.
36. 中西良太, 小西毅
消化器疾患に対する機能温存・再建手術: 下部消化管領域: 直腸癌に対する究極の機能温存手術: watch and wait policy の展望
外科, 81(5): 480-486. 2019.
37. 中西良太, 上野雅資, 長壽寿矢, 秋吉高志, 福長洋介
腹腔鏡下大腸癌手術におけるメインデバイスの選択: 電気メス vs. 超音波凝固切開装置: 腹腔鏡下結腸右半切除術: 電気メス主体の立場から手術, 73(11): 1529-1535. 2019.
38. 光吉優貴, 齋藤彰一, 岸原輝仁, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広, 藤本佳也, 河内洋
早期大腸癌内視鏡治療後の転移再発と予後: 症例: リンパ節再発をきたした粘膜内癌と診断された直腸 LST 病変の 1 例
Intestine, 23(3): 263-266. 2019.
39. 松井信平, 秋吉高志, 山口智弘, 長壽寿矢, 藤本佳也, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資
肥満症例に対する腹腔鏡下手術: 肥満症例に対する腹腔鏡下直腸切除術の留意点と工夫
外科, 81(3): 245-249. 2019.
40. 永岡智之, 小西毅.
III 消化器疾患 C. 腸 14 大腸癌 b. 結腸進行癌. 消化器疾患最新の治療 2019-2020. (小池和彦, 山本博徳, 瀬戸泰之編), 東京: 南江堂, pp. 239-243. 2019.
41. 永岡智之, 小西毅, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資
膵・消化管神経内分泌腫瘍: 診断・治療の基本と最新動向
臨床外科, 74(9): 1066-1069. 2019.
42. 江本慎, 小西毅, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資
当直医必携! 「右下腹部痛」を極める: 腫瘍性疾患の治療: 右側結腸癌
臨床外科, 74(1): 65-69. 2019.
43. 池田篤志, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 長山聡, 上野雅資, 福長洋介, 佐野武, 小西毅
大腸手術における術前経口抗菌薬投与の是非: 腹腔鏡下大腸手術における予防的経口抗菌薬の是非 Cons の立場から
日本外科感染症学会雑誌, 16(4): 209-216. 2019.
44. 福長洋介, 上野雅資, 長山聡, 小西毅, 秋吉高志, 長壽寿矢, 山口智弘, 向井俊貴
先進施設に学ぶ! 進行直腸癌の治療方針: がん研有明病院大腸外科: 当院における進行直腸癌に対する治療
消化器外科, 42(8): 1161-1175. 2019.
45. 福長洋介, 齋藤彰一, 千野晶子, 為我井芳郎, 上野雅資, 長山聡, 小西毅, 秋吉高志, 長壽寿矢, 山口智弘, 向井俊貴, 五十嵐正広
消化器腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術 (LECS) up date: 胃粘膜下腫瘍以外に対する LECS: 大腸腫瘍に対する LECS
外科, 81(11): 1158-1164. 2019.

【肝胆膵外科】

1. Ichida, H., Mise, Y., Ito, H., Ishizawa, T., Inoue, Y., Takahashi, Y., Shinozaki, E., Yamaguchi, K., Saiura, A.
Optimal indication criteria for neoadjuvant chemotherapy in patients with resectable colorectal liver metastases
World J. Surg. Oncol., 17(1): 100. 2019.
2. Inoue, Y., Saiura, A., Oba, A., Kawakatsu, S., Ono, Y., Sato, T., Mise, Y., Ishizawa, T., Takahashi, Y., Ito, H.
Optimal extent of superior mesenteric artery dissection during pancreaticoduodenectomy for pancreatic cancer: Balancing surgical and oncological safety
J. Gastrointest. Surg., 23(7): 1373-1383. 2019.

3. Irie, S., Miyashita, M., Takahashi, Y., Ito, H. Open radical cholecystectomy with partial hepatectomy for gallbladder cancer *J. Med. Insight*: 279. 2019.
4. Ishizawa, T., Saiura, A. Fluorescence imaging for minimally invasive cancer surgery *Surg. Oncol. Clin. N. Am.*, 28(1): 45-60. 2019.
5. Matsuda, Y., Inoue, Y., Hiratsuka, M., Kawakatsu, S., Arai, T., Matsueda, K., Saiura, A., Takazawa, Y. Encapsulating fibrosis following neoadjuvant chemotherapy is correlated with outcomes in patients with pancreatic cancer *PLoS One*, 14(9): e0222155. 2019.
6. Mizuno, S., Kato, H., Yamaue, H., Fujii, T., Satoi, S., Saiura, A., Murakami, Y., Sho, M., Yamamoto, M., Isaji, S. Left-sided portal hypertension after pancreaticoduodenectomy with resection of the portal vein/superior mesenteric vein confluence in patients with pancreatic cancer: A project study by the Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery *Ann. Surg.*: in press. 2019.
7. Oba, A., Inoue, Y., Sato, T., Ono, Y., Mise, Y., Ito, H., Ishizawa, T., Takahashi, Y., Saiura, A. Impact of indocyanine green-fluorescence imaging on distal pancreatectomy with celiac axis resection combined with reconstruction of the left gastric artery *HPB (Oxford)*, 21(5): 619-625. 2019.
8. Oba, A., Ishizawa, T., Mise, Y., Inoue, Y., Ito, H., Ono, Y., Sato, T., Takahashi, Y., Saiura, A. Possible underestimation of blood loss during laparoscopic hepatectomy *BJS Open*, 3(3): 336-343. 2019.
9. Ono, Y., Tanaka, M., Matsueda, K., Hiratsuka, M., Takahashi, Y., Mise, Y., Inoue, Y., Sato, T., Ito, H., Saiura, A. Techniques for splenic vein reconstruction after pancreaticoduodenectomy with portal vein resection for pancreatic cancer *HPB (Oxford)*, 21(10): 1288-1294. 2019.
10. Osumi, H., Shinozaki, E., Takeda, Y., Wakatsuki, T., Ichimura, T., Saiura, A., Yamaguchi, K., Takahashi, S., Noda, T., Zembutsu, H. Clinical relevance of circulating tumor DNA assessed through deep sequencing in patients with metastatic colorectal cancer *Cancer Med.*, 8(1): 408-417. 2019.
11. Sanchez-Velazquez, P., Muller, X., Malleo, G., Park, J.S., Hwang, H.K., Napoli, N., Javed, A.A., Inoue, Y., Beghdadi, N., Kalisvaart, M., Viglia, E., Walsh, C.D., Lovasik, B., Busquets, J., Scandavini, C., Robin, F., Yoshitomi, H., Mackay, T.M., Busch, O.R., Hartog, H., Heinrich, S., Gleisner, A., Perinel, J., Passeri, M., Lluís, N., Raptis, D.A., Tschuor, C., Oberkofler, C.E., DeOliveira, M.L., Petrowsky, H., Martinie, J., Asbun, H., Adham, M., Schulick, R., Lang, H., Kokerkamp, B.G., Besselink, M.G., Han, H.S., Miyazaki, M., Ferrone, C.R., Fernandez-Del Castillo, C., Lillemoe, K.D., Sulpice, L., Boudjema, K., Del Chiaro, M., Fabregat, J., Kooby, D.A., Allen, P., Lavu, H., Yeo, C.J., Barroso, E., Roberts, K., Muiresan, P., Sauvaget, A., Saiura, A., Wolfgang, C.L., Cameron, J.L., Boggi, U., Yoon, D.S., Bassi, C., Puhan, M.A., Clavien, P.A. Benchmarks in pancreatic surgery: A novel tool for unbiased outcome comparisons *Ann. Surg.*, 270(2): 211-218. 2019.
12. Shindoh, J., Kobayashi, Y., Kinowaki, K., Mise, Y., Gono, W., Yoshida, S., Tani, K., Matoba, S., Kuroyanagi, H., Hashimoto, M. Dynamic changes in normal liver parenchymal volume during chemotherapy for colorectal cancer: Liver atrophy as an alter-

- nate marker of chemotherapy-associated liver injury
Ann. Surg. Oncol., 26(12): 4100-4107. 2019.
13. Takahashi, Y., Ito, H., Inoue, Y., Mise, Y., Ono, Y., Sato, T., Saiura, A.
Preoperative biliary drainage for patients with perihilar bile duct malignancy
J. Gastrointest. Surg.: in press. 2019.
 14. Tanaka, M., Ito, H., Ono, Y., Matsueda, K., Mise, Y., Ishizawa, T., Inoue, Y., Takahashi, Y., Hiratsuka, M., Unno, T., Saiura, A.
Impact of portal vein resection with splenic vein reconstruction after pancreatoduodenectomy on sinistral portal hypertension: Who needs reconstruction?
Surgery, 165(2): 291-297. 2019.
 15. 三瀬祥弘, 齋浦明夫.
IV 肝・胆・膵疾患 A. 肝 18 転移性肝癌.
消化器疾患最新の治療 2019-2020. (小池和彦, 山本博徳, 瀬戸泰之編), 東京: 南江堂, pp. 385-387. 2019.
 16. 三瀬祥弘
消化器疾患に対する機能温存・再建手術: 肝胆膵領域: 大腸癌肝転移に対する parenchymal-sparing hepatectomy
外科, 81(5): 517-521. 2019.
 17. 三瀬祥弘, 齋浦明夫
高度進行消化器癌に対する手術: 肝・胆・膵: 肝静脈再建を伴う肝切除
手術, 73(4): 531-539. 2019.
 18. 中川茂樹, 伊藤寛倫
高度技能専門医・指導医の書いたオペ記事: 右肝切除
臨床外科, 74(13): 1429-1434. 2019.
 19. 伊藤寛倫
肝胆膵領域のゲノム医療新時代 - 遺伝子パネルがやってきた! 胆道・胆汁を用いたゲノム解析
肝・胆・膵, 79(6): 1101-1103. 2019.
 20. 伊藤寛倫, 前佛均
胆汁を用いたリキッドバイオプシーの確立と胆管がん術前診断への応用
大和証券ヘルス財団研究業績集, (42): 42-46. 2019.
 21. 佐藤崇文, 齋浦明夫
新 手術記録の書き方: 肝臓の手術 / 肝細胞癌
開腹手術: 肝前区域切除術
消化器外科, 42(5): 708-712. 2019.
 22. 入江彰一, 井上陽介, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 高橋祐
ICG 蛍光法を用いた肝胆道外科手術: ICG 蛍光法を用いた腹腔鏡下肝葉切除術
手術, 73(10): 1417-1421. 2019.
 23. 田中真之, 小野嘉大, 井上陽介, 高橋祐, 三瀬祥弘, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 齋浦明夫
門脈圧亢進症の最新情報: 膵疾患と左側門脈圧亢進症: 脾静脈合併切除を伴う膵頭十二指腸切除術後の左側門脈圧亢進症の病態と予防
外科, 81(2): 138-141. 2019.
 24. 高橋祐, 齋浦明夫
誌上ディベート: 肝胆膵外科における controversial surgery: 三管合流部領域に画像上限局した胆管癌に対する手術: 拡大肝切除の立場から
手術, 73(3): 300-309, 299. 2019.
 25. 黒木直美, 三瀬祥弘, 大庭篤志, 高橋祐, 齋浦明夫
肝胆膵外科の臨床研究 update 2019: 大腸癌肝転移に対する術前術後補助療法
外科, 81(6): 629-635. 2019.
- 【乳腺内科】**
1. Iwata, H., Inoue, K., Kaneko, K., Ito, Y., Tsugawa, K., Hasegawa, A., Nakagawa, S., Kuratomi, H., Tamura, K.
Subgroup analysis of Japanese patients in a Phase 3 study of atezolizumab in advanced triple-negative breast cancer (IMpassion130)
Jpn. J. Clin. Oncol, 49(12): 1083-1091. 2019.

2. Kawaguchi, H., Masuda, N., Nakayama, T., Aogi, K., Anan, K., Ito, Y., Ohtani, S., Sato, N., Saji, S., Takano, T., Tokunaga, E., Nakamura, S., Hasegawa, Y., Hattori, M., Fujisawa, T., Morita, S., Yamaguchi, M., Yamashita, H., Yamashita, T., Yamamoto, Y., Yotsumoto, D., Toi, M., Ohno, S.
Factors associated with prolonged overall survival in patients with postmenopausal estrogen receptor-positive advanced breast cancer using real-world data: a follow-up analysis of the JBCRG-C06 Safari study
Breast Cancer: in press. 2019.
3. 五味直哉, 伊藤良則, 笹野公伸, 照屋なつき
TIL を伴った HER2 陽性乳癌に術前化学療法を施行し pCR が得られた 2 症例
Cancer Board of the Breast, 5(1): 5-17. 2019.
4. 五味直哉, 伊藤良則, 笹野公伸, 宮城由美
抗 HER2 療法に抵抗性を示した HER2 陽性乳癌
Cancer Board of the Breast, 5(2): 77-88. 2019.
5. 原文堅
誌上ディベート : n0 high-risk HER2 陽性乳癌の術後治療でトラスツズマブの投与は 1 年必要か : 「必要である」とする立場から
Cancer Board of the Breast, 5(2): 106-111. 2019.
6. 小林心
乳がん・婦人科がんの新しい標準治療 : HER2 陽性乳がん周術期治療の展望
腫瘍内科, 24(2): 108-113. 2019.
7. 小林心
逸脱症例から学ぶ : がん薬物療法 : 標準治療の実践 ! (第 3 章) 支持療法・緩和医療 : 心血管障害 (オンコカルディオロジー)
薬事, 61(10): 1868-1871. 2019.
8. 深田一平
がん遺伝子パネル検査の現状と展望 : がんゲノム医療推進に向けた厚生労働省の取組み

乳癌の臨床, 34(5): 373-384. 2019.

【乳腺外科】

1. Cardoso, F., Kyriakides, S., Ohno, S., Penault-Llorca, F., Poortmans, P., Rubio, I.T., Zackrisson, S., Senkus, E.
Early breast cancer: ESMO Clinical Practice Guidelines for diagnosis, treatment and follow-up
Ann. Oncol., 30(8): 1194-1220. 2019.
2. Honma, N., Makita, M., Saji, S., Mikami, T., Ogata, H., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S.
Characteristics of adverse events of endocrine therapies among older patients with breast cancer
Support. Care Cancer, 27(10): 3813-3822. 2019.
3. Ishiguro, H., Ohno, S., Yamamoto, Y., Takao, S., Sato, N., Fujisawa, T., Kadoya, T., Kuroi, K., Bando, H., Teramura, Y., Iwata, H., Tanaka, S., Toi, M.
Pharmacogenomic-pharmacokinetic study of selective estrogen-receptor modulators with intra-patient dose escalation in breast cancer
Breast Cancer, 26(5): 535-543. 2019.
4. Ito, H., Ueno, T., Suga, H., Shiraishi, T., Isaka, H., Imi, K., Miyamoto, K., Tada, M., Ishizaka, Y., Imoto, S.
Risk factors for skin flap necrosis in breast cancer patients treated with mastectomy followed by immediate breast reconstruction
World J. Surg., 43(3): 846-852. 2019.
5. Iwata, H., Masuda, N., Yamamoto, Y., Fujisawa, T., Toyama, T., Kashiwaba, M., Ohtani, S., Taira, N., Sakai, T., Hasegawa, Y., Nakamura, R., Akabane, H., Shibahara, Y., Sasano, H., Yamaguchi, T., Sakamaki, K., Bailey, H., Cherbavaz, D.B., Jakubowski, D.M., Sugiyama, N., Chao, C., Ohashi, Y.

- Validation of the 21-gene test as a predictor of clinical response to neoadjuvant hormonal therapy for ER+, HER2-negative breast cancer: the TransNEOS study
Breast Cancer Res. Treat., 173(1): 123-133. 2019.
6. Kawaguchi, H., Masuda, N., Nakayama, T., Aogi, K., Anan, K., Ito, Y., Ohtani, S., Sato, N., Saji, S., Takano, T., Tokunaga, E., Nakamura, S., Hasegawa, Y., Hattori, M., Fujisawa, T., Morita, S., Yamaguchi, M., Yamashita, H., Yamashita, T., Yamamoto, Y., Yotsumoto, D., Toi, M., Ohno, S.
Factors associated with prolonged overall survival in patients with postmenopausal estrogen receptor-positive advanced breast cancer using real-world data: a follow-up analysis of the JBCRG-C06 Safari study
Breast Cancer: in press. 2019.
 7. Lin, C.H., Yap, Y.S., Lee, K.H., Im, S.A., Naito, Y., Yeo, W., Ueno, T., Kwong, A., Li, H., Huang, S.M., Leung, R., Han, W., Tan, B., Hu, F.C., Huang, C.S., Cheng, A.L., Lu, Y.S.
Contrasting epidemiology and clinicopathology of female breast cancer in Asians versus the US population
J. Natl. Cancer Inst., 111(12): 1298-1306. 2019.
 8. Lin, C.H., Yap, Y.S., Lee, K.H., Yeo, W., Ueno, T., Li, H., Huang, S.M., Lu, Y.S.
Response to Sung, Rosenberg, and Yang
J. Natl. Cancer Inst.: in press. 2019.
 9. Masuda, N., Mukai, H., Inoue, K., Rai, Y., Ohno, S., Mori, Y., Hashigaki, S., Muramatsu, Y., Umeyama, Y., Iwata, H., Toi, M.
Correction to: Neutropenia management with palbociclib in Japanese patients with advanced breast cancer
Breast Cancer, 26(5): 651. 2019.
 10. Masuda, N., Mukai, H., Inoue, K., Rai, Y., Ohno, S., Mori, Y., Hashigaki, S., Muramatsu, Y., Umeyama, Y., Iwata, H., Toi, M.
Neutropenia management with palbociclib in Japanese patients with advanced breast cancer
Breast Cancer, 26(5): 637-650. 2019.
 11. Masuda, N., Inoue, K., Nakamura, R., Rai, Y., Mukai, H., Ohno, S., Hara, F., Mori, Y., Hashigaki, S., Muramatsu, Y., Nagasawa, T., Umeyama, Y., Huang, X., Iwata, H.
Palbociclib in combination with fulvestrant in patients with hormone receptor-positive, human epidermal growth factor receptor 2-negative advanced breast cancer: PALOMA-3 subgroup analysis of Japanese patients
Int. J. Clin. Oncol., 24(3): 262-273. 2019.
 12. Miyoshi, Y., Shien, T., Ogiya, A., Ishida, N., Yamazaki, K., Horii, R., Horimoto, Y., Masuda, N., Yasojima, H., Inao, T., Osako, T., Takahashi, M., Tomioka, N., Wanifuchi-Endo, Y., Hosoda, M., Doihara, H., Yamashita, H.
Associations in tumor infiltrating lymphocytes between clinicopathological factors and clinical outcomes in estrogen receptor-positive/human epidermal growth factor receptor type 2 negative breast cancer
Oncol. Lett., 17(2): 2177-2186. 2019.
 13. Mukai, H., Shimizu, C., Masuda, N., Ohtani, S., Ohno, S., Takahashi, M., Yamamoto, Y., Nishimura, R., Sato, N., Ohsumi, S., Iwata, H., Mori, Y., Hashigaki, S., Muramatsu, Y., Nagasawa, T., Umeyama, Y., Lu, D.R., Toi, M.
Palbociclib in combination with letrozole in patients with estrogen receptor-positive, human epidermal growth factor receptor 2-negative advanced breast cancer: PALOMA-2 subgroup analysis of Japanese patients
Int. J. Clin. Oncol., 24(3): 274-287. 2019.
 14. Ohno, S., Mukai, H., Narui, K., Hozumi, Y., Miyoshi, Y., Yoshino, H., Doihara, H., Suto, A., Tamura, M., Morimoto, T., Zaha, H., Chishima, T., Nishimura, R., Ishikawa, T.,

- Uemura, Y., Ohashi, Y.
Participants in a randomized controlled trial had longer overall survival than non-participants: a prospective cohort study
Breast Cancer Res. Treat., 176(3): 631-635. 2019.
15. Ozkurt, E., Sakai, T., Wong, S.M., Tukenmez, M., Golshan, M.
Survival outcomes for patients with clinical complete response after neoadjuvant chemotherapy: Is omitting surgery an option?
Ann. Surg. Oncol., 26(10): 3260-3268. 2019.
 16. Robertson, J.F.R., Jiang, Z., Di Leo, A., Ohno, S., Pritchard, K.I., Ellis, M., Bradbury, I., Campbell, C.
A meta-analysis of clinical benefit rates for fulvestrant 500 mg vs. alternative endocrine therapies for hormone receptor-positive advanced breast cancer
Breast Cancer, 26(6): 703-711. 2019.
 17. Sagawa, N., Ohno, S., Hiratsuka, T., Kondo, N., Iwata, H., Bando, H., Ohyama, T., Ishida, M., Kono, Y., Nakajima, K., Empuku, S., Nishikawa, S., Irie, Y., Inomata, M., Kitano, S.
The utility of DHL-HisZnNa, a novel antioxidant, against anticancer agent-induced alopecia in breast cancer patients: a multicenter phase II clinical trial
Breast Cancer Res. Treat., 176(3): 625-630. 2019.
 18. Sato, A., Sakai, T., Iwase, T., Kano, F., Kimura, K., Ogiya, A., Koizumi, M., Tanabe, M., Horii, R., Akiyama, F., Ueno, T., Ohno, S.
Altered lymphatic drainage patterns in re-operative sentinel lymph node biopsy for ipsilateral breast tumor recurrence
Radiat. Oncol., 14(1): 159. 2019.
 19. Sato, N., Masuda, N., Morimoto, T., Ueno, T., Kanbayashi, C., Kaneko, K., Yasojima, H., Saji, S., Sasano, H., Morita, S., Ohno, S., Toi, M.
Neoadjuvant exemestane or exemestane plus docetaxel and cyclophosphamide tailored by clinicopathological response to 12 weeks' exemestane exposure in patients with estrogen receptor-positive breast cancer: A multicenter, open-label, phase II study
Cancer Med., 8(12): 5468-5481. 2019.
 20. Shimada, S., Yoshida, R., Nakashima, E., Kitagawa, D., Gomi, N., Horii, R., Takeuchi, S., Ashihara, Y., Kita, M., Akiyama, F., Ohno, S., Saito, M., Arai, M.
Five screening-detected breast cancer cases in initially disease-free BRCA1 or BRCA2 mutation carriers
Breast Cancer, 26(6): 846-851. 2019.
 21. Ueno, T., Saji, S., Masuda, N., Iwata, H., Kuroi, K., Sato, N., Takei, H., Yamamoto, Y., Ohno, S., Yamashita, H., Hisamatsu, K., Aogi, K., Sasano, H., Toi, M.
Changes in Recurrence Score by neoadjuvant endocrine therapy of breast cancer and their prognostic implication
ESMO Open, 4(1): e000476. 2019.
 22. Ueno, T., Masuda, N., Kamigaki, S., Morimoto, T., Saji, S., Imoto, S., Sasano, H., Toi, M.
Differential involvement of autophagy and apoptosis in response to chemoendocrine and endocrine therapy in breast cancer: JBCRG-07TR
Int. J. Mol. Sci., 20(4): Pii:E984. 2019.
 23. Ueno, T., Masuda, N., Sato, N., Ohtani, S., Yamamura, J., Matsunami, N., Kashiwaba, M., Takano, T., Takahashi, M., Kaneko, K., Ohno, S., Morita, S., Toi, M.
Multicenter study of primary systemic therapy with docetaxel, cyclophosphamide and trastuzumab for HER2-positive operable breast cancer: the JBCRG-10 study
Jpn. J. Clin. Oncol., 50(1): 3-11. 2019.

24. Yeo, W., Ueno, T., Lin, C.H., Liu, Q., Lee, K.H., Leung, R., Naito, Y., Park, Y.H., Im, S.A., Li, H., Yap, Y.S., Lu, Y.S.
Treating HR+/HER2- breast cancer in premenopausal Asian women: Asian Breast Cancer Cooperative Group 2019 Consensus and position on ovarian suppression
Breast Cancer Res. Treat., 177(3): 549-559. 2019.
25. Yonekura, R., Horii, R., Iwase, T., Gomi, N., Kitagawa, M., Akiyama, F., Ohno, S.
A diagnostic strategy for breast calcifications based on a long-term follow-up of 615 lesions
Jpn. J. Radiol., 37(3): 237-244. 2019.
26. Yonekura, R., Osako, T., Iwase, T., Ogiya, A., Ueno, T., Kitagawa, M., Ohno, S., Akiyama, F.
Prognostic impact and possible pathogenesis of lymph node metastasis in ductal carcinoma in situ of the breast
Breast Cancer Res. Treat., 174(1): 103-111. 2019.
27. 上野貴之
これだけは押さえておきたいがん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート2019・2020年版：分子標的薬：HER：トラスツズマブエムタンシン
YORi-SOUがんナーシング，(別冊)：46-47. 2019.
28. 上野貴之
これだけは押さえておきたいがん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート2019・2020年版：分子標的薬：HER：ペルツズマブ(遺伝子組換え)
YORi-SOUがんナーシング，(別冊)：48-49. 2019.
29. 五味直哉，伊藤良則，笹野公伸，照屋なつき
TILを伴ったHER2陽性乳癌に術前化学療法を施行しpCRが得られた2症例
Cancer Board of the Breast, 5(1): 5-17. 2019.
30. 五味直哉，伊藤良則，笹野公伸，宮城由美
抗HER2療法に抵抗性を示したHER2陽性乳癌
Cancer Board of the Breast, 5(2): 77-88. 2019.
31. 北川大
乳癌カレントトピックス：HBOCの初期治療において考慮すべきポイント
Cancer Board of the Breast, 5(2): 118-120. 2019.
32. 國分優美，堀井理絵，加藤千絵子，富樫保行，宮城由美，松枝清
乳癌の診断と治療：診断：所見別鑑別診断 腫瘍：超音波検査
臨床放射線，64(4): 353-361. 2019.
33. 大野真司
乳癌診療の現状
Medical Science Digest, 45(8): 449-451. 2019.
34. 植弘奈津恵
臓器とドレーンの位置関係 & Drの視点がまるわかり：決定版！ドレーン管理の必須知識 看護のためのドレーンアトラス：(Part2) 位置別アトラス：前胸部皮下(乳がん術後)ナーシング，39(11): 15. 2019.
35. 高橋洋子
乳癌の診断と治療：診断：乳癌 DCISの画像診断：マンモグラフィ
臨床放射線，64(4): 423-430. 2019.

【婦人科】

1. Bun, S., Yunokawa, M., Ebata, T., Kobayashi Kato, M., Shimoi, T., Kato, T., Tamura, K.
Feasibility of initial treatment in elderly patients with ovarian cancer in Japan: a retrospective study
Int. J. Clin. Oncol., 24(9): 1111-1118. 2019.

2. Chang, E.J., Mandelbaum, R.S., Nusbaum, D.J., Violette, C.J., Matsushima, K., Klar, M., Matsuzaki, S., Machida, H., Kanao, H., Roman, L.D., Matsuo, K.
Vesico-ureteral injury during benign hysterectomy: minimally-invasive laparoscopic surgery versus laparotomy
J. Minim. Invasive Gynecol.: in press. 2019.
3. Enomoto, T., Aoki, D., Hattori, K., Jinushi, M., Kigawa, J., Takeshima, N., Tsuda, H., Watanabe, Y., Yoshihara, K., Sugiyama, T.
The first Japanese nationwide multicenter study of BRCA mutation testing in ovarian cancer: CHARacterizing the cross-sectional approach to Ovarian cancer geneTic TEsting of BRCA (CHARLOTTE)
Int. J. Gynecol. Cancer, 29(6): 1043-1049. 2019.
4. Goto, O., Sugiyama, Y., Takazawa, Y., Kato, K., Tanaka, N., Omatsu, K., Takeshima, N., Nomura, H., Hasegawa, K., Fujiwara, K., Taki, M., Matsumura, N., Noda, T., Mori, S.
Clinically relevant molecular subtypes and genomic alteration-independent differentiation in gynecologic carcinosarcoma
Nat. Commun., 10(1): 4965. 2019.
5. Kanao, H., Matsuo, K., Aoki, Y., Tanigawa, T., Nomura, H., Okamoto, S., Takeshima, N.
Feasibility and outcome of total laparoscopic radical hysterectomy with no-look no-touch technique for FIGO IB1 cervical cancer
J. Gynecol. Oncol., 30(3): e71. 2019.
6. Kanao, H., Hisa, T., Omi, M., Nagashima, M., Okamoto, S., Aoki, Y., Tanigawa, T., Matoda, M., Okamoto, S., Nomura, H., Omatsu, K., Kato, K., Utsugi, K., Takeshima, N.
Laparoscopic anterior pelvic exenteration with super radical parametrectomy for a recurrent low grade endometrial sarcoma that is resistant to hormone therapy and chemotherapy
J. Minim. Invasive Gynecol., 26(1): 34-35. 2019.
7. Kanao, H., Omi, M., Takeshima, N.
Laparoscopic mesh repair for perineal hernia after en bloc resection of an aggressive angiomyxoma using a modified sacral-colpopexy technique
J. Minim. Invasive Gynecol.: in press. 2019.
8. Kanao, H., Takeshima, N.
Laparoscopic pelvic exenteration for recurrent cervical cancer.
Surgery for Gynecologic Cancer. (M. Mikami, Ed.), Singapore: Springer, pp. 209-235. 2019.
9. Kato, K., Omi, M., Fusegi, A., Takeshima, N.
Modified posterior pelvic exenteration with pelvic side-wall resection requiring both intestinal and urinary reconstruction during surgery for ovarian cancer
Gynecol. Oncol., 155(1): 172-173. 2019.
10. Kobayashi-Kato, M., Yunokawa, M., Bun, S., Miyasaka, N., Kato, T., Tamura, K.
Platinum-free interval affects efficacy of following treatment for platinum-refractory or -resistant ovarian cancer
Cancer Chemother. Pharmacol., 84(1): 33-39. 2019.
11. Komiyama, S., Kato, K., Inokuchi, Y., Takano, H., Matsumoto, T., Hongo, A., Asai-Sato, M., Arakawa, A., Kamiura, S., Tabata, T., Takeshima, N., Sugiyama, T.
Bevacizumab combined with platinum-taxane chemotherapy as first-line treatment for advanced ovarian cancer: a prospective observational study of safety and efficacy in Japanese patients (JGOG3022 trial)
Int. J. Clin. Oncol., 24(1): 103-114. 2019.
12. Lee, C.L., Huang, K.G., Nam, J.H., Lim, P.C., Shun, F.W.W., Lee, K.W., Kanao, H., Aoki, Y., Takeshima, N., Hadisaputra, W., Liang, Z., Supakarapongkul, W., Wang, K.L.

- The statement of the Asia-Pacific Association for Gynecologic Endoscopy and Minimally Invasive Therapy for LACC Study
Gynecol. Minim. Invasive Ther., 8(3): 91-93. 2019.
13. Matsumoto, K., Yaegashi, N., Iwata, T., Yamamoto, K., Aoki, Y., Okadome, M., Ushijima, K., Kamiura, S., Takehara, K., Horie, K., Tasaka, N., Sonoda, K., Takei, Y., Aoki, Y., Konnai, K., Katabuchi, H., Nakamura, K., Ishikawa, M., Watari, H., Yoshida, H., Matsumura, N., Nakai, H., Shigeta, S., Takahashi, F., Noda, K., Yoshikawa, H.
Reduction in HPV16/18 prevalence among young women with high-grade cervical lesions following the Japanese HPV vaccination program
Cancer Sci., 110(12): 3811-3820. 2019.
 14. Matsuo, K., Shimada, M., Yamaguchi, S., Matoda, M., Nakanishi, T., Kikkawa, F., Ohmichi, M., Okamoto, A., Sugiyama, T., Mikami, M.
Association of radical hysterectomy surgical volume and survival for early-stage cervical cancer
Obstet. Gynecol., 133(6): 1086-1098. 2019.
 15. Matsuo, K., Ross, M.S., Yunokawa, M., Johnson, M.S., Machida, H., Omatsu, K., Klobocista, M.M., Im, D.D., Satoh, S., Baba, T., Ikeda, Y., Bush, S.H., Hasegawa, K., Blake, E.A., Takekuma, M., Shida, M., Nishimura, M., Adachi, S., Pejovic, T., Takeuchi, S., Yokoyama, T., Ueda, Y., Iwasaki, K., Miyake, T.M., Yanai, S., Nagano, T., Takano, T., Shahzad, M.M., Ueland, F.R., Kelley, J.L., Roman, L.D.
Tumor characteristics and outcome of uterine carcinosarcoma in women aged ≥ 80 years
Surg. Oncol., 29: 25-32. 2019.
 16. Nishio, S., Matsuo, K., Shibata, T., Yamaguchi, S., Kanao, H., Takehara, K., Kado, N., Tozawa, A., Tokunaga, H., Matsunaga, T., Kato, H., Horie, K., Kikuchi, A., Enomoto, T., Mikami, M.
Changes in the clinicopathological demographics of vulvar cancer in Japan: Increasing oldest-old, stage shifting, and decreasing cohort-level survival
J. Clin. Med., 8(12): pii: E2081. 2019.
 17. Nomura, H., Sekine, M., Yokoyama, S., Arai, M., Enomoto, T., Takeshima, N., Nakamura, S.
Clinical background and outcomes of risk-reducing salpingo-oophorectomy for hereditary breast and ovarian cancers in Japan
Int. J. Clin. Oncol., 24(9): 1105-1110. 2019.
 18. Nomura, H., Sugiyama, Y., Ito, T., Furuta, N., Komatsu, K., Takazawa, Y., Aoki, Y., Tanigawa, T., Matoda, M., Okamoto, S., Kanao, H., Omatsu, K., Kato, K., Utsugi, K., Takeshima, N.
Clinical management of the status of atypical endometrial cells using the descriptive reporting format for endometrial cytology
Cytopathology, 30(2): 209-214. 2019.
 19. Nomura, H., Aoki, D., Michimae, H., Mizuno, M., Nakai, H., Arai, M., Sasagawa, M., Ushijima, K., Sugiyama, T., Saito, M., Tokunaga, H., Matoda, M., Nakanishi, T., Watanabe, Y., Takahashi, F., Saito, T., Yaegashi, N.
Effect of taxane plus platinum regimens vs doxorubicin plus cisplatin as adjuvant chemotherapy for endometrial cancer at a high risk of progression: A randomized clinical trial
JAMA Oncol., 5(6): 759-917. 2019.
 20. Takahashi, K., Yunokawa, M., Sasada, S., Takehara, Y., Miyasaka, N., Kato, T., Tamura, K.
A novel prediction score for predicting the baseline risk of recurrence of stage I-II en-

- dometrial carcinoma
J. Gynecol. Oncol., 30(1): e8. 2019.
21. Tanaka, Y.O., Takazawa, Y., Matsuura, M., Omatsu, K., Takeshima, N., Matsueda, K.
MR imaging of secondary massive ovarian edema caused by ovarian metastasis from appendiceal adenocarcinoma
Magn. Reson. Med. Sci., 18(2): 111-112. 2019.
 22. Yunokawa, M., Sasada, S., Takehara, Y., Takahashi, K., Shimoi, T., Yonemori, K., Ishikawa, M., Kato, T., Tamura, K.
Real-world data on initial treatment strategies for older adult patients with endometrial cancer in Japan
Cancer Chemother. Pharmacol., 84(5): 1051-1058. 2019.
 23. 宇津木久仁子
分葉状頸管腺過形成とその周辺疾患
埼玉県臨床細胞学会誌, 37: 5-10. 2019.
 24. 宇津木久仁子監修
リンパ浮腫のことがよくわかる本. 東京: 講談社. 102p., 2019,
 25. 尾身牧子, 青木洋一, 一瀬隆行, 板橋彩, 中林誠, 太田絵美, 西村宙起, 金尾祐之, 加藤一喜, 竹島信宏
妊孕性温存手術と化学療法後に自然妊娠した未熟奇形腫の一例: がん専門病院からの報告
日本がん・生殖医療学会誌, 2(1): 27-30. 2019.
 26. 温泉川真由
どうする再発婦人科がん: 卵巣癌プラチナ抵抗性再発
産科と婦人科, 86(10): 1189-1194. 2019.
 27. 温泉川真由
乳がん・婦人科がんの新しい標準治療: 卵巣がんにおける PARP 阻害薬の位置づけ
腫瘍内科, 24(2): 149-157. 2019.
 28. 的田真紀, 尾松公平, 竹島信宏
広汎子宮全摘術のすべて: 広汎子宮全摘術の実際: がん研有明病院
産科と婦人科, 86(6): 721-724. 2019.
 29. 西村宙起, 宇津木久仁子, 杉原武, 久毅, 岡本三四郎, 杉山裕子, 高澤豊, 竹島信宏
胆管癌子宮転移の1例
日本臨床細胞学会雑誌, 58(4): 167-171. 2019.
 30. 谷川輝美, 的田真紀, 尾身牧子, 板橋彩, 中林誠, 西村宙起, 尾松公平, 竹島信宏
鑑別に苦慮し腹腔鏡手術にて確定診断を行った内鼠径リンパ節炎の1例
東京産科婦人科学会誌, 68(2): 273-276. 2019.
 31. 野村秀高, 竹島信宏
婦人科系がん: 標準治療と先進医療: 標準治療: 早期子宮頸がんに対する腹腔鏡下広汎子宮全摘術
ライフライン 21 がんの先進医療, 33: 18-21. 2019.
 32. 野村秀高, 吉田玲子, 高澤豊, 竹島信宏
臨床経験: 当院で BRCA1/2 変異陽性者に対してリスク低減卵管卵巣摘出術を施行した 61 例の臨床病理学的検討
産婦人科の実際, 68(3): 315-321. 2019.
 33. 金尾祐之, 板橋彩, 竹島信宏, 三上幹男, 寺尾泰久, 田中京子, 鎌田泰彦, 近藤英治
ロボット支援下手術の導入時に留意すべきポイント
産婦人科手術, (30): 95-101. 2019.

【頭頸科】

1. Nakano, K., Seto, A., Sasaki, T., Shimbashi, W., Fukushima, H., Yonekawa, H., Mitani, H., Takahashi, S.
Incidence and risk factors of interstitial lung disease of patients with head and neck cancer treated with cetuximab
Head Neck, 41(8): 2574-2580. 2019.

2. Nakano, K., Seto, A., Sasaki, T., Shimbashi, W., Fukushima, H., Yonekawa, H., Mitani, H., Takahashi, S.
Predictive factors for completion of TPF induction chemotherapy in patients with locally advanced head and neck cancer
Anticancer Res., 39(8): 4337-4342. 2019.
 3. Ozkurt, E., Sakai, T., Wong, S.M., Tukenmez, M., Golshan, M.
Survival outcomes for patients with clinical complete response after neoadjuvant chemotherapy: Is omitting surgery an option?
Ann. Surg. Oncol., 26(10): 3260-3268. 2019.
 4. Sakai, T., Sugitani, I., Ebina, A., Fukuoka, O., Toda, K., Mitani, H., Yamada, K.
Active surveillance for T1bN0M0 papillary thyroid carcinoma
Thyroid, 29(1): 59-63. 2019.
 5. Tomioka, T., Beppu, T., Fujii, T., Ozawa, T., Asakage, T., Onitsuka, T., Fujimoto, Y., Matsuura, K., Kawabata, K., Hayashi, R.
Surgical management around the paratracheal area of hypopharyngeal cancer
Jpn. J. Clin. Oncol., 49(5): 452-457. 2019.
 6. マーシャル祥子, 仲野兼司, 平良眞一郎, 小野麻紀子, 友松純一, 新橋渉, 佐々木徹, 福島啓文, 米川博之, 三谷浩樹, 高橋俊二
再発 / 転位頭頸部扁平上皮癌に対する, セツキシマブ, プラチナ製剤およびフルオロウラシルの治療成績について
頭頸部癌, 45(3): 294-299. 2019.
 7. 三谷浩樹
救急・当直マニュアル: いざというときの対応法: 当直での術後急変への対応: 皮弁壊死
耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 91(5): 350-353. 2019.
 8. 新橋渉
私はこうしている: 口腔咽喉頭頸部手術編: 頸部・甲状腺・食道手術: 根治的頸部郭清術
JOHNS, 35(9): 1287-1289. 2019.
 9. 日高竜太, 三谷浩樹
ここまで来た! 頭頸部希少癌の治療戦略: 嗅神経芽細胞腫
耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 91(2): 110-115. 2019.
 10. 日高竜太
新知見を知って看護力もUP! 先生! ホントのところ教えてください! 診療報酬: 診療報酬改定からみるこれからの手術看護 < 後編 > 診療科をまたいだ手術看護: 頭頸部がんの連携手術 (耳鼻科と形成外科): キーワードは時短
オペナーシング, 34(11): 1160-1165. 2019.
 11. 福島啓文
私はこうしている: 口腔咽喉頭頸部手術編: 喉頭・気管手術: 気道食道シャント術
JOHNS, 35(9): 1219-1222. 2019.
 12. 福島啓文, 黒瀬誠
頭頸部癌患者を取り巻く最近の話題、代替発声法などについて: 代替発声法には大きくわけて3つの方法がある。最近はプロヴォックスによるシャント発声が増えている
日本医事新報, (4975): 49. 2019.
- 【整形外科】**
1. Ae, K.
The safety margin analysis based on the surgical margin registration in Japan
Modern Surgical Challenges for Musculoskeletal Sarcoma, 21: 150-155. 2019.
 2. Funauchi, Y., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Kito, M., Minami, Y., Sumi, Y., Machinami, R., Sugiyara, Y., Hiruta, N., Sugano, N.
A 78-year-old male, undifferentiated pleomorphic sarcoma of the left lower extremity
Modern Surgical Challenges for Musculoskeletal Sarcoma, 21: 13-21. 2019.
 3. Gokita, T., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Funauchi, Y., Hayakawa, K., Minami, Y., Kito, M., Sumi, Y., Motoi, N., Kanda, H., Machinami, R., Hiruta, N.

- A 25-year-old male, undifferentiated pleomorphic sarcoma of the left humerus
Modern Surgical Challenges for Musculoskeletal Sarcoma, 21: 118-128. 2019.
4. Hayakawa, K., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Funauuchi, Y., Minami, Y., Sumi, Y., Machinami, R., Sugiura, Y., Hiruta, N.
A 36 year-old male, osteosarcoma of the right distal ulna
Modern Surgical Challenges for Musculoskeletal Sarcoma, 21: 2-12. 2019.
 5. Katsumoto, S., Maru, M., Yonemoto, T., Maeda, R., Ae, K., Matsumoto, S.
Uncertainty in young adult survivors of childhood and adolescent cancer with lower-extremity bone tumors in Japan
J. Adolesc. Young Adult Oncol., 8(3): 291-296. 2019.
 6. Kawaguchi, K., Nakano, K., Urasaki, T., Fukuda, N., Taira, S., Ono, M., Tomomatsu, J., Nishizawa, M., Ae, K., Matsumoto, S., Takahashi, S.
Retrospective analysis of trabectedin therapy for soft tissue sarcoma
In Vivo, 33(5): 1609-1614. 2019.
 7. Kito, M., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Funauuchi, Y., Minami, Y., Sumi, Y., Machinami, R., Sugiura, Y., Hiruta, N., Sugano, N.
A 79-year-old male, undifferentiated pleomorphic sarcoma of the right upper arm
Modern Surgical Challenges for Musculoskeletal Sarcoma, 21: 129-138. 2019.
 8. Kito, M., Ae, K., Koyanagi, H., Gokita, T., Furuoka, H., Okamoto, M., Tanaka, A., Suzuki, S., Takazawa, A., Aoki, K., Yoshimura, Y.
Risk factor for wound complications following wide resection of soft tissue sarcoma in the adductor compartment of the thigh
Jpn. J. Clin. Oncol., 49(10): 932-937. 2019.
 9. Koike, H., Nishida, Y., Kohno, K., Shimoyama, Y., Motoi, T., Hamada, S., Kawai, A., Ogose, A., Ozaki, T., Kunisada, T., Matsumoto, Y., Matsunobu, T., Ae, K., Gokita, T., Sakai, T., Shimizu, K., Ishiguro, N.
Is immunohistochemical staining for β -catenin the definitive pathological diagnostic tool for desmoid-type fibromatosis?: a multi-institutional study
Hum. Pathol., 84: 155-163. 2019.
 10. Minami, Y., Matsumoto, S., Ae, K., Sugiura, Y.
An unusual local invasion of synovial sarcoma
Oxf. Med. Case Reports, 2019(4): omz024. 2019.
 11. Nakano, K., Ae, K., Matsumoto, S., Takahashi, S.
Retrospective analysis of treatment patterns among recurrent/metastatic soft tissue sarcoma patients who consulted medical oncologists in Japan
J. Orthop. Sci., 24(6): 1081-1087. 2019.
 12. Nishida, Y., Kawai, A., Toguchida, J., Ogose, A., Ae, K., Kunisada, T., Matsumoto, Y., Matsunobu, T., Takahashi, K., Nishida, K., Ozaki, T.
Clinical features and treatment outcome of desmoid-type fibromatosis: based on a bone and soft tissue tumor registry in Japan
Int. J. Clin. Oncol., 24(11): 1498-1505. 2019.
 13. Sekimizu, M., Yoshida, A., Mitani, S., Asano, N., Hirata, M., Kubo, T., Yamazaki, F., Sakamoto, H., Kato, M., Makise, N., Mori, T., Yamazaki, N., Sekine, S., Oda, I., Watanabe, S.I., Hiraga, H., Yonemoto, T., Kawamoto, T., Naka, N., Funauuchi, Y., Nishida, Y., Honoki, K., Kawano, H., Tsuchiya, H., Kunisada, T., Matsuda, K., Inagaki, K., Kawai, A., Ichikawa, H.

- Frequent mutations of genes encoding vacuolar H⁺-ATPase components in granular cell tumors
Genes Chromosomes Cancer, 58(6): 373-380. 2019.
14. Tanaka, K., Mizusawa, J., Naka, N., Kawai, A., Katagiri, H., Hiruma, T., Matsumoto, Y., Tsuchiya, H., Nakayama, R., Hatano, H., Emori, M., Watanuki, M., Yoshida, Y., Okamoto, T., Abe, S., Asanuma, K., Yokoyama, R., Hiraga, H., Yonemoto, T., Morii, T., Ae, K., Nagano, A., Yoshikawa, H., Fukuda, H., Ozaki, T., Iwamoto, Y.
Ten-year follow-up results of perioperative chemotherapy with doxorubicin and ifosfamide for high-grade soft-tissue sarcoma of the extremities: Japan Clinical Oncology Group study JCOG0304
BMC Cancer, 19(1): 890. 2019.
15. Tanizawa, T.
Follow-up study of case previously presented at this forum
Modern Surgical Challenges for Musculoskeletal Sarcoma, 21: 140-148. 2019.
16. Teramura, Y., Yamazaki, Y., Tanaka, M., Sugiura, Y., Takazawa, Y., Takeuchi, K., Nakayama, T., Kaneko, T., Musha, Y., Funouchi, Y., Ae, K., Matsumoto, S., Nakamura, T.
Case of mesenchymal tumor with the PPP6R3-USP6 fusion, possible nodular fasciitis with malignant transformation
Pathol. Int., 69(12): 706-709. 2019.
17. Tsuda, Y., Hirata, M., Katayama, K., Motoi, T., Matsubara, D., Oda, Y., Fujita, M., Kobayashi, H., Kawano, H., Nishida, Y., Sakai, T., Okuma, T., Goto, T., Ogura, K., Kawai, A., Ae, K., Anazawa, U., Suehara, Y., Iwata, S., Miyano, S., Imoto, S., Shibata, T., Nakagawa, H., Yamaguchi, R., Tanaka, S., Matsuda, K.
Massively parallel sequencing of tenosynovial giant cell tumors reveals novel CSF1 fusion transcripts and novel somatic CBL mutations
Int. J. Cancer, 145(12): 3276-3284. 2019.
18. 寺村易予, 植野映子, 阿江啓介, 松枝清
骨・軟部腫瘍の鑑別診断のポイント: (第1章)
骨腫瘍: 悪性骨腫瘍の所見
画像診断, 39(4): S58-S63. 2019.
19. 日本放射線腫瘍学会, 日本小児血液・がん学会編
小児・AYA 世代の腫瘍に対する陽子線治療診療ガイドライン. 金原出版. 89p., 2019,
20. 蛭田啓之, 杉浦善弥, 阿江啓介, 稲岡努
骨・軟部腫瘍の鑑別診断のポイント: (第1章)
骨腫瘍: 類骨形成を来す腫瘍と骨肉腫の亜型の鑑別
画像診断, 39(4): S10-S21. 2019.
21. 阿江啓介.
第4章 腫瘍: 骨腫瘍: 骨肉腫・Ewing 肉腫・骨嚢腫・線維性骨異形成.
整形外科診療のためのガイドライン 活用術. (大川淳, 平田仁編集), 東京: 中山書店. 2019.

【泌尿器科】

1. Dudani, S., Graham, J., Wells, J.C., Bakouny, Z., Pal, S.K., Dizman, N., Donskov, F., Porta, C., de Velasco, G., Hansen, A., Iafolla, M., Beuselinck, B., Vaishampayan, U.N., Wood, L.A., Liow, E., Yan, F., Yuasa, T., Bjarnason, G.A., Choueiri, T.K., Heng, D.Y.C.
First-line immuno-oncology combination therapies in metastatic renal-cell carcinoma: Results from the International Metastatic Renal-cell Carcinoma Database Consortium
Eur. Urol., 76(6): 861-867. 2019.
2. Fujiwara, R., Numao, N., Ishikawa, Y., Inoue, T., Ogawa, M., Masuda, H., Yuasa, T., Yamamoto, S., Fukui, I., Yonese, J.
Incidence and predictors of deep vein thrombosis in patients with elevated serum D-dimer prior to surgery for urologic malignancy

- Urol. Int., 104(1-2): 1-6. 2019.
3. Imaizumi, K., Tsukada, Y., Komai, Y., Nomura, S., Ikeda, K., Nishizawa, Y., Sasaki, T., Taketomi, A., Ito, M.
Prediction of urinary retention after surgery for rectal cancer using voiding efficiency in the 24 h following Foley catheter removal
Int. J. Colorectal Dis., 34(8): 1431-1443. 2019.
 4. Inamura, K., Amori, G., Yuasa, T., Yamamoto, S., Yonese, J., Ishikawa, Y.
Relationship of B7-H3 expression in tumor cells and tumor vasculature with FOXP3+ regulatory T cells in renal cell carcinoma
Cancer Manag. Res., 11: 7021-7030. 2019.
 5. Isono, T., Chano, T., Yoshida, T., Makino, A., Ishida, S., Suzaki, M., Kageyama, S., Kawauchi, A., Yonese, J., Yuasa, T.
ADP-ribosylation factor-like 4C is a predictive biomarker of poor prognosis in patients with renal cell carcinoma
Am. J. Cancer Res., 9(2): 415-423. 2019.
 6. Kobayashi, M., Tanaka, H., Tateishi, U., Numao, N., Yonese, J., Ito, M., Koga, F., Fukushima, H., Uehara, S., Yoshida, S., Yokoyama, M., Ishioka, J., Matsuoka, Y., Saito, K., Kihara, K., Fujii, Y.
Impact of fluorodeoxyglucose uptake on positron emission tomography/computed tomography on chemosensitivity and survival in patients with metastatic urothelial carcinoma
Int. J. Urol., 26(8): 820-826. 2019.
 7. Stukalin, I., Wells, J.C., Graham, J., Yuasa, T., Beuselinck, B., Kollmansberger, C., Ernst, D.S., Agarwal, N., Le, T., Donskov, F., Hansen, A.R., Bjarnason, G.A., Srinivas, S., Wood, L.A., Alva, A.S., Kanesvaran, R., Fu, S.Y.F., Davis, I.D., Choueiri, T.K., Heng, D.Y.C.
Real-world outcomes of nivolumab and cabozantinib in metastatic renal cell carcinoma: results from the International Metastatic Renal Cell Carcinoma Database Consortium
Curr. Oncol., 26(2): e175-e179. 2019.
 8. Tomita, Y., Fukasawa, S., Shinohara, N., Kitamura, H., Oya, M., Eto, M., Tanabe, K., Saito, M., Kimura, G., Yonese, J., Yao, M., Uemura, H.
Nivolumab versus everolimus in advanced renal cell carcinoma: Japanese subgroup 3-year follow-up analysis from the Phase III CheckMate 025 study
Jpn. J. Clin. Oncol., 49(6): 506-514. 2019.
 9. Uemura, H., Uemura, H., Nagamori, S., Wakumoto, Y., Kimura, G., Kikukawa, H., Yokomizo, A., Mizokami, A., Kosaka, T., Masumori, N., Kawasaki, Y., Yonese, J., Nasu, Y., Fukasawa, S., Sugiyama, T., Kinuya, S., Hosono, M., Yamaguchi, I., Akagawa, T., Matsubara, N.
Three-year follow-up of a phase II study of radium-223 dichloride in Japanese patients with symptomatic castration-resistant prostate cancer and bone metastases
Int. J. Clin. Oncol., 24(5): 557-566. 2019.
 10. Yamamoto, T., Koizumi, M., Kohno, A., Numao, N., Inamura, K.
A case report on ¹¹¹In chloride bone marrow scintigraphy in management of adrenal myelolipoma
Medicine (Baltimore), 98(8): e14625. 2019.
 11. Yasuoka, S., Yuasa, T., Nishimura, N., Oga-
wa, M., Komai, Y., Numao, N., Yamamoto, S., Kondo, Y., Yonese, J.
Initial experience of pembrolizumab therapy in Japanese patients with metastatic urothelial cancer
Anticancer Res., 39(7): 3887-3892. 2019.

12. Yasuoka, S., Yuasa, T., Ogawa, M., Komai, Y., Numao, N., Yamamoto, S., Kondo, Y., Yonese, J.
Risk factors for poor survival in metastatic castration-resistant prostate cancer treated with cabazitaxel in Japan
Anticancer Res., 39(10): 5803-5809. 2019.
13. Yuasa, T.
Editorial comment to comparison of the predictive value among inflammation-based scoring systems for bleomycin pulmonary toxicity in patients with germ cell tumors
Int. J. Urol., 26(8): 819. 2019.
14. Yuasa, T.
Editorial comment to docetaxel-based chemotherapy combined with dexamethasone 1 mg daily oral administration for castration-resistant prostate cancer: Long-term outcomes
Int. J. Urol., 26(8): 803. 2019.
15. Yuasa, T.
Editorial comment to Possible abscopal effect in urothelial carcinoma of the upper urinary tract after treatment with immune checkpoint inhibitors
IJU Case Rep., 3(1): 27-28. 2019.
16. Yuasa, T.
Editorial comment to syndrome of inappropriate antidiuretic hormone secretion as a side effect of chemotherapy for testicular cancer: report of a case
IJU Case Rep., 2(6): 330. 2019.
17. 湯浅健
これ一冊でパーフェクト!! 泌尿器科薬物療法：がん薬物療法における支持療法：Immune related AEs 対処
泌尿器外科, 32 (特別号) : 173-176. 2019.
18. 湯浅健 .
副腎皮質癌 .
泌尿器科外来マスターバイブル . (「臨床泌尿器科」編集委員会編集), 東京 : 医学書院 , pp. 192-195. 2019.
19. 湯浅健
泌尿器科癌 : 争論! クロスファイア 2019: 転移性前立腺癌に対する一次治療 ドセタキセル
泌尿器外科, 32(2): 115-118. 2019.
20. 湯浅健 .
腎細胞癌 .
泌尿器科外来マスターバイブル . (「臨床泌尿器科」編集委員会編集), 東京 : 医学書院 , pp. 196-201. 2019.
21. 米瀬淳二
adequate 膀胱全摘
日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会雑誌, 11(1): 81-86. 2019.
22. 駒井好信, 石川雄大, 沼尾昇, 福井巖, 米瀬淳二
他科から学ぶ腹腔鏡手術手技
日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会雑誌, 11(1): 21-23. 2019.
- 【血液腫瘍科】**
1. Iida, S., Watanabe, T., Matsumoto, M., Suzuki, K., Sunami, K., Ishida, T., Ando, K., Chou, T., Ozaki, S., Taniwaki, M., Uike, N., Shibayama, H., Hatake, K., Izutsu, K., Ishikawa, T., Shumiya, Y., Tobinai, K.
Carfilzomib monotherapy in Japanese patients with relapsed or refractory multiple myeloma: A phase 1/2 study
Cancer Sci., 110(9): 2924-2932. 2019.
2. Maruyama, D., Tsukasaki, K., Uchida, T., Maeda, Y., Shibayama, H., Nagai, H., Kurosawa, M., Suehiro, Y., Hatake, K., Ando, K., Yoshida, I., Hidaka, M., Murayama, T., Okitsu, Y., Tsukamoto, N., Taniwaki, M., Suzumiya, J., Tamura, K., Yamauchi, T., Ueda, R., Tobinai, K.
Multicenter phase 1/2 study of forodesine in patients with relapsed peripheral T cell lymphoma
Ann. Hematol., 98(1): 131-142. 2019.

3. Munakata, W., Ando, K., Hatake, K., Fukuhara, N., Kinoshita, T., Fukuhara, S., Shirasugi, Y., Yokoyama, M., Ichikawa, S., Ohmachi, K., Gion, N., Aoi, A., Tobinai, K. A phase I study of tirabrutinib (ONO-4059/GS-4059) in patients with relapsed or refractory B-cell malignancies in Japan *Cancer Sci.*, 110(5): 1686-1694. 2019.
 4. Tsuyama, N., Yokoyama, M., Fujisaki, J., Oguchi, M., Terui, Y., Takeuchi, K. Villous colonization (glove balloon sign): A histopathological diagnostic marker for follicular lymphomas with duodenal involvement including duodenal-type follicular lymphoma *Pathol. Int.*, 69(1): 48-50. 2019.
 5. Yasuoka, S., Yuasa, T., Nishimura, N., Oga-
wa, M., Komai, Y., Numao, N., Yamamoto, S., Kondo, Y., Yonese, J. Initial experience of pembrolizumab therapy in Japanese patients with metastatic urothelial cancer *Anticancer Res.*, 39(7): 3887-3892. 2019.
 6. Yoshida, I., Tamura, K., Miyamoto, T., Shimokawa, M., Takamatsu, Y., Nanya, Y., Matsumura, I., Gotoh, M., Igarashi, T., Takahashi, T., Aiba, K., Kumagai, K., Ishizawa, K., Kurita, N., Usui, N., Hatake, K. Prophylactic antiemetics for haematological malignancies: Prospective nationwide survey subset analysis in Japan *In Vivo*, 33(4): 1355-1362. 2019.
 7. 照井康仁
これだけは押さえておきたいがん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調ベノート 2019・2020年版：分子標的薬：CD30：ブレントキシマブベドチン（遺伝子組換え）
YORi-SOU がんナーシング , (別冊)：88-89. 2019.
 8. 照井康仁
これだけは押さえておきたいがん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調ベノート 2019・2020年版：分子標的薬：CD33：ゲムツズマブオゾガマイシン（遺伝子組換え）
YORi-SOU がんナーシング , (別冊)：90-91. 2019.
 9. 照井康仁
これだけは押さえておきたいがん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調ベノート 2019・2020年版：分子標的薬：CD52：アレムツズマブ（遺伝子組換え）
YORi-SOU がんナーシング , (別冊)：92-93. 2019.
- 【総合腫瘍科】**
1. Ando, Y., Iwasa, S., Takahashi, S., Saka, H., Kakizume, T., Natsume, K., Suenaga, N., Quadt, C., Yamada, Y. Phase 1 study of alpelisib (BYL719), an α -specific PI3K inhibitor, in Japanese patients with advanced solid tumors *Cancer Sci.*, 110(3): 1021-1031. 2019.
 2. Bun, S., Yunokawa, M., Ebata, T., Kobayashi Kato, M., Shimoi, T., Kato, T., Tamura, K. Feasibility of initial treatment in elderly patients with ovarian cancer in Japan: a retrospective study *Int. J. Clin. Oncol.*, 24(9): 1111-1118. 2019.
 3. Cabanillas, M.E., Takahashi, S. Managing the adverse events associated with lenvatinib therapy in radioiodine-refractory differentiated thyroid cancer *Semin. Oncol.*, 46(1): 57-64. 2019.
 4. Doi, T., Fujiwara, Y., Matsubara, N., Tomomatsu, J., Iwasa, S., Tanaka, A., Endo-Tsukude, C., Nakagawa, S., Takahashi, S.

- Phase I study of ipatasertib as a single agent and in combination with abiraterone plus prednisolone in Japanese patients with advanced solid tumors
Cancer Chemother. Pharmacol., 84(2): 393-404. 2019.
5. Doi, T., Matsubara, N., Kawai, A., Naka, N., Takahashi, S., Uemura, H., Yamamoto, N. Phase I study of TAS-115, a novel oral multi-kinase inhibitor, in patients with advanced solid tumors
Invest. New Drugs.: in press. 2019.
 6. Kawaguchi, K., Nakano, K., Urasaki, T., Fukuda, N., Taira, S., Ono, M., Tomomatsu, J., Nishizawa, M., Ae, K., Matsumoto, S., Takahashi, S.
Retrospective analysis of trabectedin therapy for soft tissue sarcoma
In Vivo, 33(5): 1609-1614. 2019.
 7. Kobayashi, E., Naito, Y., Asano, N., Maejima, A., Endo, M., Takahashi, S., Megumi, Y., Kawai, A.
Interim results of a real-world observational study of eribulin in soft tissue sarcoma including rare subtypes
Jpn. J. Clin. Oncol: in press. 2019.
 8. Monden, N., Asakage, T., Kiyota, N., Homma, A., Matsuura, K., Hanai, N., Kodaira, T., Zenda, S., Fujii, H., Tahara, M., Yokota, T., Akimoto, T., Iwae, S., Onitsuka, T., Ogawa, T., Okano, S., Takahashi, S., Shimizu, Y., Yonezawa, K., Hayashi, R.
A review of head and neck cancer staging system in the TNM classification of malignant tumors (eighth edition)
Jpn. J. Clin. Oncol, 49(7): 489-495. 2019.
 9. Nakano, K., Seto, A., Sasaki, T., Shimbashi, W., Fukushima, H., Yonekawa, H., Mitani, H., Takahashi, S.
Incidence and risk factors of interstitial lung disease of patients with head and neck cancer treated with cetuximab
Head Neck, 41(8): 2574-2580. 2019.
 10. Nakano, K., Seto, A., Sasaki, T., Shimbashi, W., Fukushima, H., Yonekawa, H., Mitani, H., Takahashi, S.
Predictive factors for completion of TPF induction chemotherapy in patients with locally advanced head and neck cancer
Anticancer Res., 39(8): 4337-4342. 2019.
 11. Nakano, K., Funauchi, Y., Hayakawa, K., Tanizawa, T., Ae, K., Matsumoto, S., Takahashi, S.
Relative dose intensity of induction-phase pazopanib treatment of soft tissue sarcoma: its relationship with prognoses of pazopanib responders
J. Clin. Med., 8(1): E60. 2019.
 12. Nakano, K., Ae, K., Matsumoto, S., Takahashi, S.
Retrospective analysis of treatment patterns among recurrent/metastatic soft tissue sarcoma patients who consulted medical oncologists in Japan
J. Orthop. Sci., 24(6): 1081-1087. 2019.
 13. Nakatsukasa, K., Koyama, H., Ouchi, Y., Ono, H., Sakaguchi, K., Matsuda, T., Kato, M., Ishikawa, T., Yamada, K., Yoshimura, M., Koizumi, K., Sakurai, T., Shigematsu, H., Takahashi, S., Taira, S., Suzuki, M., Narui, K., Niikura, N., Hasegawa, Y., Miura, D., Konishi, E., Taguchi, T.
Effect of denosumab on low bone mineral density in postmenopausal Japanese women receiving adjuvant aromatase inhibitors for non-metastatic breast cancer: 24-month results
Breast Cancer, 26(1): 106-112. 2019.
 14. Nakayama, I., Shinozaki, E., Sakata, S., Yamamoto, N., Fujisaki, J., Muramatsu, Y., Hirota, T., Takeuchi, K., Takahashi, S., Yamaguchi, K., Noda, T.
Enrichment of CLDN18-ARHGAP fusion gene in gastric cancers in young adults

- Cancer Sci., 110(4): 1352-1363. 2019.
15. Ohmoto, A., Fuji, S.
Cyclosporine for angioimmunoblastic T-cell lymphoma: a literature review
Expert Rev. Hematol., 12(11): 975-981. 2019.
 16. Ohmoto, A., Fuji, S.
Histological transformation in malignant lymphoma: a possible role of PET/CT and circulating tumor DNA as noninvasive diagnostic tools
Expert Rev. Hematol., 13(1): 23-30. 2019.
 17. Osumi, H., Shinozaki, E., Takeda, Y., Wakatsuki, T., Ichimura, T., Saiura, A., Yamaguchi, K., Takahashi, S., Noda, T., Zembutsu, H.
Clinical relevance of circulating tumor DNA assessed through deep sequencing in patients with metastatic colorectal cancer
Cancer Med., 8(1): 408-417. 2019.
 18. Sakaguchi, K., Ono, H., Nakatsukasa, K., Ishikawa, T., Hasegawa, Y., Takahashi, M., Niikura, N., Koizumi, K., Sakurai, T., Shigematsu, H., Takahashi, S., Taira, S., Suzuki, M., Narui, K., Miura, D., Yamada, K., Yoshimura, M., Shioya, H., Konishi, E., Isao, Y., Imai, K., Fujikawa, K., Taguchi, T.
Efficacy of denosumab for restoring normal bone mineral density in women receiving adjuvant aromatase inhibitors for early breast cancer
Medicine (Baltimore), 98(32): e16770. 2019.
 19. Shitara, K., Iwata, H., Takahashi, S., Tamura, K., Park, H., Modi, S., Tsurutani, J., Kawakami, S., Yamaguchi, K., Iwasa, S., Saito, K., Fujisaki, Y., Sugihara, M., Shahidi, J., Doi, T.
Trastuzumab deruxtecan (DS-8201a) in patients with advanced HER2-positive gastric cancer: a dose-expansion, phase 1 study
Lancet Oncol., 20(6): 827-836. 2019.
 20. Takahashi, K., Yunokawa, M., Sasada, S., Takehara, Y., Miyasaka, N., Kato, T., Tamura, K.
A novel prediction score for predicting the baseline risk of recurrence of stage I-II endometrial carcinoma
J. Gynecol. Oncol., 30(1): e8. 2019.
 21. Takahashi, S., Uemura, M., Kimura, T., Kawasaki, Y., Takamoto, A., Yamaguchi, A., Melhem-Bertrandt, A., Gartner, E.M., Inoue, T., Akazawa, R., Kadokura, T., Tanikawa, T.
A phase I study of enfortumab vedotin in Japanese patients with locally advanced or metastatic urothelial carcinoma
Invest. New Drugs.: in press. 2019.
 22. Takahashi, S., Kiyota, N., Yamazaki, T., Chayahara, N., Nakano, K., Inagaki, L., Toda, K., Enokida, T., Minami, H., Imamura, Y., Fukuda, N., Sasaki, T., Suzuki, T., Ikezawa, H., Dutcus, C.E., Tahara, M.
A phase II study of the safety and efficacy of lenvatinib in patients with advanced thyroid cancer
Future Oncol., 15(7): 717-726. 2019.
 23. Tamura, K., Hasegawa, K., Katsumata, N., Matsumoto, K., Mukai, H., Takahashi, S., Nomura, H., Minami, H.
Efficacy and safety of nivolumab in Japanese patients with uterine cervical cancer, uterine corpus cancer, or soft tissue sarcoma: Multicenter, open-label phase 2 trial
Cancer Sci., 110(9): 2894-2904. 2019.
 24. Tamura, K., Tsurutani, J., Takahashi, S., Iwata, H., Krop, I.E., Redfern, C., Sagara, Y., Doi, T., Park, H., Murthy, R.K., Redman, R.A., Jikoh, T., Lee, C., Sugihara, M., Shahidi, J., Yver, A., Modi, S.
Trastuzumab deruxtecan (DS-8201a) in patients with advanced HER2-positive breast cancer previously treated with trastuzumab emtansine: a dose-expansion, phase 1 study

- Lancet Oncol., 20(6): 816-826. 2019.
25. Yasuno, M., Uetake, H., Ishiguro, M., Mizunuma, N., Komori, T., Miyata, G., Shiomi, A., Kagimura, T., Sugihara, K.
mFOLFOX6 plus bevacizumab to treat liver-only metastases of colorectal cancer that are unsuitable for upfront resection (TRICC0808): a multicenter phase II trial comprising the final analysis for survival
Int. J. Clin. Oncol., 24(5): 516-525. 2019.
 26. Yunokawa, M., Sasada, S., Takehara, Y., Takahashi, K., Shimoi, T., Yonemori, K., Ishikawa, M., Kato, T., Tamura, K.
Real-world data on initial treatment strategies for older adult patients with endometrial cancer in Japan
Cancer Chemother. Pharmacol., 84(5): 1051-1058. 2019.
 27. Zenda, S., Ota, Y., Kiyota, N., Okano, S., Fujii, M., Kitamura, M., Takahashi, S., Ueda, T., Monden, N., Yamanaka, T., Tahara, M.
A multicenter phase II trial of Docetaxel, cisplatin, and cetuximab (TPEX) followed by cetuximab and concurrent radiotherapy for patients with local advanced squamous cell carcinoma of the head and neck (CSPOR HN01: ECRIPS Study)
Front. Oncol., 9: 6. 2019.
 28. マーシャル祥子, 仲野兼司, 平良眞一郎, 小野麻紀子, 友松純一, 新橋渉, 佐々木徹, 福島啓文, 米川博之, 三谷浩樹, 高橋俊二
再発 / 転位頭頸部扁平上皮癌に対する, セツキシマブ, プラチナ製剤およびフルオロウラシルの治療成績について
頭頸部癌, 45(3): 294-299. 2019.
 29. 仲野兼司 .
臨床腫瘍学の実践 (38) 骨軟部腫瘍 2. 悪性軟部腫瘍 B) 進行・再発肉腫 .
新臨床腫瘍学: 癌薬物療法専門医のために東京: 南江堂, pp.550-552. 2019.
 30. 大本晃弘
がん薬物療法専門医のための模擬テスト 115
腫瘍内科, 23(4): 411. 2019.
 31. 大本晃弘
がん薬物療法専門医のための模擬テスト 115 : 解答と解説
腫瘍内科, 24(5): 517. 2019.
 32. 小野麻紀子 .
II 章 薬物療法の実践 A. 術前・術後薬物療法 a. 化学療法 12. trastuzumab (後) .
乳がん薬物療法ハンドブック. (佐治重衡編集), 東京: 南江堂, pp.82. 2019.
 33. 小野麻紀子 .
II 章 薬物療法の実践 B. 進行・再発乳がんに対する薬物療法 a. HER2 陽性乳がん 3. trastuzumab emtansine.
乳がん薬物療法ハンドブック. (佐治重衡編集), 東京: 南江堂, pp.107. 2019.
 34. 高橋俊二
どうする再発婦人科がん: 骨再発
産科と婦人科, 86(10): 1232-1237. 2019.
 35. 高橋俊二
医薬品副作用学 (第 3 版) 薬剤の安全使用アップデート: 薬効群別副作用: 抗がん薬: インターフェロン、インターロイキン 2、HDAC 阻害薬
日本臨床, 77 (増刊 3 医薬品副作用学 (上)): 119-127. 2019.
 36. 高橋俊二
希少癌に備える: いざという時のための基礎知識: 原発不明癌の診断と治療
臨床泌尿器科, 73 (11): 850-856. 2019.
 37. 高橋俊二
新しいがん免疫療法の動向
腫瘍内科, 24(3): 244-252. 2019.
 38. 高橋俊二
泌尿器がん: 編集にあたって
腫瘍内科, 23(1): 1. 2019.

39. 高橋俊二
腫瘍随伴症候群とオンコロジーエマーゼンシー：病態や治療に伴う多彩な症状：Overview:病態に伴う腫瘍随伴症候群, オンコロジーエマーゼンシー
内科, 124(2): 1535-1541. 2019.

40. 高橋俊二
高齢者がん医療の現状と課題：編集にあたって
腫瘍内科, 21(2): 131. 2019.

【総合診療部】

1. Watanabe, A., Yamashita, N., Kawamata, T., Yokoyama, K., Konuma, T., Kato, S., Ohno, N., Takahashi, S., Uchimarui, K., Tojo, A.
Echocardiographic predictors of cancer therapeutics-related cardiac dysfunction in patients with hematologic malignancies
Adv. Clin. Transl. Res., 3(1): 100018. 2019.

2. 志賀太郎
悩み多き子羊たちへの救いの一手：これが私の診断・治療法！腫瘍循環器：抗がん剤の心毒性に関して、その機序と診断法と治療について教えてください
Heart View, 23(12): 165-171. 2019.

3. Hiraide, M., Minowa, Y., Nakano, Y., Suzuki, K., Shiga, T., Nishio, M., Miyoshi, J., Takahashi, H., Hama, T.
Drug interactions between tyrosine kinase inhibitors (gefitinib and erlotinib) and warfarin: Assessment of international normalized ratio elevation characteristics and in vitro CYP2C9 activity
J. Oncol. Pharm. Pract., 25(7): 1599-1607. 2019.

4. 志賀太郎
“がん + 心疾患” のメカニズムと看護ケアへの生かし方：がんと治療と心毒性における看護師が知っておくべき注意点 血管新生阻害薬急変 ABCD+ 呼吸・循環ケア, 40(3): 22-26. 2019.

5. 志賀太郎
循環器症候群（第3版）その他の循環器疾患を含めて：末梢動脈・静脈疾患：悪性腫瘍に伴う深部静脈血栓症
日本臨床, 別冊（循環器症候群 II）：515-522. 2019.

6. 平出誠, 蓑輪雄一, 中野泰寛, 吉岡秀哲, 鈴木賢一, 志賀太郎, 高橋晴美, 濱敏弘
チロシンキナーゼ阻害薬がワルファリンの PT-INR コントロールに及ぼす影響
癌と化学療法, 46(9): 1413-1419. 2019.

7. 平出誠, 蓑輪雄一, 中野泰寛, 鈴木賢一, 志賀太郎, 三好淳也, 高橋晴美, 濱敏弘
7種のチロシンキナーゼ阻害薬がワルファリンの抗凝固効果に及ぼす影響
癌と化学療法, 46(11): 1733-1739. 2019.

8. 志賀太郎.
CQ34 がん関連血栓症（CAT）の病態と機序について教えてください。
血栓を制するものは心臓を制す！血栓循環器学 Q&A：抗凝固療法・抗血小板療法のクリニカルクエストに答える。（伊藤浩編集），東京：文光堂， pp. 94-97. 2019.

【麻酔科】

1. Yoshio, T., Ishiyama, A., Tsuchida, T., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Omae, M., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Sano, H., Yokota, M., Fujisaki, J.
Efficacy of novel sedation using the combination of dexmedetomidine and midazolam during endoscopic submucosal dissection for esophageal squamous cell carcinoma
Esophagus, 16(3): 285-291. 2019.

2. Yoshitani, K., Kawaguchi, M., Ishida, K., Maekawa, K., Miyawaki, H., Tanaka, S., Uchino, H., Kakinohana, M., Koide, Y., Yokota, M., Okamoto, H., Nomura, M.
Guidelines for the use of cerebral oximetry by near-infrared spectroscopy in cardiovascular anesthesia: a report by the cerebrospinal Division of the Academic Committee

of the Japanese Society of Cardiovascular Anesthesiologists (JSCVA)
J. Anesth., 33(2): 167-196. 2019.

3. 平島潤子
2019のシェヘラザードたち：(第21夜) Pit-fall！ただの気道狭窄じゃない！！こんなに怖い甲状腺がん気管内浸潤
LiSA 別冊, 26 (別冊'19春号) : 127-133. 2019.
4. 横田美幸
新知見を知って看護力もUP! 先生!ホントのところ教えてください! 診療報酬 診療報酬改定からみるこれからの手術看護 <後編> 麻酔管理料 (I) 長時間麻酔加算の術式拡大と、あるべき手術看護
オペナーシング, 34(11): 1160-1163. 2019.
5. 横田美幸, 平島潤子, 大里彰二郎, 見市光寿, 風戸拓也
日本の近代麻酔の夜明けと麻酔科医の社会的地位：麻酔科診療報酬の変遷からの俯瞰：麻酔科医の社会的地位は？
日本臨床麻酔学会誌, 39(5): 573-585. 2019.
6. 風戸拓也, 平島潤子, 横田美幸
手術室運営：効率化と安全性：医療経済学の観点から：周術期管理チームに関する麻酔科医の意識調査
日本臨床麻酔学会誌, 39(3): 356-359. 2019.

【腫瘍精神科】

1. 佐伯吉規, 山田健志, 川原玲子
がん患者のせん妄
診療研究, (第547号) : 13-19. 2019.

【形成外科】

1. Fuse, Y., Prasad, V., Yoshimatsu, H., Yamamoto, T.
"Quadrupod" grip for handling supermicro-surgical instruments
J. Reconstr. Microsurg, 35(5): e1-e2. 2019.
2. Hayashi, A., Giacalone, G., Yamamoto, T., Belva, F., Visconti, G., Hayashi, N., Handa,

M., Yoshimatsu, H., Salgarello, M.
Ultra high-frequency ultrasonographic imaging with 70 MHz scanner for visualization of the lymphatic vessels
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 7(1): e2086. 2019.

3. Karakawa, R., Iida, T., Yoshimatsu, H., Kanayama, K., Yamasoba, T.
Functional and aesthetic reconstruction for microtia using the combination of superficial circumflex iliac artery perforator (SCIP) super-thin flap transfer and skin-grafting
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 7(7): e2312. 2019.
4. Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Maeda, E., Shibata, T., Miyashita, H., Tanakura, K., Yano, T., Sawaizumi, M.
High-pressure injection of heparinized saline for reversing refractory intraoperative phenylephrine-induced venous vasospasm
Plast. Reconstr. Surg., 143(2): 448e-449e. 2019.
5. Karakawa, R., Harima, M., Iida, T.
Mechanical versus hand-sewn venous anastomoses in free flap reconstruction: A systematic review and meta-analysis
Plast. Reconstr. Surg., 143(2): 441e-442e. 2019.
6. Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Miyashita, H., Tanakura, K., Shibata, T., Yano, T.
Successful balanced gait after reconstruction of the weight bearing mid plantar region using a free contralateral medial plantar flap
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 7(9): e2456. 2019.
7. Suzuki, A., Yotsuyanagi, T., Yamashita, K., Yoshimatsu, H.
Reconstruction of the congenital divided nevus of the eyelids and proposal of new classification

- Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 7(6): e2283. 2019.
8. Yoshimatsu, H., Inoue, K., Tanakura, K., Karakawa, R., Hayashi, A.
Lateral crisscross position for lymphaticovenular anastomosis: Comfortable for both the patient and the surgeon
J. Reconstr. Microsurg, 35(1): e3-e4. 2019.
 9. Yoshimatsu, H., Steinbacher, J., Meng, S., Hamscha, U.M., Weninger, W.J., Tinhofer, I.E., Harima, M., Fuse, Y., Yamamoto, T., John Tzou, C.H.
Superficial circumflex iliac artery perforator flap: an anatomical study of the correlation of the superficial and the deep branches of the artery and evaluation of perfusion from the deep branch to the sartorius muscle and the iliac bone.
Plast. Reconstr. Surg., 143(2): 589-602. 2019.
 10. Yoshimatsu, H., Harima, M., Iida, T., Narushima, M., Karakawa, R., Nakatsukasa, S., Yamamoto, T., Hayashi, A.
Use of the distal facial artery (angular artery) for supermicrosurgical midface reconstruction
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 7(2): e1978. 2019.
 11. Yoshimatsu, H., Yamamoto, T., Hayashi, A., Fuse, Y., Karakawa, R., Iida, T., Narushima, M., Tanakura, K., Weninger, W.J., Tzou, C.H.J.
Use of the transverse branch of the superficial circumflex iliac artery as a landmark facilitating identification and dissection of the deep branch of the superficial circumflex iliac artery for free flap pedicle: Anatomical study and clinical applications
Microsurgery, 39(8): 721-729. 2019.
 12. Yoshimatsu, H., Hayashi, A., Yamamoto, T., Visconti, G., Karakawa, R., Fuse, Y., Iida, T.
Visualization of the "Intradermal Plexus" and clinical applications of the dermis flap: A new step beyond perforator flaps
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 7(11): e2411. 2019.
 13. 倉元有木子, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 塩崎正崇, 古林玄, 澤泉雅之
日本人の乳房形態: 乳癌患者のもともとの乳房は左右対称なのか
日本形成外科学会会誌, 39(2): 41-45. 2019.
 14. 吉松英彦
穿通枝皮弁をあやつる! SCIP flap を極める編: SCIA 腸骨弁移植法
PEPARS, (150): 24-29. 2019.
 15. 吉松英彦
穿通枝皮弁をあやつる! SCIP flap を極める編: SCIP flap のための解剖学
PEPARS, (150): 1-5. 2019.
 16. 宮下宏紀, 棚倉健太, 矢野智之, 澤泉雅之
人工物による乳房再建のリカバリー: インプラントによる乳房再建後に患者希望で修正ないし交換を行った症例の検討
形成外科, 62 (8) : 856-864. 2019.
- 【眼科】**
1. Yoshida, A., Watanabe, M., Okubo, A., Kawashima, H.
Clinical characteristics of scleritis patients with emphasized comparison of associated systemic diseases (anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis and rheumatoid arthritis)
Jpn. J. Ophthalmol., 63(5): 417-424. 2019.
 2. Zhou, H.P., Tanaka, R., Tsuji, H.
Therapeutic changes in bilateral choroidal metastasis from non-small cell lung cancer with response to afatinib: A case report
Ocul. Immunol. Inflamm.: in press. 2019.
 3. 辻英貴 .
眼内腫瘍 .
今日の治療指針 : 私はこう治療している . (福

井次矢, 高木聡, 小室一成(総編集), 東京: 医学書院, pp. 1526-1527. 2019.

4. 辻英貴
眼科と薬剤: (第2部) 薬物治療の副作用: 眼科で使用するマイトマイシンCの副作用
眼科, 61(10): 1197-1202. 2019.

【感染症科】

1. Harada, S., Aoki, K., Yamamoto, S., Ishii, Y., Sekiya, N., Kurai, H., Furukawa, K., Doi, A., Tochitani, K., Kubo, K., Yamaguchi, Y., Narita, M., Kamiyama, S., Suzuki, J., Fukuchi, T., Gu, Y., Okinaka, K., Shiiki, S., Hayakawa, K., Tachikawa, N., Kasahara, K., Nakamura, T., Yokota, K., Komatsu, M., Takamiya, M., Tateda, K., Doi, Y.
Clinical and molecular characteristics of *Klebsiella pneumoniae* causing bloodstream infections in Japan: occurrence of hypervirulent infections in healthcare
J. Clin. Microbiol., 57(11): e01206-e01219. 2019.
2. Hoashi, K., Harada, S., Ishii, Y., Aoki, K., Ishikawa, S., Oshiro, Y., Shinzato, T.
Community-acquired liver abscess caused by capsular genotype K2-ST375 hypervirulent *Klebsiella pneumoniae* isolates
IDCases, 17: e00577. 2019.
3. 大串大輔
免疫不全患者の発熱と感染症をマスターせよ!: 固形腫瘍患者
レジデントノート, 20(17): 2882-2888. 2019.
4. 帆足公佑, 羽山ブライアン
臨床写真図鑑: コモンな疾患編: 集まれ! よくみる疾患の注目所見: あらゆる科で役立つ、知識・経験・着眼点をシェアする 81 症例: (第1章) 感染症 症例 5.80 歳代、女性、腹膜癌疑い
レジデントノート, 21(11): 1879-1880. 2019.

5. 榎田泰祐, 羽山ブライアン
臨床写真図鑑: コモンな疾患編: 集まれ! よくみる疾患の注目所見: あらゆる科で役立つ、知識・経験・着眼点をシェアする 81 症例: (第1章) 感染症: 症例 6.70 歳代、女性、頸部食道癌の術前精査中に生じた発熱、嘔吐、腹部膨満
レジデントノート, 21(11): 1881-1882. 2019.
6. 武田孝一
免疫不全患者の発熱と感染症をマスターせよ! 化学療法中や糖尿病患者など、救急や病棟でよくみる免疫不全の対処法を教えます: (第3章) 免疫不全患者診療における微生物および検査データの扱い方: ニューモシスチス (*Pneumocystis jirovecii*)
レジデントノート, 20(17): 2992-2999. 2019.
7. 羽山ブライアン
あなたも名医! 最新: 侮れない肺炎に立ち向かう! 改題改訂: 非専門医のための肺炎診療指南書: (7章) お悩み Q&A: ほかの先生はどうしているの? こんなとき! 多剤耐性緑膿菌による肺炎はどのように治療をすればよいか?
jmed mook, (60): 172. 2019.
8. 羽山ブライアン
易感染患者のマネジメント“免疫不全”で思考停止にならない: 代表的な免疫不全と感染症好中球減少
内科, 123(2): 181-186. 2019.

【皮膚科】

1. Tanaka, K., Nakamura, Y., Mizutani, T., Shibata, T., Tsutsumida, A., Fukuda, H., Matsushita, S., Aoki, M., Namikawa, K., Ohe, S., Fukushima, S., Yamazaki, N.
Confirmatory trial of non-amputative digit preservation surgery for subungual melanoma: Japan Clinical Oncology Group study (JCOG1602, J-NAIL study protocol)
BMC Cancer, 19(1): 1002. 2019.
2. 西澤綾
金属アレルギー診療 update: 異汗性湿疹と金属アレルギー

Derma., (282): 1-8. 2019.

3. Muto, Y., Kitano, S., Tsutsumida, A., Nami-kawa, K., Takahashi, A., Nakamura, Y., Ya-manaka, T., Yamamoto, N., Yamazaki, N.
Investigation of clinical factors associated with longer overall survival in advanced melanoma patients treated with sequential ipilimumab
J. Dermatol., 46(6): 498-506. 2019.
4. Tsutsumida, A., Fukushima, S., Yokota, K., Yoshikawa, S., Yamasaki, O., Tanemura, A., Okuyama, R., Uhara, H., Muto, Y., Miyashi-ta, A., Akiyama, M., Kaji, T., Koga, H., Kato, J., Katayama, T., Itakura, E., Yamazaki, N., Kiyohara, Y.
Japanese real-world study of sequential nivolumab and ipilimumab treatment in melanoma
J. Dermatol., 46(11): 947-955. 2019.
5. Watanabe, R., Nakano, E., Kawazoe, A., Kuboki, Y., Bando, H., Shitara, K., Taka-hashi, A., Tsutsumida, A., Nishizawa, A., Yamazaki, N.
Four cases of paradoxical cephalocervical pyogenic granuloma during treatment with paclitaxel and ramucirumab
J. Dermatol., 46(5): e178-e180. 2019.
6. 堤田新
癌のリンパ節転移と郭清の意義：メラノーマにおけるリンパ節郭清の意義と術後補助療法
リンパ学, 42(2): 94-97. 2019.
7. 西澤綾
予防とケアがよくわかる：がん治療の皮膚・粘
膜障害：皮膚障害の治療：びらん・潰瘍
薬事, 61(8): 1385-1389. 2019.

【歯科】

1. 富塚健 .
舌痛症 .
今日の治療指針：私はこう治療している。(福
井次矢, 高木聡, 小室一成総編集), 東京：医
学書院. 2019.

【放射線治療部】

1. Baba, T., Sakai, F., Kato, T., Kusumoto, M., Kenmotsu, H., Sugiura, H., Tominaga, J., Oikado, K., Sata, M., Endo, M., Yanagawa, N., Sasaki, S., Iwasawa, T., Saito, Y., Fuji-wara, Y., Ohe, Y., Yamazaki, N., Sakamoto, T., Koshiba, T., Kuwano, K.
Radiologic features of pneumonitis associ-ated with nivolumab in non-small-cell lung cancer and malignant melanoma
Future Oncol., 15(16): 1911-1920. 2019.
2. Binkley, M.S., Brady, J.L., Hajj, C., Chelius, M., Chau, K., Balogh, A., Levis, M., Filippi, A.R., Jones, M., Ahmed, S., MacManus, M., Wirth, A., Oguchi, M., Vistisen, A.K., An-draos, T.Y., Ng, A., Aleman, B.M.P., Choi, S.H., Kirova, Y., Hardy, S., Reinartz, G., Eich, H., Bratman, S., Constine, L.S., Suh, C.O., Dabaja, B., El-Galaly, T., Hodgson, D., Ricardi, U., Yahalom, J., Mikhaeel, N.G., Hoppe, R.T.
Salvage treatment and survival for relapsed follicular lymphoma following primary ra-diotherapy: A collaborative study on behalf of ILROG
Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys., 104(3): 522-529. 2019.
3. Brady, J.L., Binkley, M.S., Hajj, C., Chelius, M., Chau, K., Balogh, A., Levis, M., Filip-pi, A.R., Jones, M., Mac Manus, M., Wirth, A., Oguchi, M., Krog Vistisen, A., Andraos, T.Y., Ng, A.K., Aleman, B.M.P., Choi, S.H., Kirova, Y., Hardy, S., Reinartz, G., Eich, H.T., Bratman, S.V., Constine, L.S., Suh, C.O., Dabaja, B., El-Galaly, T.C., Hodgson, D.C., Ricardi, U., Yahalom, J., Hoppe, R.T., Mikhaeel, N.G.
Definitive radiotherapy for localized follicu-lar lymphoma staged by ¹⁸F-FDG PET-CT: a collaborative study by ILROG
Blood, 133(3): 237-245. 2019.
4. Kadota, T., Saito, R., Kumabe, T., Mizusa-wa, J., Katayama, H., Sumi, M., Igaki, H., Kinoshita, M., Komori, T., Ichimura, K., Na-

- rita, Y., Nishikawa, R.
A multicenter randomized phase III study for newly diagnosed maximally resected glioblastoma comparing carmustine wafer implantation followed by chemoradiotherapy with temozolomide with chemoradiotherapy alone; Japan Clinical Oncology Group Study JCOG1703 (MACS study)
Jpn. J. Clin. Oncol, 49(12): 1172-1175. 2019.
5. Kawaguchi, H., Soejima, T., Ishibashi, N., Akiba, T., Hasegawa, M., Isobe, K., Ito, H., Imai, M., Ejima, Y., Hata, M., Sasai, K., Shimoda, E., Oguchi, M., Akimoto, T.
National survey on total-body irradiation prior to reduced-intensity stem cell transplantation in Japan: The Japanese Radiation Oncology Study Group
J. Radiat. Res., 60(5): 579-585. 2019.
 6. Kitsunai, R., Demachi, K., Kuwabara, K., Nawa, K., Nakagawa, K., Nakano, M.
A study of real-time 3D movie reconstruction for intensity modulated radiation therapy using MRI
医学物理, 39(Suppl.1): 42. 2019.
 7. Kondo, K., Matsusaka, S., Ishihara, S., Horie, H., Uehara, K., Oguchi, M., Murofushi, K., Ueno, M., Mizunuma, N., Shimbo, T., Kato, D., Okuda, J., Hashiguchi, Y., Nakazawa, M., Sunami, E., Kawai, K., Yamashita, H., Okada, T., Ishikawa, Y., Fujii, M., Nakajima, T.
Long-term results of a multicenter phase II study of preoperative chemoradiotherapy with S-1 plus oxaliplatin for locally advanced rectal cancer (JACCRO CC-04: SHOGUN Trial)
Radiother. Oncol., 134: 199-203. 2019.
 8. Konishi, T., Shinozaki, E., Murofushi, K., Taguchi, S., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Akiyoshi, T., Nagasaki, T., Suenaga, M., Chino, A., Kawachi, H., Yamamoto, N., Ishikawa, Y., Oguchi, M., Ishizuka, N., Ueno, M., Yamaguchi, K.
Phase II trial of neoadjuvant chemotherapy, chemoradiotherapy, and laparoscopic surgery with selective lateral node dissection for poor-risk low rectal cancer
Ann. Surg. Oncol., 26(8): 2507-2513. 2019.
 9. Morimoto, M., Bijl, H.P., A, V.D.S., Xu, C.J., Steenbakkers, R., Chouvalova, O., Yoshioka, Y., Teshima, T., Langendijk, J.A.
Development of normal tissue complication probability model for trismus in head and neck cancer patients treated with radiotherapy: The role of dosimetric and clinical factors
Anticancer Res., 39(12): 6787-6798. 2019.
 10. Murakami, Y., Magome, T., Matsubayashi, F., Takahashi, R., Arima, M., Kamima, T., Nakano, M., Sato, T., Yoshioka, Y., Oguchi, M.
Evaluation of organ-at-risk dose reduction with jaw tracking technique in flattening filter-free beams in lung stereotactic body radiation therapy
Phys. Med., 61: 70-76. 2019.
 11. Nakano, M., Imae, T., Nakamoto, T., Haga, A., Nawa, K., Nomura, Y., Chhatkuli, R., Demachi, K., Takahashi, W., Yamamoto, K., Nakagawa, K., Hashimoto, M., Yoshioka, Y., Oguchi, M.
Pseudo-CBCT image prediction of head and neck cancer patient using principal component vector fields of early treatment fraction
Med. Phys., 46(6): 2828. 2019.
 12. Nakano, M., Imae, T., Nakamoto, T., Nawa, K., Haga, A., Takahashi, W., Nakagawa, K., Hashimoto, M., Yoshioka, Y., Oguchi, M.
Pseudo-CBCT image prediction of head and neck cancer patient using principal component vector fields of early treatment fractions
医学物理, 39(Suppl.1): 74. 2019.

13. Sapienza, L.G., Ning, M.S., Taguchi, S., Calsavara, V.F., Pellizzon, A.C.A., Gomes, M.J.L., Kowalski, L.P., Baiocchi, G.
Altered-fractionation radiotherapy improves local control in early-stage glottic carcinoma: A systematic review and meta-analysis of 1762 patients
Oral Oncol., 93: 8-14. 2019.
14. Takano, S., Omura, M., Suzuki, R., Tayama, Y., Matsui, K., Hashimoto, H., Hongo, H., Nagata, H., Tanaka, K., Hata, M., Inoue, T.
Intensity-modulated radiation therapy using TomoDirect for postoperative radiation of left-sided breast cancer including lymph node area: comparison with TomoHelical and three-dimensional conformal radiation therapy
J. Radiat. Res., 60(5): 694-704. 2019.
15. Tominaga, T., Akiyoshi, T., Yamamoto, N., Taguchi, S., Mori, S., Nagasaki, T., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Clinical significance of soluble programmed cell death-1 and soluble programmed cell death-ligand 1 in patients with locally advanced rectal cancer treated with neoadjuvant chemoradiotherapy
PLoS One, 14(2): e0212978. 2019.
16. Tsuyama, N., Yokoyama, M., Fujisaki, J., Oguchi, M., Terui, Y., Takeuchi, K.
Villous colonization (glove balloon sign): A histopathological diagnostic marker for follicular lymphomas with duodenal involvement including duodenal-type follicular lymphoma
Pathol. Int., 69(1): 48-50. 2019.
17. Yamaguchi, M., Suzuki, R., Miyazaki, K., Amaki, J., Takizawa, J., Sekiguchi, N., Kinoshita, S., Tomita, N., Wada, H., Kobayashi, Y., Niitsu, N., Ando, T., Maeda, T., Saito, B., Matsuoka, H., Sakai, R., Kubota, N., Masaki, Y., Kameoka, Y., Asano, N., Oguchi, M., Katayama, N.
Improved prognosis of extranodal NK/T cell lymphoma, nasal type of nasal origin but not extranasal origin
Ann. Hematol., 98(7): 1647-1655. 2019.
18. 吉岡靖生, 熊井康子, 角美奈子, 小口正彦
Radiation Therapy Today 2019 : 放射線治療最前線 : 高精度放射線治療の到達点と将来展望 : 放射線治療の最新動向 : 小線源治療の最新動向
INNERVISION, 34(11): 53-55. 2019.
19. 吉岡靖生
照射技術の進歩におけるマージンの変化 : 前立腺
Rad Fan, 17(14): 54-57. 2019.

【放射線治療チーム】

1. Kamima, T., Ueda, Y., Fukunaga, J.I., Adachi, Y., Tamura, M., Ishikawa, K., Monzen, H.
Multi-institutional evaluation of knowledge-based planning performance of volumetric modulated arc therapy (VMAT) for head and neck cancer
Phys. Med., 64: 174-181. 2019.
2. Murakami, Y., Magome, T., Matsubayashi, F., Takahashi, R., Arima, M., Kamima, T., Nakano, M., Sato, T., Yoshioka, Y., Oguchi, M.
Evaluation of organ-at-risk dose reduction with jaw tracking technique in flattening filter-free beams in lung stereotactic body radiation therapy
Phys. Med., 61: 70-76. 2019.
3. Murakami, Y., Magome, T., Mizutani, T., Sato, T., Yoshioka, Y., Oguchi, M.
Potential of radiomic feature related to prostatic calcifications for the machine learning based prediction of biochemical recurrence in prostate cancer patient.
Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys., 105(1,Supplement): E137. 2019.
4. Yamashita, M., Takahashi, R., Kokubo, M., Takayama, K., Tanabe, H., Sueoka, M., Ishii, M., Tachibana, H.

A feasibility study of independent verification of dose calculation for Vero4DRT using a Clarkson-based algorithm
Med. Dosim., 44(1): 20-25. 2019.

5. 上間達也, 吉岡稔, 高橋良, 佐藤智春
Knowledge-based planning における登録 DVH の外れ値が前立腺 VMAT 治療計画に与える影響について
日本放射線技術学会雑誌, 75(2): 151-159. 2019.
6. 伊藤康
診療放射線技師から見た「平成の医療業界」
Rad Fan, 17(6): 64-66. 2019.
7. 佐藤智春
平成そして令和へ: 診療放射線技師より
臨床放射線, 64(10): 1291-1297. 2019.

【画像診断センター】

1. Koizumi, M., Motegi, K., Umeda, T.
A novel biomarker, active whole skeletal total lesion glycolysis (WS-TLG), as a quantitative method to measure bone metastatic activity in breast cancer patients
Ann. Nucl. Med., 33(7): 502-511. 2019.

【画像診断部】

1. Ishiyama, M., Relyea-Chew, A., Longstreth, W.T., Lewis, D.H.
Impact of decompressive craniectomy on brain perfusion scintigraphy as an ancillary test for brain death diagnosis
Ann. Nucl. Med., 33(11): 842-847. 2019.
2. Kinoshita, T., Nakayama, T., Fukuma, E., Inokuchi, M., Ishiguro, H., Ogo, E., Kikuchi, M., Jinno, H., Yamazaki, N., Toi, M.
Efficacy of scalp cooling in preventing and recovering from chemotherapy-induced alopecia in breast cancer patients: The HOPE study
Front. Oncol., 9: 733. 2019.

3. Matsuda, Y., Inoue, Y., Hiratsuka, M., Kawakatsu, S., Arai, T., Matsueda, K., Saiura, A., Takazawa, Y.
Encapsulating fibrosis following neoadjuvant chemotherapy is correlated with outcomes in patients with pancreatic cancer
PLoS One, 14(9): e0222155. 2019.
4. Ono, Y., Tanaka, M., Matsueda, K., Hiratsuka, M., Takahashi, Y., Mise, Y., Inoue, Y., Sato, T., Ito, H., Saiura, A.
Techniques for splenic vein reconstruction after pancreaticoduodenectomy with portal vein resection for pancreatic cancer
HPB (Oxford), 21(10): 1288-1294. 2019.
5. Saida, T., Sakata, A., Tanaka, Y.O., Ochi, H., Ishiguro, T., Sakai, M., Takahashi, H., Satoh, T., Minami, M.
Clinical and MRI characteristics of uterine cervical adenocarcinoma: Its variants and mimics
Korean J. Radiol., 20(3): 364-377. 2019.
6. Shimada, S., Yoshida, R., Nakashima, E., Kitagawa, D., Gomi, N., Horii, R., Takeuchi, S., Ashihara, Y., Kita, M., Akiyama, F., Ohno, S., Saito, M., Arai, M.
Five screening-detected breast cancer cases in initially disease-free BRCA1 or BRCA2 mutation carriers
Breast Cancer, 26(6): 846-851. 2019.
7. Tanaka, M., Ito, H., Ono, Y., Matsueda, K., Mise, Y., Ishizawa, T., Inoue, Y., Takahashi, Y., Hiratsuka, M., Unno, T., Saiura, A.
Impact of portal vein resection with splenic vein reconstruction after pancreatoduodenectomy on sinistral portal hypertension: Who needs reconstruction?
Surgery, 165(2): 291-297. 2019.
8. Tanaka, Y.O., Takazawa, Y., Matsuura, M., Omatsu, K., Takeshima, N., Matsueda, K.
MR imaging of secondary massive ovarian edema caused by ovarian metastasis from appendiceal adenocarcinoma

- Magn. Reson. Med. Sci., 18(2): 111-112. 2019.
9. Yamamoto, T., Koizumi, M., Kohno, A., Numao, N., Inamura, K.
A case report on ¹¹¹In chloride bone marrow scintigraphy in management of adrenal myelolipoma
Medicine (Baltimore), 98(8): e14625. 2019.
 10. Yonekura, R., Horii, R., Iwase, T., Gomi, N., Kitagawa, M., Akiyama, F., Ohno, S.
A diagnostic strategy for breast calcifications based on a long-term follow-up of 615 lesions
Jpn. J. Radiol., 37(3): 237-244. 2019.
 11. 五味直哉, 伊藤良則, 笹野公伸, 照屋なつき
TIL を伴った HER2 陽性乳癌に術前化学療法を施行し pCR が得られた 2 症例
Cancer Board of the Breast, 5(1): 5-17. 2019.
 12. 五味直哉, 伊藤良則, 笹野公伸, 宮城由美
抗 HER2 療法に抵抗性を示した HER2 陽性乳癌
Cancer Board of the Breast, 5(2): 77-88. 2019.
 13. 五味直哉
知っておきたい乳癌スクリーニング: 造影 MRI によるハイリスクグループの乳癌スクリーニング
臨床画像, 35(7): 802-807. 2019.
 14. 今岡いずみ, 坪山尚寛, 田中優美子編著
(画像診断 別冊 KEY BOOK シリーズ) 婦人科 MRI アトラス. 改訂第 2 版. 東京: 学研メディカル秀潤社. 399p., 2019,
 15. 和田武, 田中宏子
進展経路からアプローチする頭頸部癌の画像診断: 下咽頭癌に関連する進展経路: 喉頭軟骨浸潤
画像診断, 39(8): 882-883. 2019.
 16. 和田武, 田中宏子
進展経路からアプローチする頭頸部癌の画像診断: 下咽頭癌に関連する進展経路: 甲状披裂間隙を介した傍声帯間隙進展
画像診断, 39(8): 872-873. 2019.
 17. 和田武, 田中宏子
進展経路からアプローチする頭頸部癌の画像診断: 下咽頭癌に関連する進展経路: 甲状舌骨膜・上喉頭神経血管束を介した喉頭外軟部組織進展
画像診断, 39(8): 874-875. 2019.
 18. 國分優美, 堀井理絵, 加藤千絵子, 富樫保行, 宮城由美, 松枝清
乳癌の診断と治療: 診断: 所見別鑑別診断 腫瘍: 超音波検査
臨床放射線, 64(4): 353-361. 2019.
 19. 寺村易予, 植野映子, 阿江啓介
CT・MRI 時代の単純 X 線写真: いつ撮る? どう読む?: 骨 X 線写真: 骨腫瘍性病変
臨床画像, 35(1): 78-88. 2019.
 20. 寺村易予, 植野映子, 阿江啓介, 松枝清
骨・軟部腫瘍の鑑別診断のポイント: (第 1 章) 骨腫瘍: 悪性骨腫瘍の所見
画像診断, 39(4): S58-S63. 2019.
 21. 戸島史仁, 井上大, 蒲田敏文
腓神経内分泌腫瘍: 診断と治療のパラダイムシフト: 画像診断: 腓神経内分泌腫瘍の CT、MRI 所見
肝・胆・膵, 78(1): 47-57. 2019.
 22. 植野映子
2-2 運動器疾患としての骨転移 4. 骨転移の画像診断: 良性疾患との鑑別・麻痺や骨折リスクなど.
がん患者の運動器疾患の診かた: 新たなアプローチ「がん口コモ」.(森岡秀夫, 河野博隆編著), 東京: 中外医学社, pp., 2019.
 23. 田中優美子
コラム 妊娠中の MRI の胎児への影響.
一冊でわかる婦人科腫瘍の画像診断: モダリティ・解剖・病理・診断・治療フォローアップ・

ピットフォール。(片渕秀隆, 楫靖編集), 東京: 文光堂, pp. 128. 2019.

24. 田中宏子
進展経路からアプローチする頭頸部癌の画像診断: 下咽頭癌に関連する進展経路 咽頭後間隙・椎前間隙進展
画像診断, 39(8): 880-881. 2019.
25. 田中宏子
進展経路からアプローチする頭頸部癌の画像診断: 下咽頭癌に関連する進展経路 甲状軟骨後縁を包み込む進展 (wrap around spread)
画像診断, 39(8): 876-877. 2019.
26. 田中宏子
進展経路からアプローチする頭頸部癌の画像診断: 下咽頭癌に関連する進展経路 輪状後部・頸部食道進展
画像診断, 39(8): 878-879. 2019.
27. 菊地真理
Land-Mark papers in oncology : 診断 : Digital Breast Tomosynthesis (DBT)
CANCER BOARD of the BREAST, 5(2): 52. 2019.

【核医学部】

1. Imaizumi, A., Obata, T., Kershaw, J., Tachibana, Y., Inubushi, M., Koizumi, M., Yoshikawa, K., Zhang, M.R., Tanimoto, K., Harada, R., Uno, T., Saga, T.
Imaging of hypoxic tumor: Correlation between diffusion-weighted MR imaging and ¹⁸F-fluoroazomycin arabinoside positron emission tomography in head and neck carcinoma
Magn. Reson. Med. Sci.: in press. 2019.
2. Koizumi, M., Koyama, M.
Comparison between single photon emission computed tomography with computed tomography and planar scintigraphy in sentinel node biopsy in breast cancer patients
Ann. Nucl. Med., 33(3): 160-168. 2019.

3. Koizumi, M., Motegi, K., Umeda, T.
A novel biomarker, active whole skeletal total lesion glycolysis (WS-TLG), as a quantitative method to measure bone metastatic activity in breast cancer patients
Ann. Nucl. Med., 33(7): 502-511. 2019.
4. Koyama, M., Terauchi, T., Koizumi, M., Sugiura, Y.
Granulomatous myositis showing fluctuating "Leopard-Man" sign: A case report on FDG PET/CT imaging
Clin. Nucl. Med., 44(12): 961-963. 2019.
5. Sato, A., Sakai, T., Iwase, T., Kano, F., Kimura, K., Ogiya, A., Koizumi, M., Tanabe, M., Horii, R., Akiyama, F., Ueno, T., Ohno, S.
Altered lymphatic drainage patterns in re-operative sentinel lymph node biopsy for ipsilateral breast tumor recurrence
Radiat. Oncol., 14(1): 159. 2019.
6. Yamamoto, T., Koizumi, M., Kohno, A., Numao, N., Inamura, K.
A case report on ¹¹¹In chloride bone marrow scintigraphy in management of adrenal myelolipoma
Medicine (Baltimore), 98(8): e14625. 2019.

【内視鏡診療部】

1. Okada, K., Suzuki, S., Naito, S., Yamada, Y., Haruki, S., Kubota, M., Nakajima, Y., Shimizu, T., Ando, K., Uchida, Y., Hirasawa, T., Fujisaki, J., Tsuchida, T.
Incidence of metachronous gastric cancer in patients whose primary gastric neoplasms were discovered after Helicobacter pylori eradication
Gastrointest. Endosc., 89(6): 1152-1159. 2019.
2. Suzuki, S., Fukunaga, Y., Tamegai, Y., Akiyoshi, T., Konishi, T., Nagayama, S., Saito, S., Ueno, M.
The short-term outcomes of laparoscop-

ic-endoscopic cooperative surgery for colorectal tumors (LECS-CR) in cases involving endoscopically unresectable colorectal tumors

Surg. Today, 49(12): 1051-1057. 2019.

3. Takamatsu, M., Kawachi, H., Yamamoto, N., Kobayashi, M., Toyama, Y., Maekawa, T., Chino, A., Saito, S., Ueno, M., Takazawa, Y., Ishikawa, Y.

Immunohistochemical evaluation of tumor budding for stratifying T1 colorectal cancer: optimal cut-off value and a novel computer-assisted semiautomatic method
Mod. Pathol., 32(5): 675-683. 2019.

4. Tsuyama, N., Yokoyama, M., Fujisaki, J., Oguchi, M., Terui, Y., Takeuchi, K.

Villous colonization (glove balloon sign): A histopathological diagnostic marker for follicular lymphomas with duodenal involvement including duodenal-type follicular lymphoma

Pathol. Int., 69(1): 48-50. 2019.

5. 鈴木桂悟, 千野晶子, 井出大資, 齋藤彰一, 五十嵐正広, 藤崎順子

腸管感染症: 腸管感染症の発生動向 現状と今後のトレンド

Intestine, 23(2): 109-115. 2019.

【臨床遺伝医療部】

1. Ichijima, R., Abe, S., Kobayashi, S., Minagawa, T., Tagawa, T., Nakajima, T., Yamada, M., Takamaru, H., Sekiguchi, M., Sakamoto, T., Oda, I., Matsuda, T., Saito, Y., Gotoda, T.

Efficacy of full-spectrum endoscopy to visualize the major duodenal papilla in patients with familial adenomatous polyposis
Digestion: in press. 2019.

2. Kawashima, Y., Nishikawa, S., Ninomiya, H., Yoshida, R., Takano, N., Oguri, T., Kitazono, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Ohyanagi, F., Ishikawa, Y., Nishio, M.

Lung adenocarcinoma with Lynch syndrome and the response to nivolumab
Intern. Med., 58(10): 1479-1484. 2019.

3. Minami, Y., Matsumoto, S., Ae, K., Sugiura, Y.

An unusual local invasion of synovial sarcoma

Oxf. Med. Case Reports, 2019(4): omz024. 2019.

4. Nakano, K., Kawachi, H., Chino, A., Kita, M., Arai, M., Ide, D., Saito, S., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J.

Phenotypic variations of gastric neoplasms in familial adenomatous polyposis are associated with the endoscopic status of atrophic gastritis

Dig. Endosc.: in press. 2019.

5. Shimada, S., Yoshida, R., Nakashima, E., Kitagawa, D., Gomi, N., Horii, R., Takeuchi, S., Ashihara, Y., Kita, M., Akiyama, F., Ohno, S., Saito, M., Arai, M.

Five screening-detected breast cancer cases in initially disease-free BRCA1 or BRCA2 mutation carriers

Breast Cancer, 26(6): 846-851. 2019.

6. Yoshida, R., Watanabe, C., Yokoyama, S., Inuzuka, M., Yotsumoto, J., Arai, M., Nakamura, S.

Analysis of clinical characteristics of breast cancer patients with the Japanese founder mutation BRCA1 L63X

Oncotarget, 10(35): 3276-3284. 2019.

7. 中島健

リンチ症候群と遺伝性消化管ポリポーシス: リンチ症候群: リンチ症候群の臨床 内科的立場から

臨床消化器内科, 34(6): 647-652. 2019.

8. 中島健

希少がん、遺伝性腫瘍: 遺伝性腫瘍: 遺伝カウンセリングの体制と問題点

腫瘍内科, 24(4): 378-383. 2019.

9. 吉田玲子
希少がん、遺伝性腫瘍：遺伝性腫瘍 遺伝性乳がん・卵巣がんに対する分子標的治療
腫瘍内科, 24(4): 356-362. 2019.

【集中治療部】

1. 望月俊明
緊急受診してくる呼吸器疾患「息が苦しい」という患者が来院したとき,どのように対応できますか? : 疾患の増悪による緊急受診 : がん患者の呼吸器症状を伴うオンコロジックエマージェンシー
内科, 123(1): 99-102. 2019.

【救急部】

1. 望月俊明
緊急受診してくる呼吸器疾患「息が苦しい」という患者が来院したとき,どのように対応できますか? : 疾患の増悪による緊急受診 : がん患者の呼吸器症状を伴うオンコロジックエマージェンシー
内科, 123(1): 99-102. 2019.

【超音波検査部】

1. Sakai, T., Sugitani, I., Ebina, A., Fukuoka, O., Toda, K., Mitani, H., Yamada, K.
Active surveillance for T1bN0M0 papillary thyroid carcinoma
Thyroid, 29(1): 59-63. 2019.
2. 加藤千絵子, 松本綾希子
形成外科におけるエコー活用術 : インプラントによる乳房再建術後管理におけるエコー活用術
PEPARS, (154): 68-74. 2019.
3. 國分優美, 堀井理絵 .
IX 章 症例検討 : 鑑別診断に難渋した巨大乳房腫瘍の一例 .
超音波で拾う乳がん検診 : 高濃度乳房で見落とさない . (佐伯俊昭, 矢形寛編集), 東京 : 医学と看護社, pp. 91-97. 2019.
4. 國分優美, 堀井理絵, 加藤千絵子, 富樫保行, 宮城由美, 松枝清

乳癌の診断と治療 : 診断 : 所見別鑑別診断 腫瘍 : 超音波検査
臨床放射線, 64(4): 353-361. 2019.

【遺伝子診断部】

1. Low, S.K., Chin, Y.M., Ito, H., Matsuo, K., Tanikawa, C., Matsuda, K., Saito, H., Sakurai-Yageta, M., Nakaya, N., Shimizu, A., Nishizuka, S.S., Yamaji, T., Sawada, N., Iwasaki, M., Tsugane, S., Takezaki, T., Suzuki, S., Naito, M., Wakai, K., Kamatani, Y., Momozawa, Y., Murakami, Y., Inazawa, J., Nakamura, Y., Kubo, M., Katagiri, T., Miki, Y.
Identification of two novel breast cancer loci through large-scale genome-wide association study in the Japanese population
Sci. Rep., 9(1): 17332. 2019.
2. Osumi, H., Shinozaki, E., Wakatsuki, T., Suenaga, M., Ichimura, T., Ogura, M., Takahari, D., Ooki, A., Suzuki, T., Ota, Y., Nakayama, I., Chin, K., Miki, Y., Yamaguchi, K.
Non-V600E BRAF mutations and EGFR signaling pathway in colorectal cancer
Int. J. Cancer, 145(9): 1488-1495. 2019.

【病理部】

1. Chino, A., Kawachi, H., Takamatsu, M., Hatamori, H., Ide, D., Saito, S., Igarashi, M., Fujisaki, J., Nagayama, S.
Macroscopic and microscopic morphology and molecular profiling to distinguish heterogeneous traditional serrated adenomas of the colorectum
Dig. Endosc.: in press. 2019.
2. Goto, O., Sugiyama, Y., Takazawa, Y., Kato, K., Tanaka, N., Omatsu, K., Takeshima, N., Nomura, H., Hasegawa, K., Fujiwara, K., Taki, M., Matsumura, N., Noda, T., Mori, S.
Clinically relevant molecular subtypes and genomic alteration-independent differentiation in gynecologic carcinosarcoma
Nat. Commun., 10(1): 4965. 2019.

3. Hashimoto, H., Tsugeno, Y., Sugita, K., Inamura, K.
Mesenchymal tumors of the lung: diagnostic pathology, molecular pathogenesis, and identified biomarkers
J. Thorac. Dis., 11(Suppl 1): S9-S24. 2019.
4. Hatamori, H., Saito, S., Ide, D., Chino, A., Kawachi, H.
Neuroendocrine carcinoma of the colon: a rare case arising from a serrated polyp
Gastrointest. Endosc., 90(6): 984-985. 2019.
5. Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., Ida, S., Yoshimizu, S., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Nagahama, M., Takahashi, H., Tsuchida, T.
Pretreatment diagnosis factors associated with overtreatment with surgery in patients with differentiated-type early gastric cancer
Sci. Rep., 9: 15356. 2019.
6. Imamura, Y., Watanabe, M., Toihata, T., Takamatsu, M., Kawachi, H., Haraguchi, I., Ogata, Y., Yoshida, N., Saeki, H., Oki, E., Taguchi, K., Yamamoto, M., Morita, M., Mine, S., Hiki, N., Baba, H., Sano, T.
Recent incidence trend of surgically resected esophagogastric junction adenocarcinoma and microsatellite instability status in Japanese patients
Digestion, 99(1): 6-13. 2019.
7. Inamura, K., Amori, G., Yuasa, T., Yamamoto, S., Yonese, J., Ishikawa, Y.
Relationship of B7-H3 expression in tumor cells and tumor vasculature with FOXP3+ regulatory T cells in renal cell carcinoma
Cancer Manag. Res., 11: 7021-7030. 2019.
8. Inoue, S., Hirota, Y., Ueno, T., Fukui, Y., Yoshida, E., Hayashi, T., Kojima, S., Takeyama, R., Hashimoto, T., Kiyono, T., Ikemura, M., Taguchi, A., Tanaka, T., Tanaka, Y., Sakata, S., Takeuchi, K., Muraoka, A., Osuka, S., Saito, T., Oda, K., Osuga, Y., Terao, Y., Kawazu, M., Mano, H.
Uterine adenomyosis is an oligoclonal disorder associated with KRAS mutations
Nat. Commun., 10(1): 5785. 2019.
9. Ishioka, M., Hirasawa, T., Kawachi, H., Nakano, K., Kunieda, J., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J.
Enterochromaffin-like cell neuroendocrine tumor associated with parietal cell dysfunction
Gastrointest. Endosc., 90(5): 841-845, e1. 2019.
10. Kawachi, H.
Histopathological diagnosis of ulcerative colitis-associated neoplasia
Dig. Endosc., 31 Suppl 1: 31-35. 2019.
11. Konishi, T., Shinozaki, E., Murofushi, K., Taguchi, S., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Akiyoshi, T., Nagasaki, T., Suenaga, M., Chino, A., Kawachi, H., Yamamoto, N., Ishikawa, Y., Oguchi, M., Ishizuka, N., Ueno, M., Yamaguchi, K.
Phase II trial of neoadjuvant chemotherapy, chemoradiotherapy, and laparoscopic surgery with selective lateral node dissection for poor-risk low rectal cancer
Ann. Surg. Oncol., 26(8): 2507-2513. 2019.
12. Koyama, J., Horiike, A., Yoshizawa, T., Dot-su, Y., Ariyasu, R., Saiki, M., Sonoda, T., Uchibori, K., Nishikawa, S., Kitazono, S., Yanagitani, N., Ninomiya, H., Ishikawa, Y., Nishio, M.
Correlation between thyroid transcription factor-1 expression, immune-related thyroid dysfunction, and efficacy of anti-programmed cell death protein-1 treatment in non-small cell lung cancer
J. Thorac. Dis., 11(5): 1919-1928. 2019.
13. Koyama, M., Terauchi, T., Koizumi, M., Su-giura, Y.

- Granulomatous myositis showing fluctuating "Leopard-Man" sign: A case report on FDG PET/CT imaging
Clin. Nucl. Med., 44(12): 961-963. 2019.
14. Matsuda, Y., Inoue, Y., Hiratsuka, M., Kawakatsu, S., Arai, T., Matsueda, K., Saiura, A., Takazawa, Y.
Encapsulating fibrosis following neoadjuvant chemotherapy is correlated with outcomes in patients with pancreatic cancer
PLoS One, 14(9): e0222155. 2019.
 15. Miyoshi, Y., Shien, T., Ogiya, A., Ishida, N., Yamazaki, K., Horii, R., Horimoto, Y., Masuda, N., Yasojima, H., Inao, T., Osako, T., Takahashi, M., Tomioka, N., Wanifuchi-Endo, Y., Hosoda, M., Doihara, H., Yamashita, H.
Associations in tumor infiltrating lymphocytes between clinicopathological factors and clinical outcomes in estrogen receptor-positive/human epidermal growth factor receptor type 2 negative breast cancer
Oncol. Lett., 17(2): 2177-2186. 2019.
 16. Nakano, K., Kawachi, H., Chino, A., Kita, M., Arai, M., Ide, D., Saito, S., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J.
Phenotypic variations of gastric neoplasms in familial adenomatous polyposis are associated with the endoscopic status of atrophic gastritis
Dig. Endosc.: in press. 2019.
 17. Nomura, H., Sugiyama, Y., Ito, T., Furuta, N., Komatsu, K., Takazawa, Y., Aoki, Y., Tanigawa, T., Matoda, M., Okamoto, S., Kanao, H., Omatsu, K., Kato, K., Utsugi, K., Takeshima, N.
Clinical management of the status of atypical endometrial cells using the descriptive reporting format for endometrial cytology
Cytopathology, 30(2): 209-214. 2019.
 18. Oka, S., Uraoka, T., Watanabe, K., Hata, K., Kawasaki, K., Mizuno, K., Misawa, M., Hosoe, N., Moriyama, T., Kawachi, H.
Endoscopic diagnosis and treatment of ulcerative colitis-associated neoplasia
Dig. Endosc., 31 Suppl 1: 26-30. 2019.
 19. Osumi, H., Kawachi, H., Yoshio, T., Ida, S., Yamamoto, N., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Hiki, N., Takeuchi, K., Fujisaki, J.
Epstein-Barr virus status is a promising biomarker for endoscopic resection in early gastric cancer: proposal of a novel therapeutic strategy
J. Gastroenterol., 54(9): 774-783. 2019.
 20. Osumi, H., Kawachi, H., Murai, K., Kusafuka, K., Inoue, S., Kitamura, M., Yoshio, T., Kakusima, N., Ishihara, R., Ono, H., Yamamoto, N., Sugino, T., Nakatsuka, S., Ida, S., Nunobe, S., Bando, E., Omori, T., Takeuchi, K., Fujisaki, J.
Risk stratification for lymph node metastasis using Epstein-Barr virus status in submucosal invasive (pT1) gastric cancer without lymphovascular invasion: a multicenter observational study
Gastric Cancer, 22(6): 1176-1182. 2019.
 21. Sato, A., Sakai, T., Iwase, T., Kano, F., Kimura, K., Ogiya, A., Koizumi, M., Tanabe, M., Horii, R., Akiyama, F., Ueno, T., Ohno, S.
Altered lymphatic drainage patterns in re-operative sentinel lymph node biopsy for ipsilateral breast tumor recurrence
Radiat. Oncol., 14(1): 159. 2019.
 22. Shimada, S., Yoshida, R., Nakashima, E., Kitagawa, D., Gomi, N., Horii, R., Takeuchi, S., Ashihara, Y., Kita, M., Akiyama, F., Ohno, S., Saito, M., Arai, M.
Five screening-detected breast cancer cases in initially disease-free BRCA1 or BRCA2 mutation carriers
Breast Cancer, 26(6): 846-851. 2019.

23. Shoji, Y., Kumagai, K., Kamiya, S., Ida, S., Nunobe, S., Ohashi, M., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Yoshio, T., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Osako, T., Yamamoto, N., Fujisaki, J., Sano, T., Hiki, N.
Prospective feasibility study for single-tracer sentinel node mapping by ICG (indocyanine green) fluorescence and OSNA (one-step nucleic acid amplification) assay in laparoscopic gastric cancer surgery
Gastric Cancer, 22(4): 873-880. 2019.
24. Sonoda, D., Matsuura, Y., Ichinose, J., Nakao, M., Ninomiya, H., Mun, M., Ishikawa, Y., Nakagawa, K., Satoh, Y., Okumura, S.
Ultra-late recurrence of non-small cell lung cancer over 10 years after curative resection
Cancer Manag. Res., 11: 6765-6774. 2019.
25. Takamatsu, M., Kawachi, H., Yamamoto, N., Kobayashi, M., Toyama, Y., Maekawa, T., Chino, A., Saito, S., Ueno, M., Takazawa, Y., Ishikawa, Y.
Immunohistochemical evaluation of tumor budding for stratifying T1 colorectal cancer: optimal cut-off value and a novel computer-assisted semiautomatic method
Mod. Pathol., 32(5): 675-683. 2019.
26. Takamatsu, M., Yamamoto, N., Kawachi, H., Chino, A., Saito, S., Ueno, M., Ishikawa, Y., Takazawa, Y., Takeuchi, K.
Prediction of early colorectal cancer metastasis by machine learning using digital slide images
Comput. Methods Programs Biomed., 178: 155-161. 2019.
27. Yagi, S., Wakatsuki, T., Yamamoto, N., Chin, K., Takahari, D., Ogura, M., Ichimura, T., Nakayama, I., Osumi, H., Shinozaki, E., Suenaga, M., Fujisaki, J., Ishikawa, Y., Yamaguchi, K., Namikawa, K., Horiuchi, Y.
Clinical significance of intratumoral HER2 heterogeneity on trastuzumab efficacy using endoscopic biopsy specimens in patients with advanced HER2 positive gastric cancer
Gastric Cancer, 22(3): 518-525. 2019.
28. Yagi, S., Wakatsuki, T., Yamamoto, N., Chin, K., Takahari, D., Ogura, M., Ichimura, T., Nakayama, I., Osumi, H., Shinozaki, E., Suenaga, M., Fujisaki, J., Ishikawa, Y., Yamaguchi, K., Namikawa, K., Horiuchi, Y.
Correction to: Clinical significance of intratumoral HER2 heterogeneity on trastuzumab efficacy using endoscopic biopsy specimens in patients with advanced HER2 positive gastric cancer
Gastric Cancer, 22(3): 526. 2019.
29. Yamamoto, T., Koizumi, M., Kohno, A., Numao, N., Inamura, K.
A case report on ¹¹¹In chloride bone marrow scintigraphy in management of adrenal myelolipoma
Medicine (Baltimore), 98(8): e14625. 2019.
30. Yamasaki, A., Shimizu, T., Kawachi, H., Yamamoto, N., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Sasaki, Y., Fujisaki, J.
Endoscopic features of esophageal adenocarcinoma derived from short-segment versus long-segment Barrett' s esophagus
J. Gastroenterol. Hepatol., 35(2): 211-217. 2019.
31. Yasue, C., Chino, A., Takamatsu, M., Namikawa, K., Ide, D., Saito, S., Igarashi, M., Fujisaki, J.
Pathological risk factors and predictive endoscopic factors for lymph node metastasis of T1 colorectal cancer: a single-center study of 846 lesions
J. Gastroenterol., 54(8): 708-717. 2019.
32. Yonekura, R., Horii, R., Iwase, T., Gomi, N., Kitagawa, M., Akiyama, F., Ohno, S.

- A diagnostic strategy for breast calcifications based on a long-term follow-up of 615 lesions
Jpn. J. Radiol., 37(3): 237-244. 2019.
33. 並河健, 斎藤彰一, 五十嵐正広, 河内洋
隆起型早期大腸癌の病態と診断: 発育進展の経過が追えた PG type 隆起型早期大腸癌の 1 例
胃と腸, 54(6): 927-932. 2019.
 34. 光吉優貴, 斎藤彰一, 岸原輝仁, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広, 藤本佳也, 河内洋
早期大腸癌内視鏡治療後の転移再発と予後: 症例: リンパ節再発をきたした粘膜内癌と診断された直腸 LST 病変の 1 例
Intestine, 23(3): 263-266. 2019.
 35. 吉水祥一, 河内洋, 山本頼正, 中野薫, 鈴木桂悟, 石岡充彬, 土方一範, 渡海義隆, 赤澤直樹, 城間翔, 並河健, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏, 伊藤寛倫, 藤崎順子
十二指腸腺腫・癌の診断: 非乳頭部十二指腸 SM 癌の 12 例
胃と腸, 54(8): 1131-1140. 2019.
 36. 國分優美, 堀井理絵, 加藤千絵子, 富樫保行, 宮城由美, 松枝清
乳癌の診断と治療: 診断: 所見別鑑別診断 腫瘍: 超音波検査
臨床放射線, 64(4): 353-361. 2019.
 37. 堀江義政, 藤崎順子, 河内洋
腺窩上皮型胃癌を含む HP 未感染胃癌
日本ヘリコバクター学会誌, 21(1): 34-39. 2019.
 38. 平澤俊明, 河内洋, 藤崎順子, 新井正美
Dr. 平澤の上部消化管内視鏡教室: この症例にチャレンジしてください: 多発する胃腫瘍
臨床消化器内科, 34(4): 451-456. 2019.
 39. 平澤俊明, 中野薫, 河内洋, 藤崎順子
Dr. 平澤の上部消化管内視鏡教室: この症例にチャレンジしてください: 胃粘膜下腫瘍
臨床消化器内科, 34(9): 1165-1170. 2019.
 40. 平澤俊明, 並河健, 藤崎順子, 河内洋
Dr. 平澤の上部消化管内視鏡教室: この症例にチャレンジしてください: 診断に苦慮した胃粘膜下腫瘍様病変
臨床消化器内科, 34(11): 1415-1419. 2019.
 41. 平澤俊明, 佐々木隆, 藤崎順子, 河内洋, 伊藤崇彦, 太田一樹
Dr. 平澤の上部消化管内視鏡教室: この症例にチャレンジしてください: 食道狭窄の 1 例
臨床消化器内科, 34(2): 210-214. 2019.
 42. 河内洋, 中野薫, 池之山洋平, 佐藤由紀子, 石山晃世志, 由雄敏之, 藤崎順子
咽頭・食道癌の拡大観察に必要な基本的病理知識
胃と腸, 54(3): 308-319. 2019.
 43. 河内洋, 佐藤由紀子, 中野薫
唾液腺型食道腫瘍の臨床病理学的特徴
胃と腸, 54(10): 1419-1426. 2019.
 44. 河内洋
大腸内分泌細胞腫瘍: WHO の考え方と日本の考え方: 直腸カルチノイド
INTESTINE, 23(1): 47-54. 2019.
 45. 河内洋
消化管疾患の分類 2019: 使い方, 使われ方: 小腸・大腸: 大腸腫瘍: 大腸生検組織診断分類 (Group 分類)
胃と腸, 54(5): 686-687. 2019.
 46. 河内洋
消化管疾患の分類 2019: 使い方, 使われ方: 小腸・大腸: 大腸腫瘍: 上皮性腫瘍の組織型分類 (大腸癌取扱い規約, WHO 分類)
胃と腸, 54(5): 682-685. 2019.
 47. 河内洋, 中野薫, 藤崎順子
消化管粘膜内腫瘍の見方、考え方、そのエビデンス: Barrett 食道
病理と臨床, 37(8): 703-712. 2019.
 48. 河内洋, 佐藤由紀子, 中野薫
知っておきたい特殊な食道腫瘍・腫瘍様病変: 唾液腺型食道腫瘍の臨床病理学的特徴

胃と腸, 54(10): 1419-1426. 2019.

49. 河内洋, 中野薫, 立石陽子
食道の炎症を視る: 総論: 食道炎症性疾患の病理
消化器内視鏡, 31(8): 1132-1140. 2019.
50. 西村宙起, 宇津木久仁子, 杉原武, 久毅, 岡本
三四郎, 杉山裕子, 高澤豊, 竹島信宏
胆管癌子宮転移の1例
日本臨床細胞学会雑誌, 58(4): 167-171.
2019.

【細胞診断部】

1. Goto, O., Sugiyama, Y., Takazawa, Y., Kato, K., Tanaka, N., Omatsu, K., Takeshima, N., Nomura, H., Hasegawa, K., Fujiwara, K., Taki, M., Matsumura, N., Noda, T., Mori, S. Clinically relevant molecular subtypes and genomic alteration-independent differentiation in gynecologic carcinosarcoma Nat. Commun., 10(1): 4965. 2019.
2. Kawai, T., Wakasa, T., Komatsu, K., Fujita, N., Matsumoto, Y., Eds. "The 5 Ms" Practical Guide to Histologic, Cytologic, and Pathologic Preparation including: Materials, Methods, Machines, Maintenance, and Management. NCGM Rotary. 55-71p., 2019,
3. 古田則行
婦人科・泌尿器・乳腺・甲状腺・リンパ/血液・体腔・骨軟部.
細胞診を学ぶ人のために. (坂本穆彦編集), 東京: 医学書院, pp. 132-167,251-268,275-289,307-361. 2019.
4. 古田則行
悪性の疑い・未分化癌・転移性(続発性)腫瘍.
甲状腺細胞診アトラス: 報告様式運用の実際.
(坂本穆彦編集), 東京: 医学書院, pp. 110-112,156-166,192-196. 2019.
5. 古田則行
骨軟部腫瘍.
スタンダード細胞診テキスト. (水口國雄監修, 東京都がん検診センター編集), 東京: 医歯薬出版, pp. 336-356. 2019.
6. 古田則行
骨軟部腫瘍.
細胞検査士細胞像試験問題集. (日本臨床細胞学会編集), 東京: 医歯薬出版, pp. 255-264. 2019.
7. 小松京子
みんなどうしてる?? 「5.1 教育」にスポットをあてる! ISO15189 認定施設の取組について
東京都医学検査, 47(3): 223-226. 2019.
8. 小松京子
一般.
細胞検査士細胞像試験問題集. (日本臨床細胞学会編集), 東京: 医歯薬出版, pp. 245-254. 2019.
9. 小松京子
病理組織学.
臨床検査技師国家試験問題注解 2020 版. (臨床検査技師国家試験問題注解編集委員会編), 東京: 金原出版, pp. 182-240. 2019.
10. 小松京子
維持・継続まで見据えた ISO 15189 取得サポートブック: (Part.3) 5章 技術的要求事項 5.8 & 5.9 結果の報告: 病理検査からみた「5.8 & 5.9 結果の報告」
臨床検査, 63(10): 1264-1269. 2019.
11. 山崎奈緒子
甲状腺の細胞診.
細胞診を学ぶ人のために. (坂本穆彦編集), 東京: 医学書院, pp. 294-306. 2019.
12. 杉山裕子
小さな子宮体癌 131 例の臨床病理学的検討: 体癌の早期発見と自然史の解明のために
大分県臨床細胞学会誌, 29: 1-3. 2019.
13. 杉山裕子
第2章 子宮頸がん検診の実際 13. 採取検体の処理と手技.

子宮頸部細胞採取の手引き。(日本婦人科がん
検診学会編), 東京: クバプロ, pp. 50-53.
2019.

【栄養管理部】

1. 伊丹優貴子, 熊谷厚志, 望月宏美, 井田智, 峯
真司, 中濱孝志, 比企直樹
肺がん術後呼吸器合併症と術前プレアルブミン
値の検討
学会誌 JSPEN, 1(4): 236-241. 2019.
2. 川名加織, 井田智, 佐々木徹, 小泉雄, 白尾浩
太郎, 鶴沼静香, 熊谷厚志, 中濱孝志, 峯真司,
比企直樹
局所進行口腔癌術後症例における新規嚥下障害
導入の効果と安全性の検討
学会誌 JSPEN, 1(3): 142-150. 2019.
3. 松下亜由子
悪性腫瘍とターミナルケア.
すべての診療科で役立つ栄養学と食事・栄養療
法。(曾根博仁編), 東京: 羊辻社, pp. 195-
199. 2019.
4. 松尾宏美, 井田智, 熊谷厚志
がんと栄養療法: がん治療における栄養介入:
管理栄養士の立場から (NST の取り組み)
Progress in Medicine, 39(8): 789-793.
2019.
5. 松尾宏美, 松下亜由子, 中濱孝志, 峯真司, 比
企直樹
がん研有明病院における NST 活動
日本臨床栄養学会雑誌, 40(4): 234-236.
2019.
6. 榎田滋穂, 熊谷厚志, 望月宏美, 中濱孝志, 井
田智, 峯真司, 比企直樹
免疫チェックポイント阻害薬によって生じた 1
型糖尿病にカーボカウント法が有効であった顎
下腺癌の 1 例
学会誌 JSPEN, 1(1): 33-37. 2019.
7. 高木久美, 峯真司, 熊谷厚志, 井田智, 望月宏
美, 中濱孝志, 比企直樹
腭頭十二指腸切除術施行患者において管理栄養
士の病棟常駐における術後短期成績の検討

学会誌 JSPEN, 1(4): 242-249. 2019.

【緩和治療科】

1. Mori, M., Morita, T., Matsuda, Y., Yamada,
H., Kaneishi, K., Matsumoto, Y., Matsuo, N.,
Odagiri, T., Aruga, E., Watanabe, H., Ta-
tara, R., Sakurai, H., Kimura, A., Katayama,
H., Suga, A., Nishi, T., Shirado, A.N., Wata-
nabe, T., Kuchiba, A., Yamaguchi, T., Iwase,
S.
How successful are we in relieving terminal
dyspnea in cancer patients? A real-world
multicenter prospective observational study
Support. Care Cancer: in press. 2019.
2. Odagiri, T., Morita, T., Sakurai, H., Yamada,
H., Matsuo, N., Matsumoto, Y., Matsuda, Y.,
Yoshioka, A., Watanabe, H., Shimoyama, S.,
Kohara, H.
A multicenter cohort study to explore dif-
ferentiating factors between tumor fever
and infection among advanced cancer pa-
tients
J. Palliat. Med., 22(11): 1331-1336. 2019.
3. Sakurai, H., Miyashita, M., Imai, K., Miya-
moto, S., Otani, H., Oishi, A., Kizawa, Y.,
Matsushima, E.
Validation of the integrated palliative care
outcome scale (IPOS) - Japanese version
Jpn. J. Clin. Oncol, 49(3): 257-262. 2019.
4. 佐伯吉規, 山田健志, 川原玲子
がん患者のせん妄
診療研究, (第 547 号): 13-19. 2019.
5. 佐伯吉規, 川原玲子
さまざまな背景のある患者にどうする?: リア
ルワールドの薬物療法: 周術期における向精神
薬管理
臨床精神薬理, 22(12): 1195-1203. 2019.
6. 佐伯吉規
内科疾患とうつ病 up-to-date: 関節リウマチ
と抑うつ
精神科治療学, 34(7): 771-777. 2019.

7. 佐伯吉規
緩和ケアで知っておきたい抗精神薬と精神疾患：薬の知識 ④ ヒルナミン
緩和ケア, 29(4): 313-315. 2019.
 8. 川原玲子
柴苓湯とマニュアルリンパドレナージ (MLD) によりむくみの改善が得られた1症例
痛みと漢方, 29: 86-90. 2019.
 9. 櫻井宏樹, [ほか] 分担執筆.
第 III 章 腫瘍学的緊急症 5. 大量出血.
専門家をめざす人のための緩和医療学. (日本緩和医療学会編集), 東京: 南江堂. 2019.
 10. 櫻井宏樹
緩和ケア実践マニュアル: Start Up & Beyond PEACE (Part3) 症状別緩和ケアスキル Beyond PEACE: Oncology Emergency: 脊髄圧迫症候群
Cancer Board Square, 5(1): 136-139. 2019.
 11. 櫻井宏樹
緩和ケア実践マニュアル: Start Up & Beyond PEACE (Part3) 症状別緩和ケアスキル Beyond PEACE: Oncology Emergency: 高カルシウム血症
Cancer Board Square, 5(1): 132-135. 2019.
- 【看護部】**
1. Go, H., Tanaka, M., Yamamoto-Mitani, N., Suzuki, M., Kawakami, A., Masaki, N., Shimada, M.
Medication adherence among patients with chronic hepatitis receiving antiviral treatment
Gastroenterol. Nurs., 42(2): 140-149. 2019.
 2. 大友陽子
Q8. がん治療と生殖医療との連携をどのようにとっていきますか？
ヘルスケアプロバイダのためのがん・生殖医療. (鈴木直, et al.), 大阪: メディカ出版, pp. 222-223. 2019.
 3. 大澤めぐみ
いまこそ考えたい苦痛スクリーニング: いかに患者ケアにつなげるか: (第 III 章) 事例でみる苦痛スクリーニング: がん研有明病院における苦痛スクリーニングの実際
がん看護, 24(5): 507-512. 2019.
 4. 後藤志保
第 4 章 主な有害事象とケア 1. 放射線皮膚炎.
がん放射線療法ケアガイド: 病棟・外来・治療室で行うアセスメントと患者サポート (祖父江由紀子ほか編), 東京: 中山書店, pp. 104-113. 2019.
 5. 後藤志保
第 4 章 主な有害事象とケア 2. 口腔粘膜炎.
がん放射線療法ケアガイド: 病棟・外来・治療室で行うアセスメントと患者サポート (祖父江由紀子ほか編), 東京: 中山書店, pp. 114-121. 2019.
 6. 後藤志保
第 6 章 照射部位・対象に応じたケア 5. 乳房.
がん放射線療法ケアガイド: 病棟・外来・治療室で行うアセスメントと患者サポート (祖父江由紀子ほか編), 東京: 中山書店, pp. 210-220. 2019.
 7. 後藤志保
第 7 章 心理・社会的サポート 2. 社会的サポート.
がん放射線療法ケアガイド: 病棟・外来・治療室で行うアセスメントと患者サポート (祖父江由紀子ほか編), 東京: 中山書店, pp. 290-294. 2019.
 8. 後藤志保
通院がん患者の療養支援～外来の力で「その人が望む暮らし」を実現する: 分かりやすさを大切にした放射線治療を受ける患者への在宅療養指導
継続看護時代の外来看護, 24(2): 101-107. 2019.
 9. 松浦信子
実践力 UP! の 146 ワード: ケアが身につく! ストーマ用語らくわかり事典: ストーマ合併症:

- ストーマ晩期合併症：ストーマがん転移
消化器ナーシング，(2019 秋季増刊)：184-
185. 2019.
10. 松浦信子，山田陽子著
快適！ストーマ生活：日常のお手入れから旅行
まで 第2版．東京：医学書院．134p., 2019.
 11. 松浦信子
難治性瘻孔を極める！明日につなげる管理とケ
ア：[悪性腫瘍と瘻孔] 悪性腫瘍の進展に伴う
瘻孔のケア
WOC Nursing, 7(10): 60-67. 2019.
 12. 横田淳子
ジョン・コッターの8段階変革理論を用いた看
護提供体制見直しの取り組み：看護提供体制の
見直しは戦略的に取り組もう
主任看護師，28(6): 57-61. 2019.
 13. 水野俊美
いまこそ考えたい苦痛スクリーニング：いかに
患者ケアにつなげるか：(第II章) 10の病院に
学ぶ苦痛スクリーニングの取り組み：がん研有
明病院における苦痛スクリーニングの組み
組みががん看護，24(5): 444-450. 2019.
 14. 水野俊美
終末期の症状緩和：終末期の痛みのコントロ
ール
Expert Nurse, 35(1): 11-17. 2019.
 15. 浅野真由，藤田佐和，森本悦子
上部消化管がん患者の術後補助療法について
の意味づけ
高知女子大学看護学会誌，44(2): 95-104.
2019.
 16. 渡邊雅之，岡村明彦，上月亮太郎，高橋慶太，
問端輔，大竹玲子，陳勁松，鈴木健，羽田忍，
高瀬鮎美，早坂紀子
臓器別がん：Basic & New：症例 FILE 付き：
食道がん
YORi-SOU がんナーシング，9(6): 733-748.
2019.
 17. 祖父江由紀子，久米恵江，土器屋卓志，濱口恵
子編集
がん化学療法ケアガイド．改定第3版．東京：
中山書店．328p., 2019,
 18. 竹内抄與子
若年・壮年期だからこそ必要なサポートを！消
化器がん患者や炎症性腸疾患患者へのケア：が
ん患者の妊孕性に対して知っておきたい知識・
取り組みと看護師の役割
消化器看護：がん・化学療法・内視鏡，24(5):
8-17. 2019.
 19. 羽田忍
脱・ワンパターンの分析 & 対策立案！同じミス
を繰り返さない：病棟風土・業務展開・スタッ
フ指導：経験・知識の差から生まれる不安全を
打破！ベッドサイドでタイムリーに危険を予知
するウォーキングカンファレンス
ナースマネジャー，21(9): 7-11. 2019.
 20. 花出正美
根拠がわかる治療とケアのベストプラクティス
(第IV章) がん患者へのケアとエビデンス：患
者・家族への教育とエビデンス がん患者・家
族の Quality of Life と End of Life を支援する
教育
がん看護，24(2): 232-237. 2019.
 21. 花出正美
根拠がわかる治療とケアのベストプラクティス
(第IV章) がん患者へのケアとエビデンス：患
者の安楽の追求とエビデンス：ボディイメージ
の変容
がん看護，24(2): 195-199. 2019.
 22. 花出正美
若年層のがん患者への支援：＜報告3＞患者に
支持的にかかわり潜在ニーズを顕在化させる
コミュニティケア，21(5)：28-30. 2019.
 23. 野口まゆみ，平澤朱美
継続看護を充実させる記録整備の具体策：がん
患者の社会生活を見据えた「病棟 - 外来 - 在宅」
の情報共有と看護記録
継続看護時代の外来看護，24(1): 85-92.
2019.

24. 長崎礼子, 飯野京子, 松下茂人
ここまで来た、免疫療法におけるチーム医療：
チーム医療最前線：看護師がつくりあげる irAE
マネジメント
がん看護, 24(6): 4-6. 2019.
25. 高瀬鮎美
食道がん
YORi-SOU がんナーシング, 9(6): 85. 2019.

【薬剤部】

1. Hiraide, M., Minowa, Y., Nakano, Y., Suzuki, K., Shiga, T., Nishio, M., Miyoshi, J., Takahashi, H., Hama, T.
Drug interactions between tyrosine kinase inhibitors (gefitinib and erlotinib) and warfarin: Assessment of international normalized ratio elevation characteristics and in vitro CYP2C9 activity
J. Oncol. Pharm. Pract., 25(7): 1599-1607. 2019.
2. Kawakami, K., Wakatsuki, T., Soejima, A., Kobayashi, K., Yokokawa, T., Aoyama, T., Suzuki, K., Suenaga, M., Yamaguchi, K., Inoue, A., Machida, Y., Hama, T.
Factors associated with regorafenib adherence with metastatic colorectal cancer
Patient Prefer. Adherence., 13: 1745-1750. 2019.
3. Kobayashi, K., Kawakami, K., Yokokawa, T., Aoyama, T., Suzuki, K., Wakatsuki, T., Suenaga, M., Sato, H., Sugiyama, E., Yamaguchi, K., Hama, T.
Association of hand-foot skin reaction with regorafenib efficacy in the treatment of metastatic colorectal cancer
Oncology, 96(4): 200-206. 2019.
4. Nonomiya, Y., Yokokawa, T., Kawakami, K., Kobayashi, K., Aoyama, T., Takiguchi, T., Sugisaki, T., Suzuki, K., Suenaga, M., Wakatsuki, T., Yamaguchi, K., Sugimoto, Y., Hama, T.
Regorafenib-induced hand-foot skin reaction is more severe on the feet than on the hands
Oncol. Res., 27(5): 551-556. 2019.
5. Tsuji, D., Suzuki, K., Kawasaki, Y., Goto, K., Matsui, R., Seki, N., Hashimoto, H., Hama, T., Yamanaka, T., Yamamoto, N., Itoh, K.
Risk factors associated with chemotherapy-induced nausea and vomiting in the triplet antiemetic regimen including palonosetron or granisetron for cisplatin-based chemotherapy: analysis of a randomized, double-blind controlled trial
Support. Care Cancer, 27(3): 1139-1147. 2019.
6. 友松拓哉, 中村匡志, 吾妻慧一
付録 1 抗がん薬の希釈後の安定性
付録 2 経口抗がん薬の懸濁可否表.
がん化学療法レジメン管理マニュアル. (青山剛ほか編集), 東京: 医学書院, pp. 巻頭, 595-600, 601-606. 2019.
7. 友松拓哉, 中村匡志, 吾妻慧一
・休薬期間がひと目でわかるレジメンのスケジュール
・体表面積あたりの投与量・減量の表.
がん化学療法レジメン管理マニュアル. (青山剛ほか編集), 東京: 医学書院, 巻頭, 巻末. 2019.
8. 友松拓哉, 小林一男, 平出誠, 中野泰寛, 根本真記, 鈴木賢一, 濱敏弘
院外処方箋における疑義照会対応ルール改訂に基づく疑義照会の効率化と有用性評価
日本臨床腫瘍薬学会雑誌, 12: 1-5. 2019.
9. 吾妻慧一
第 3 章 血液腫瘍：多発性骨髄腫：レブラミド®
アドヒアランスに着目した経口抗がん薬服薬支援マニュアル. (川上和宜, 堀里子, 松尾宏一編集), 東京: 南山堂, pp. 334-342. 2019.
10. 吾妻慧一
Evidence Update 2019：最新の薬物治療のエビデンスを付加的に利用する：エキスパートが

- 注目する最新エビデンスをアップデート！ 前立腺癌治療薬
薬局, 70(1): 174-177. 2019.
11. 小林一男, 平出誠, 吾妻慧一, 柴田直樹, 山端悠介, 伴修平, 濱敏弘
スピルキット使用状況報告書を用いたスピルキットの使用実態調査
医療薬学, 45(10): 584-590. 2019.
 12. 小林一男
第3章 大腸がん:33 レゴラフェニブ (スチバーガ®)
がん化学療法レジメン管理マニュアル. (青山剛ほか編集), 東京: 医学書院, pp. 233-239. 2019.
 13. 小林一男
第3章 大腸がん: 34 トリフルリジン・チピラシル (ロンサーフ®).
がん化学療法管理レジメン. (青山剛ほか編集), 東京: 医学書院, pp. 240-244. 2019.
 14. 小林一男
第3章 大腸がん: ロンサーフ®
アドヒアランスに着目した経口抗がん薬服薬支援マニュアル. (川上和宜, 堀里子, 松尾宏一編集), 東京: 南山堂, pp. 261-268. 2019.
 15. 川上和宜, 堀里子, 松尾宏一編集
アドヒアランスに着目した経口抗がん薬服薬支援マニュアル. 東京: 南山堂. 386p., 2019,
 16. 川上和宜
プロフェッショナルEYE: 専門薬剤師からみた勘所: がん: 抗がん薬による副作用重篤化リスク因子を明らかにして、薬学的ケアに生かす!
薬局, 70(6): 1376-1383. 2019.
 17. 川上和宜, ほか分担執筆
今日の治療薬 2019. (浦部明央, 島田和幸, 川合眞一編集), 東京: 南江堂. 2019.
 18. 川上和宜
第3章 临床上重要な薬剤の実践的 DDI マネジメント ⑩抗悪性腫瘍薬 (タモキシフェン、タキサン系).
医療現場のための薬物相互作用リテラシー. (大野能之, 樋坂章博編集), 東京: 南山堂, pp. 168-173. 2019.
 19. 川上和宜
薬トレ: 薬剤師の臨床センスを磨くトレーニングブック: がん 症例 (105)
薬局, 70(4): 749-750. 2019.
 20. 川上和宜
薬トレ: 薬剤師の臨床センスを磨くトレーニングブック: がん 症例 (106)
薬局, 70(4): 751-752. 2019.
 21. 川上和宜
薬トレ: 薬剤師の臨床センスを磨くトレーニングブック: がん 症例 (107)
薬局, 70(4): 753-754. 2019.
 22. 川上和宜
薬トレ: 薬剤師の臨床センスを磨くトレーニングブック: がん 症例 (108)
薬局, 70(4): 755-756. 2019.
 23. 平出誠, 蓑輪雄一, 中野泰寛, 鈴木賢一, 志賀太郎, 三好淳也, 高橋晴美, 濱敏弘
7種のチロシンキナーゼ阻害薬がワルファリンの抗凝固効果に及ぼす影響
癌と化学療法, 46(11): 1733-1739. 2019.
 24. 平出誠, 蓑輪雄一, 中野泰寛, 吉岡秀哲, 鈴木賢一, 志賀太郎, 高橋晴美, 濱敏弘
チロシンキナーゼ阻害薬がワルファリンのPT-INRコントロールに及ぼす影響
癌と化学療法, 46(9): 1413-1419. 2019.
 25. 平出誠, 小林一男, 濱敏弘
抗がん薬曝露防止器具 EQUASHIELD® 使用時の環境汚染測定結果
日本病院薬剤師会雑誌, 55(3): 306-308. 2019.
 26. 柴田直樹
薬トレ: 薬剤師の臨床センスを磨くトレーニングブック: がん 症例 (113)
薬局, 70(4): 765-766. 2019.

27. 柴田直樹
薬トレ：薬剤師の臨床センスを磨くトレーニングブック：がん 症例 (114)
薬局, 70(4): 767-768. 2019.
28. 柴田直樹
薬トレ：薬剤師の臨床センスを磨くトレーニングブック：がん 症例 (115)
薬局, 70(4): 769-770. 2019.
29. 柴田直樹
薬トレ：薬剤師の臨床センスを磨くトレーニングブック：がん 症例 (116)
薬局, 70(4): 771-772. 2019.
30. 竹野伸洋
緩和ケア口伝：現場で広がるコツと御法度 (第26巻) 肝機能値異常が出た。そのときアセトアミノフェンは？
緩和ケア, 29(2): 161. 2019.
31. 荻野茜
第4章 胃癌：37 カペシダビン+シスプラチン+トラスツズマブ。
がん化学療法レジメン管理マニュアル。(青山剛ほか編集), 東京：医学書院, pp. 266-274. 2019.
32. 鈴木亘, 濱敏弘
免疫チェックポイント阻害薬の副作用マネジメント：がん研有明病院の取り組み
東京都病院薬剤師会雑誌, 68(2): 56-58. 2019.
33. 鈴木亘
第3章 乳癌：イブランス®
アドヒアランスに着目した経口抗がん薬服薬支援マニュアル。(川上和宜, 堀里子, 松尾宏一編集), 東京：南山堂, pp. 236-243. 2019.
34. 鈴木賢一
がん臨床試験の最前線はこれだ！：がん免疫療法を中心としたがん臨床試験の知識を深化する：薬剤師の視点から考える免疫チェックポイント阻害薬の副作用マネジメント
薬理と治療, 47(5): 707-709. 2019.
35. 鈴木賢一, 山本信之
臨床研究実践のコツ：病棟薬剤師の「気づき」から研究実現まで
アプライド・セラピューティクス, 11: 37-45. 2019.
36. 青山剛
22 骨軟部腫瘍。
臨床腫瘍薬学。(日本臨床腫瘍薬学会編集), 東京：じほう, pp. 587-596. 2019.

【臨床研究・開発センター】

1. Ando, K., Shimada, K., Yamazaki, T., Uchiyama, S., Uemura, Y., Ishizuka, N., Teramoto, T., Oikawa, S., Sugawara, M., Murata, M., Yokoyama, K., Ikeda, Y.
Influence of blood pressure on the effects of low-dose aspirin in elderly patients with multiple atherosclerotic risks
J. Hypertens., 37(6): 1301-1307. 2019.
2. Hayami, M., Watanabe, M., Mine, S., Imamura, Y., Okamura, A., Yuda, M., Yamashita, K., Toihata, T., Shoji, Y., Ishizuka, N.
Lateral thermal spread induced by energy devices: a porcine model to evaluate the influence on the recurrent laryngeal nerve
Surg. Endosc., 33(12): 4153-4163. 2019.
3. Hayami, M., Watanabe, M., Mine, S., Imamura, Y., Okamura, A., Yuda, M., Yamashita, K., Shoji, Y., Toihata, T., Kozuki, R., Ishizuka, N.
Steam induced by the activation of energy devices under a wet condition may cause thermal injury
Surg. Endosc.: in press. 2019.
4. Konishi, T., Shinozaki, E., Murofushi, K., Taguchi, S., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Akiyoshi, T., Nagasaki, T., Suenaga, M., Chino, A., Kawachi, H., Yamamoto, N., Ishikawa, Y., Oguchi, M., Ishizuka, N., Ueno, M., Yamaguchi, K.
Phase II trial of neoadjuvant chemothera-

- py, chemoradiotherapy, and laparoscopic surgery with selective lateral node dissection for poor-risk low rectal cancer
Ann. Surg. Oncol., 26(8): 2507-2513. 2019.
5. Konishi, Y., Nakata, Y., Nemoto, A., Ushijima, M., Matsuura, M.
The preoperative risk factors of postoperative self-extubation in elderly patients
Int. J. Risk Saf. Med., 30(1): 9-18. 2019.
 6. Mine, S., Watanabe, M., Kumagai, K., Okamura, A., Yuda, M., Hayami, M., Yamashita, K., Imamura, Y., Ishizuka, N.
Comparison of mediastinal lymph node metastases from adenocarcinoma of the esophagogastric junction versus lower esophageal squamous cell carcinoma with involvement of the esophagogastric junction
Dis. Esophagus, 32(11): pii: doz002. 2019.
 7. Ri, M., Hiki, N., Ishizuka, N., Ida, S., Kumagai, K., Nunobe, S., Ohashi, M., Sano, T.
Duodenal stump reinforcement might reduce both incidence and severity of duodenal stump leakage after laparoscopic gastrectomy with Roux-en-Y reconstruction for gastric cancer
Gastric Cancer, 22(5): 1053-1059. 2019.
 8. Takahari, D., Chin, K., Ishizuka, N., Takashima, A., Minashi, K., Kadowaki, S., Nishina, T., Nakajima, T.E., Amagai, K., Machida, N., Goto, M., Taku, K., Wakatsuki, T., Shoji, H., Hironaka, S., Boku, N., Yamaguchi, K.
Multicenter phase II study of trastuzumab with S-1 plus oxaliplatin for chemotherapy-naive, HER2-positive advanced gastric cancer
Gastric Cancer, 22(6): 1238-1248. 2019.
 9. Takahashi, K., Watanabe, M., Kozuki, R., Toihata, T., Okamura, A., Imamura, Y., Mine, S., Ishizuka, N.
Prognostic significance of skeletal muscle loss during early postoperative period in elderly patients with esophageal cancer
Ann. Surg. Oncol., 26(11): 3727-3735. 2019.
 10. Yuda, M., Yamashita, K., Okamura, A., Hayami, M., Fukudome, I., Toihata, T., Imamura, Y., Mine, S., Ishizuka, N., Watanabe, M.
Influence of preoperative oropharyngeal microflora on the occurrence of postoperative pneumonia and survival in patients undergoing esophagectomy for esophageal cancer
Ann. Surg.: in press. 2019.
 11. 山原有子, 田村祐子, 吉國有美子, 菅波秀規, 石塚直樹, 小居秀紀
臨床試験データの質を効率よく確保するには : クリニカル・データマネジャー間の連携
薬理と治療, 47(Suppl.1): s94-s101. 2019.
 12. 石塚直樹
NCDをどう活用するか : 総論 ビッグデータ時代のデータベースを用いたデータ解析の注意点
外科, 81(4): 306-310. 2019.
 13. 鈴木一洋
放射線治療装置を立ち上げよう : 放射線治療情報システムの構築
日本放射線技術学会雑誌, 75(7): 683-687. 2019.
- 【健診センター】**
1. Okada, K., Suzuki, S., Naito, S., Yamada, Y., Haruki, S., Kubota, M., Nakajima, Y., Shimizu, T., Ando, K., Uchida, Y., Hirasawa, T., Fujisaki, J., Tsuchida, T.
Incidence of metachronous gastric cancer in patients whose primary gastric neoplasms were discovered after *Helicobacter pylori* eradication
Gastrointest. Endosc., 89(6): 1152-9. 2019.

2. 土田知宏
癌検診の展望：PET 検査を含む総合癌検診の展望
外科, 81(8): 817-822. 2019.

11. 獲得研究費一覧

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
内閣府 (医薬基盤・健康・栄養研究所)	戦略的イノベーション創造プログラム AI (人口知能)ホスピタルによる高度診断・治療システム	人工知能を有する統合がん診療支援システム	119,207,780	有明病院 佐野 武
厚生労働省	がん対策推進総合研究事業	3学会合同「がんゲノムネット」を用いた、国民への「がんゲノム医療」に関する教育と正しい情報伝達に関する研究	300,000	総合腫瘍科 高橋俊二
厚生労働省	がん対策推進総合研究事業	小児・AYA世代がん患者のサイバーシップ向上を志向した妊孕性温存に関する心理支援体制の均てん化に向けた臨床研究	300,000	乳腺センター 大野真司
文部科学省	新学術領域研究	先端モデル動物支援プラットフォーム	450,000	臨床研究・開発センター 牛嶋 大
文部科学省	基盤研究 (A)	骨軟部腫瘍における診断マーカーの同定と腫瘍概念の再構築を目指した融合遺伝子の探索	100,000	整形外科 阿江啓介
文部科学省	基盤研究 (B)	間質応答を利用したホルモン受容体陽性乳がんの治療戦略の構築	4,700,000	乳腺外科 上野貴之
文部科学省	基盤研究 (B)	腸肝型ヘリコバクター感染と胆道がん・膵がんリスク	300,000	肝・胆・膵内科 笹平直樹
文部科学省	基盤研究 (B)	革新的治療法開発を目指した抗癌剤耐性に関わる腸内細菌叢の網羅的探索	100,000	消化器外科 今村 裕
文部科学省	基盤研究 (B)	大規模経時採取検体を用いた大腸がん肝転移巣の化学療法耐性化シグナルシフトの解明	400,000	消化器外科 長山 聡
文部科学省	基盤研究 (B)	個別化医療のための人工知能・深層学習に対する統計学的評価法の開発	200,000	臨床研究・開発センター 牛嶋 大
文部科学省	基盤研究 (C)	前立腺癌に対する高線量率組織内照射の多施設プラットフォーム構築と国際共同研究開始	700,000	放射線治療部 吉岡靖生
文部科学省	基盤研究 (C)	癌化学療法における薬剤性心筋症発症に寄与する遺伝的素因ならびに心機能特性の解明	500,000	循環器内科 渡邊 直
文部科学省	基盤研究 (C)	子宮体癌時系列検体を用いた黄体ホルモン治療抵抗性・再発を規定する遺伝子変異の同定	500,000	細胞診断部 杉山裕子
文部科学省	基盤研究 (C)	頭頸部癌における腫瘍内免疫応答解析に基づく最適な複合的免疫治療の検討	300,000	総合腫瘍科 仲野兼司
文部科学省	基盤研究 (C)	3次元画像解析とプロジェクションマッピングを用いた乳房再建手術支援システムの開発	600,000	形成外科 矢野智之
文部科学省	基盤研究 (C)	遺伝子変異情報に基づいた大腸癌に対する新規治療戦略の開発	900,000	消化器外科 長山 聡

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
文部科学省	基盤研究 (C)	基礎研究解析データに基づく大腸がん治療薬の非網羅的バイオマーカー検証研究	1,000,000	消化器内科 末永光邦
文部科学省	基盤研究 (C)	リキッドバイオプシーに基づく直腸癌術前放射線化学療法の効果予測法の開発	1,000,000	大腸外科 上野雅資
文部科学省	基盤研究 (C)	免疫ゲノム解析による直腸癌術前放射線化学療法の治療効果に寄与する免疫環境の解明	1,000,000	消化器外科 秋吉高志
文部科学省	基盤研究 (C)	胆汁を用いたリキッドバイオプシーの確立と胆管がん術前診断への応用	1,000,000	消化器外科 伊藤寛倫
文部科学省	基盤研究 (C)	抗VEGFR2抗体投与後早期のVEGF-A上昇の臨床的意義と新たな治療戦略の開発	2,000,000	消化器内科 若槻 尊
文部科学省	基盤研究 (C)	大腸癌におけるRNF43遺伝子による腫瘍増殖メカニズムの解明	100,000	消化器外科 今村 裕
文部科学省	基盤研究 (C)	活性化ストローマ細胞とのクロストークを介した炎症性発癌メカニズムの解明	50,000	消化器外科 今村 裕
文部科学省	基盤研究 (C)	直腸癌微小リンパ節転移検出による革新的直腸癌治療戦略の構築	50,000	消化器外科 今村 裕
文部科学省	基盤研究 (C)	飲酒喫煙が食道癌診療に及ぼすリスクの包括的評価における平均赤血球容積の意義	50,000	消化器外科 今村 裕
文部科学省	基盤研究 (C)	飲酒喫煙が食道癌診療に及ぼすリスクの包括的評価における平均赤血球容積の意義	100,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究 (C)	複合免疫療法に向けた各種抗がん剤の免疫抑制解除効果の検証とバイオマーカー探索研究	1,748,715	がん免疫治療開発部 北野滋久
文部科学省	基盤研究 (C)	体液試料からのオルガノイドによる化学療法の治療効果予測モデルの有効性	1,500,000	消化器化学療法科 大木 暁
文部科学省	基盤研究 (C)	BRCAnessを利用した遺伝性乳がんの病原性予測・薬物療法効果予測法の確立	1,300,000	臨床遺伝医療部 吉田玲子
文部科学省	基盤研究 (C)	人工知能を使用した上部消化管内視鏡における食道癌診断の検討	1,400,000	消化器内科 由雄敏之
文部科学省	基盤研究 (C)	放射線照射により胃がん幹細胞に生ずる免疫学的プロファイルの変化	1,400,000	消化器外科 熊谷厚志
文部科学省	基盤研究 (C)	非EBV非MSI-high食道胃接合部の免疫回避機解明と新規免疫治療の開発	1,100,000	消化器外科 井田 智
文部科学省	基盤研究 (C)	肥満合併食道癌におけるがん細胞-脂肪細胞間相互作用の解明と新規事業法の開発	1,100,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究 (C)	レーザーパルスジェットメスと血流画像計測を用いた形成外科皮弁形成術術中支援システム	100,000	形成外科 矢野智之
文部科学省	挑戦的研究(萌芽)	革新的治療法開発を目指した腸内細菌叢とサルコペニアの網羅的解析	50,000	消化器外科 今村 裕

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
文部科学省	挑戦的研究(萌芽)	骨軟部腫瘍の「小胞体ストレス」機能解析に基づいた新規治療法開発	100,000	がん免疫治療開発部 北野 滋久
文部科学省	若手研究(B)	胃がん術後補助療法に対する抵抗性を評価するバイオマーカーの開発	500,000	総合腫瘍科 重松康之
文部科学省	若手研究(B)	乳癌における免疫モニタリングと新規免疫治療の開発	800,000	総合腫瘍科 小野麻紀子
文部科学省	若手研究	子宮頸がん放射線治療におけるラディオミクス解析と標的体積縮小モデルの構築	1,000,000	放射線治療部 中野正寛
文部科学省	若手研究	EGFR-C797S/T790M変異による多剤耐性の検出と克服の分子基盤研究	1,200,000	呼吸器内科 内堀 健
文部科学省	若手研究	スマートデバイスを用いたマイクロサージャリートレーニングシステムの開発	1,800,000	形成外科 辛川 領
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	放射線治療の品質管理、I S R Tの標準化手順の確立	200,000	放射線治療部 小口正彦
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	次世代シーケンサーによる網羅的がん関連遺伝子パネル解析を用いたHER2遺伝子変異陽性の進行非小細胞肺癌に対する治療開発を目指した研究	1,800,000	呼吸器内科 榎谷典子
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	StageIV乳癌に対する予後の改善を目指した標準治療の確立に対する研究	500,000	乳腺センター 乳腺内科 原文堅
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	乳房再建におけるアウトカム指標の確立と科学的根拠に基づいた患者意思決定支援	1,095,000	形成外科 矢野智之
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	230,000	整形外科 阿江啓介
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	日本人BRCA未発症変異保持者に対する乳癌リスク低減手法の開発研究	600,000	臨床遺伝医療部 吉田玲子
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	可及的摘出術が行われた初発膠芽腫に対するカルムスチン脳内留置剤を用いた標準治療確立に関する研究	300,000	放射線治療部 角美奈子
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のための研究	798,381	総合腫瘍科 高橋俊二
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	トレーサビリティの確保された線源と画像誘導を利用した高線量率小線源治療の標準化と高度化の研究	269,000	放射線治療部 吉岡靖生
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	急速進行性がん患者・家族と医師の共感的コミュニケーション促進のための統合支援プログラムの有効性を検証する無作為化比較試験	1,099,200	肝胆膵内科 尾阪将人
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	切除不能局所進行食道扁平癌を対象とした化学放射線療法後の逐次治療としての抗PD-1抗体薬療法の安全性・有効性・proof-of-concept (POC)を検討する多施設共同臨床第I b/II相試験	2,000,000	消化器化学療法科 山口研成

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	腎機能低下時、軽体重時におけるオシメルチニブ療法の薬物動態、用量反応関係を検討する第1相試験	536,000	呼吸器内科 北園 聡
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	早期転移発見による予後の向上を目指した乳がん術後の新たな標準的フォローアップ法開発に関する研究	300,000	乳腺センター 乳腺外科 北川 大
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	SCRUM-Japanの基盤を活用した血液循環腫瘍DNAスクリーニングに基づくFGFR遺伝子異常を有する難治性の治癒切除不能な進行・再発固形がんに対するTAS-120のバスケット型医師主導治験	1,600,000	消化器化学療法科 篠崎英司
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	根治が見込める癌に対する外科侵襲の軽減とQOL改善を目指した標準治療法確立のための多施設共同第三相試験、症例集積・登録・班会議での討論	500,000	肝胆膵外科 高橋 祐
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	切除不能進行・再発胃癌に対する個別化治療と最適化標準療法に関する研究	200,000	消化器化学療法科 陳 勁松
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	局所進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するシスプラチン+S-1同時胸部放射線治療とシスプラチン+ペメトレキセド同時胸部放射線治療の無作為化第II相試験	200,000	呼吸器内科 西尾誠人
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	進行胃癌を対象とした大網切除に対する大網温存の非劣性を検証するランダム化比較第III相試験	200,000	消化器外科 大橋 学
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	「頭頸部表在癌全国登録調査」に基づいた頭頸部表在癌に対する診断・治療法の開発に関する研究 (症例登録および臨床試験の進捗管理)	153,847	頭頸科 三谷浩樹
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	Stage I/II舌癌に対する予防的頸部郭清省略の意識を検証するための多施設共同臨床試験	1,000,000	頭頸科 福島啓文
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	高度腹膜転移胃癌に対する標準化学療法の確立に関する研究	1,000,000	消化器化学療法科 山口研成
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	小児及びAYA世代の横紋筋肉腫およびユースイング肉腫患者に対するリスク層別化臨床試験実施による標準的治療法の開発	400,000	放射線治療部 角美奈子
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	臨床病期I/II/III食道癌 (T4を除く) に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第III相試験	100,000	消化器外科 渡邊雅之
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	局所進行胃癌に対する術前化学療法の有効性を検証する臨床第III相試験	600,000	消化器外科 布部創也
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	RET肺がんに対するアレクチニブの医師主導治験 (ALL-RET) の実施、ALL-RETの治療完遂	1,000,000	呼吸器内科 西尾誠人
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	乳癌患者におけるrMV-SLAMblindを用いたウィルス療法的第一相臨床試験計画 (臨床試験実施計画書) の作成	2,000,000	総合腫瘍科 高橋俊二
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	リンパ節転移リスクを有する子宮体癌に対する標準的リンパ節郭清確立のための多施設共同臨床試験	300,000	婦人科 竹島信宏

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療 実用化研究事業	膵がん微小環境における免疫抑制ネットワーク機構の解明に基づく新規免疫療法の開発	857,270	がん免疫治療開発部 北野滋久
日本医療研究開発機構 (AMED)	未来医療を実現 する医療機器・システム研究開発事業	直径1mmの血管吻合を容易にする顕微鏡下手術支援ロボットシステムの研究開発	1,153,860	乳腺センター 大野真司
日本医療研究開発機構 (AMED)	8K等高精細映像 データ利活用研究 事業	人工知能とデータ大循環によって実現する、大腸内視鏡の革新的転換	275,200	下部消化管内科 斎藤彰一
日本医療研究開発機構 (AMED)	感染症実用化研究 事業	思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する疫学研究	150,000	婦人科 竹島信宏
日本医療研究開発機構 (AMED)	橋渡し研究戦略 的推進プログラム	シーズA123 乳がん温存手術における乳房形態の三次元予測システムの開発	1,500,000	乳腺外科 上野貴之
日本医療研究開発機構 (AMED)	臨床研究・治験 推進研究事業	産学連携全国がんゲノムスクリーニング(SCRUM-Japan)患者レジストリを活用したBRAF遺伝子変異陽性切除不能進行・再発大腸がんを対象にした医師主導治験	1,000,000	消化器化学療法科 山口研成
日本医療研究開発機構 (AMED)	次世代がん医療 創生研究事業	NGS技術を駆使した遺伝学的解析による家族性乳がんの原因遺伝子と同定と標準化医療構築	49,000,000	乳腺センター 大野真司
日本医療研究開発機構 (AMED)	次世代がん医療 創生研究事業	非小細胞肺がんの収集ならびに悪性黒色腫、非小細胞肺癌およびATLLのエクソーム・トランスクリプトーム解析	33,718,462	呼吸器内科 西尾誠人
日本医療研究開発機構 (AMED)	次世代がん医療 創生研究事業	腸内細菌を指標とした大腸がんの早期診断方法の開発	5,500,000	消化器外科 長山 聡
日本医療研究開発機構 (AMED)	次世代がん医療 創生研究事業	ヒト腫瘍組織、正常組織の採取と解析試料作成と腫瘍浸潤各種免疫担当細胞の解析	577,650	がん免疫治療開発部 北野滋久
新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)	AI 教師データ 制度管理	人工知能を用いた胃がん内視鏡画像診断支援システムの開発	4,180,000	上部消化管内科 平澤俊明
国立国際医療研究センター	国際医療研究開発 事業	膵癌の微小環境と化学療法効果予測の検討から膵癌予後改善を目指したヒト免疫臨床研究	2,000,000	肝胆膵外科 小野 嘉大
国立がん研究センター	国立がん研究センター研究開発 費	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	600,000	消化器外科 布部創也
国立がん研究センター	国立がん研究センター研究開発 費	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	2,500,000	核医学部 寺内隆司
国立がん研究センター	国立がん研究センター研究開発 費	外科手術前後補助薬物療法早期臨床試験の研究体制確立に関する研究	200,000	大腸外科 小西 毅
がん研究振興財団	がん研究助成 金：A	胃癌手術後の詳細な血糖値変動の実態把握と、個別化栄養介入によるダンピング症候群の克服	1,000,000	胃外科 井田 智

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
がん研究振興財団	がん研究助成金：A	上部消化管腺癌におけるMSI-lowに着目した網羅的免疫・ゲノム解析による新規免疫治療創出	1,000,000	食道外科 今村 裕
がん研究振興財団	がん研究助成金：A	頭頸部原発神経内分泌がんの臨床病理学的特徴とその遺伝学的背景に関する研究	1,000,000	総合腫瘍科 大本 晃弘
公益財団法人 大和証券ヘルス財団	調査研究助成 医学・医療	人工知能を使用した上部消化管内視鏡における食道癌の診断支援	1,000,000	消化器内科 由雄 敏之
武田科学振興財団	医学系研究奨励	人工知能を使用した内視鏡動画中における食道癌の拾い上げ診断	2,000,000	消化器内科 由雄 敏之
三井住友信託銀行	公益信託 癌臨床研究助成基金	腹水試料から高感度に胃がん細胞を検出するためのメチル化遺伝子パネルの開発	500,000	消化器化学療法科 大木 暁
内視鏡医学研究振興財団	研究助成:B	手術肺virtual simulatorを用いた胸腔鏡手術新技術の開発	500,000	呼吸器外科 松浦 陽介
臨床薬理研究振興財団	2019年度(第44回)研究奨励金	MSI-low 発癌の解明と新規バイオマーカー創出	2,000,000	食道外科 今村 裕
日本対がん協会	2019年度 リレー・フォー・ライフ・ジャパン「プロジェクト未来」研究助成Ⅱ分野(患者・家族のケアに関する研究)	遺伝性腫瘍診療におけるオンライン相談の普及と病診ネットワークの構築	500,000	臨床遺伝医療部 高津 美月

12. 学術研究講演

回	日付	開催時間	演題	発表者
第286回	2019年1月15日	18:00～19:00	血糖降下薬の基礎知識	薬剤部 館合慶一 薬剤師
			血糖を下げる薬 ここに気を付けています	東京都済生会中央病院 薬剤部 清水淳一 先生
第287回	2019年2月19日	18:00～19:00	がん研におけるリンパケアルームの役割	リンパ浮腫治療室 田端 聡 看護師
			がんのリハビリテーション診療とリンパ浮腫～現状の課題と今後の展望	慶応大学リハビリ科準教授 辻 哲也 先生
第288回	2019年3月19日	18:00～19:00	30年度 Best English Paper 受賞記念講演会	
			【ゴールド賞】	
			Pattern of tumor shrinkage during neoadjuvant chemotherapy Is associated with prognosis in low-grade luminal early breast cancer.	乳腺内科 深田 一平 医師
			【シルバー賞】	
			Oesophagectomy with or without supraclavicular lymphadenectomy after neoadjuvant treatment for squamous cell carcinoma of the oesophagus.	消化器外科 峯 真司 医師
			Endoscopic criteria to evaluate tumor response of rectal cancer to neoadjuvant chemoradiotherapy using magnifying chromoendoscopy.	下部消化管内科 千野 晶子 医師
			【ブロンズ賞】	
			Association of preoperative and postoperative serum carcinoembryonic antigen and colon cancer outcome.	大腸外科 小西 毅 医師
Use of endoscopy to determine the resection margin during laparoscopic gastrectomy for cancer.	消化器外科 胃外科 川勝 章司 医師			
第289回	2019年4月16日	18:00～19:00	人工知能を利用した医用画像診断システムへの取り組み	超音波検査部 藤原 良将 医師
			「人工知能による医療画像認識の最前線」	オックスフォード大学 川上 和也 先生
第290回	2019年5月21日	18:00～19:00	ゲノム医療、FoundationOne	埼玉県立がんセンター 腫瘍診断・予防科 赤木 究 先生
			NCCオンコパネルの特長について	国立がん研究センター中央病院 臨床検査科 角南 久仁子 先生
第291回	2019年6月18日	18:00～19:00	「痒がる皮疹にご用心」	感染症科 大串 大輔 医師
			「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた医療関連感染対策」	聖路加国際病院 QIセンター感染管理室 坂本 史衣 マネジャー
第292回	2019年7月30日	18:00～19:00	「免疫治療中に脳血管障害をきたした一例」	呼吸器内科 戸塚 猛大 医師
			「腫瘍循環器: Onco-Cardiologyについて」	がん研有明病院 腫瘍循環器・循環器内科部長 志賀 太郎 医師
第293回	2019年10月15日	18:00～19:00	「当科におけるtranslationalな研究への取り組みと粘液型脂肪肉腫の総論」	整形外科 船内 雄生 医師
			生命情報科学の観点から、癌を研究する～multi-omics, deep learningを用いて～」	東京大学 理学部理学系研究科 生物科学専攻 生物情報科学科 鎌谷 高志 先生
第294回	2019年11月19日	18:00～19:00	「がん研と在宅をつなぐ栄養士の役割」	栄養管理部 松下 亜由子 管理栄養士
			「在宅医療における栄養のちから-最期まで主人公であり続けるために-」	医療法人社団悠翔会 理事長・診療部長 佐々木 淳 先生
第295回	2019年12月17日	18:00～19:00	Hereditary gynecologic cancer management in Korea ¹ .	Professor, Gynecologic Oncology Department of Obstetrics and Gynecology Seoul National University College of Medicine Jae-Weon KIM

13. 財政状況

2017～2019年度 正味財産増減計算書(3か年度分)
2017年4月1日～2020年3月31日

(単位:百万円)

科目	2017年度	2018年度	2019年度
経常増減の部			
経常収益			
基本財産運用益	3	3	3
事業収益	40,733	42,773	44,116
受取補助金等	433	412	458
受取負担金	255	268	426
受取寄付金	1,914	1,120	879
雑収益	403	415	459
合計	43,741	44,990	46,341
経常費用			
事業費	40,642	41,929	44,525
管理費	891	954	950
合計	41,534	42,883	45,475
評価損益等 計	37	▲ 10	▲ 25
当期経常増減額	2,244	2,098	841
経常外増減の部			
経常外収益 計	0	0	0
経常外費用 計	2	2	2
当期経常外増減額	▲ 2	▲ 1	▲ 2
当期一般正味財産増減額	2,242	2,097	839

当期指定正味財産増減額	▲ 130	▲ 164	▲ 164
-------------	-------	-------	-------

当期 正味財産増減額	2,112	1,933	675
------------	-------	-------	-----

※ 端数処理のため、合計額が合わないことがあります。

